

令和2年度
住まいに関する
県民インターネットアンケート

調査報告書

令和3年(2021年)1月29日～2月1日

長野県建設部

目 次

I 調査の概要	1
II 結果の内容	
1 住宅・居住環境に関する意識・志向について	5
2 住宅の環境対策について	34
3 住宅の地震対策について	46
4 社会における住宅対策について	51
5 空き家対策について	57
6 公営住宅のあり方について	69
7 賃貸住宅に対するニーズ	74
8 景観について	84
9 地域コミュニティについて	92
10 これからの信州の住まい方について	101
III 調査票	107

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、平成28年度を初年度とする長野県住生活基本計画の見直し等にあたり、県民の住宅及び住環境に関する現状、意識、ニーズ等を把握し、基礎資料とする目的で実施された。

2 調査の項目

- 1 住宅・居住環境に関する意識・志向について
- 2 住宅の環境対策について
- 3 住宅の地震対策について
- 4 高齢社会における住宅対策について
- 5 空き家対策について
- 6 公営住宅のあり方について
- 7 賃貸住宅に対するニーズ
- 8 景観について
- 9 地域コミュニティについて
- 10 これからの信州の住まい方について
- 11 その他

3 調査の設計

この調査は、次の通り設計した。

- (1) 調査対象 長野県内に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 調査対象者数 1,000人
- (3) 抽出方法 Webモニターのパネルから抽出
- (4) 調査方法 WEB調査
- (5) 調査時期 令和3年(2021年)1月29日(金)～2月1日(月)

4 割付

年齢	東信地域	南信地域	中信地域	北信地域	合計
18-29歳	41	41	41	41	164
30-39歳	42	42	42	42	168
40-49歳	42	42	42	42	168
50-59歳	42	42	42	42	168
60-64歳	42	42	42	42	168
65歳以上	41	41	41	41	164
合計	250	250	250	250	1,000

※長野県全域のモニターへ配信

5 回収対象者の分類

【地域】

		実数	割合
東信地域	上田市	99	9.9%
	東御市	21	2.1%
	佐久市	48	4.8%
	小諸市	31	3.1%
	坂城町	11	1.1%
	青木村	4	0.4%
	長和町	3	0.3%
	軽井沢町	16	1.6%
	御代田町	7	0.7%
	立科町	3	0.3%
	小海町	1	0.1%
	川上村	-	-
	南牧村	-	-
	南相木村	-	-
	北相木村	-	-
	佐久穂町	6	0.6%
	計	250	25.0%
南信地域	諏訪市	21	2.1%
	茅野市	30	3.0%
	岡谷市	22	2.2%
	伊那市	34	3.4%
	駒ヶ根市	16	1.6%
	飯田市	54	5.4%
	下諏訪町	11	1.1%
	富士見町	4	0.4%
	原村	3	0.3%
	辰野町	11	1.1%
	箕輪町	12	1.2%
	飯島町	3	0.3%
	南箕輪村	9	0.9%
	中川村	2	0.2%
	宮田村	1	0.1%
	松川町	5	0.5%
	高森町	5	0.5%
	阿南町	-	-
	阿智村	-	-
	平谷村	-	-
	根羽村	-	-
	下條村	-	-
	売木村	-	-
	天龍村	-	-
泰阜村	1	0.1%	
喬木村	3	0.3%	
豊丘村	3	0.3%	
大鹿村	-	-	
計	250	25.0%	

		実数	割合
中信地域	松本市	119	11.9%
	塩尻市	38	3.8%
	安曇野市	54	5.4%
	大町市	14	1.4%
	麻績村	-	-
	生坂村	1	0.1%
	山形村	3	0.3%
	朝日村	1	0.1%
	筑北村	1	0.1%
	池田町	1	0.1%
	松川村	3	0.3%
	白馬村	7	0.7%
	小谷村	1	0.1%
	上松町	1	0.1%
南木曾町	1	0.1%	
木祖村	-	-	
玉滝村	-	-	
大桑村	1	0.1%	
木曾町	4	0.4%	
計	250	25.0%	
北信地域	長野市	187	18.7%
	千曲市	18	1.8%
	須坂市	15	1.5%
	中野市	10	1.0%
	飯山市	5	0.5%
	信濃町	-	-
	小川村	1	0.1%
	飯綱町	5	0.5%
	栄村	1	0.1%
	小布施町	3	0.3%
	高山村	2	0.2%
	山ノ内町	2	0.2%
	木島平村	1	0.1%
	野沢温泉村	-	-
計	250	25.0%	

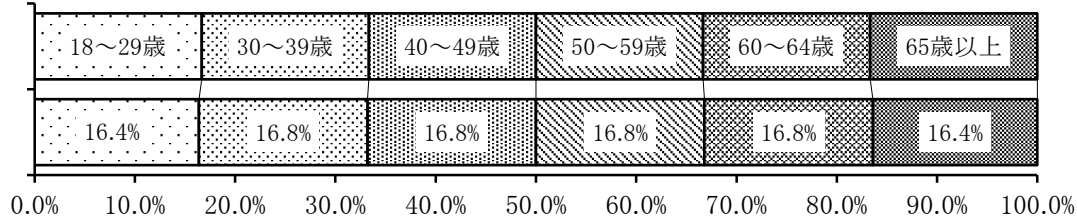
【住まいの地域】

	実数	割合
市街地(大きな都市の中心部)	182	18.2%
郊外の住宅地(大きな都市の中心部周辺や隣接町村)	480	48.0%
町村の中心部(中心集落)	149	14.9%
農山村中山間地	172	17.2%
保健休養地	9	0.9%
その他	8	0.8%
合計	1,000	100.0%

【年代】

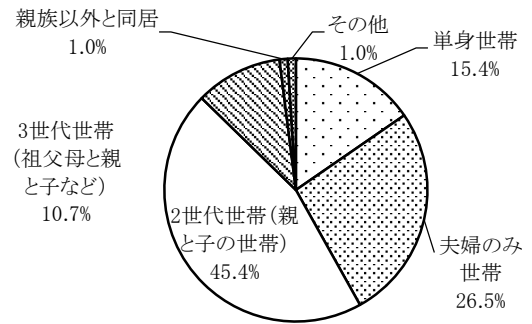
(上段実数:下段割合)

	総数	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
全体	1,000	164	168	168	168	168	164
	100.0%	16.4%	16.8%	16.8%	16.8%	16.8%	16.4%



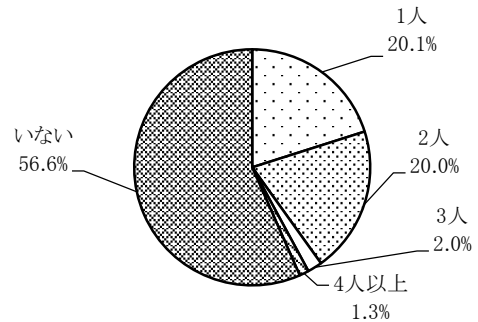
【世帯構成】

	実数	割合
単身世帯	154	15.4%
夫婦のみ世帯	265	26.5%
2世代世帯(親と子の世帯)	454	45.4%
3世代世帯(祖父母と親と子など)	107	10.7%
親族以外と同居	10	1.0%
その他	10	1.0%
合計	1,000	100.0%



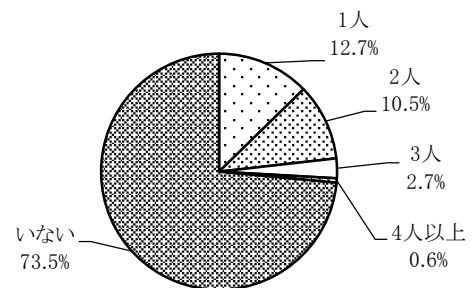
【65歳以上の方】

	実数	割合
1人	201	20.1%
2人	200	20.0%
3人	20	2.0%
4人以上	13	1.3%
いない	566	56.6%
合計	1,000	100.0%



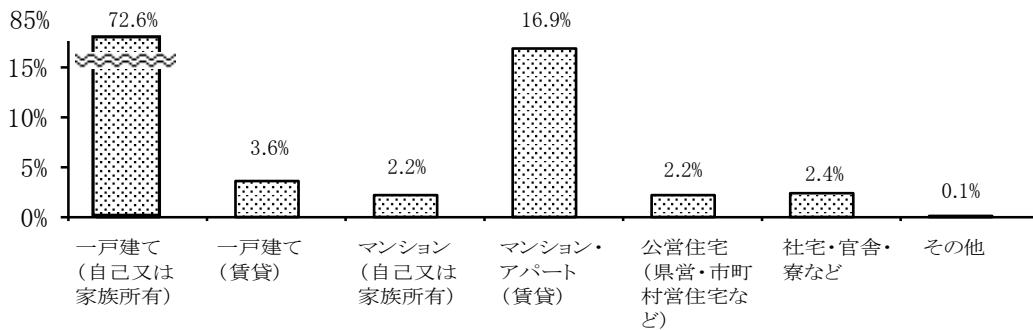
【18歳未満の方】

	実数	割合
1人	127	12.7%
2人	105	10.5%
3人	27	2.7%
4人以上	6	0.6%
いない	735	73.5%
合計	1,000	100.0%



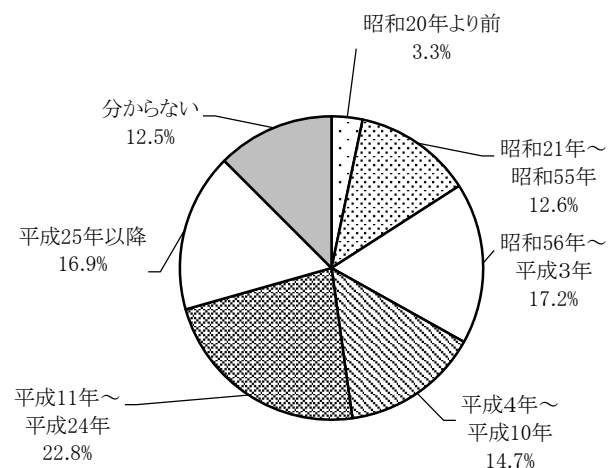
【住宅形態】

	実数	割合
一戸建て(自己又は家族所有)	726	72.6%
一戸建て(賃貸)	36	3.6%
マンション(自己又は家族所有)	22	2.2%
マンション・アパート(賃貸)	169	16.9%
公営住宅(県営・市町村営住宅など)	22	2.2%
社宅・官舎・寮など	24	2.4%
その他	1	0.1%
合計	1,000	100.0%



【築年数】

	実数	割合
昭和20年より前	33	3.3%
昭和21年～昭和55年	126	12.6%
昭和56年～平成3年	172	17.2%
平成4年～平成10年	147	14.7%
平成11年～平成24年	228	22.8%
平成25年以降	169	16.9%
分からない	125	12.5%
合計	1,000	100.0%



6 その他

- (1) 調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、比率の内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。
- (2) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。
- (3) 設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

Ⅱ 結果の内容

問9 現在の住まいの評価

(H27調査 問10)

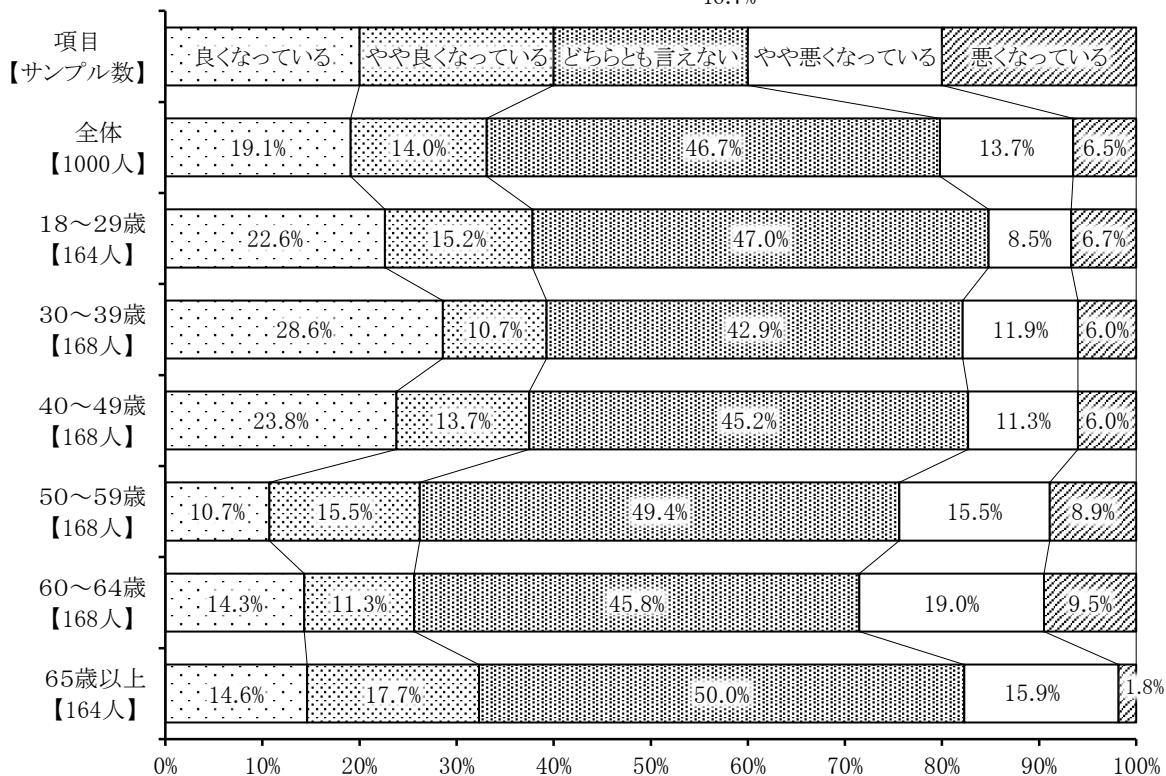
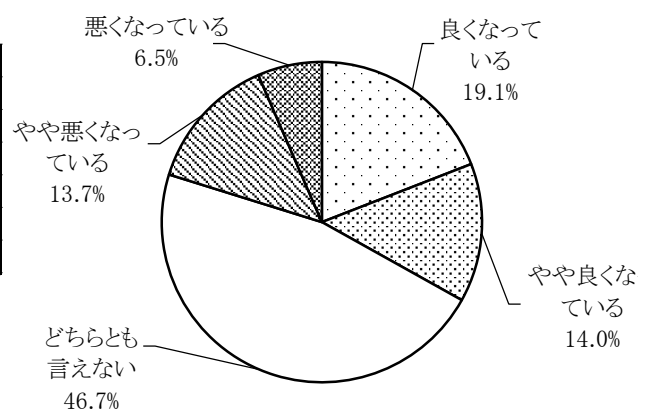
◆ 10年前に比べて「住まい向上」3割強

- 現在の住まいについて10年前に比べ良くなっているかでは、19.1%が「良くなっている」とし、「どちらとも言えない」が46.7%と上回り、住まい向上とまではなっていないようである。
- 住まいの向上については、18歳未満がいる世帯は「良くなっている」が31.3%と18歳未満がいない世帯の14.7%を上回る。
- 築年数別では、平成25年以降で「良くなっている」が50.9%と多い。それ以前の築年数の「良くなっている」は1割前後となっている。

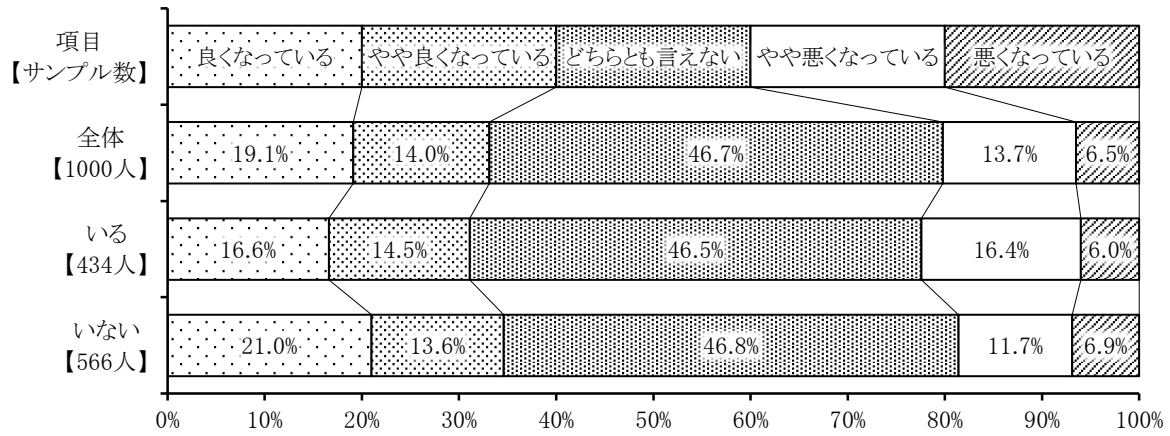
問9「衣」「食」「住」のうち、あなたの「住」(住まい)は、10年前に比べて良くなっていますか。

	回答者数	割合
1 良くなっている	191人	19.1%
2 やや良くなっている	140人	14.0%
3 どちらとも言えない	467人	46.7%
4 やや悪くなっている	137人	13.7%
5 悪くなっている	65人	6.5%
サンプル数	1,000人	100.0%

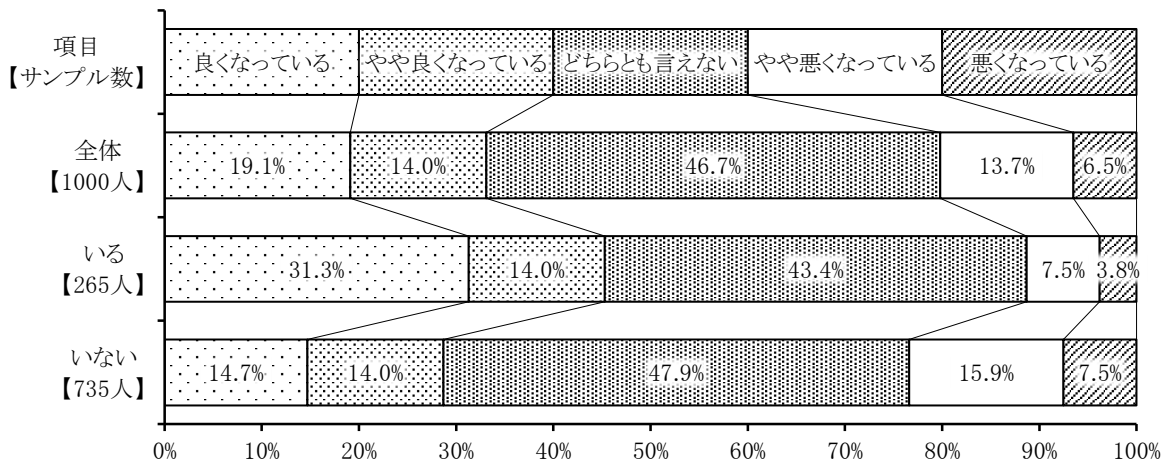
【年代別】



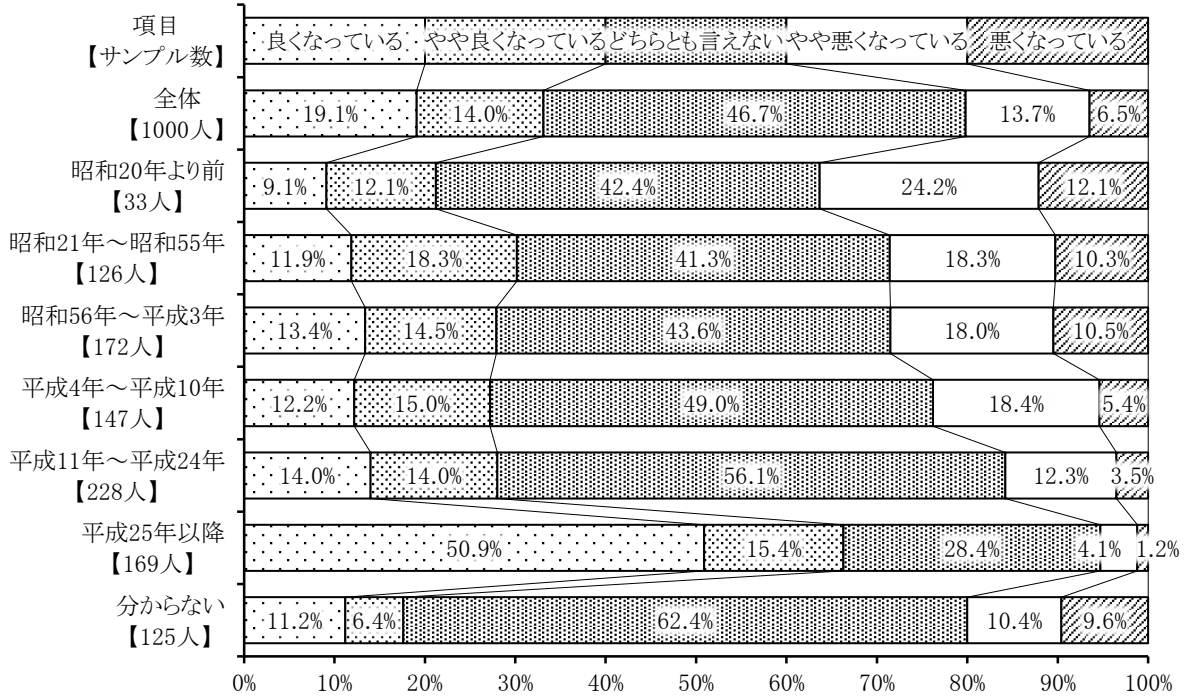
【65歳以上の同居の有無】



【18歳未満の同居の有無】



【築年数別】



問10 住んでも良いと思う住宅

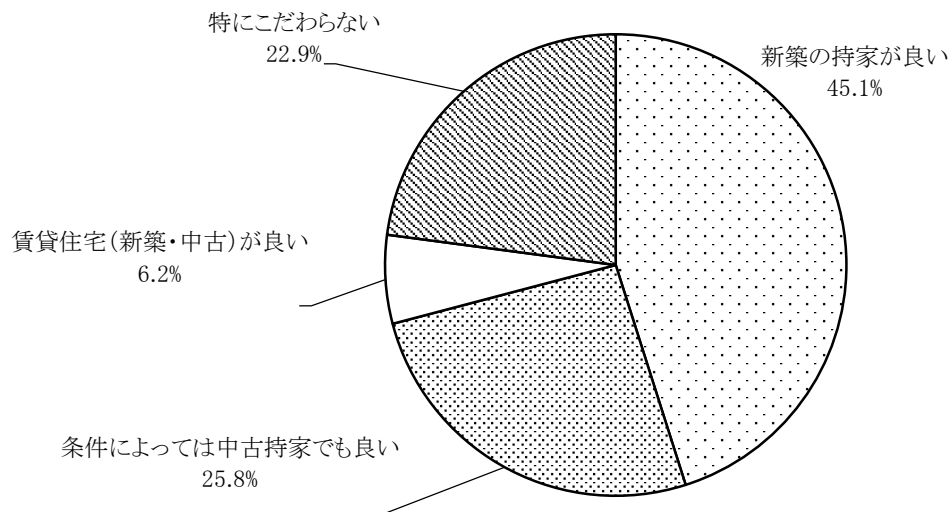
(H27調査 問11、問12)

◆ 自宅は「新築の持家が良い」が45.1%

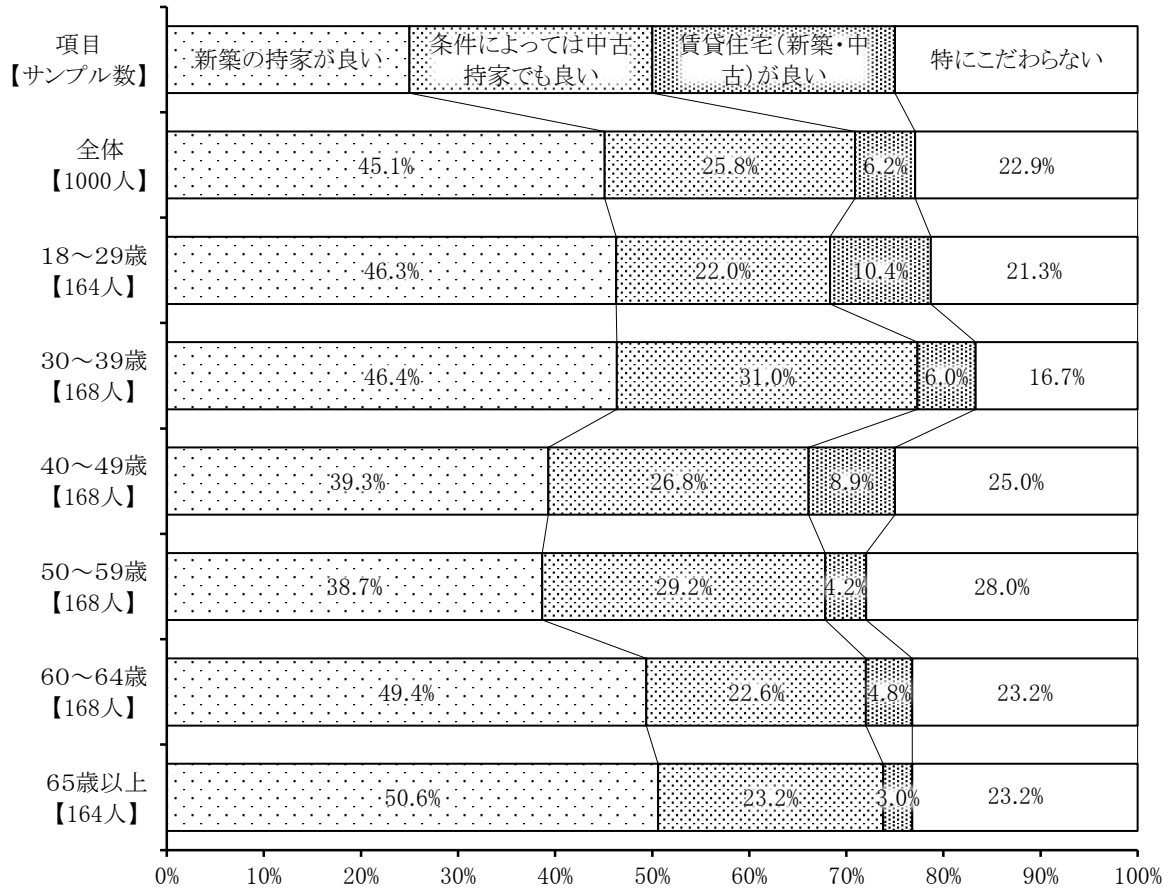
- 自分が住んでもよいと思う住宅について、「新築の持家が良い」は45.1%、「条件によっては中古持家でも良い」は25.8%となっており、持家志向が7割と多い。
- 世帯別では、単身世帯が「新築の持ち家が良い」で27.9%と他の世帯よりも少ない。
- 住宅形態別では、「新築の持ち家が良い」は一戸建て(所有)が51.5%とやや多く、一戸建て(賃貸)が16.7%と少ない。

問10 自分が住んでもよいと思う住宅について、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。

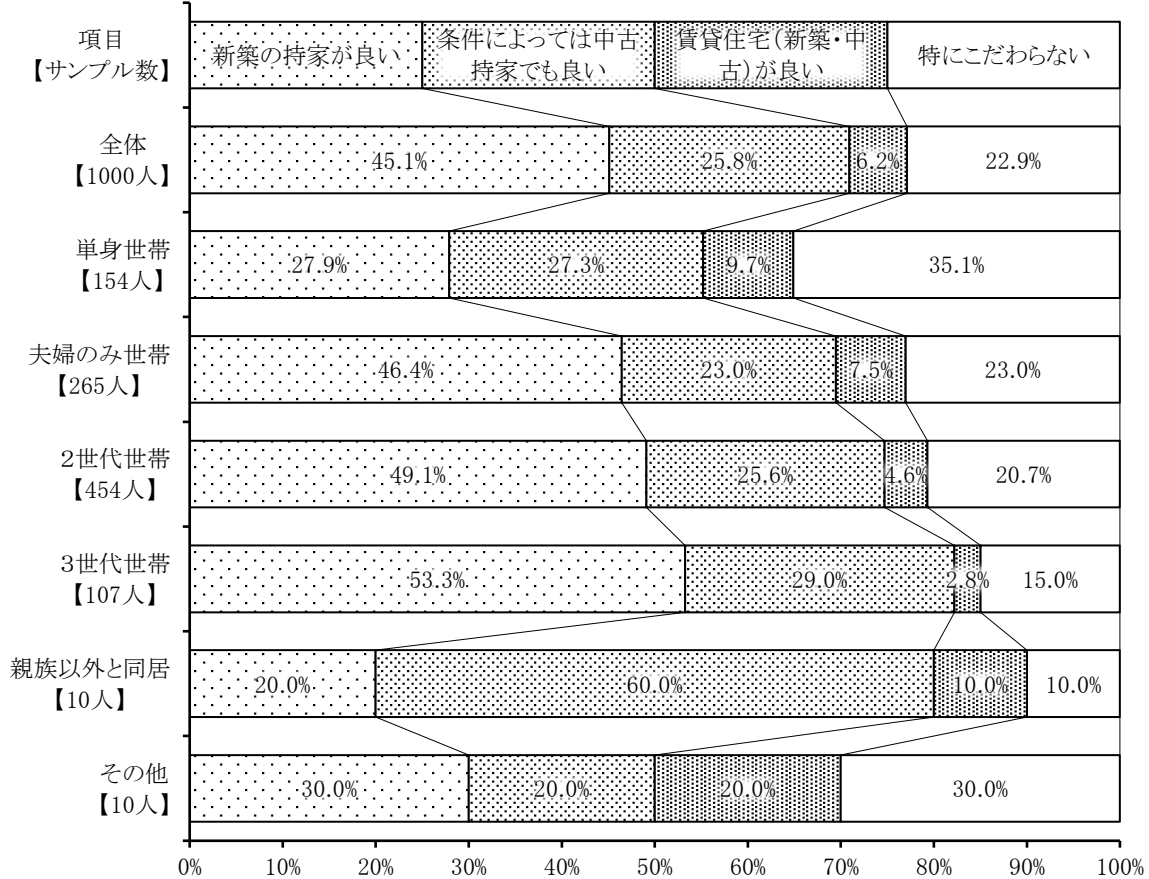
	回答者数	割合
1 新築の持家が良い	451人	45.1%
2 条件によっては中古持家でも良い	258人	25.8%
3 賃貸住宅(新築・中古)が良い	62人	6.2%
4 特にこだわらない	229人	22.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



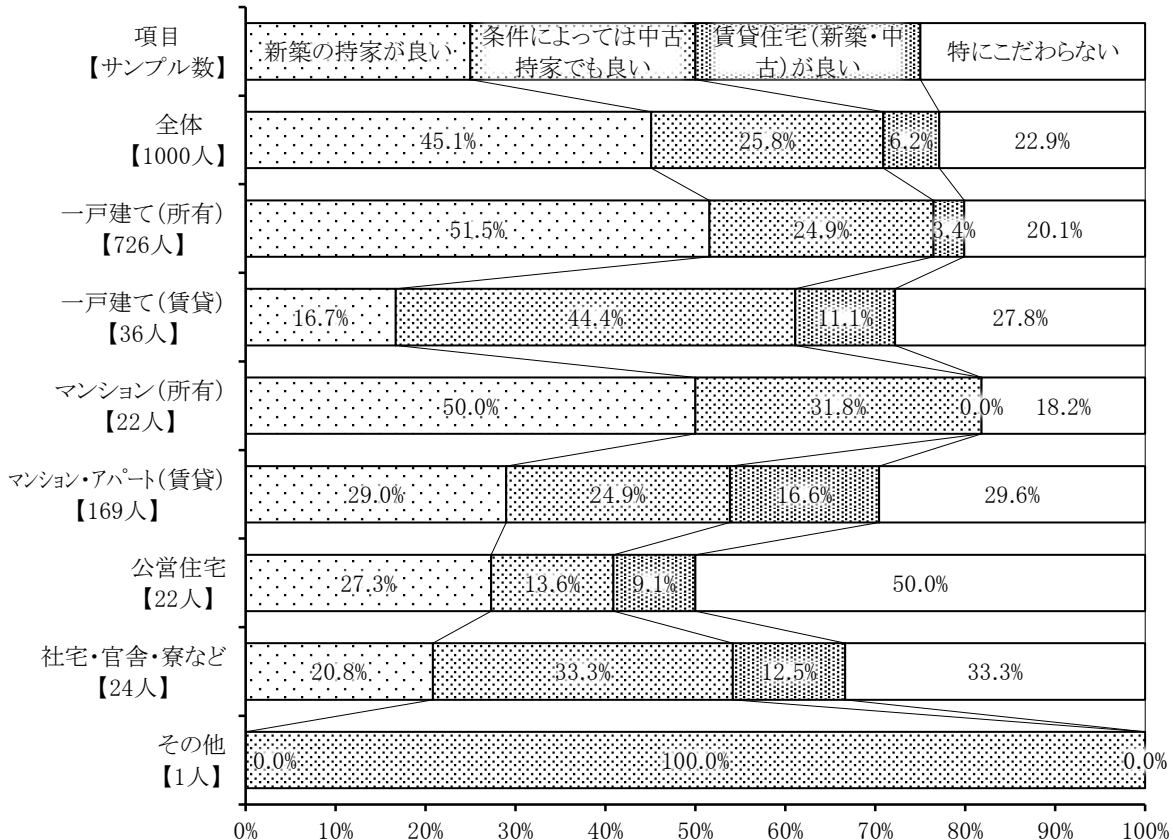
【年代別】



【世帯構成別】



【住宅形態別】



問11 中古住宅の非選択理由

(H27調査 問11、問12)

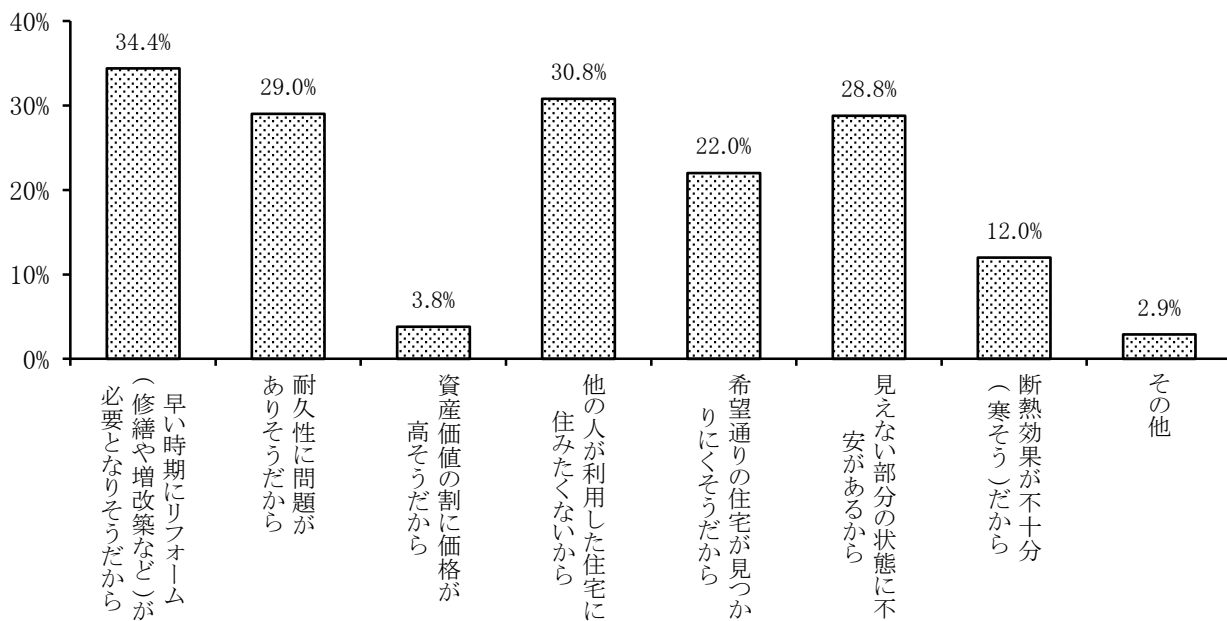
◆ 中古住宅を選択しない理由

「早い時期にリフォームが必要となりそう」34.4%

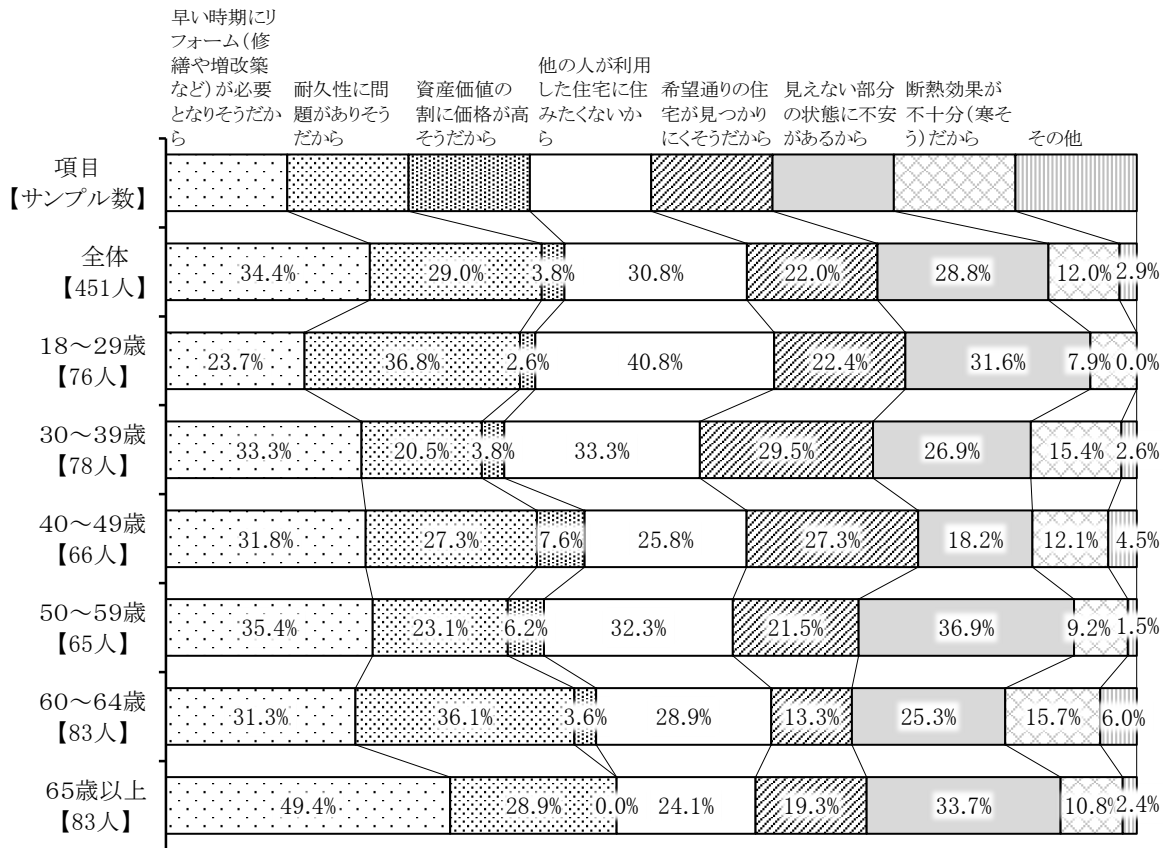
- 自分が住んでもよいと思う住宅で、中古住宅を選択しなかった理由では、「早い時期にリフォーム（修繕や増改築など）が必要となりそうだから」が34.4%で、「見えない部分の状態に不安があるから」が28.8%、「耐久性に問題がありそうだから」が29.0%と住宅自体に対するものが多い。一方、「他の人が利用した住宅に住みたくないから」が30.8%と心理的理由も多い。
- 年代別では、「他の人が利用した住宅に住みたくないから」が年代が下がるほどやや多い傾向にある。

問11 前問で中古住宅を選択しなかった理由を次の中から2つ以内で選んでください。

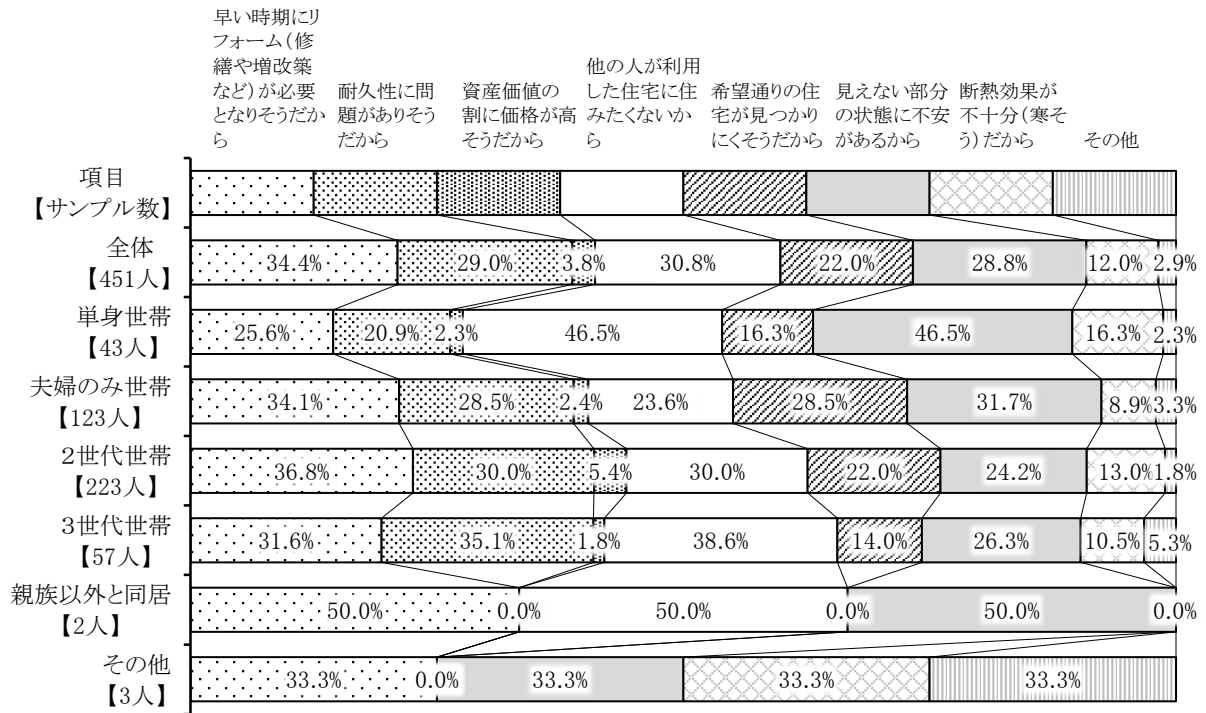
	回答者数	割合
1 早い時期にリフォーム（修繕や増改築など）が必要となりそうだから	155人	34.4%
2 耐久性に問題がありそうだから	131人	29.0%
3 資産価値の割に価格が高そうだから	17人	3.8%
4 他の人が利用した住宅に住みたくないから	139人	30.8%
5 希望通りの住宅が見つかりにくそうだから	99人	22.0%
6 見えない部分の状態に不安があるから	130人	28.8%
7 断熱効果が不十分（寒そう）だから	54人	12.0%
8 その他	13人	2.9%
サンプル数	451人	100.0%



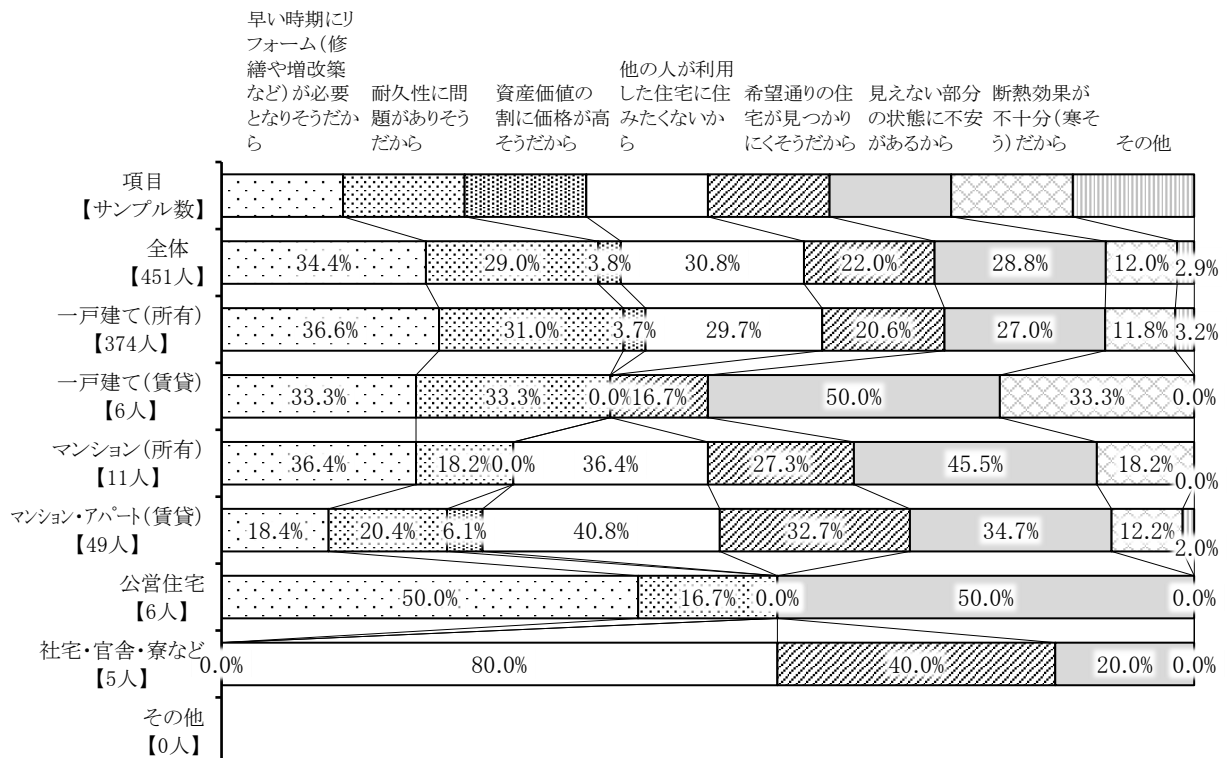
【年代別】



【世帯構成別】



【住宅形態別】



問12 新築・購入時に希望する住宅の構造

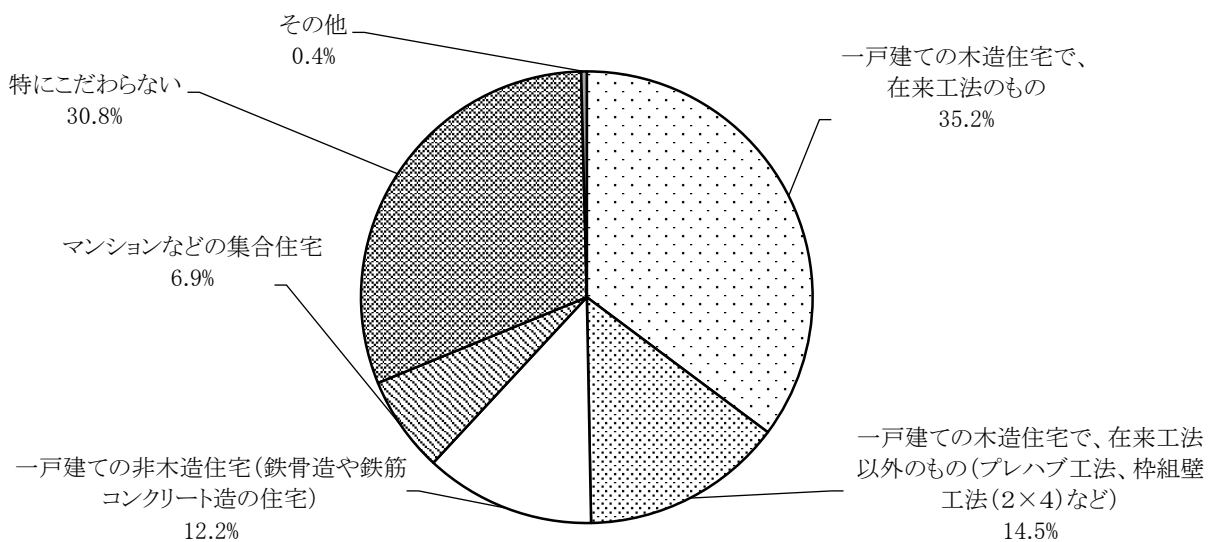
(H27調査 問15)

◆ 新築・購入したい住宅「一戸建て木造住宅で、在来工法」35.2%

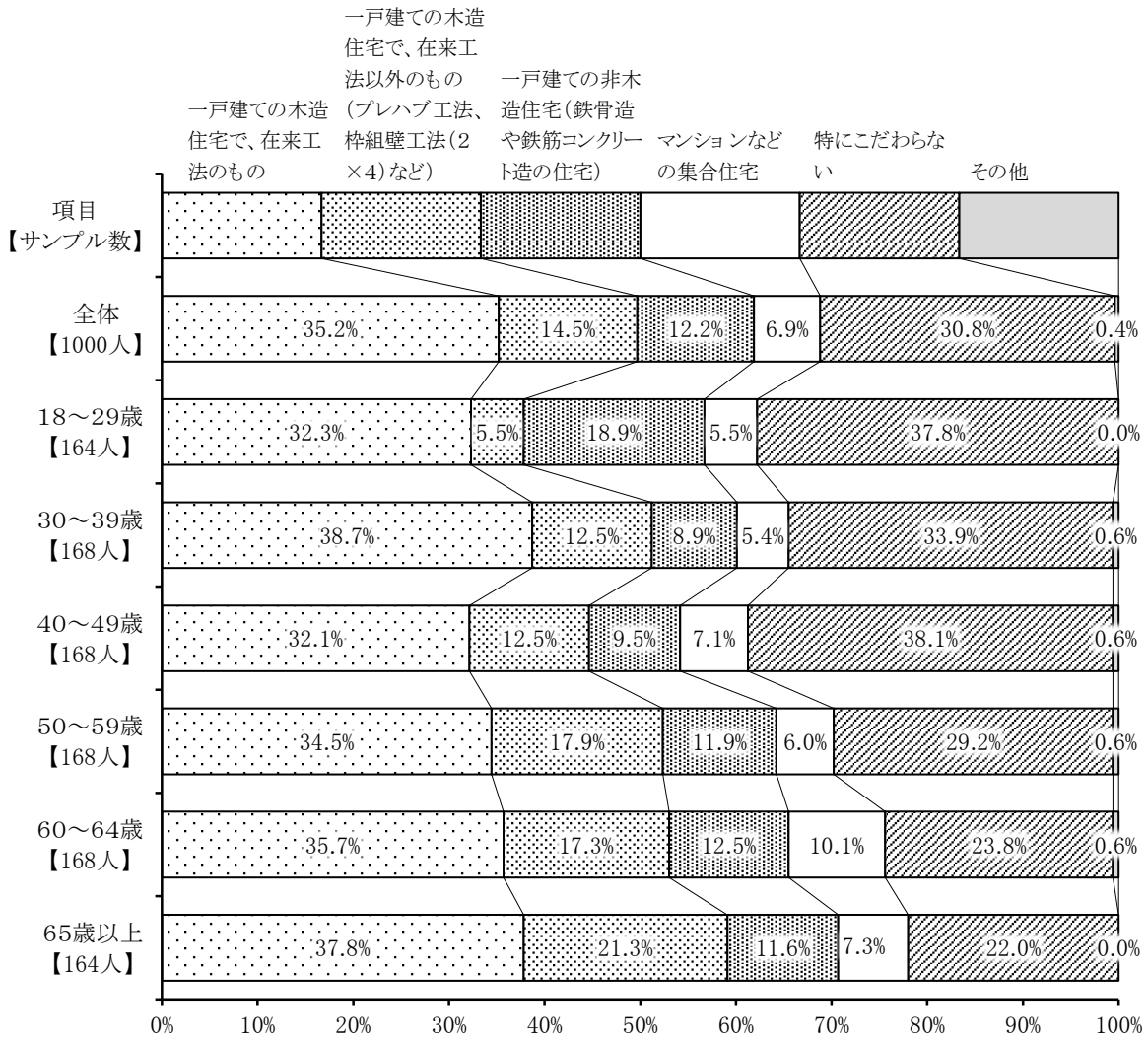
- 新築・購入したい住宅については、「一戸建ての木造住宅で在来工法のもの」が35.2%と最も多く、「在来工法以外」(14.5%)と「非木造住宅」(12.2%)をあわせた『一戸建て』意向は約6割となっている。
- 世帯構成別では、3世代世帯で『一戸建て』意向が72.0% (在来工法:39.3%、在来工法以外:20.6%、非木造住宅:12.1%)と多くなっている。

問12 住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。

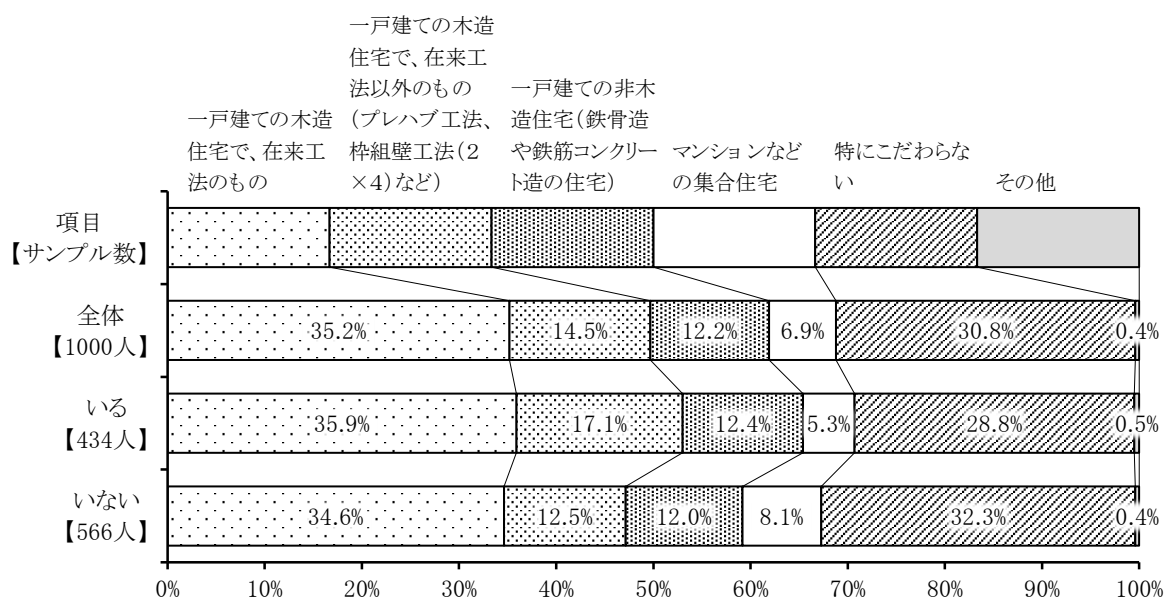
	回答者数	割合
1 一戸建ての木造住宅で、在来工法のもの	352人	35.2%
2 一戸建ての木造住宅で、在来工法以外のもの(プレハブ工法、枠組壁工法(2×4)など)	145人	14.5%
3 一戸建ての非木造住宅(鉄骨造や鉄筋コンクリート造の住宅)	122人	12.2%
4 マンションなどの集合住宅	69人	6.9%
5 特にこだわらない	308人	30.8%
6 その他	4人	0.4%
サンプル数	1,000人	100.0%



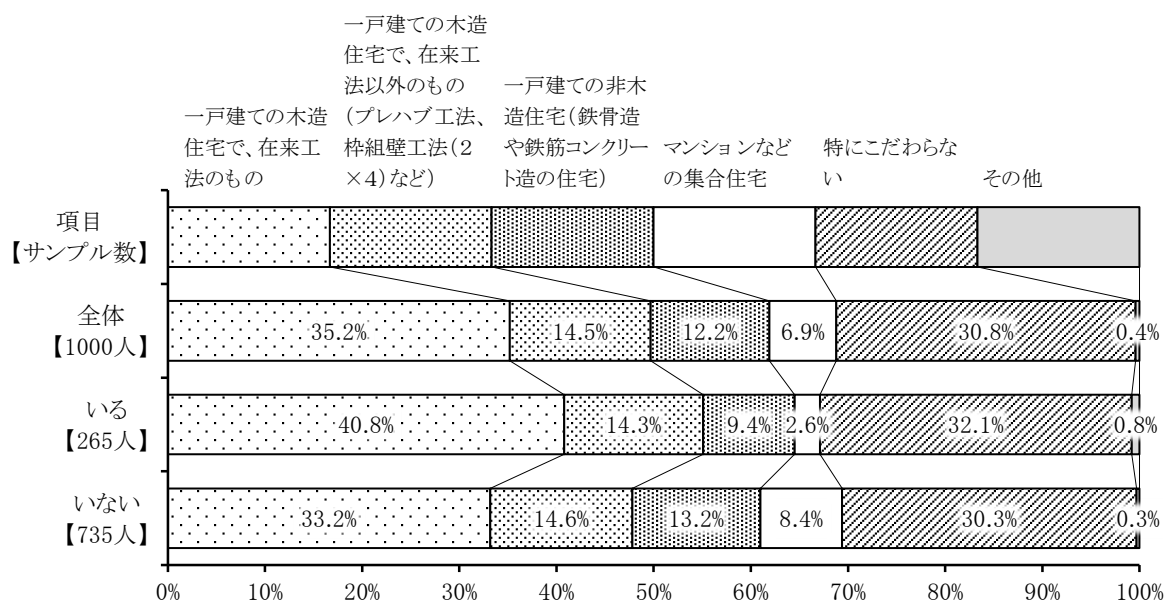
【年代別】



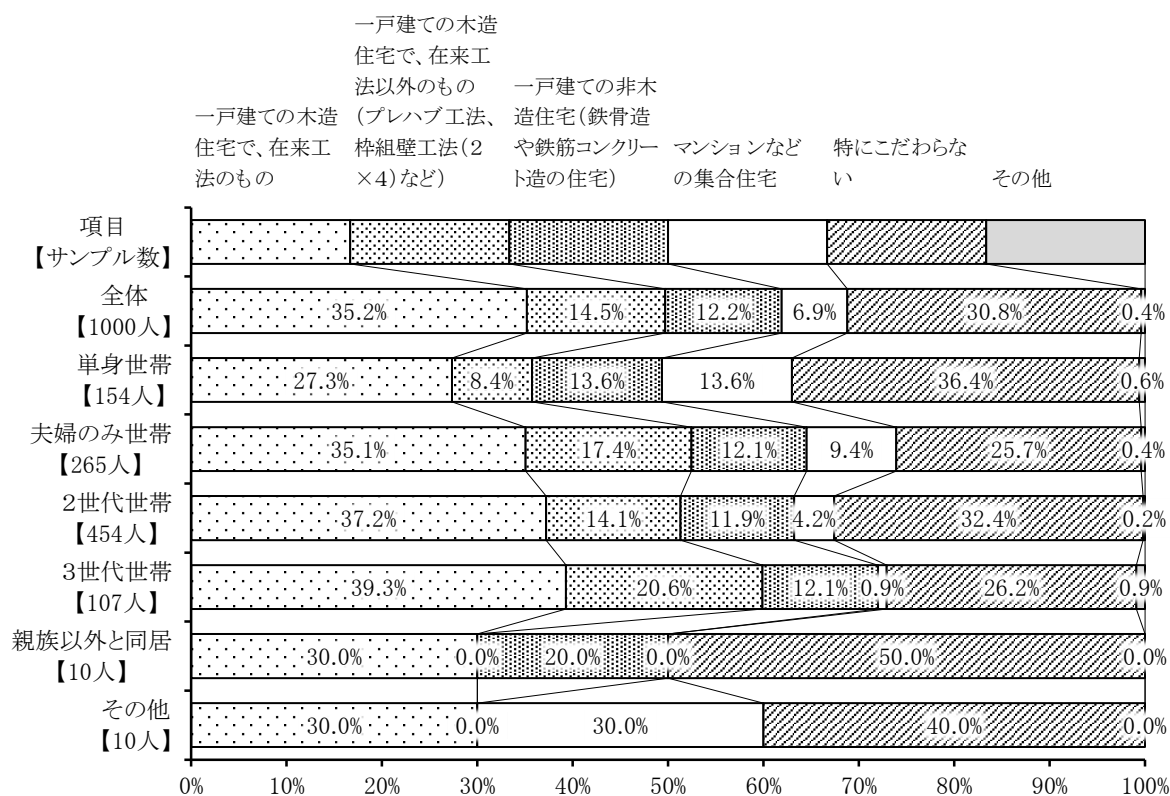
【65歳以上の同居の有無】



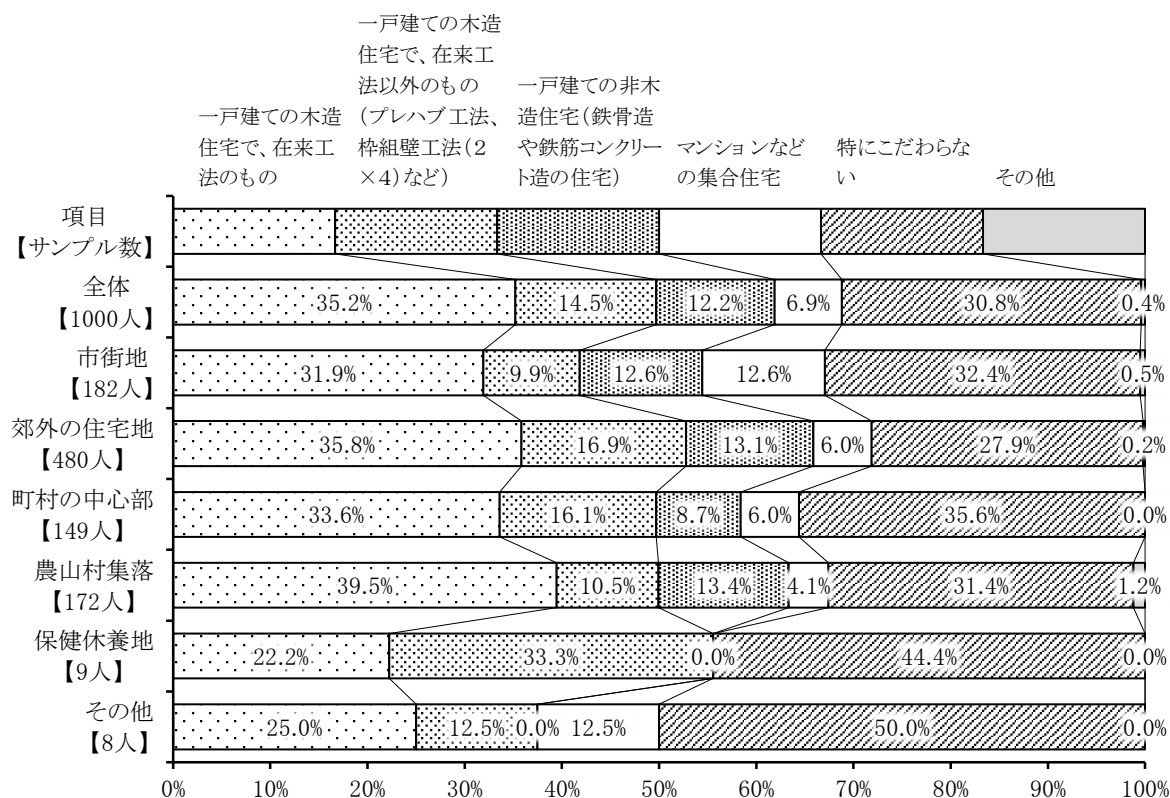
【18歳未満の同居の有無】



【世帯構成別】



【地域別】



問13 新築・リフォーム時の依頼先

(H27調査 問17)

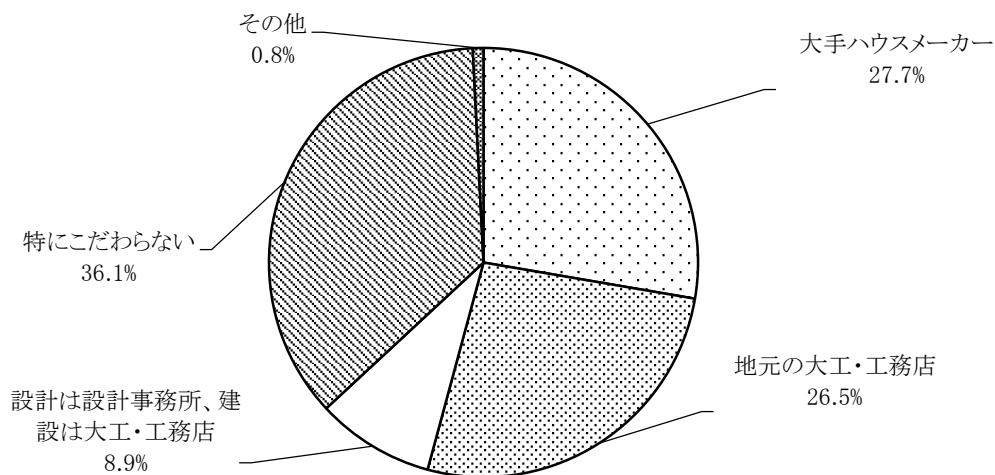
◆ 新改築の依頼

「大手ハウスメーカー」27.7%、「地元の大工・工務店」26.5%

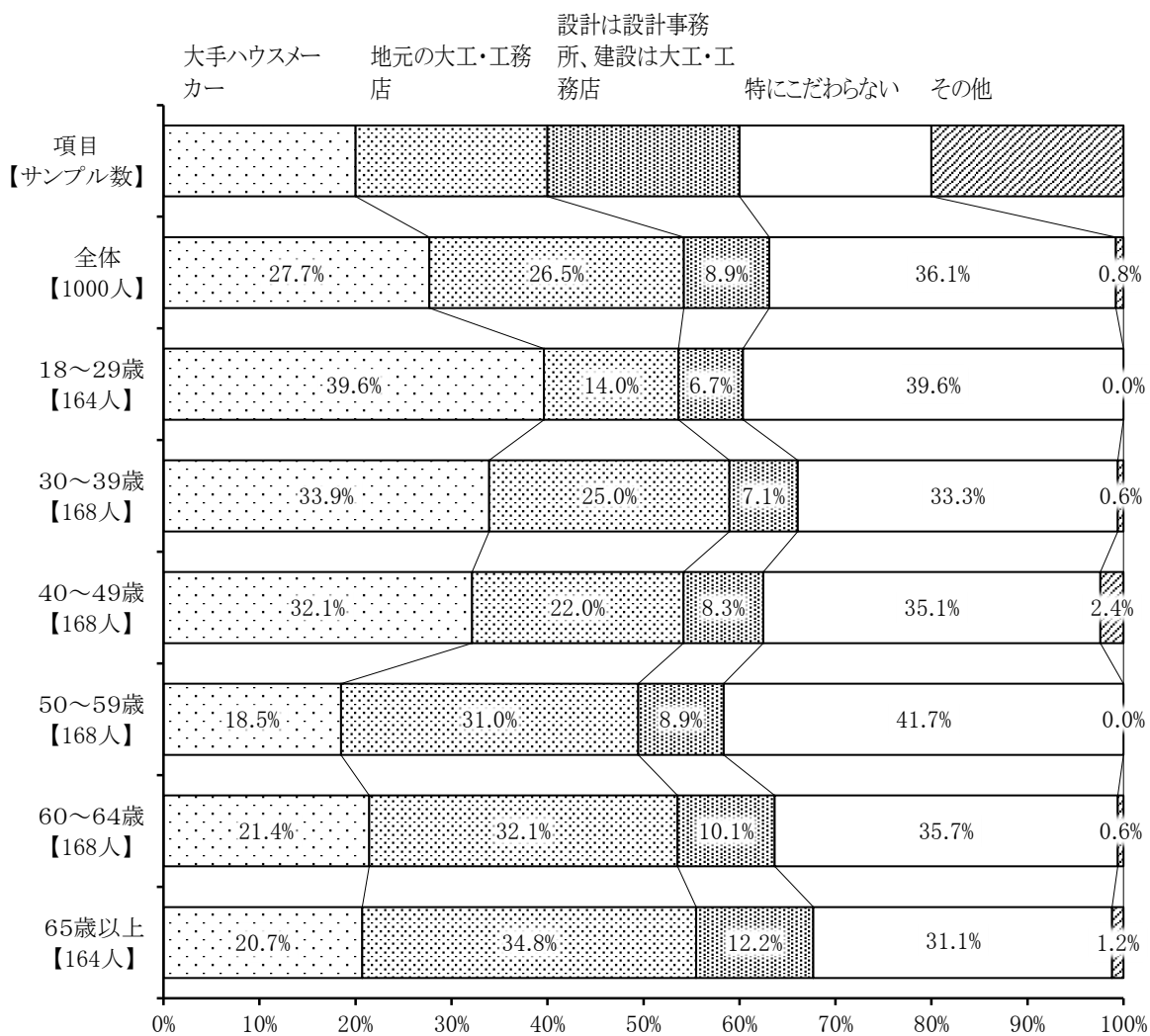
- 住宅の新築やリフォームにあたり、依頼希望先を尋ねたところ、「大手ハウスメーカー」が27.7%、「地元の大工・工務店」が26.5%と僅差であった。一方で「特にこだわらない」は4割近くになっている。
- 年代別では、10代から40代までは「大手ハウスメーカー」が「地元の大工・工務店」より多く、50代以上は「地元の大工・工務店」が「大手ハウスメーカー」より多くなる。
- 地域別では、「大手ハウスメーカー」が市街地で34.1%と多く、農山村集落では18.0%と少なくなっている。

問13 住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。
※複数にあてはまる場合は、最もあてはまる依頼先をお答えください。

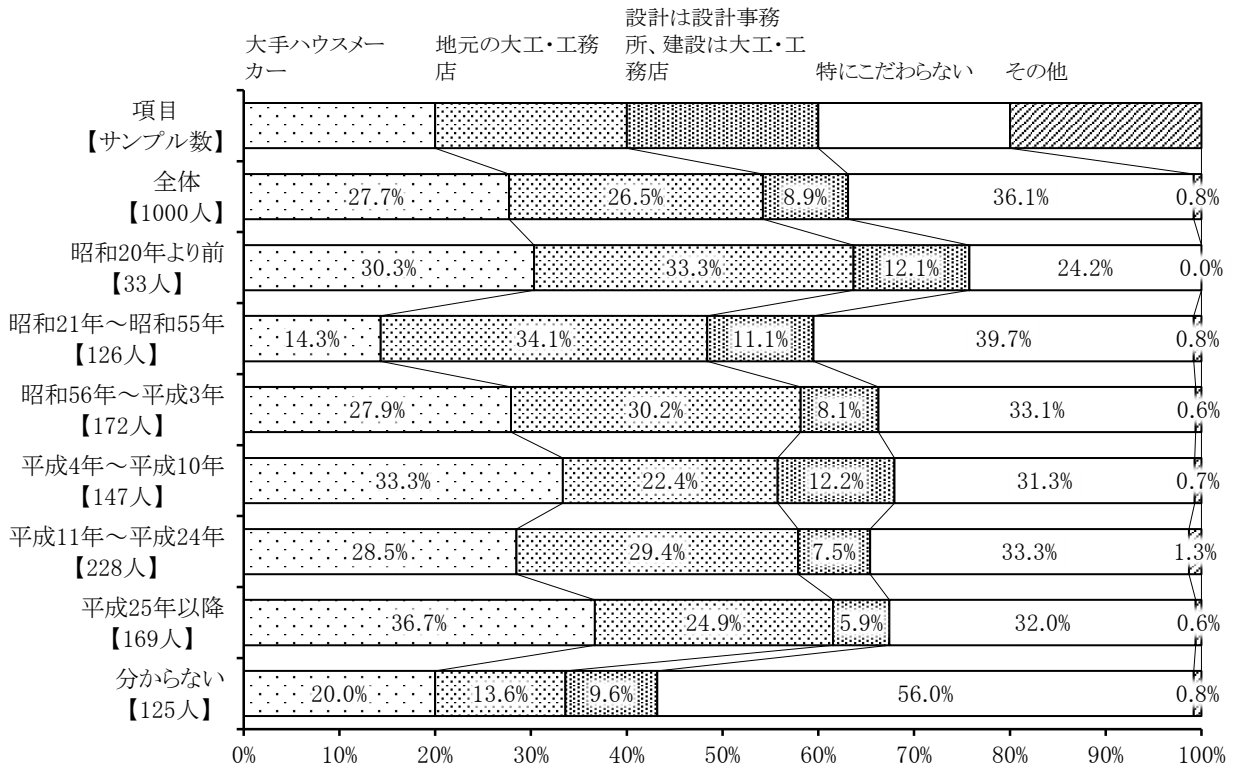
	回答者数	割合
1 大手ハウスメーカー	277人	27.7%
2 地元の大工・工務店	265人	26.5%
3 設計は設計事務所、建設は大工・工務店	89人	8.9%
4 特にこだわらない	361人	36.1%
5 その他	8人	0.8%
サンプル数	1,000人	100.0%



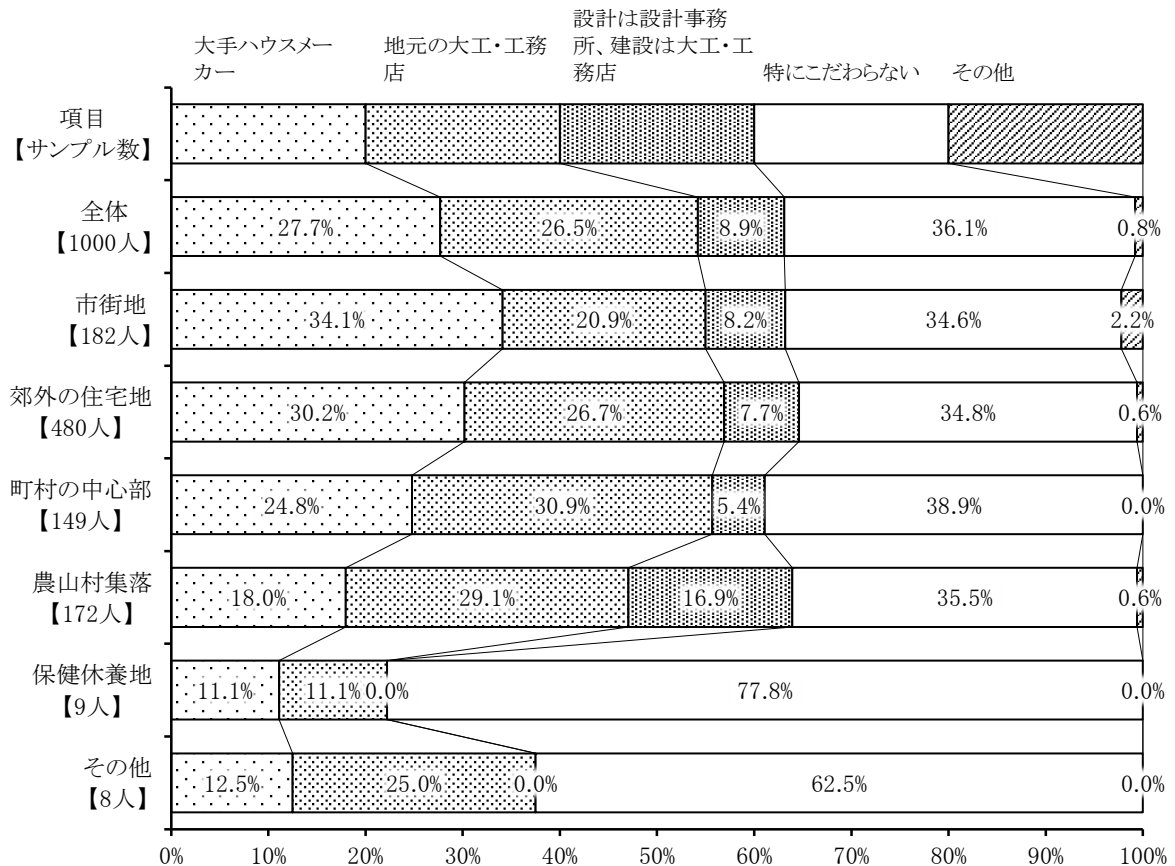
【年代別】



【築年数別】

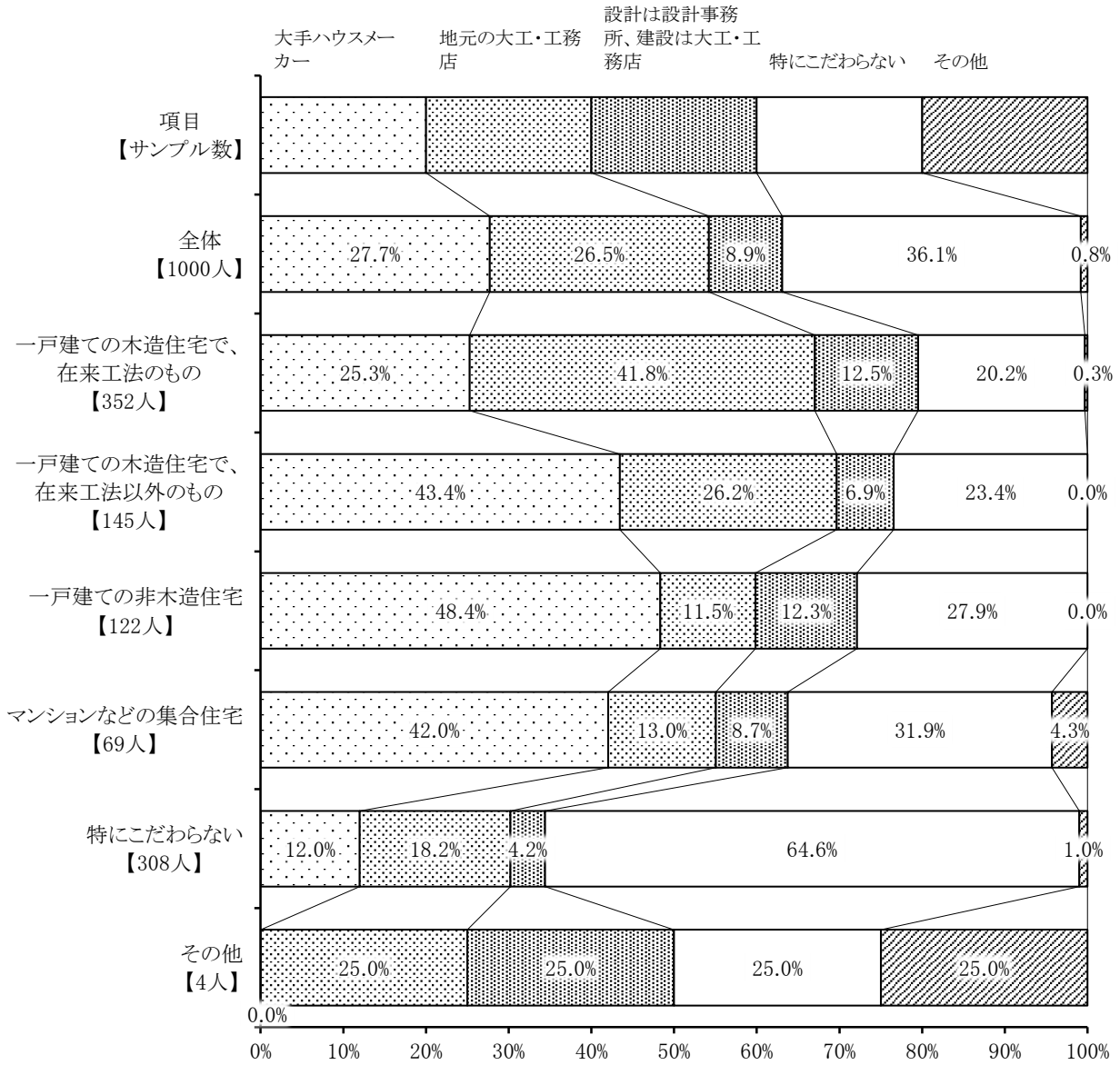


【地域別】



【設問クロス集計（問12）】

* 問12 住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。



問14 依頼先の選定理由

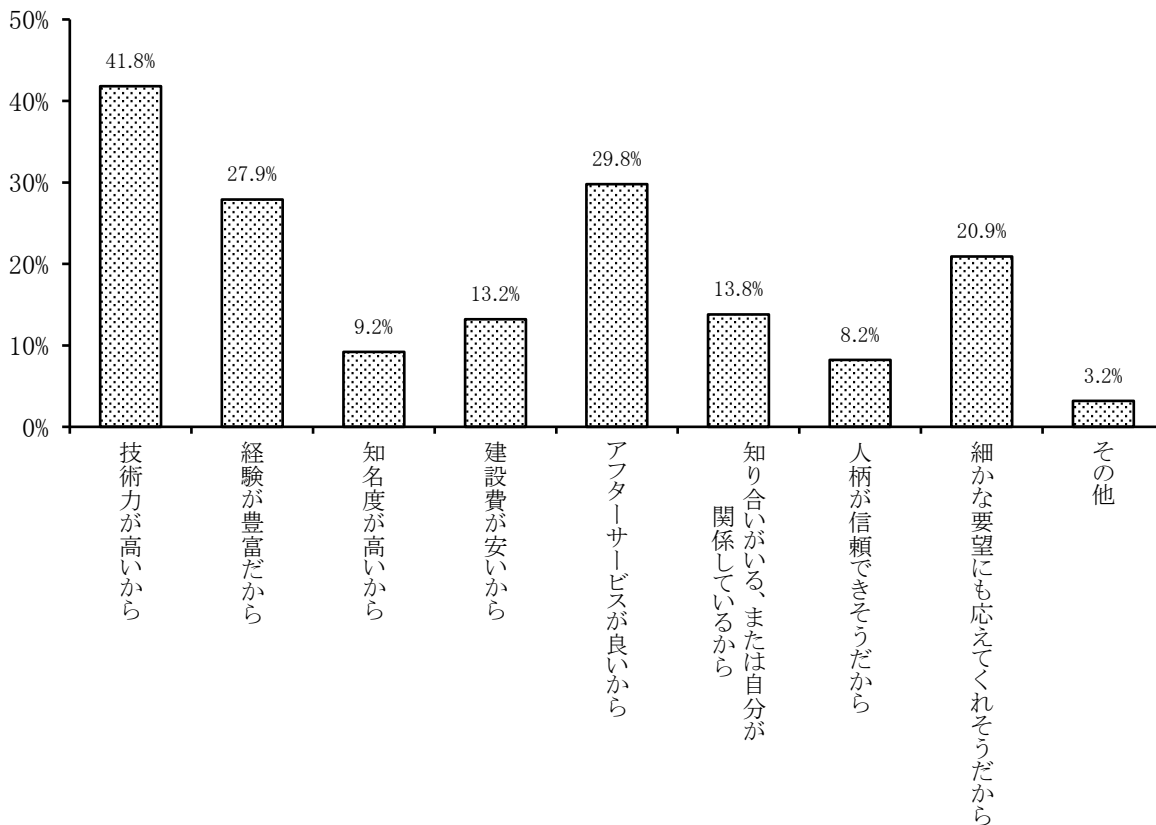
(H27調査 問18)

◆ 新改築の依頼先理由「技術力が高いから」41.8%

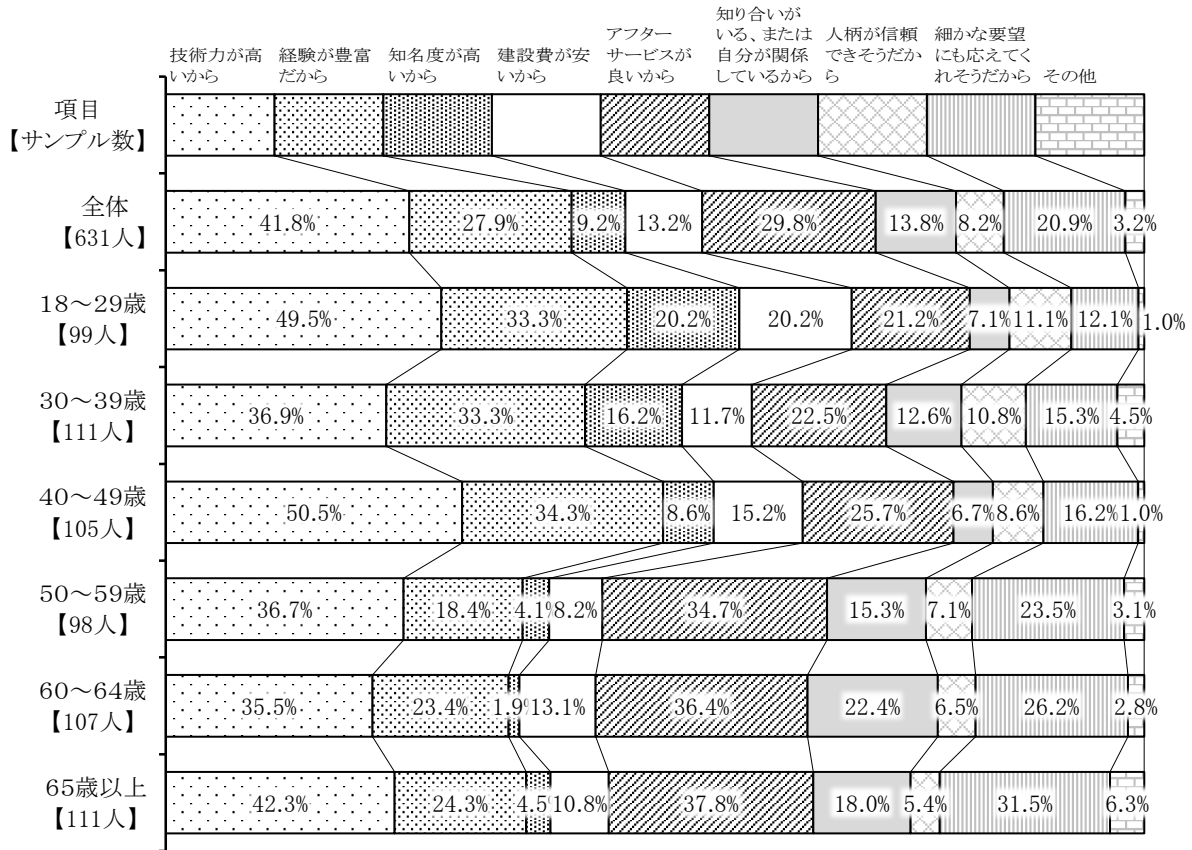
- 問13で新改築は専門業者に依頼したいと答えた方に理由を尋ねたところ、年代別では、「技術力が高いから」が10代～20代(49.5%)と40代(50.5%)が多い。「アフターサービスが良いから」は50代以上で3割半ばとなっている。
- 「大手ハウスメーカー」を選んだ方は「技術力が高いから」が60.3%と多い。「地元の大工・工務店」や「設計は設計事務所、建設は大工・工務店」を選んだ方は「細かな要望にも応えてくれそうだから」が共に3割以上となっている。

問14【問13で1～3を選んだ方にお伺いします】その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

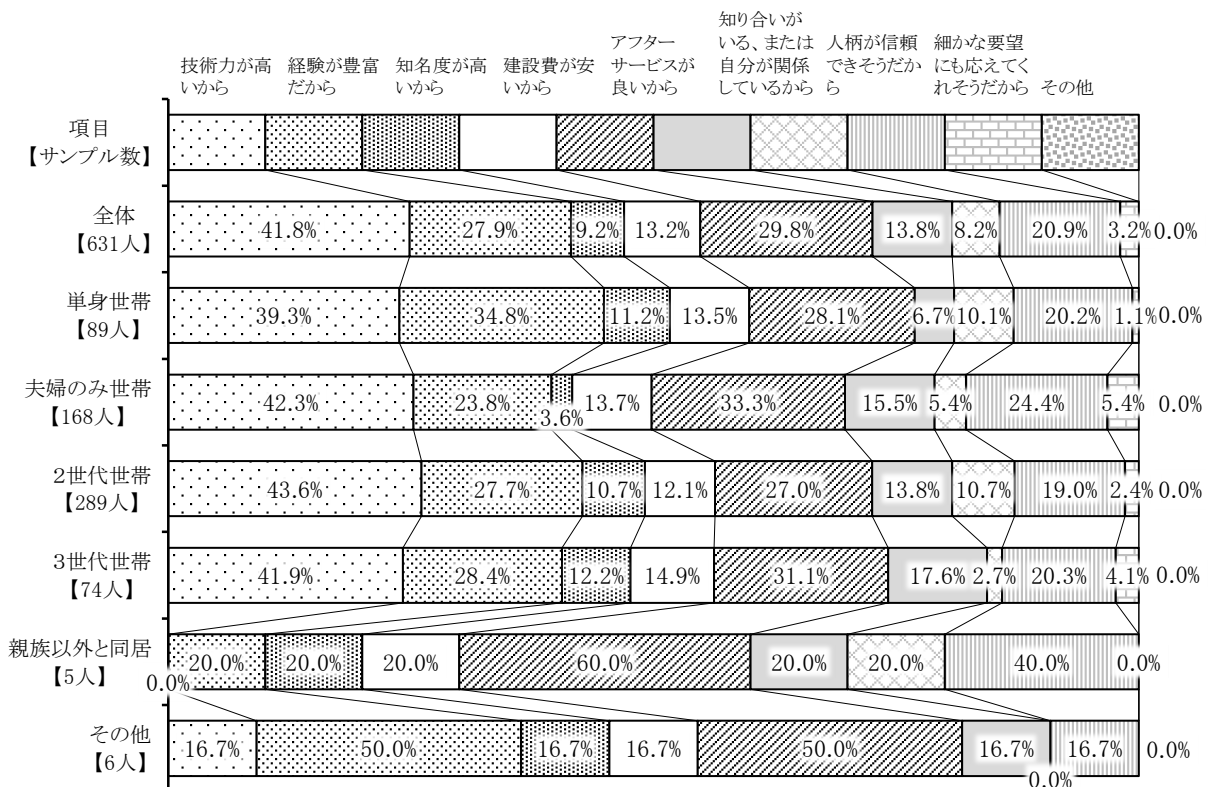
	回答者数	割合
1 技術力が高いから	264人	41.8%
2 経験が豊富だから	176人	27.9%
3 知名度が高いから	58人	9.2%
4 建設費が安いから	83人	13.2%
5 アフターサービスが良いから	188人	29.8%
6 知り合いがいる、または自分と関係しているから	87人	13.8%
7 人柄が信頼できそうだから	52人	8.2%
8 細かな要望にも応えてくれそうだから	132人	20.9%
9 その他	20人	3.2%
サンプル数	631人	100.0%



【年代別】

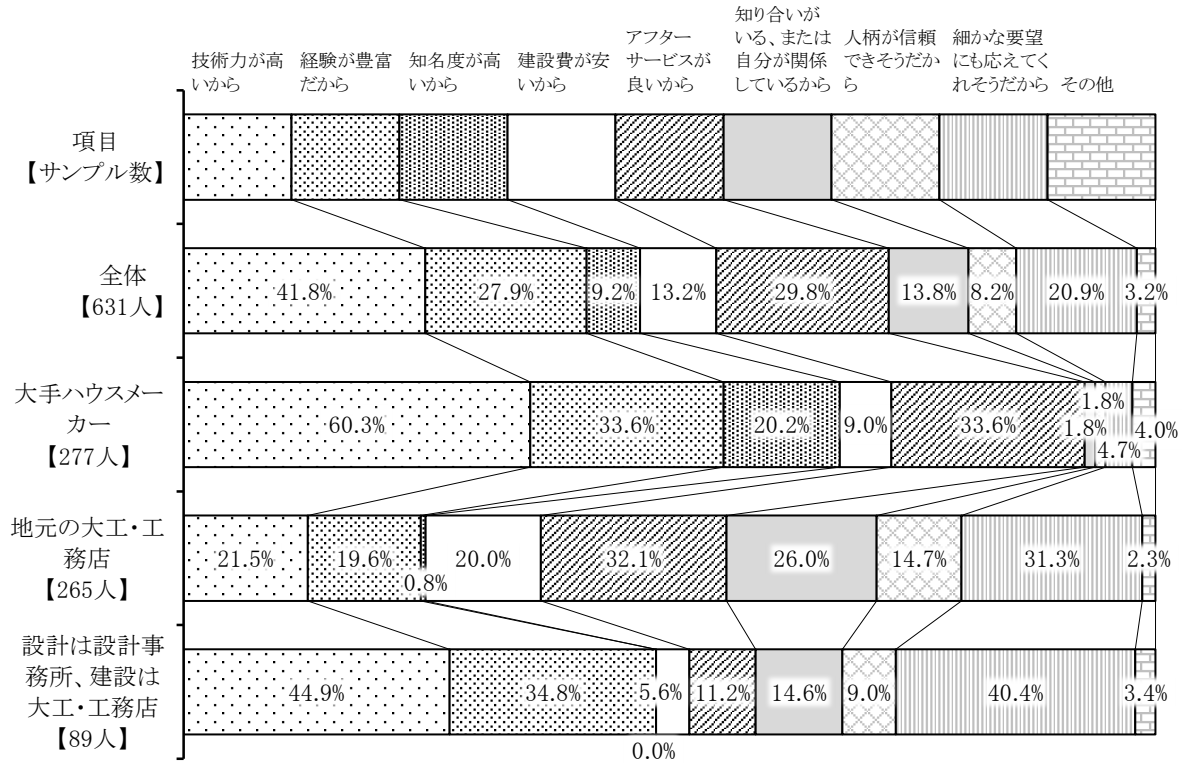


【世帯構成別】



【設問クロス集計 (問13)】

* 問13 住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。



問15 新築・購入時に重視する点

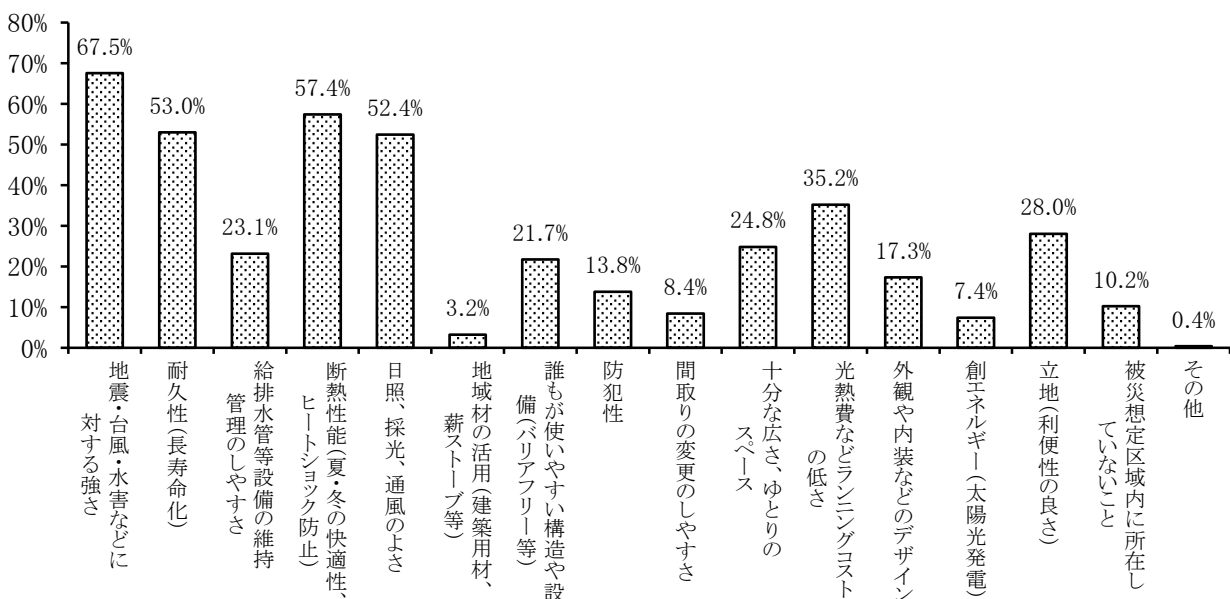
(H27調査 問19)

◆ 新築・購入時の重視点「地震・台風・水害などに対する強さ」7割弱

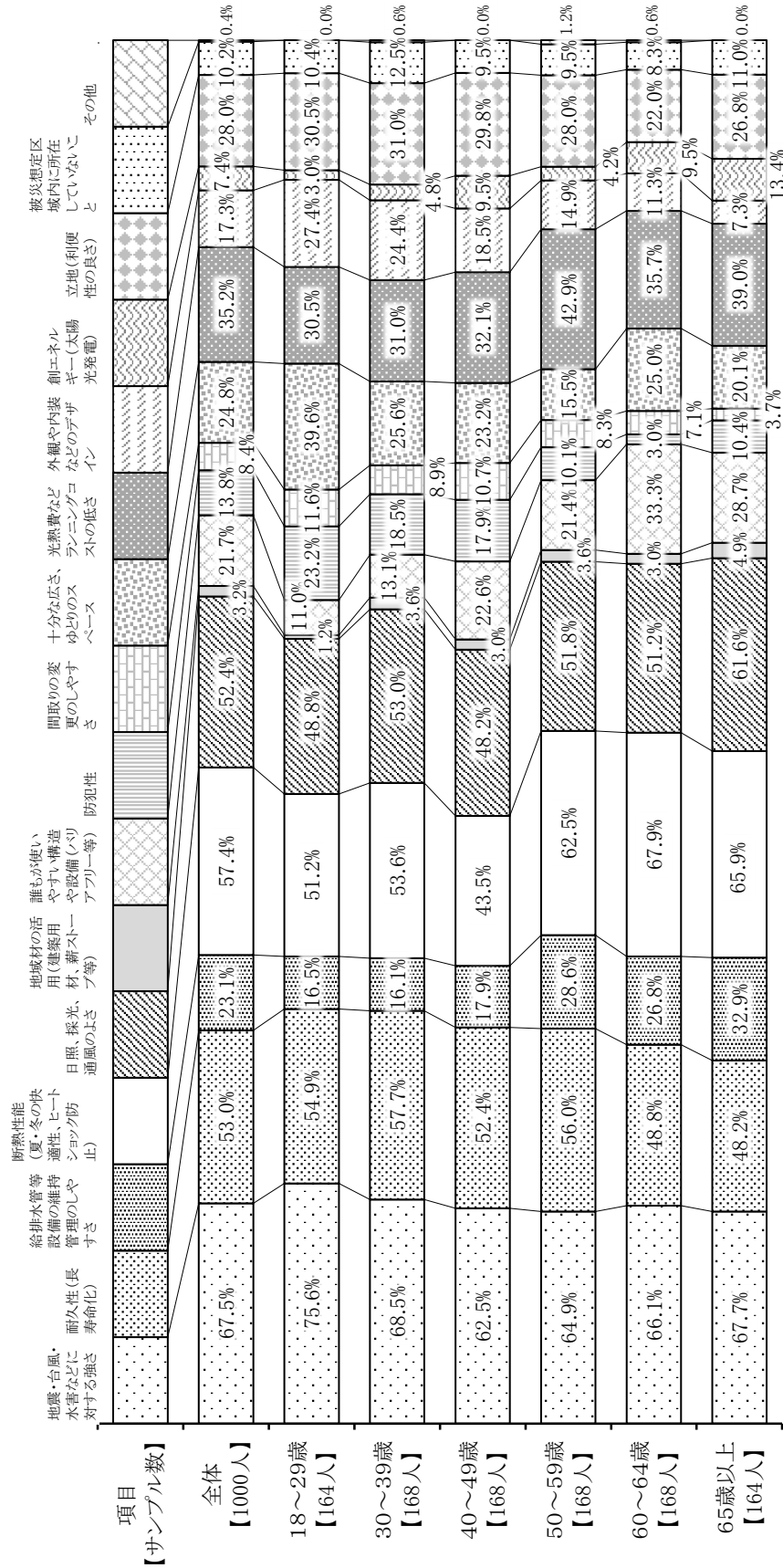
- 住宅を新築・購入する際の重視点を尋ねたところ、「地震・台風・水害などに対する強さ」が67.5%で最も多かった。次いで「断熱性能」が57.4%、「耐久性」が53.0%、「日照、採光、通風のよさ」が52.4%と続いている。
- 年代別では、「断熱性能」が50代以上で6割台と多い。「給排水管等設備の維持管理のしやすさ」が65歳以上で32.9%と他の世代より多い。
- 新築・リフォームの依頼先に「大手ハウスメーカー」を選んだ方は、「地震・台風・水害などに対する強さ」が79.1%と多い。

問15 住宅を新築・購入するとしたら、どのような点を特に重視しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

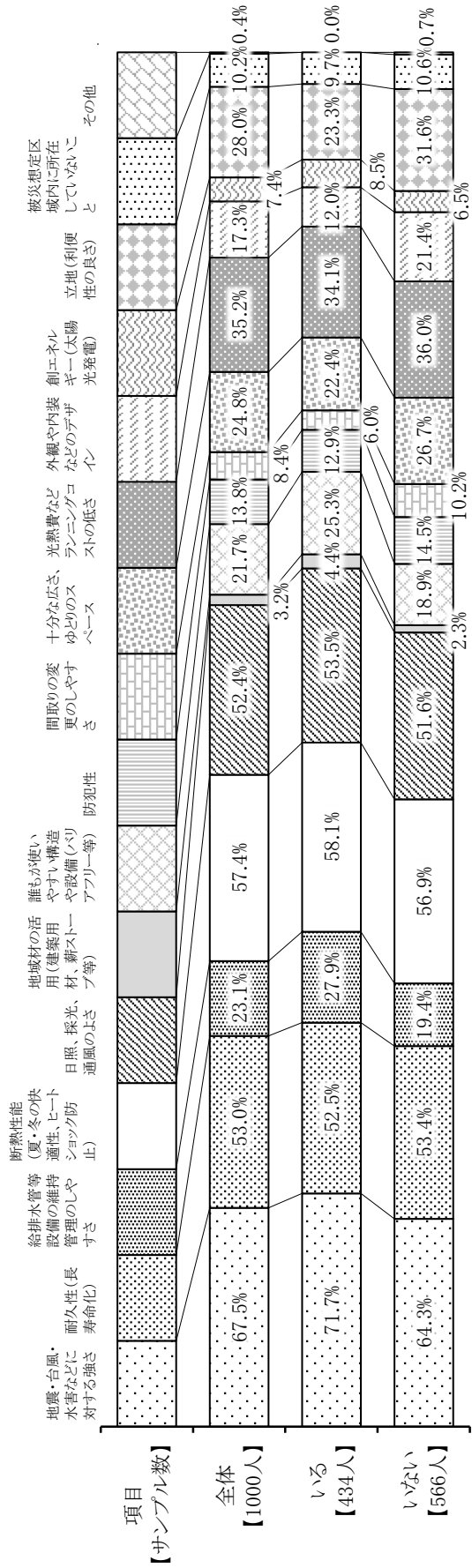
	回答者数	割合
1 地震・台風・水害などに対する強さ	675人	67.5%
2 耐久性(長寿命化)	530人	53.0%
3 給排水管等設備の維持管理のしやすさ	231人	23.1%
4 断熱性能(夏・冬の快適性、ヒートショック防止)	574人	57.4%
5 日照、採光、通風のよさ	524人	52.4%
6 地域材の活用(建築用材、薪ストーブ等)	32人	3.2%
7 誰もが使いやすい構造や設備(バリアフリー等)	217人	21.7%
8 防犯性	138人	13.8%
9 間取りの変更のしやすさ	84人	8.4%
10 十分な広さ、ゆとりのスペース	248人	24.8%
11 光熱費などランニングコストの低さ	352人	35.2%
12 外観や内装などのデザイン	173人	17.3%
13 創エネルギー(太陽光発電)	74人	7.4%
14 立地(利便性の良さ)	280人	28.0%
15 被災想定区域内に所在していないこと	102人	10.2%
16 その他	4人	0.4%
サンプル数	1,000人	100.0%



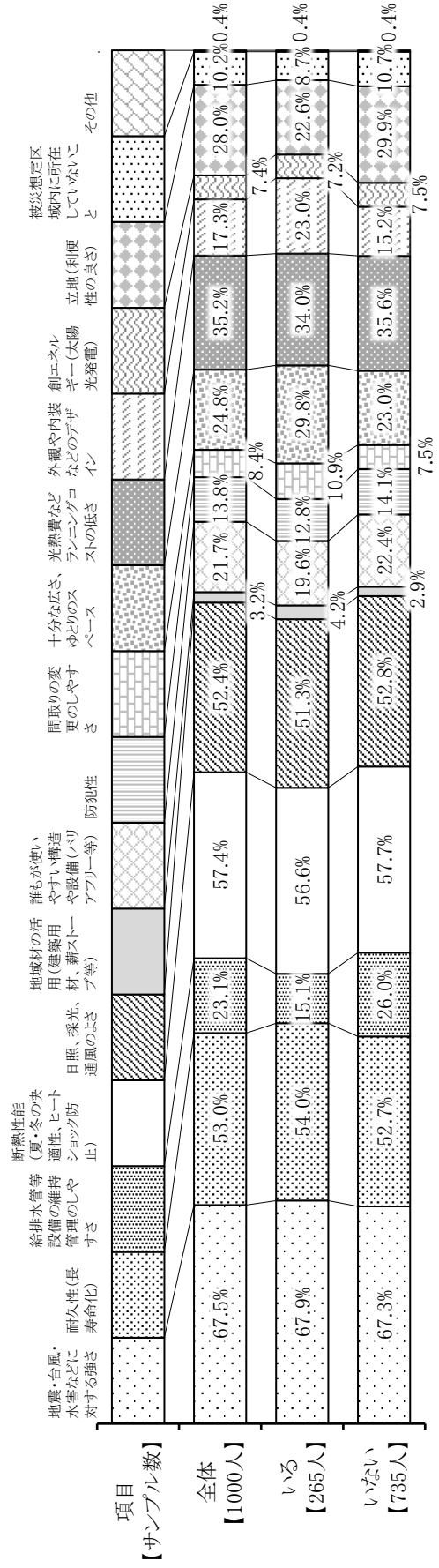
【年代別】



【65歳以上の同居の有無】

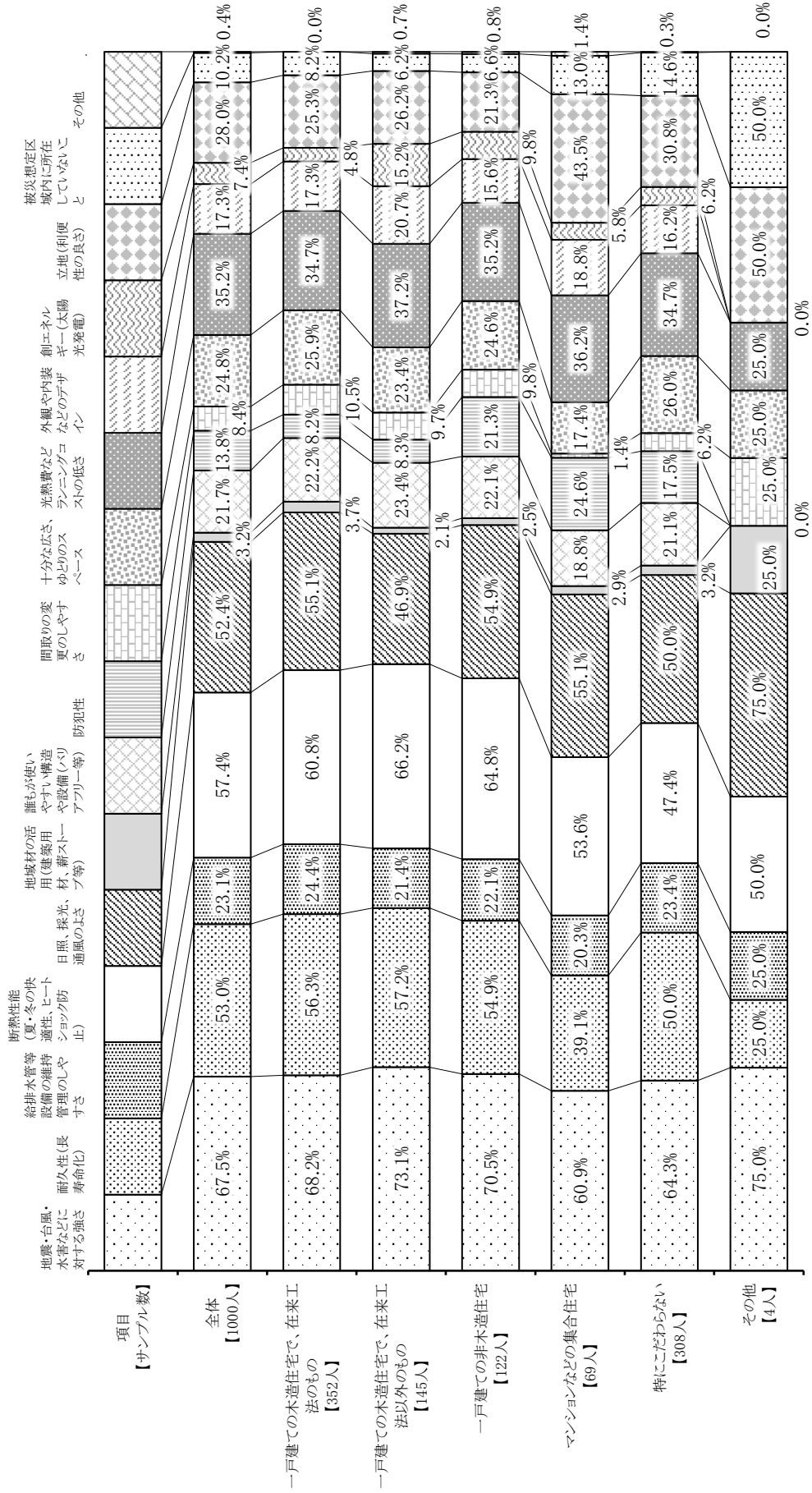


【18歳未満の同居の有無】



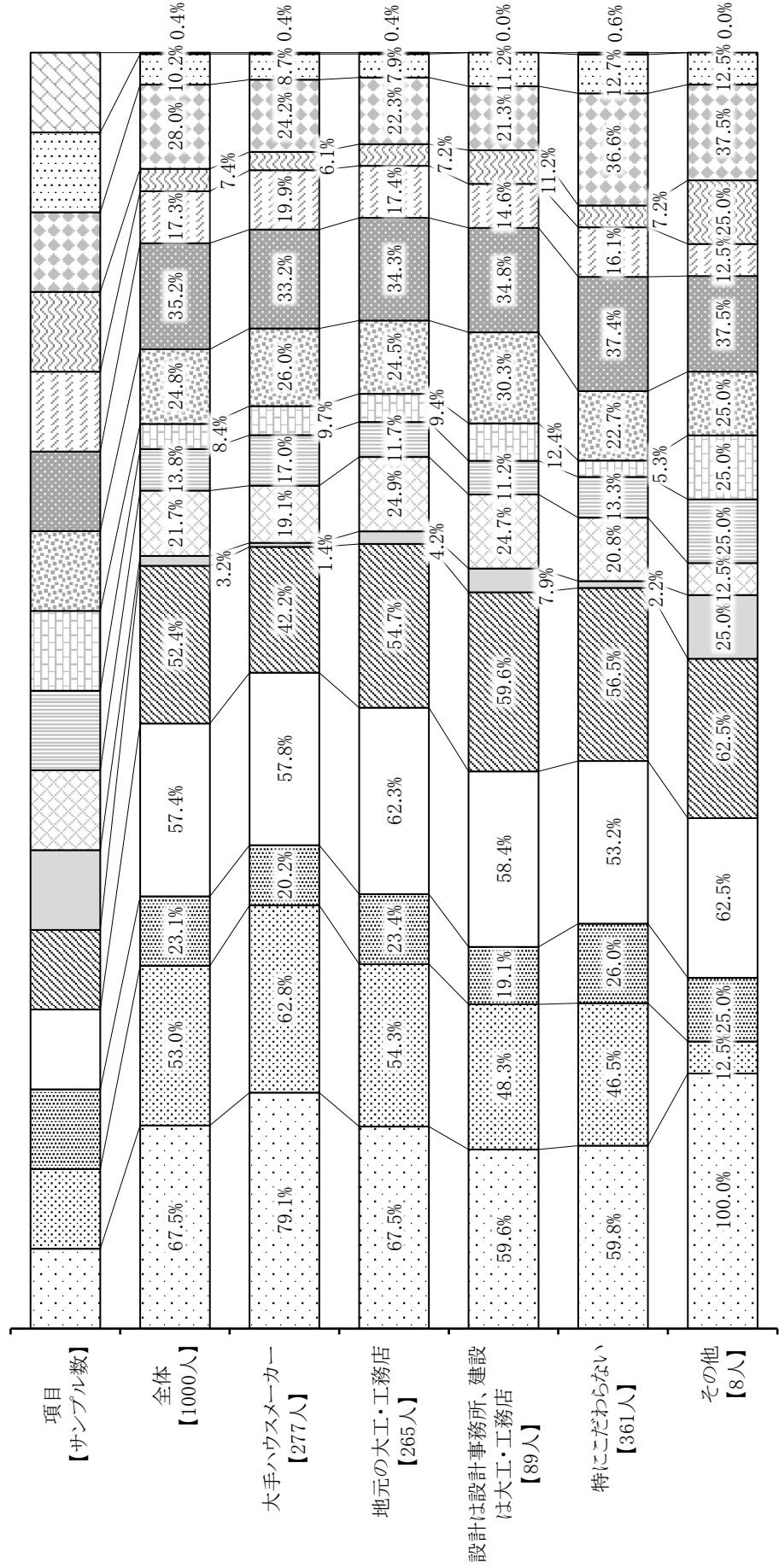
【設問クロス集計 (問12)】

* 問12 住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。



【設問クロス集計 (問13)】

* 問13 住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いませんか。



問16 自宅周辺環境の不満点

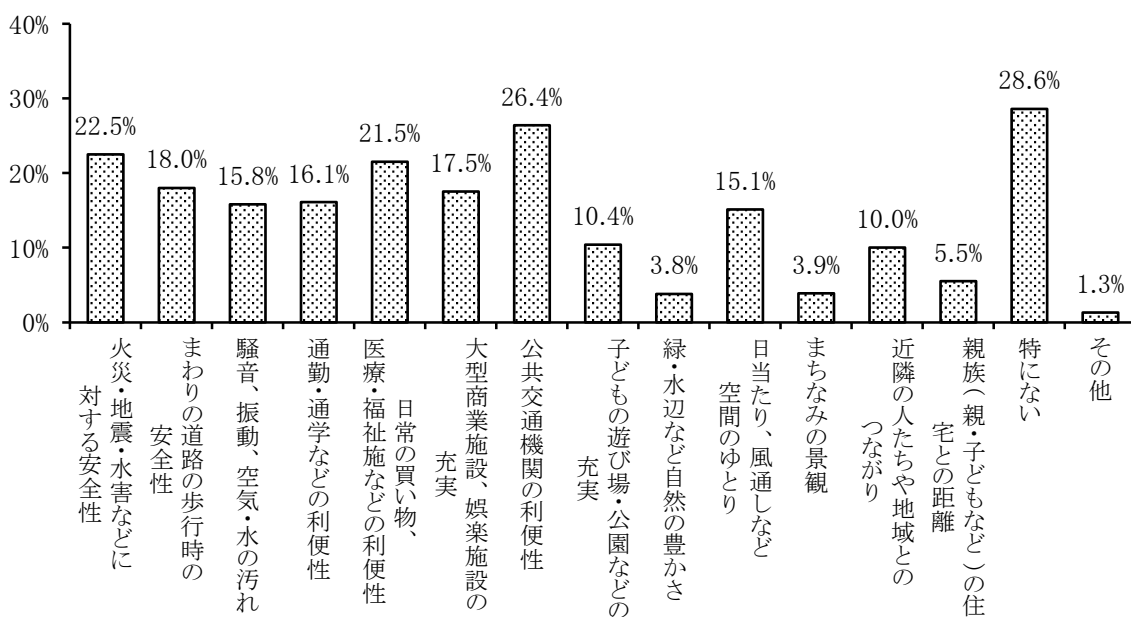
(H27調査 問25)

◆ 周辺環境の不満は「公共交通機関の利便性」が26.4%

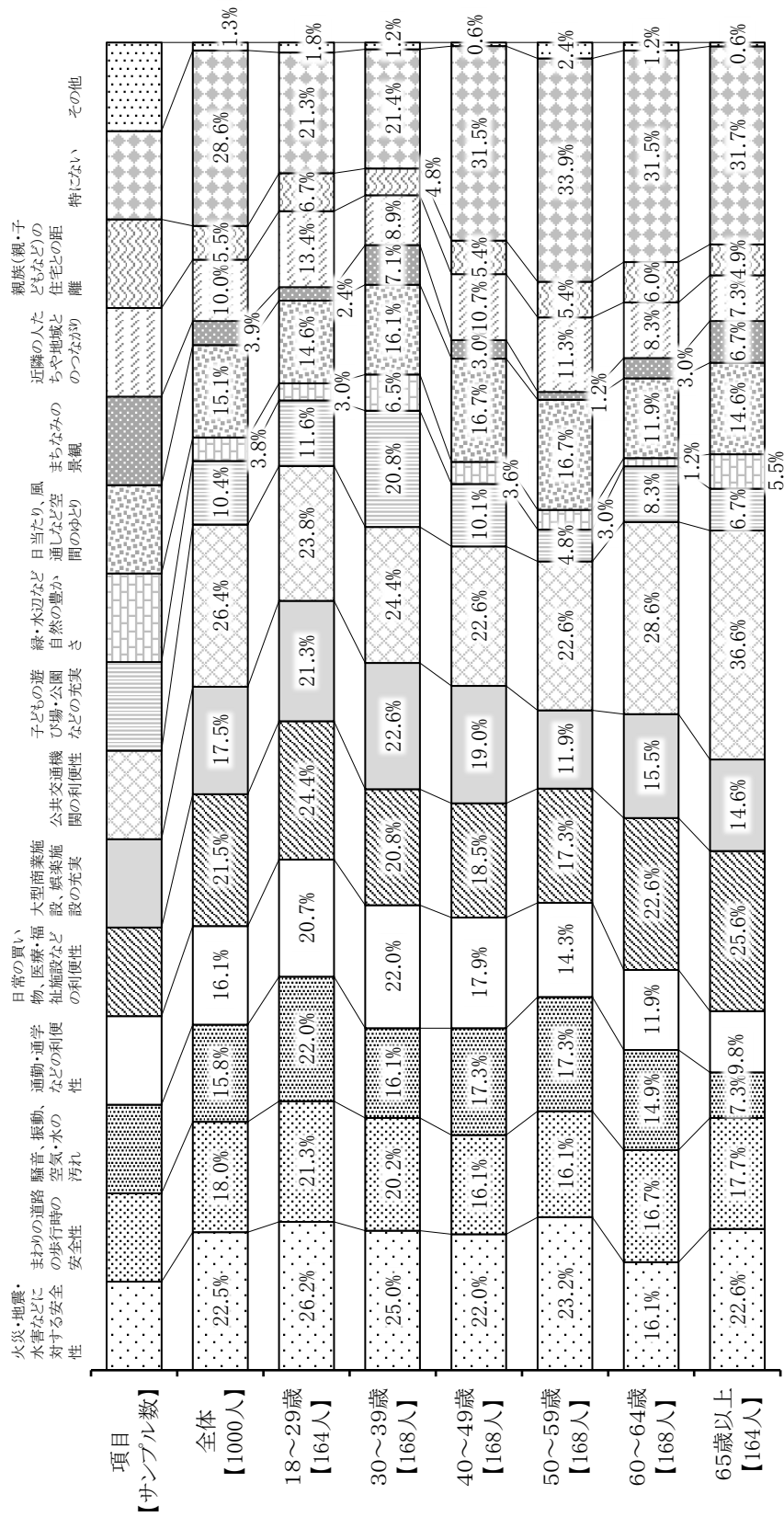
- 自宅の周辺環境で不満に感じていることでは、「公共交通機関の利便性」が26.4%、「火災・地震・水害などに対する安全性」が22.5%、「日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性」が21.5%となっている。
- 年代別では、「公共交通機関の利便性」で65歳以上が36.6%と全年代の中で最も多い結果となった。
- 65歳以上がいる世帯では、「火災・地震・水害などに対する安全性」が27.4%であり、いない世帯の18.7%との差異がみられる。

問16 自宅の周辺環境で不満と感じていることはありますか。
該当するものを次の中から5つ以内で選んでください。

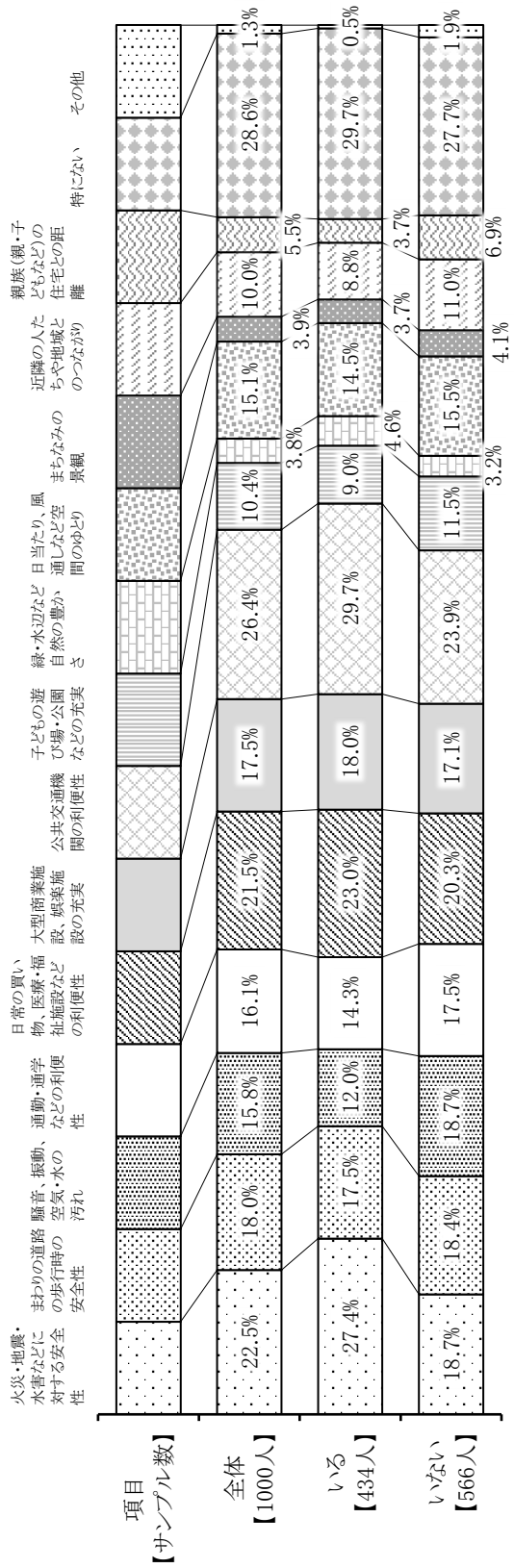
	回答者数	割合
1 火災・地震・水害などに対する安全性	225人	22.5%
2 まわりの道路の歩行時の安全性	180人	18.0%
3 騒音、振動、空気・水の汚れ	158人	15.8%
4 通勤・通学などの利便性	161人	16.1%
5 日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性	215人	21.5%
6 大型商業施設、娯楽施設の充実	175人	17.5%
7 公共交通機関の利便性	264人	26.4%
8 子どもの遊び場・公園などの充実	104人	10.4%
9 緑・水辺など自然の豊かさ	38人	3.8%
10 日当たり、風通しなど空間のゆとり	151人	15.1%
11 まちなみの景観	39人	3.9%
12 近隣の人たちや地域とのつながり	100人	10.0%
13 親族(親・子どもなど)の住宅との距離	55人	5.5%
14 特にない	286人	28.6%
15 その他	13人	1.3%
サンプル数	1,000人	100.0%



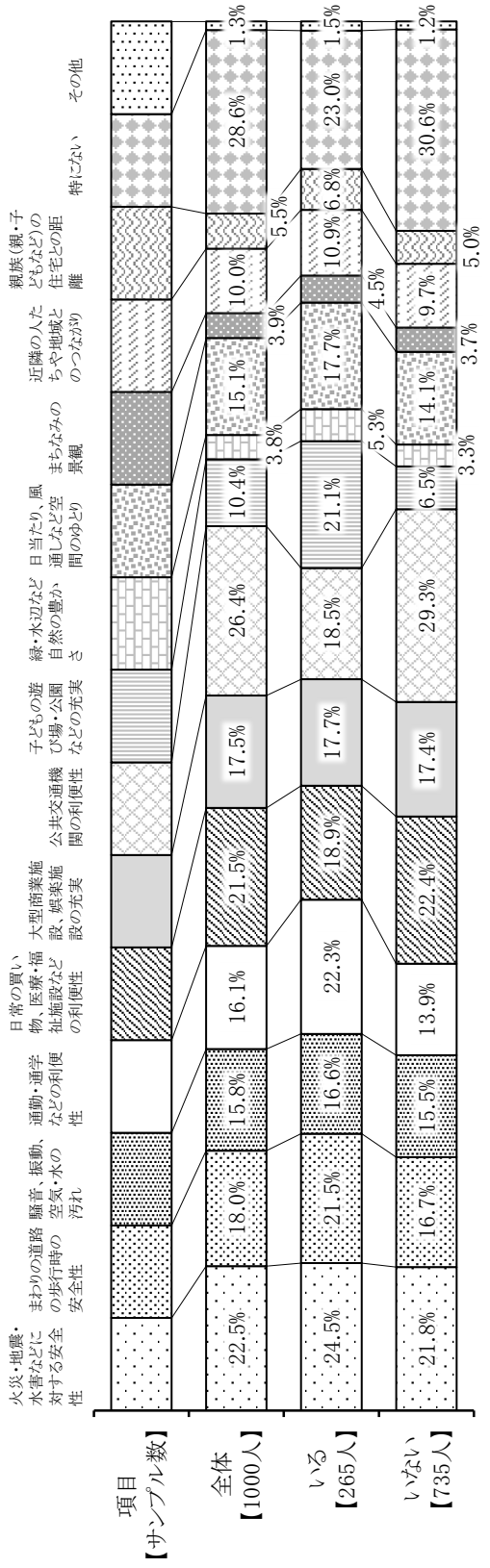
【年代別】



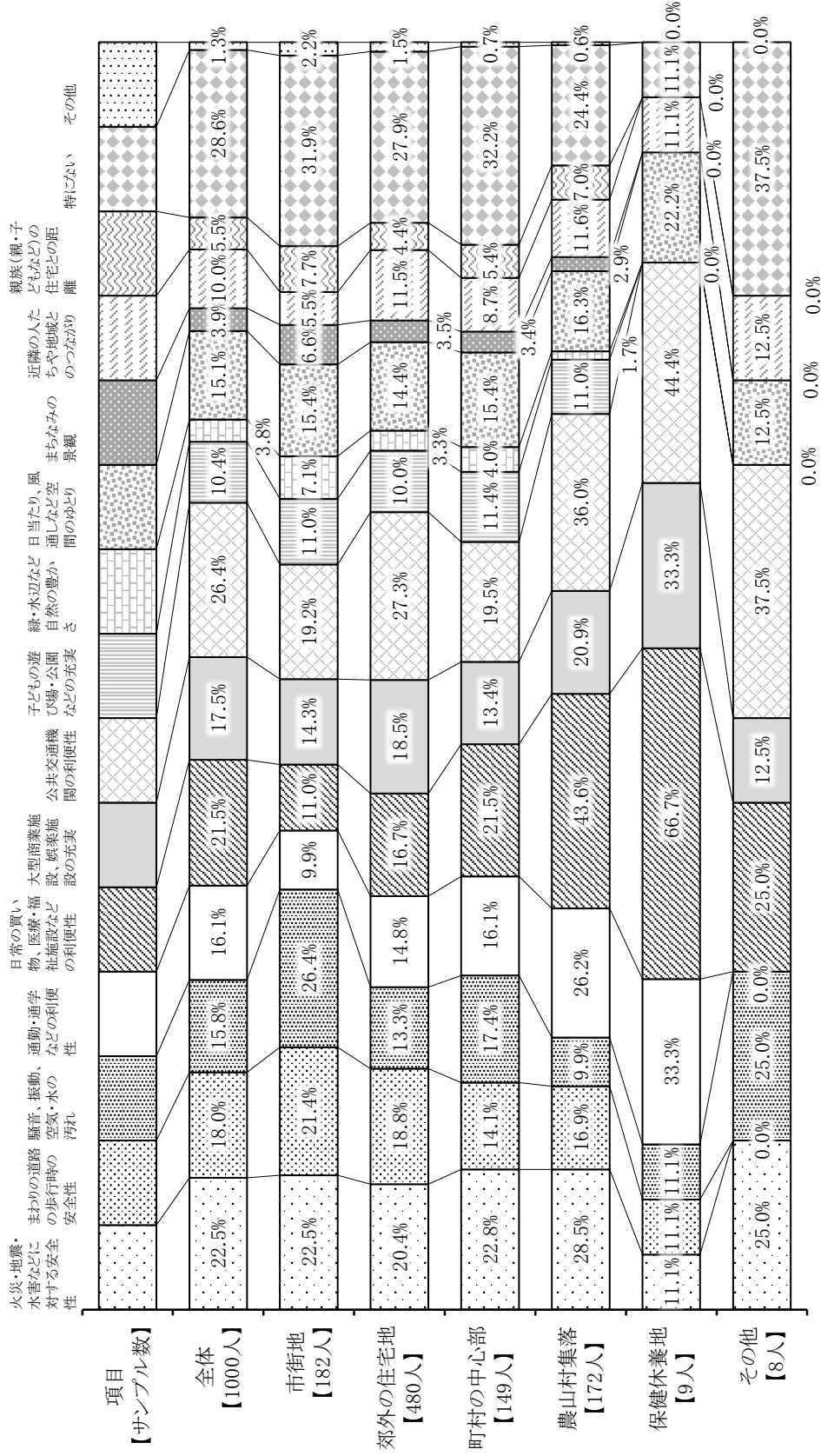
【65歳以上の同居人の有無】



【18歳未満の同居人の有無】



【地域別】



問17 住宅の環境対策として重視すること

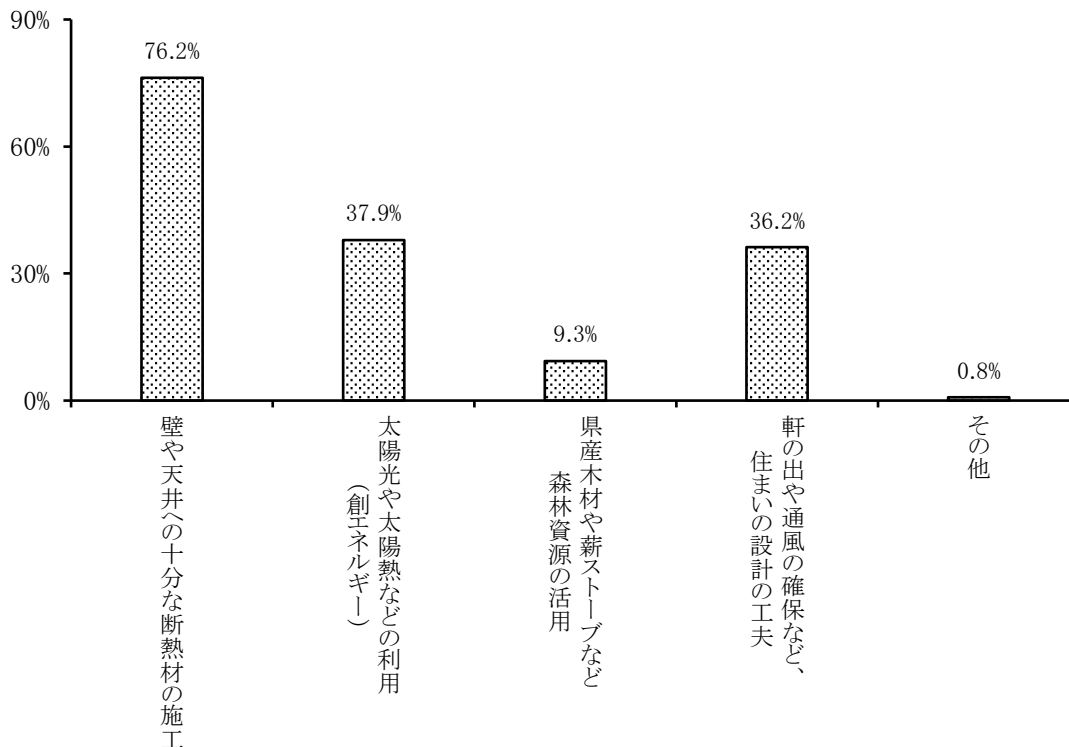
(H27調査 問28)

◆ 住宅の環境対策として「壁や天井への断熱材の施工」が7割半ば

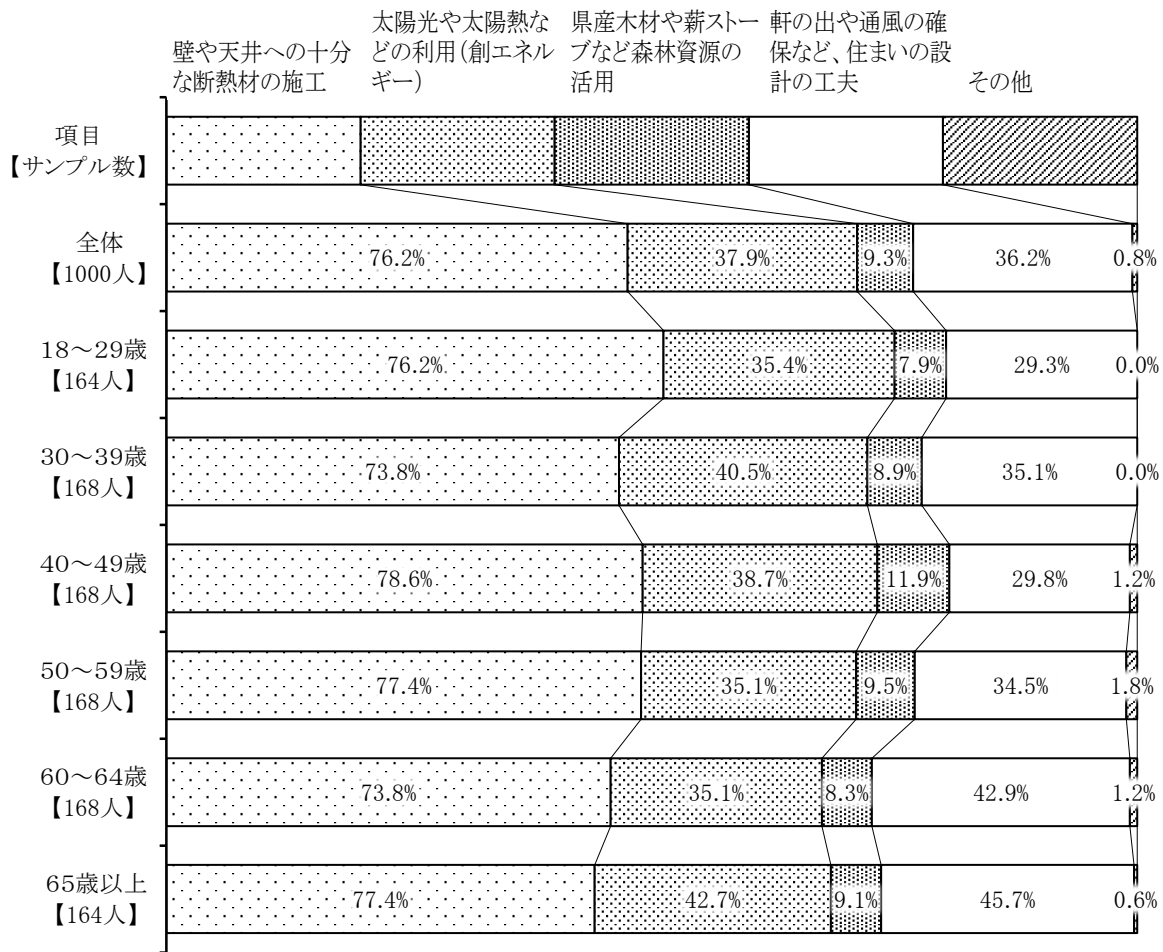
- 住宅の環境対策の重視点は、「壁や天井への十分な断熱材の施工」が76.2%と最も多い。「太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)」と「軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫」が3割台で続く。
- 地域別では、町村の中心部で「太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)」が45.6%と多くなっている。

問17 住宅の環境対策として、何を重視しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

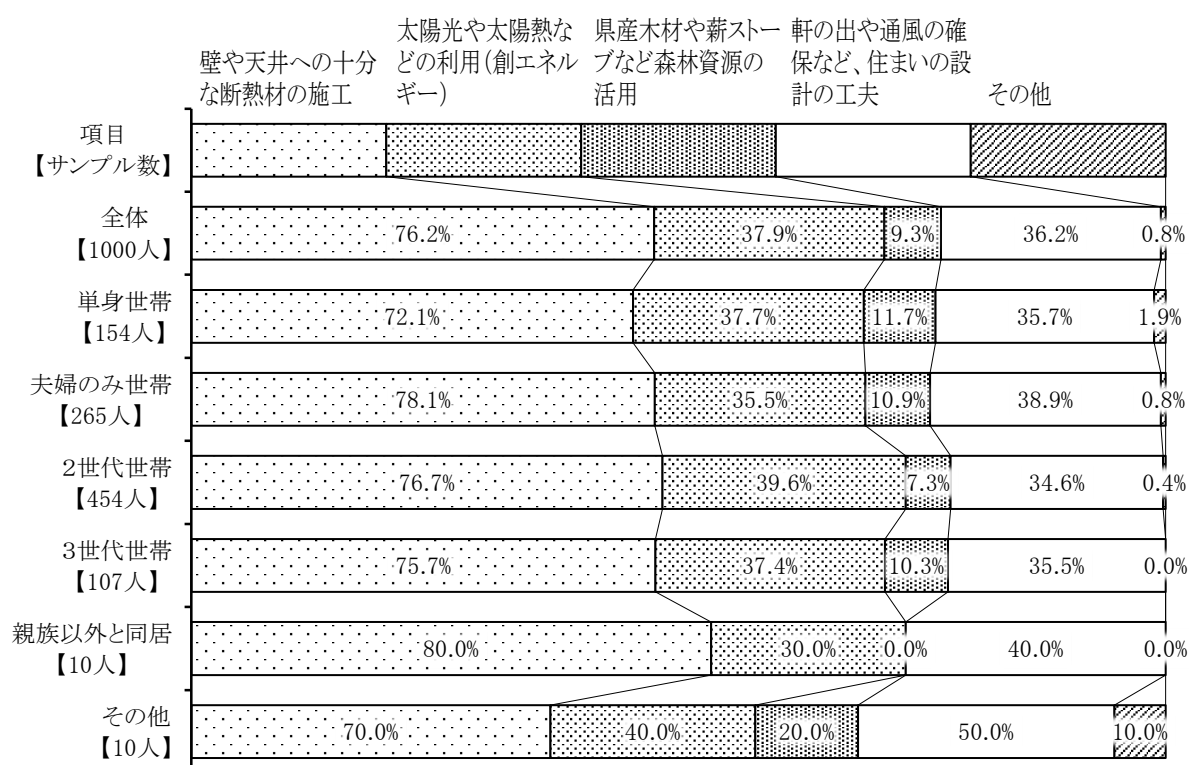
	回答者数	割合
1 壁や天井への十分な断熱材の施工	762人	76.2%
2 太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー)	379人	37.9%
3 県産木材や薪ストーブなど森林資源の活用	93人	9.3%
4 軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫	362人	36.2%
5 その他	8人	0.8%
サンプル数	1,000人	100.0%



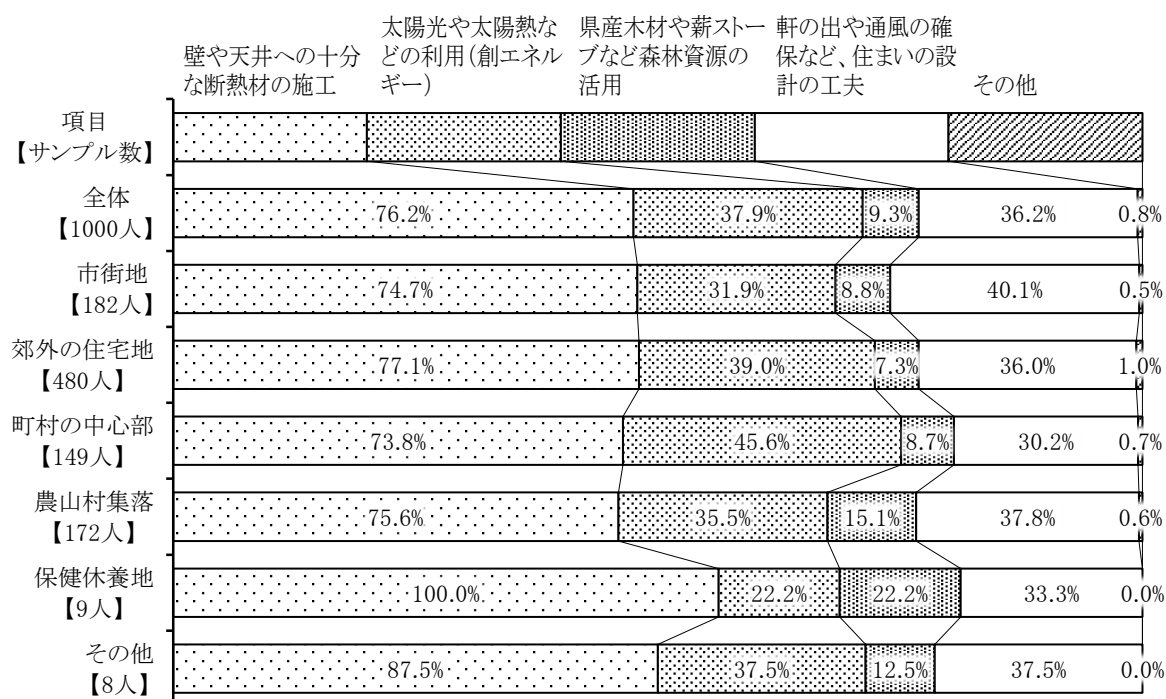
【年代別】



【世帯構成別】



【地域別】



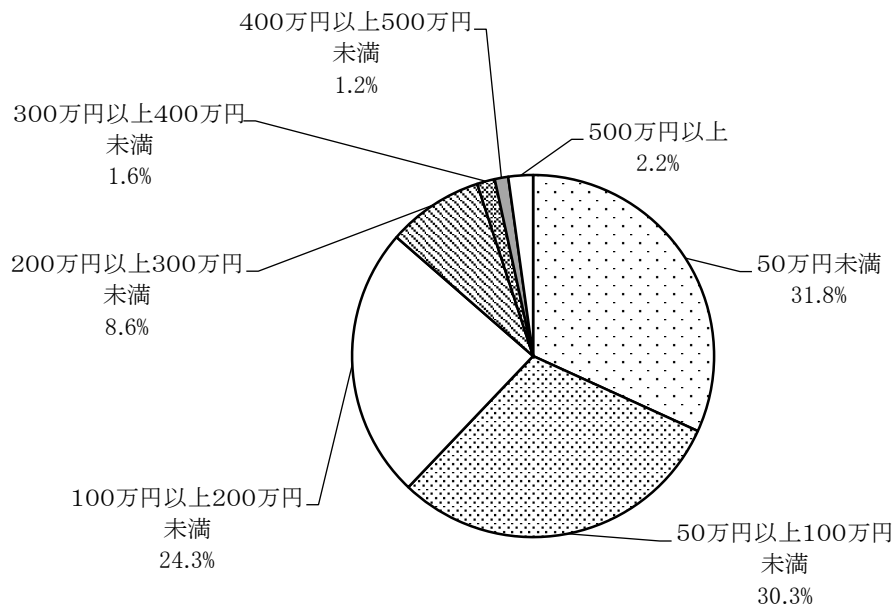
問18 省エネルギー住宅建設費の上乗せ限度額

◆ 省エネルギー住宅の上乗せ上限額「100万円未満」が約6割

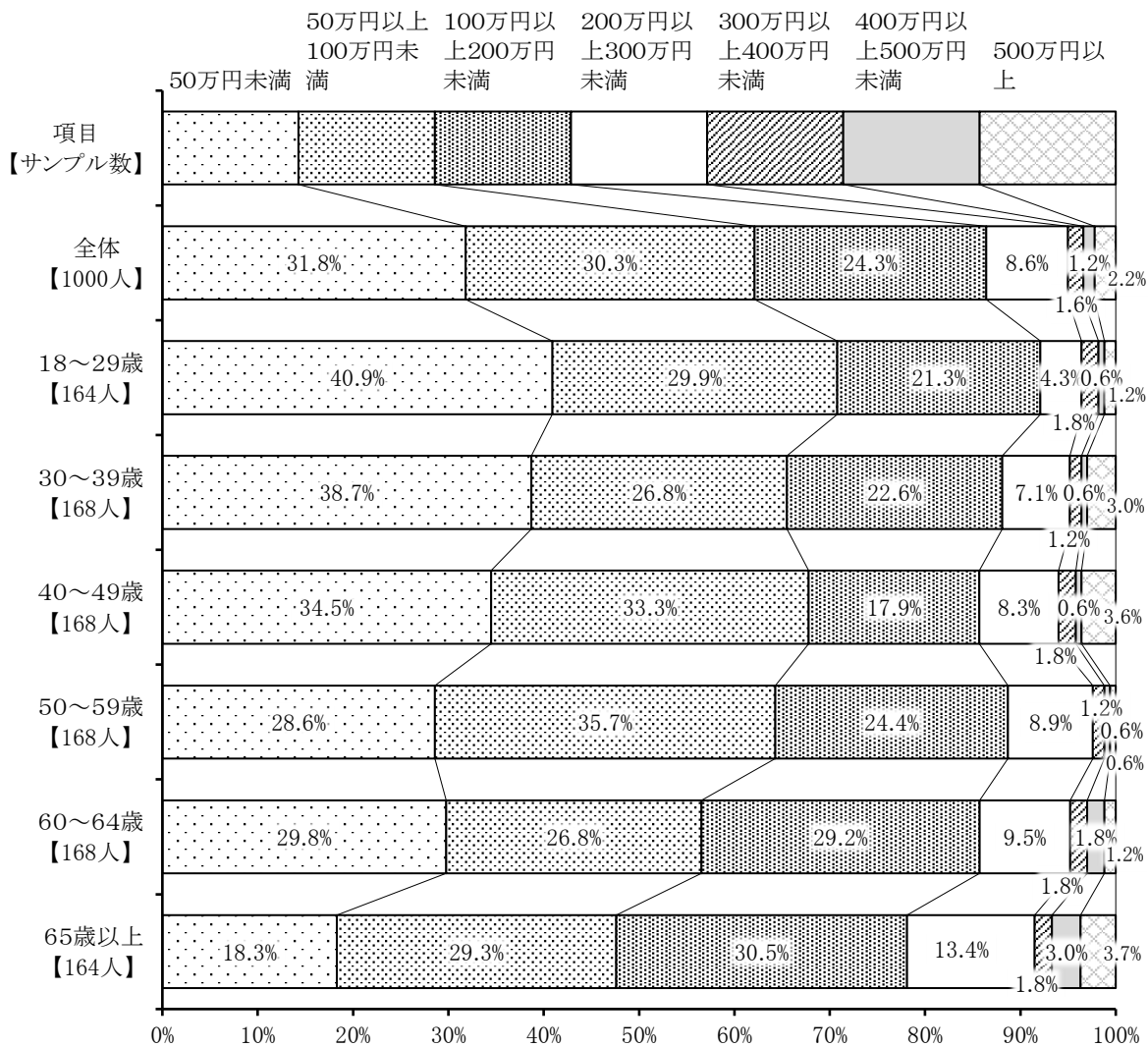
- 省エネルギー住宅を建築する際の建設費の上乗せ限度額は、「50万円未満」が31.8%と最も多い。これに「50万円以上100万円未満」(30.3%)が続き、100万円未満では62.1%となった。これに「100万円以上200万円未満」(24.3%)を含めた200万円未満では86.4%となった。
- 年代別では、「50万円未満」が年代が下がるほど多い傾向にある。

問18 住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。

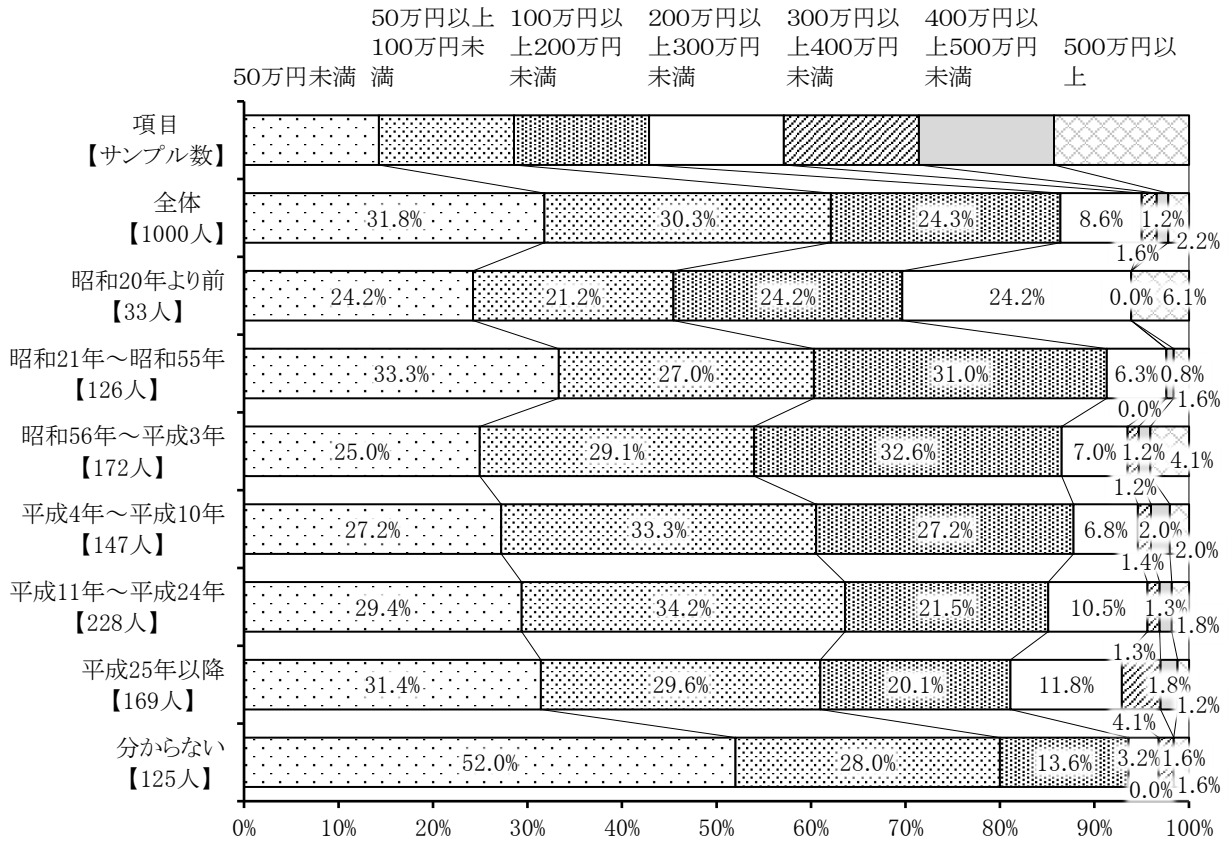
	回答者数	割合
1 50万円未満	318人	31.8%
2 50万円以上100万円未満	303人	30.3%
3 100万円以上200万円未満	243人	24.3%
4 200万円以上300万円未満	86人	8.6%
5 300万円以上400万円未満	16人	1.6%
6 400万円以上500万円未満	12人	1.2%
7 500万円以上	22人	2.2%
サンプル数	1,000人	100.0%



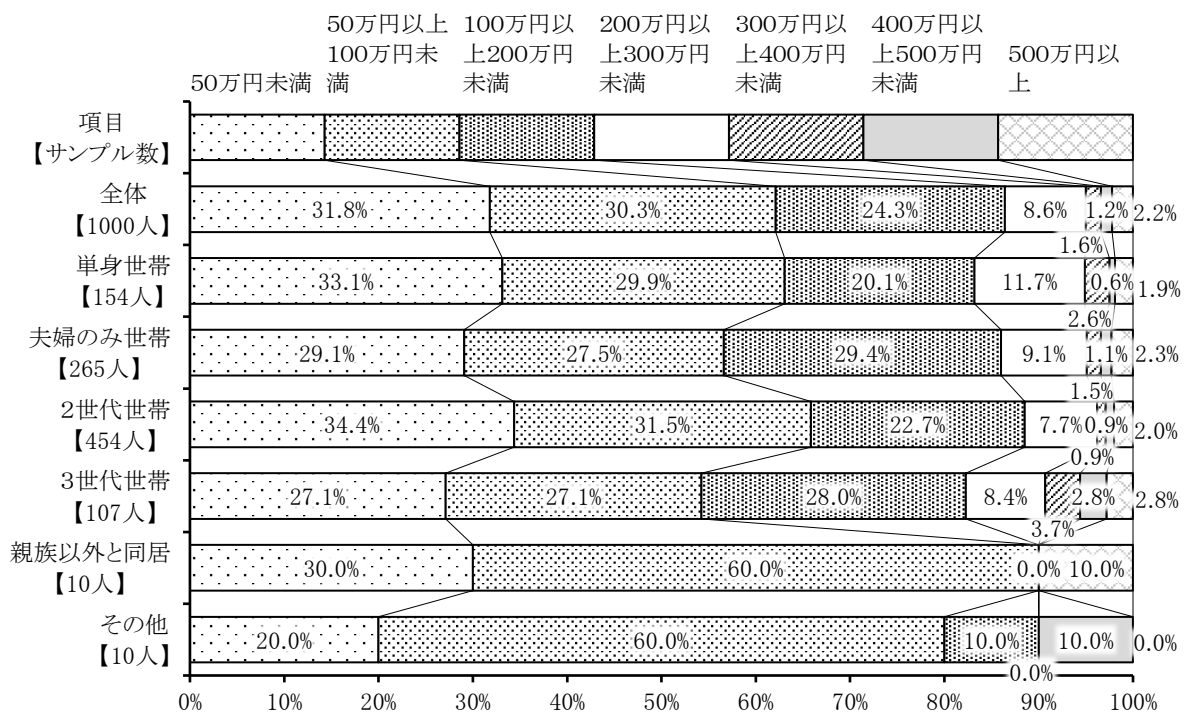
【年代別】



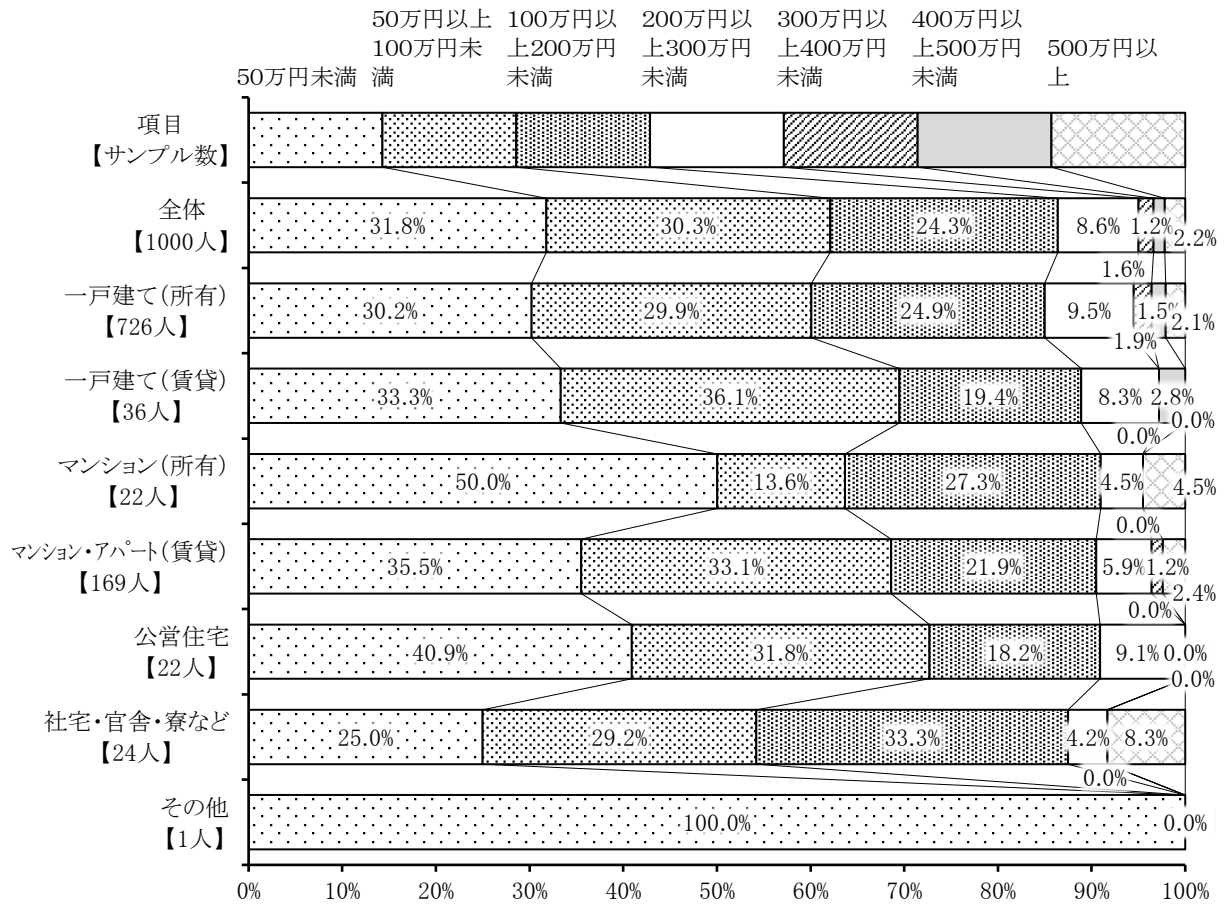
【築年数別】



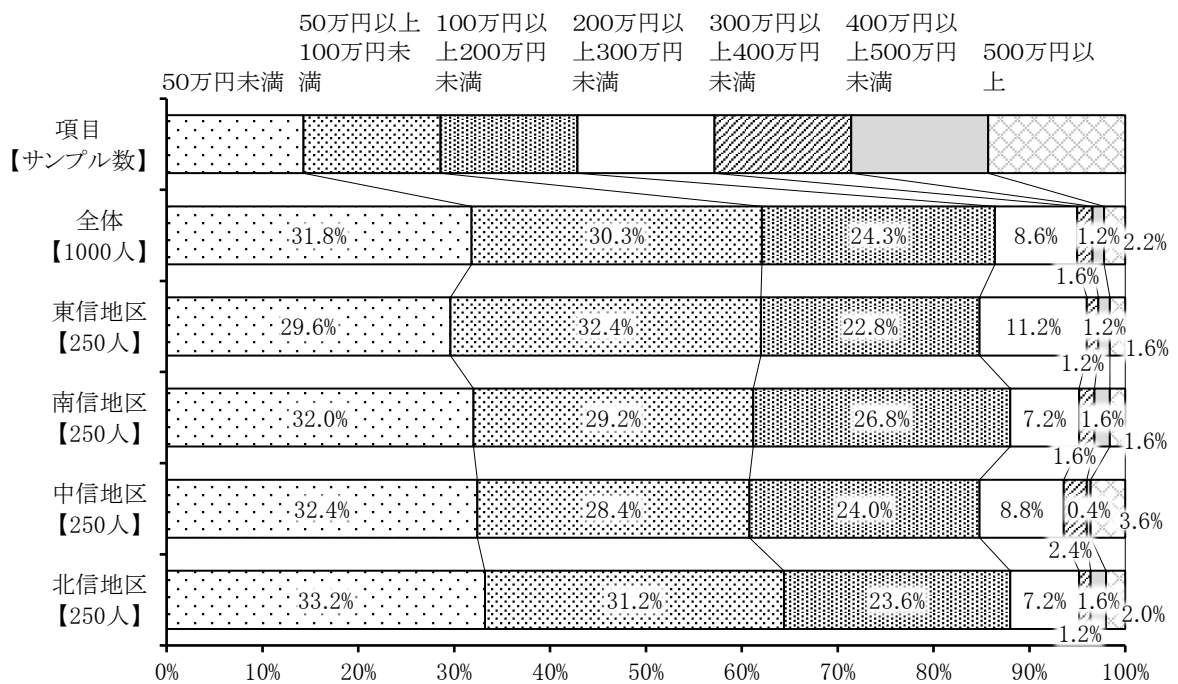
【世帯構成別】



【住宅形態別】



【居住地域別】



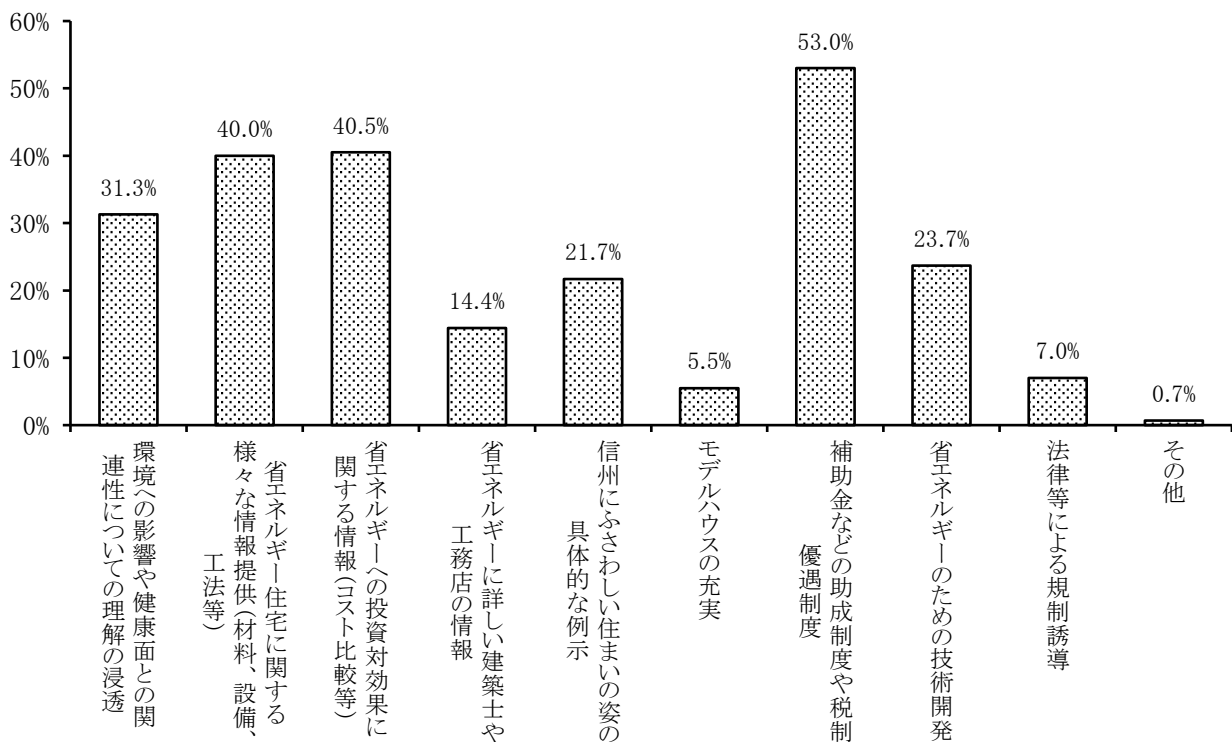
問19 省エネルギー住宅普及に必要なこと

◆ 省エネルギー住宅普及に必要なこと 「補助金などの助成制度や税制優遇制度」が5割

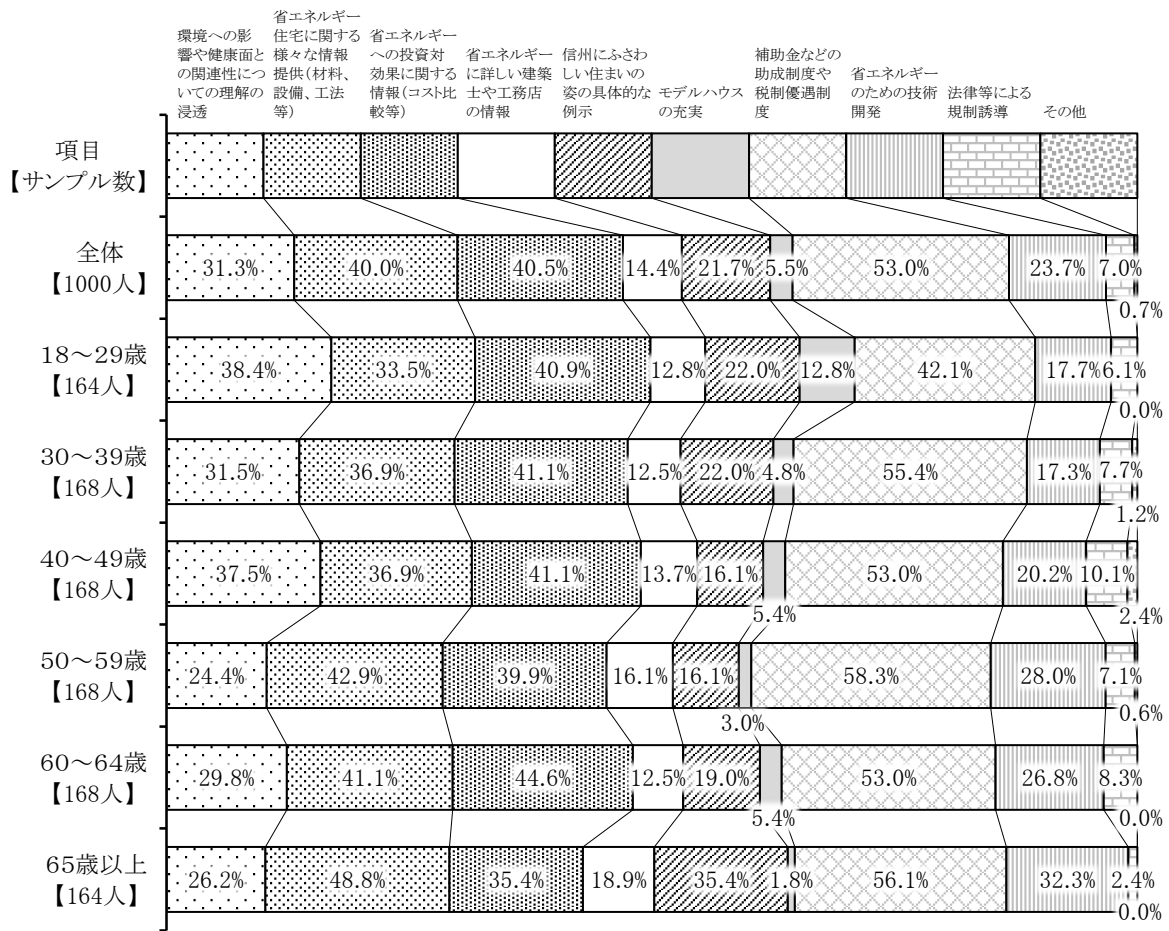
- 省エネルギー住宅を普及させるために必要なことを尋ねたところ、「補助金などの助成制度や税制優遇制度」が53.0%と最も多かった。省エネルギー住宅に関する様々な情報提供や投資対効果に関する情報も4割台と多い。
- 年代別では、「補助金などの助成制度や税制優遇制度」が10代～20代で42.1%と他の世代より少なかった。

問19 省エネルギー住宅を普及させるためには何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

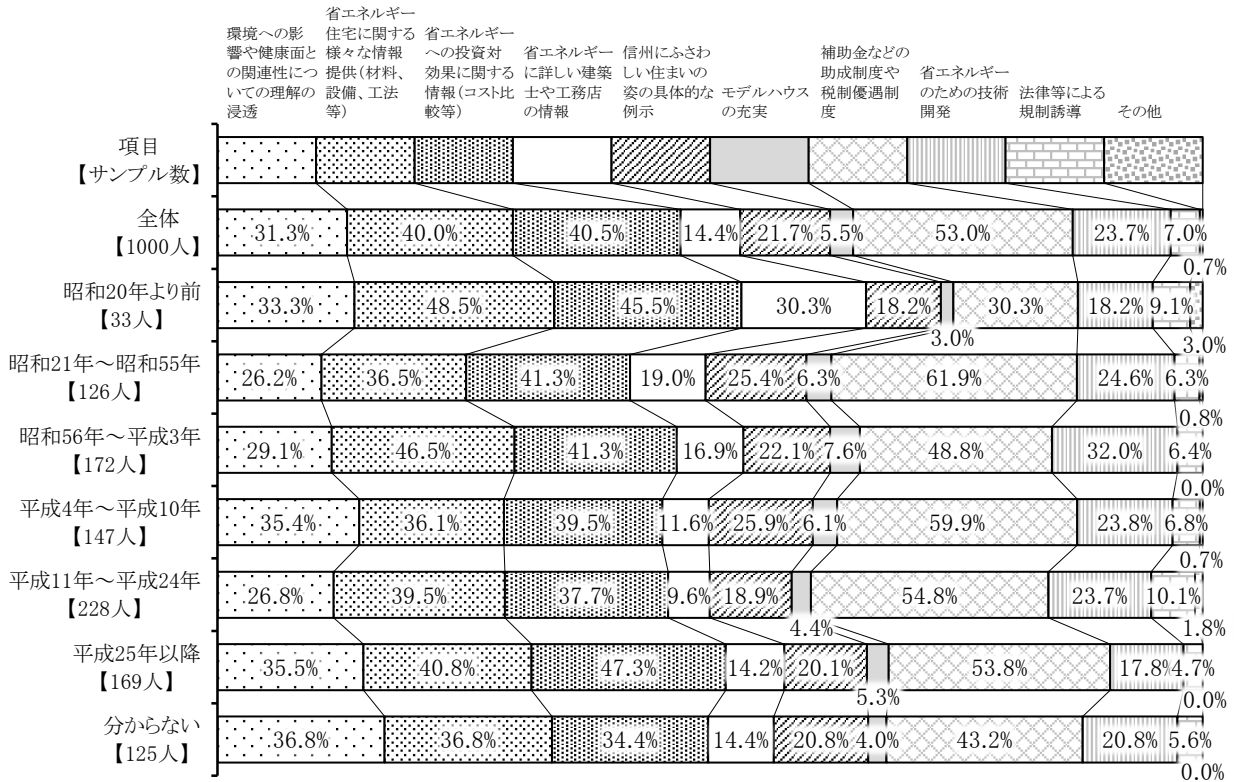
	回答者数	割合
1 環境への影響や健康面との関連性についての理解の浸透	313人	31.3%
2 省エネルギー住宅に関する様々な情報提供(材料、設備、工法等)	400人	40.0%
3 省エネルギーへの投資対効果に関する情報(コスト比較等)	405人	40.5%
4 省エネルギーに詳しい建築士や工務店の情報	144人	14.4%
5 信州にふさわしい住まいの姿の具体的な例示	217人	21.7%
6 モデルハウスの充実	55人	5.5%
7 補助金などの助成制度や税制優遇制度	530人	53.0%
8 省エネルギーのための技術開発	237人	23.7%
9 法律等による規制誘導	70人	7.0%
10 その他	7人	0.7%
サンプル数	1,000人	100.0%



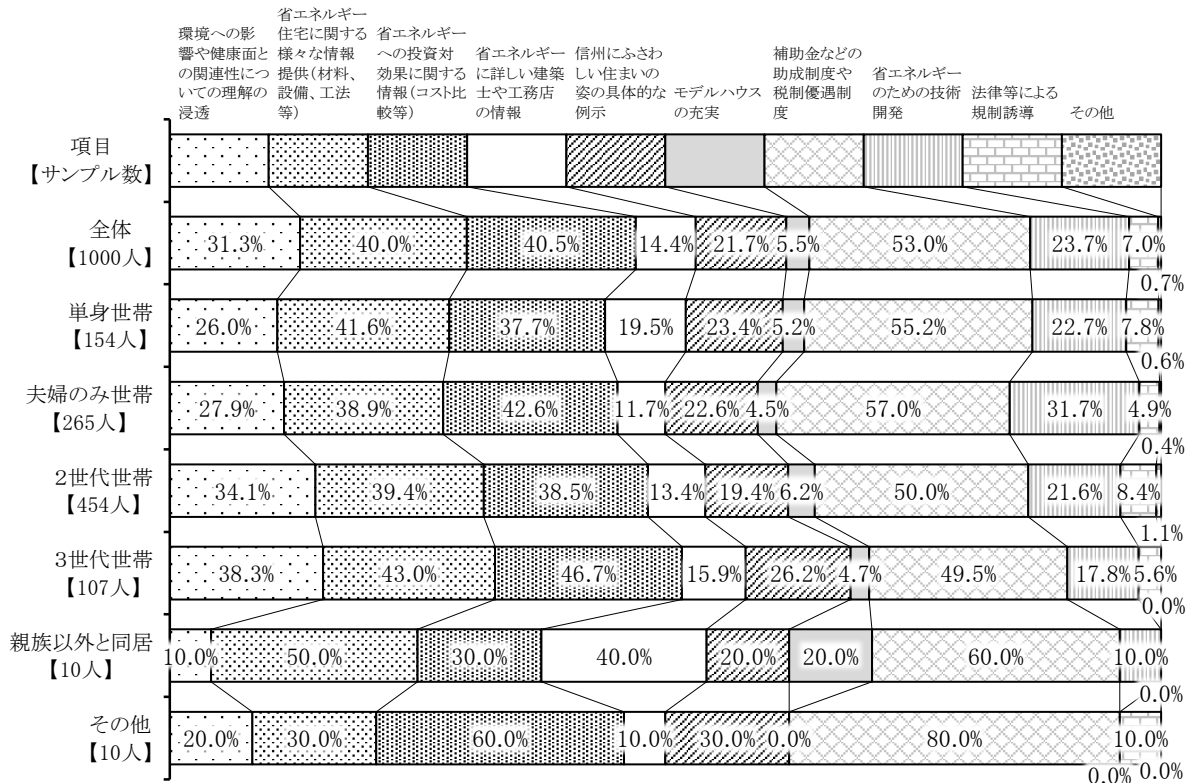
【年代別】



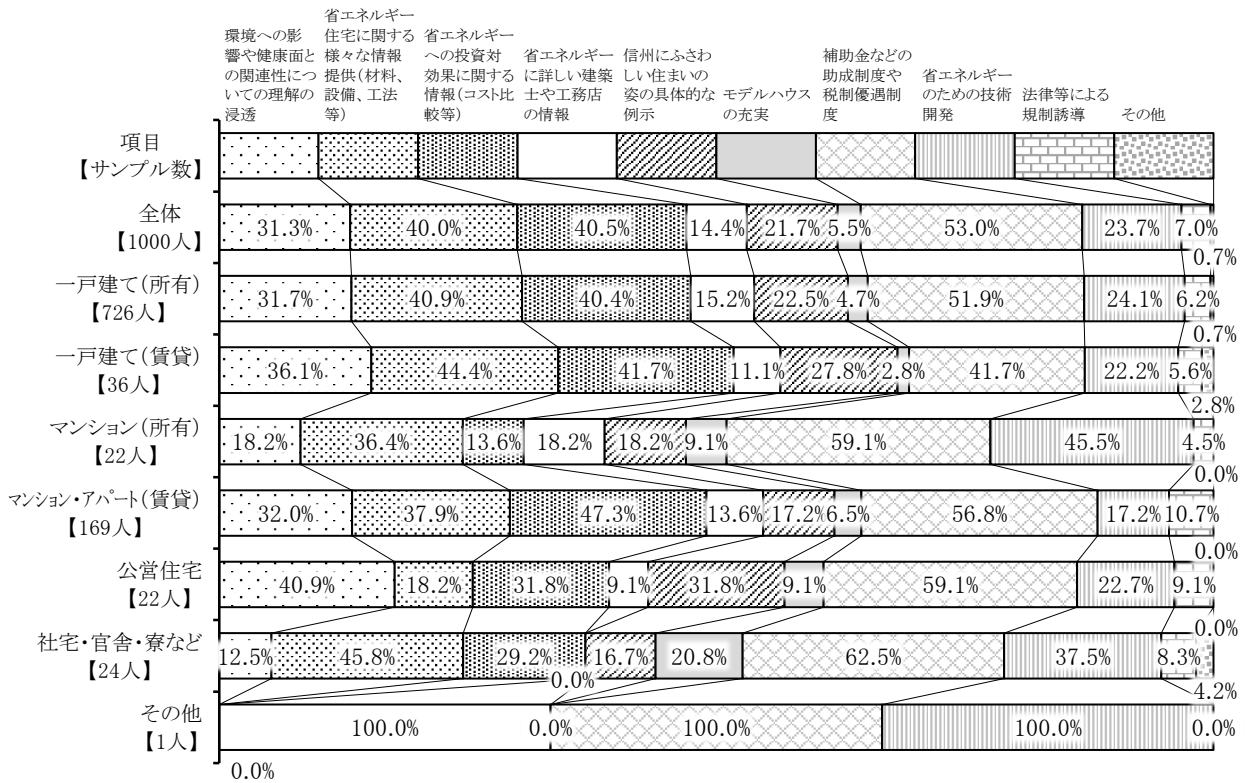
【築年数別】



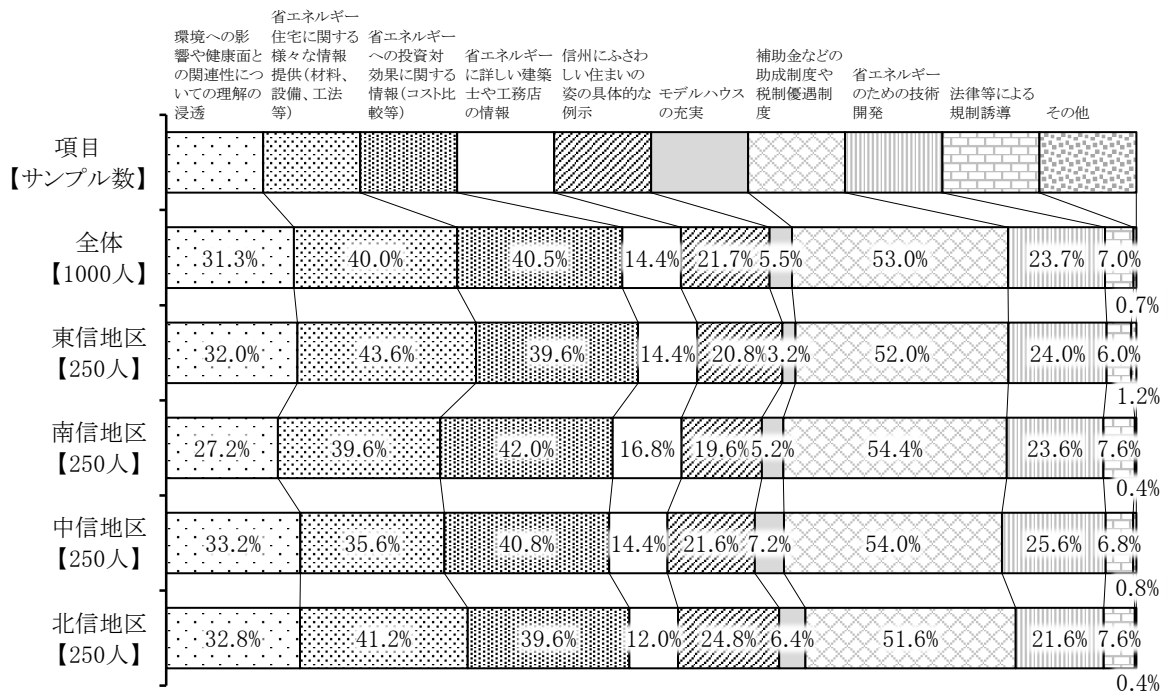
【世帯構成別】



【住宅形態別】

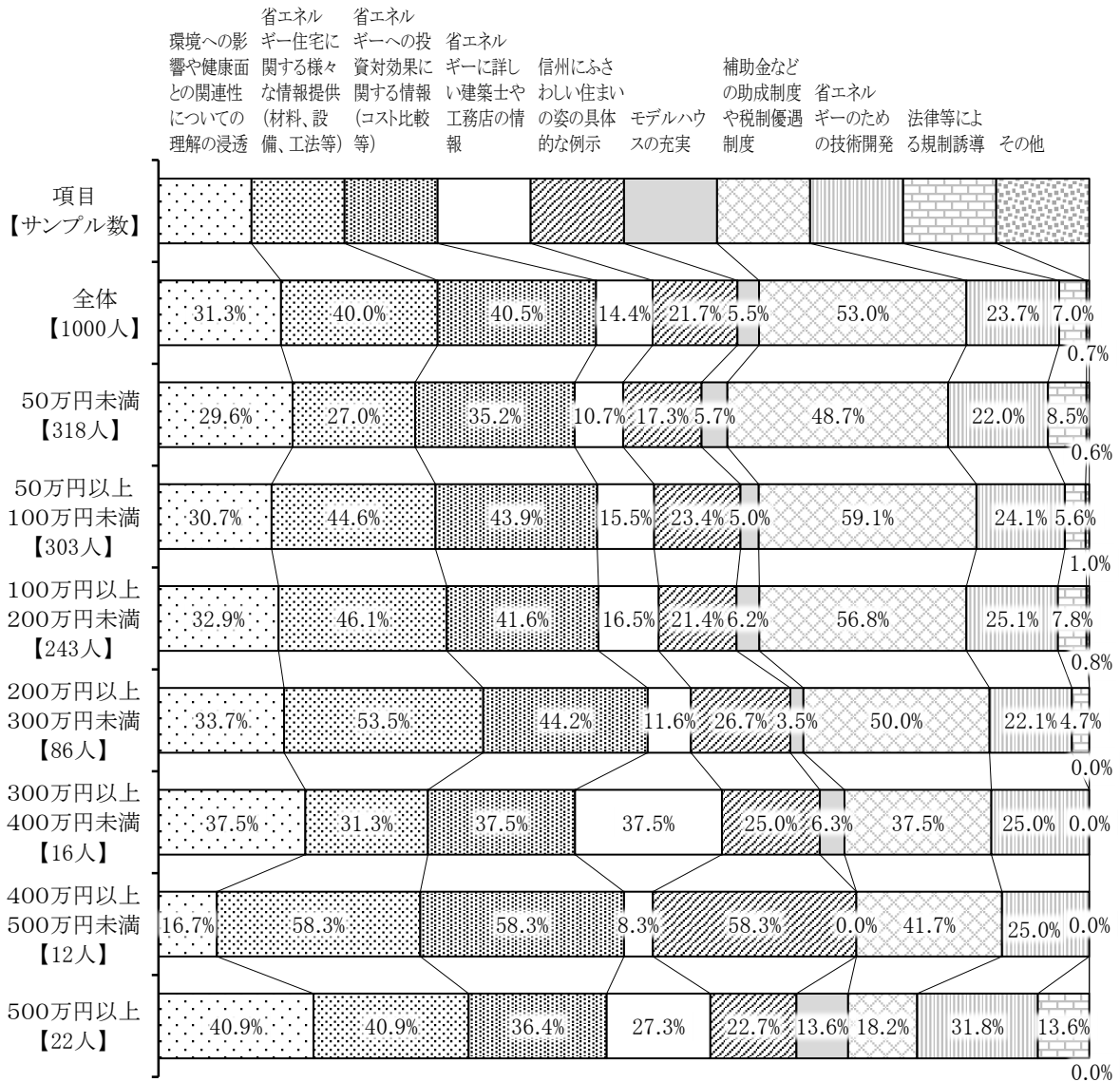


【居住地域別】



【設問クロス集計（問18）】

*問18 住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。



問20 住宅の耐震性が不足した場合の対策

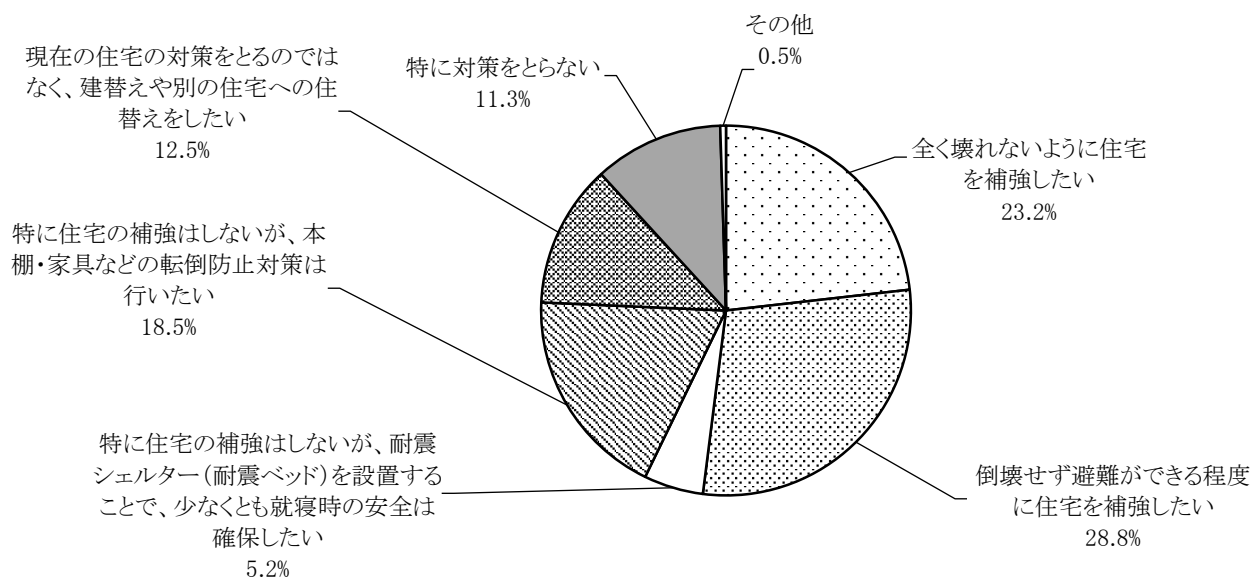
(H27調査 問33)

◆ 耐震性対策「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強」28.8%

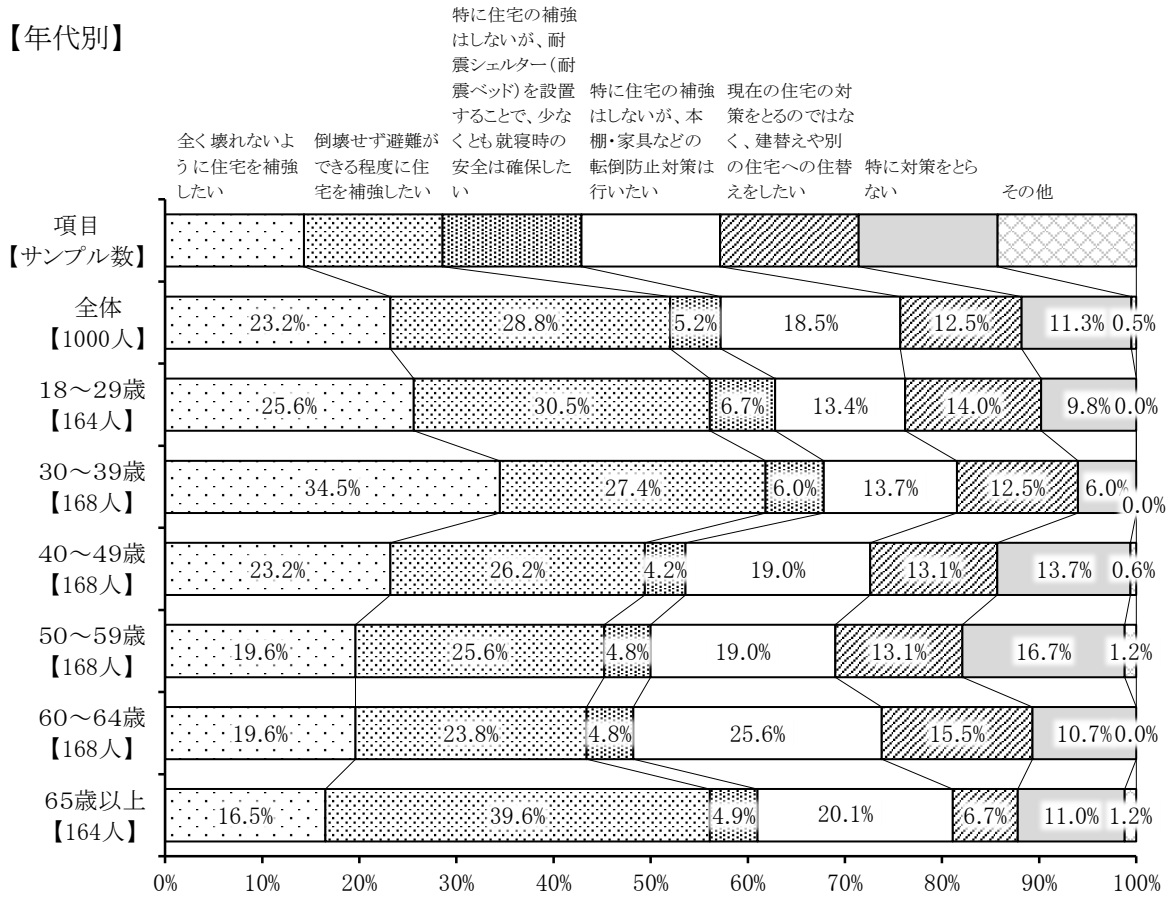
- 耐震性が不足していると分かった場合の対策については、「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい」が28.8%で最も多い。次いで「全く壊れないように住宅を補強したい」が23.2%と続いている。
- 年代別では、「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい」が65歳以上で39.6%と多い。「全く壊れないように住宅を補強したい」が30代で34.5%と多くなっている。
- 築年数別では、「倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい」が平成25年以降で36.7%と多くなっている。

問20 仮に現在住んでいる住宅の耐震性が不足していることが分かった場合、どのような対策をとろうと思いますか。

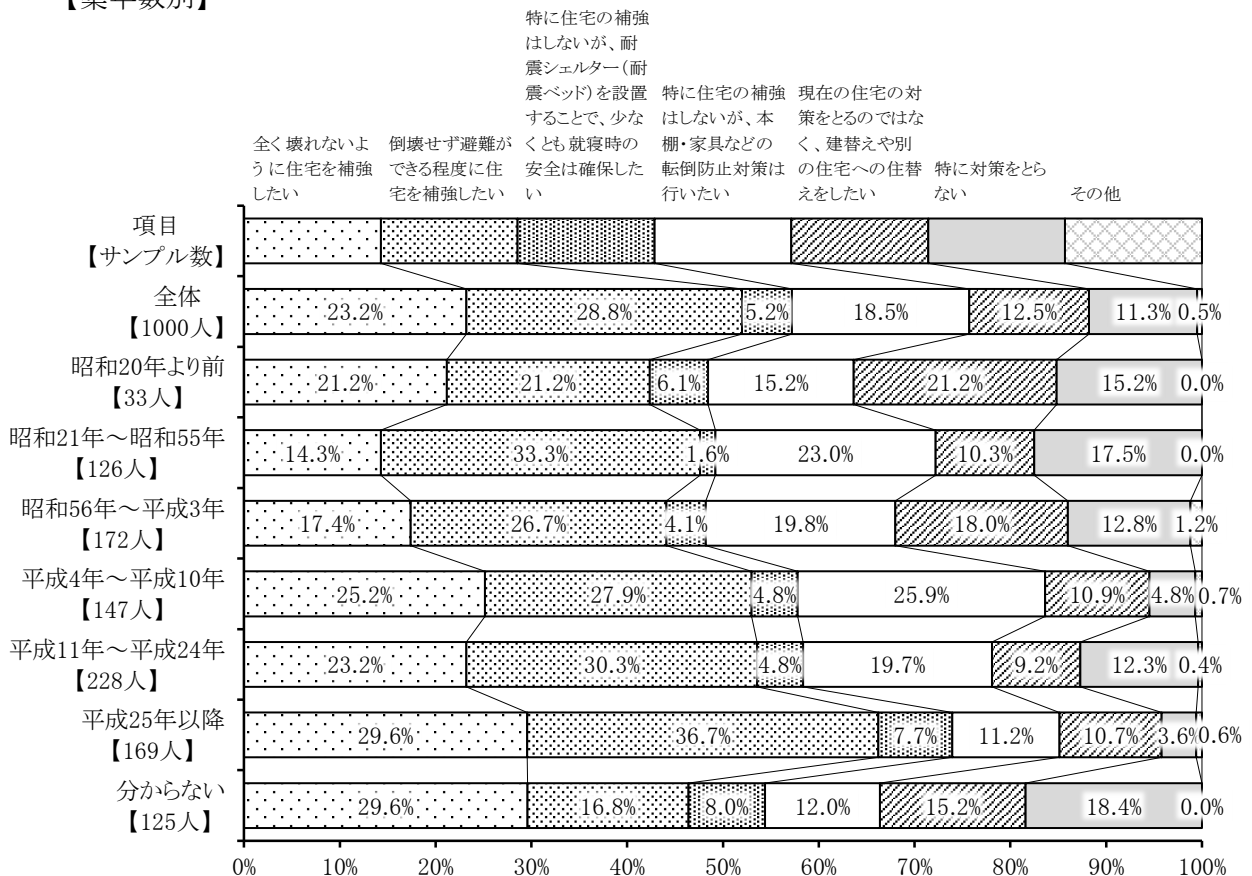
	回答者数	割合
1 全く壊れないように住宅を補強したい	232人	23.2%
2 倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい	288人	28.8%
3 特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター(耐震ベッド)を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい	52人	5.2%
4 特に住宅の補強はしないが、本棚・家具などの転倒防止対策は行いたい	185人	18.5%
5 現在の住宅の対策をとるのではなく、建替えや別の住宅への住替えをしたい	125人	12.5%
6 特に対策をとらない	113人	11.3%
7 その他	5人	0.5%
サンプル数	1,000人	100.0%



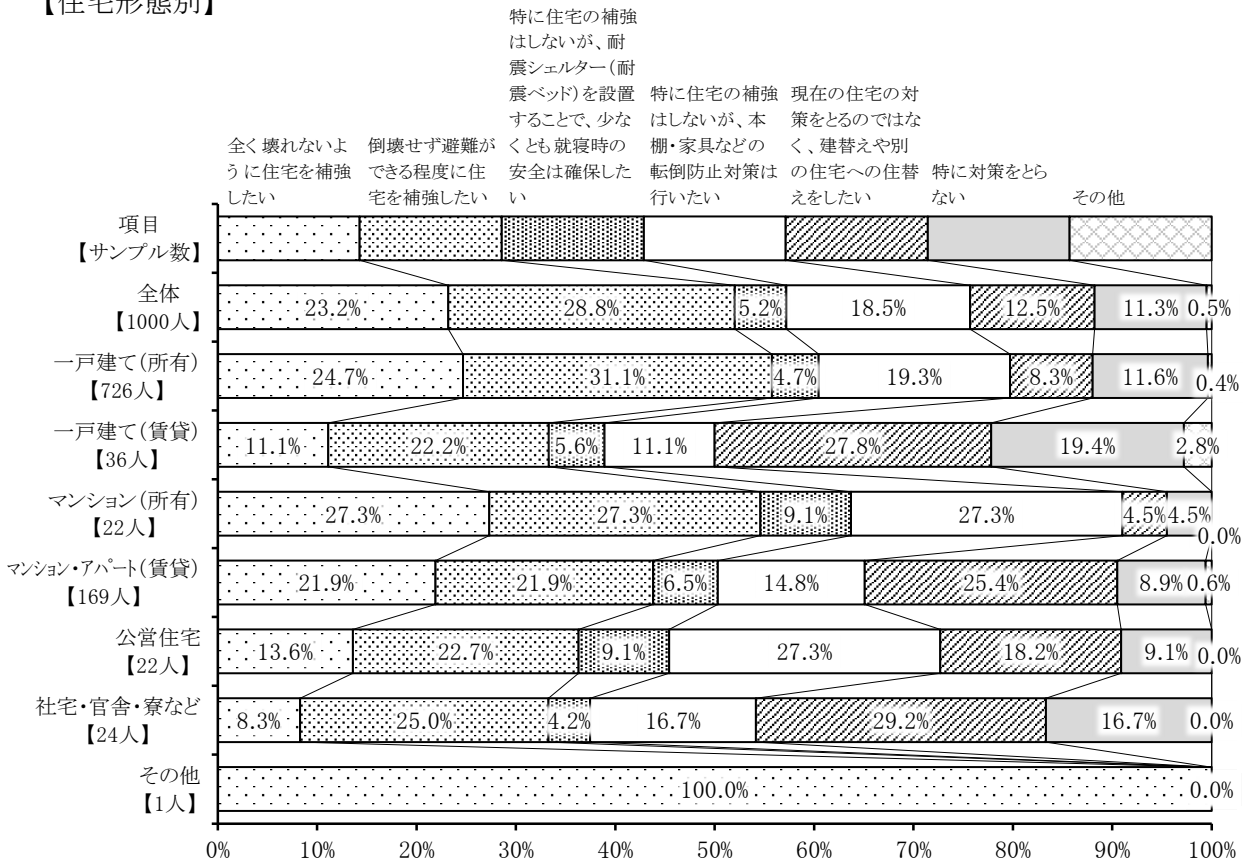
【年代別】



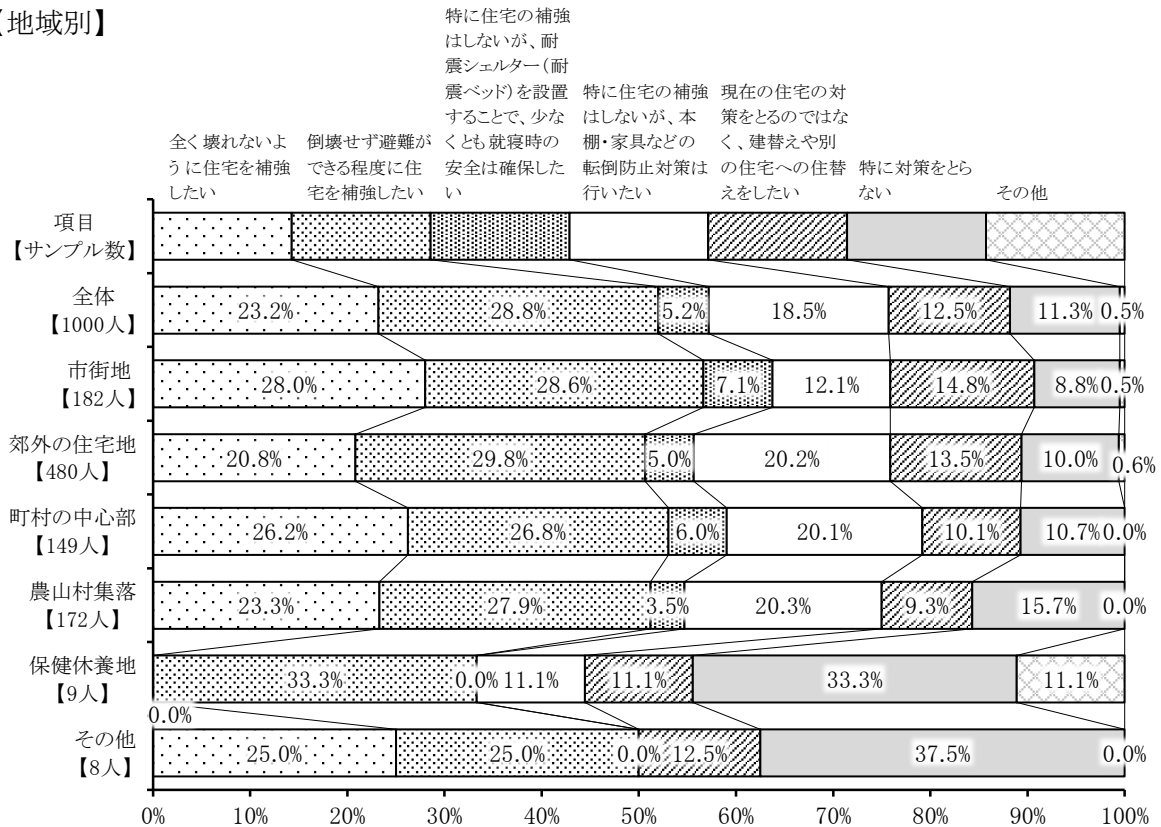
【築年数別】



【住宅形態別】



【地域別】



問21 耐震性向上で住宅の補強を考えない理由

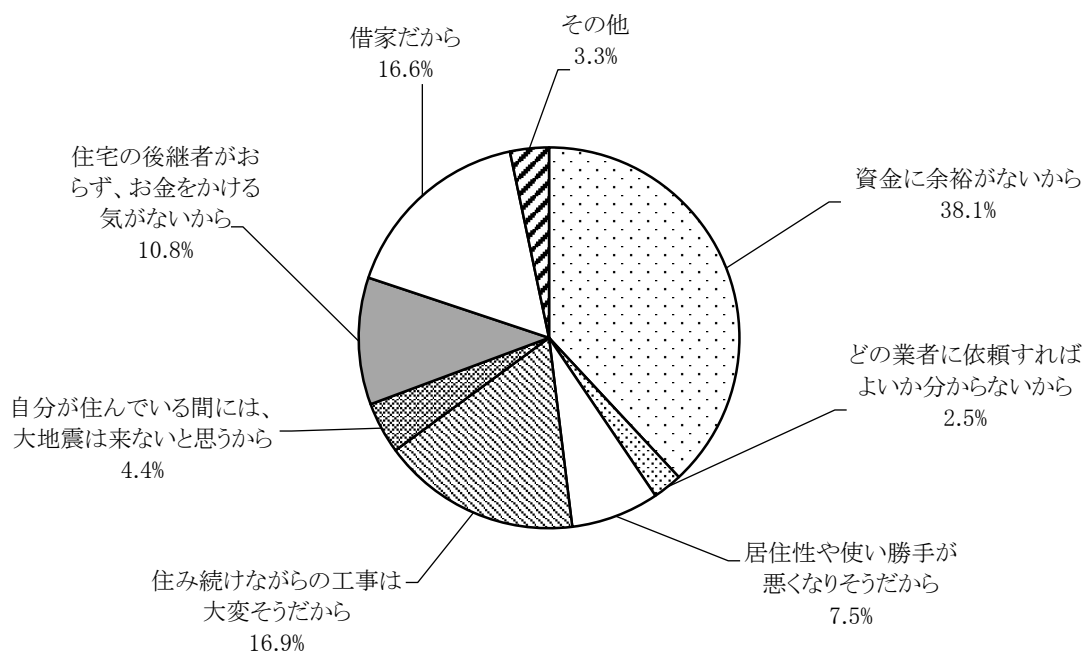
(H27調査 問34)

◆ 住宅補強を考えない理由「資金に余裕がない」38.1%

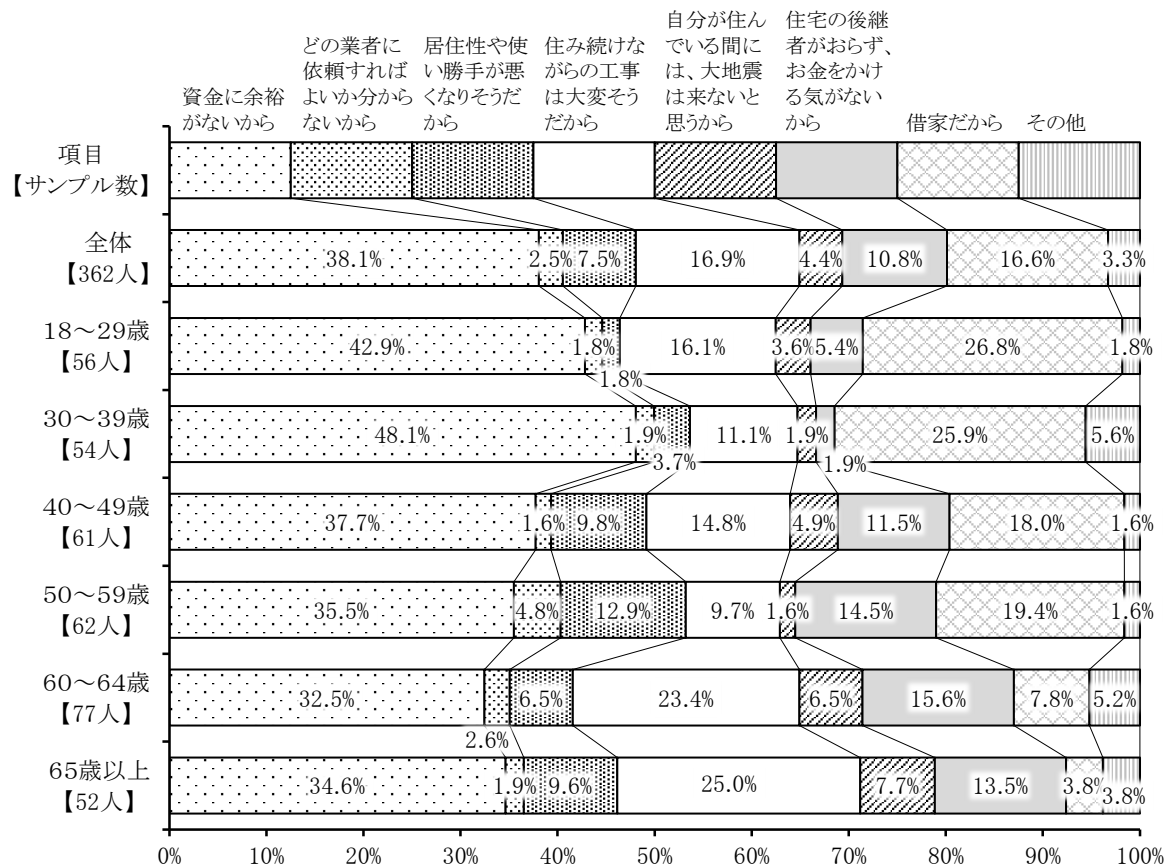
- 住まいの耐震性が不足している場合に住宅自体の補強は行わないとした方の主な理由は、「資金に余裕がない」が38.1%と最も多かった。
- 年代別では、「資金に余裕がない」が30代で48.1%と多くなっている。「住み続けながらの工事は大変そうだから」が60代以上で2割を上回り、他の年代より多くなっている。

問21【問20で3～5を選んだ方にお伺いします】その主な理由を選んでください。

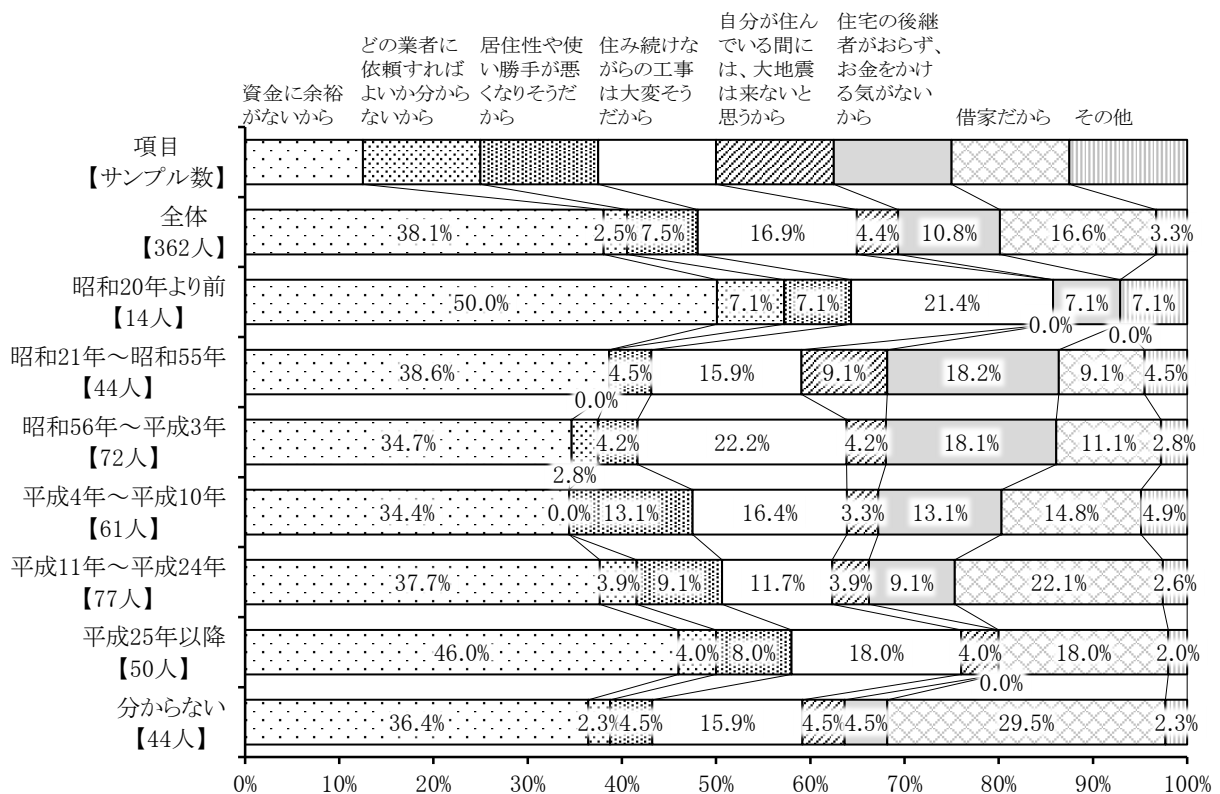
	回答者数	割合
1 資金に余裕がないから	138人	38.1%
2 どの業者に依頼すればよいか分からないから	9人	2.5%
3 居住性や使い勝手が悪くなりそうだから	27人	7.5%
4 住み続けながらの工事は大変そうだから	61人	16.9%
5 自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから	16人	4.4%
6 住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから	39人	10.8%
7 借家だから	60人	16.6%
8 その他	12人	3.3%
サンプル数	362人	100.0%



【年代別】



【築年数別】



問22 高齢者になってから住居や地域に不安を感じること

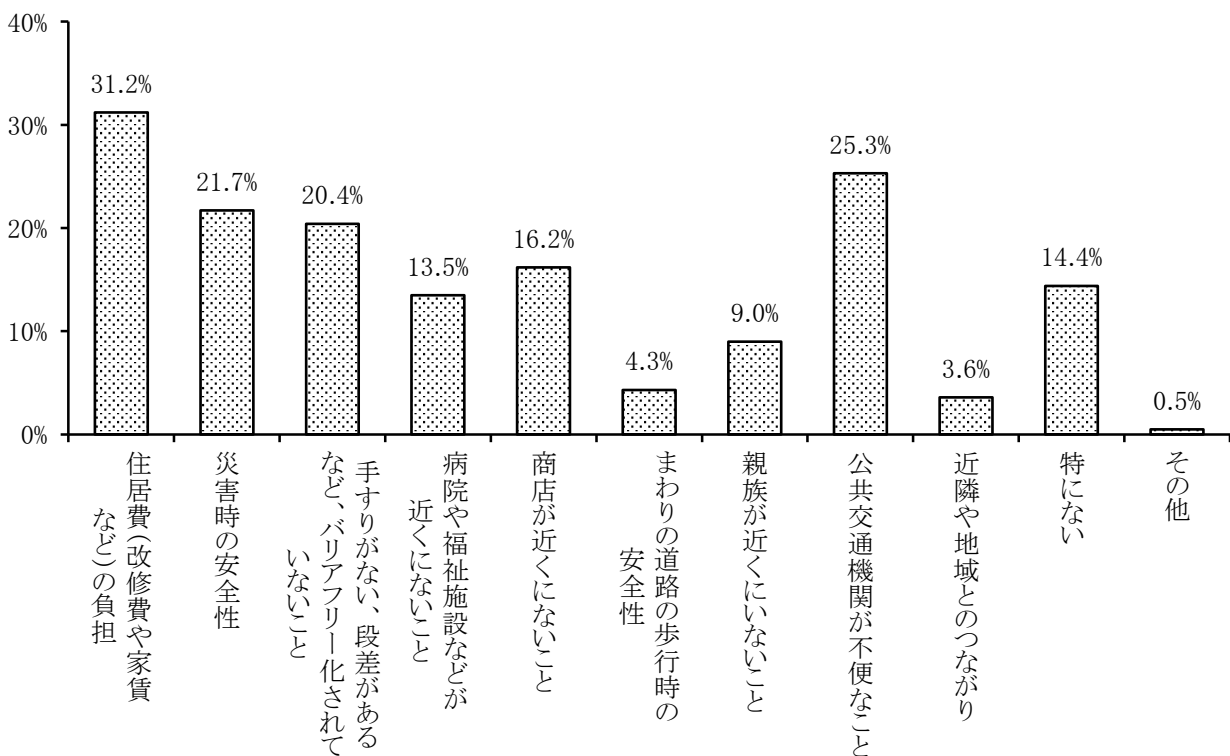
(H27調査 問35)

◆ 高齢の不安「住居費」31.2%、「公共交通機関」25.3%

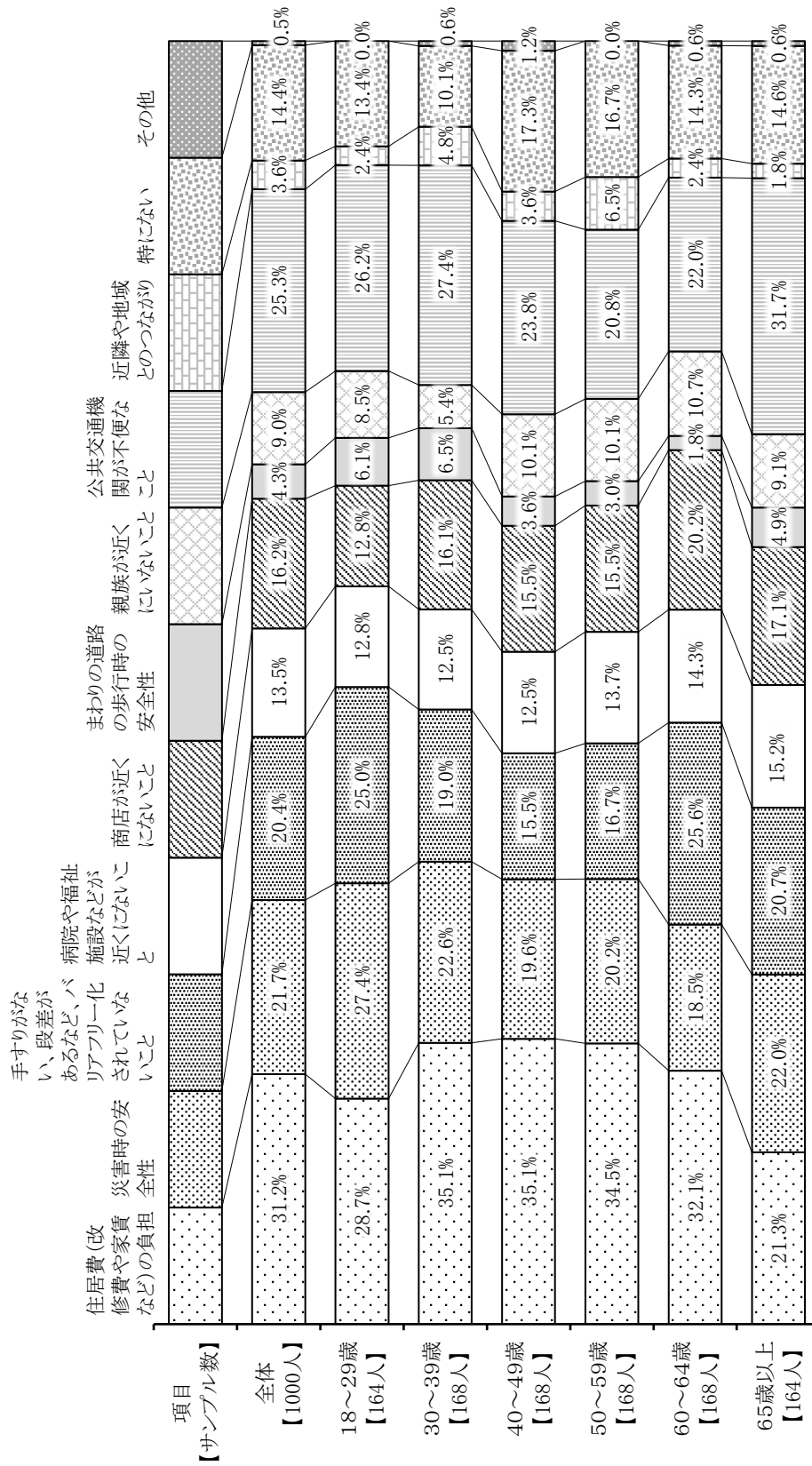
- 高齢となった時の住宅及びその地域についての不安では、「住居費(改修費や家賃など)の負担」が31.2%と最も多く、次いで「公共交通機関が不便なこと」が25.3%となった。
- 住宅形態別では、「住居費(改修費や家賃など)の負担」がマンション・アパート(賃貸)で37.3%と多くなっている。
- 地域別では、農山村集落で「病院や福祉施設などが近くにないこと」、「商店が近くにないこと」、「公共交通機関が不便なこと」が3割前後で他の地域より多くなっている。

問22 高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)のことを考えて、現在住んでいる住宅及びその地域について不安を感じることはありますか。次の中から2つ以内で選んでください。

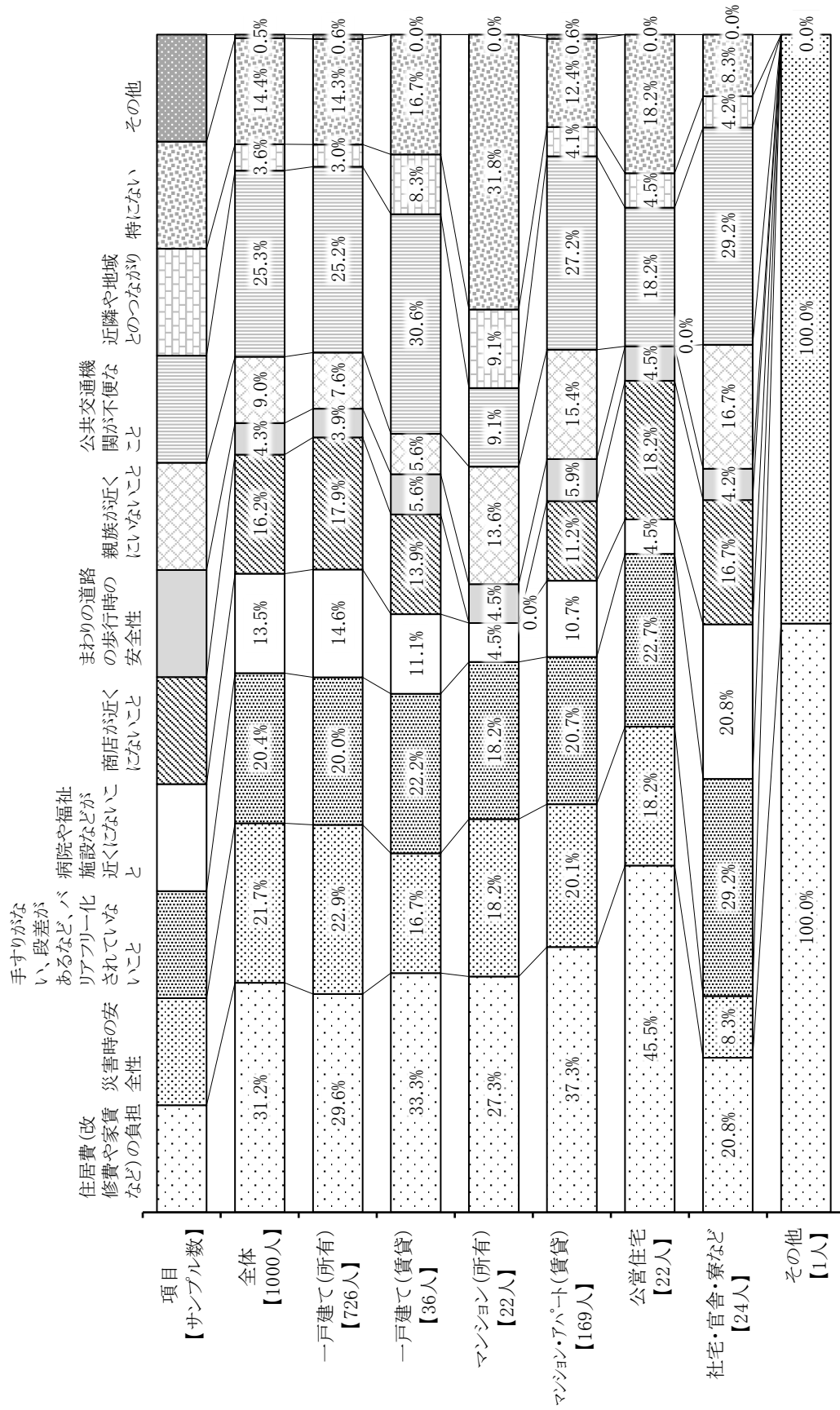
	回答者数	割合
1 住居費(改修費や家賃など)の負担	312人	31.2%
2 災害時の安全性	217人	21.7%
3 手すりがない、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと	204人	20.4%
4 病院や福祉施設などが近くにないこと	135人	13.5%
5 商店が近くにないこと	162人	16.2%
6 まわりの道路の歩行時の安全性	43人	4.3%
7 親族が近くにいないこと	90人	9.0%
8 公共交通機関が不便なこと	253人	25.3%
9 近隣や地域とのつながり	36人	3.6%
10 特にない	144人	14.4%
11 その他	5人	0.5%
サンプル数	1,000人	100.0%



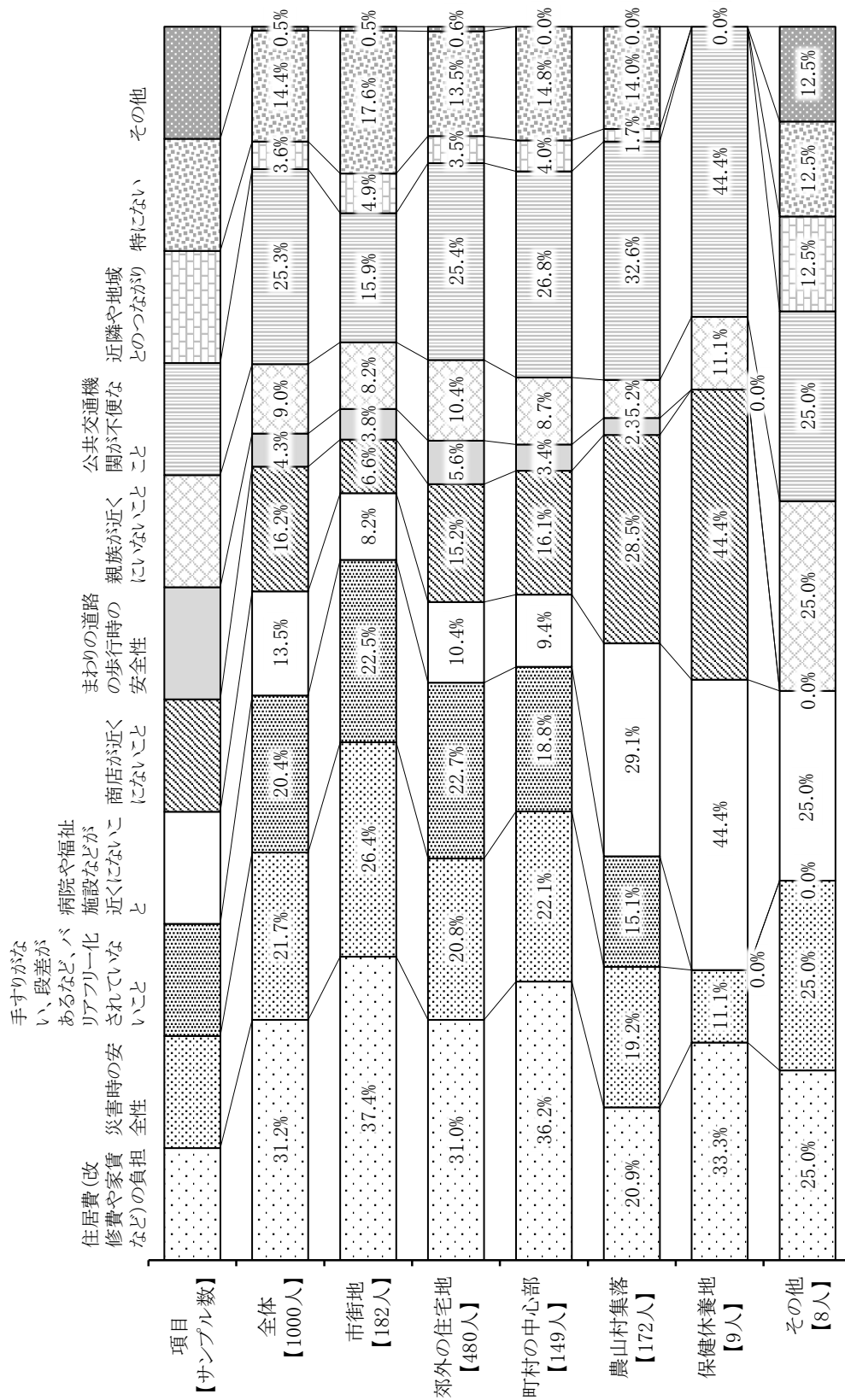
【年代別】



【住宅形態別】



【地域別】



問23 高齢者になったときの想定同居者

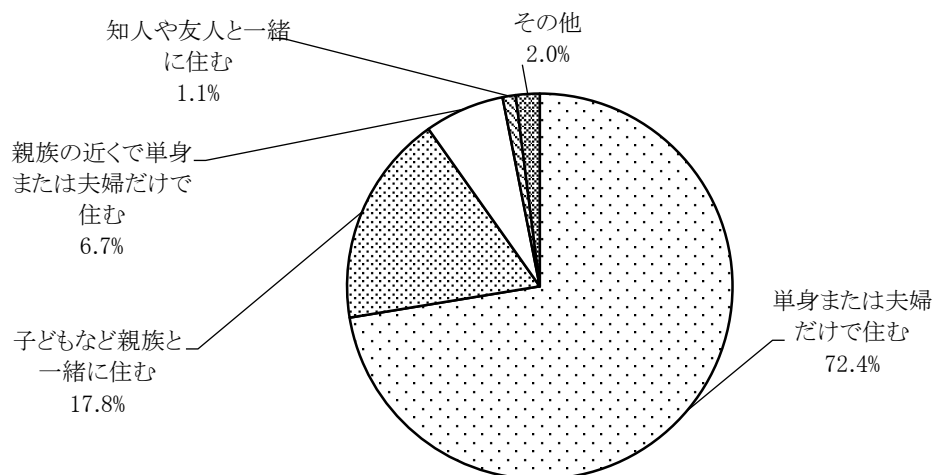
(H27調査 問36)

◆ 高齢になったときの想定同居者「単身または夫婦だけ」7割

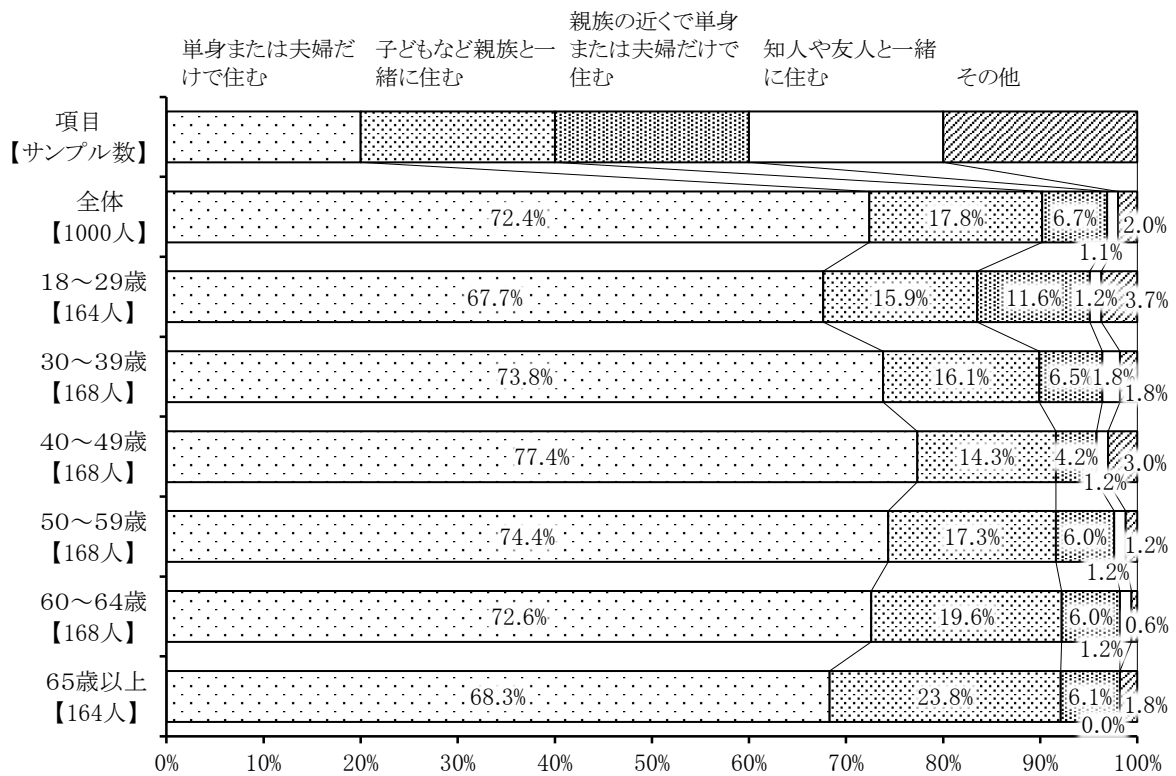
- 高齢者になったときの同居予定者について、「単身または夫婦だけで住む」が72.4%と最も多く、次いで「子どもなど親族と一緒に住む」が17.8%となった。
- 年代別では、「子どもなど親族と一緒に住む」は40代以降年代が上がるほど微増傾向にあり、65歳以上では23.8%となった。

問23 高齢者になったとき(現在高齢者の方も含まます。)、誰と一緒に住む予定ですか。

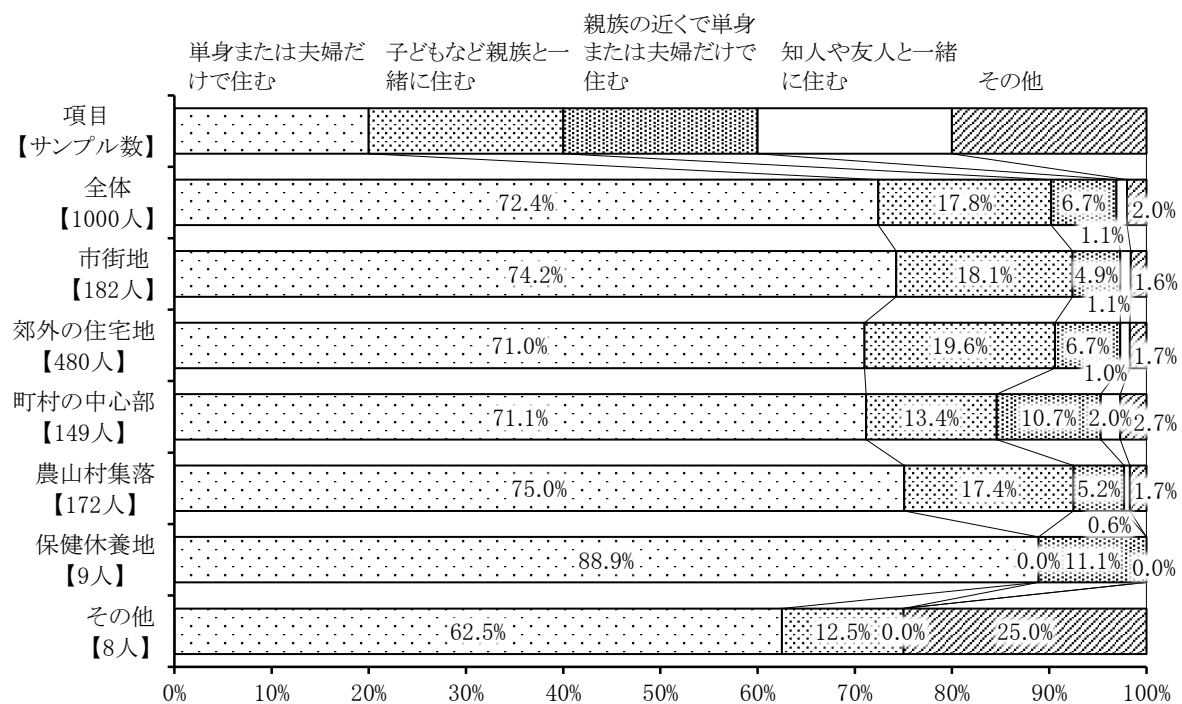
	回答者数	割合
1 単身または夫婦だけで住む	724人	72.4%
2 子どもなど親族と一緒に住む	178人	17.8%
3 親族の近くで単身または夫婦だけで住む	67人	6.7%
4 知人や友人と一緒に住む	11人	1.1%
5 その他	20人	2.0%
サンプル数	1,000人	100.0%



【年代別】



【地域別】



問24 空き家に対する不安・問題

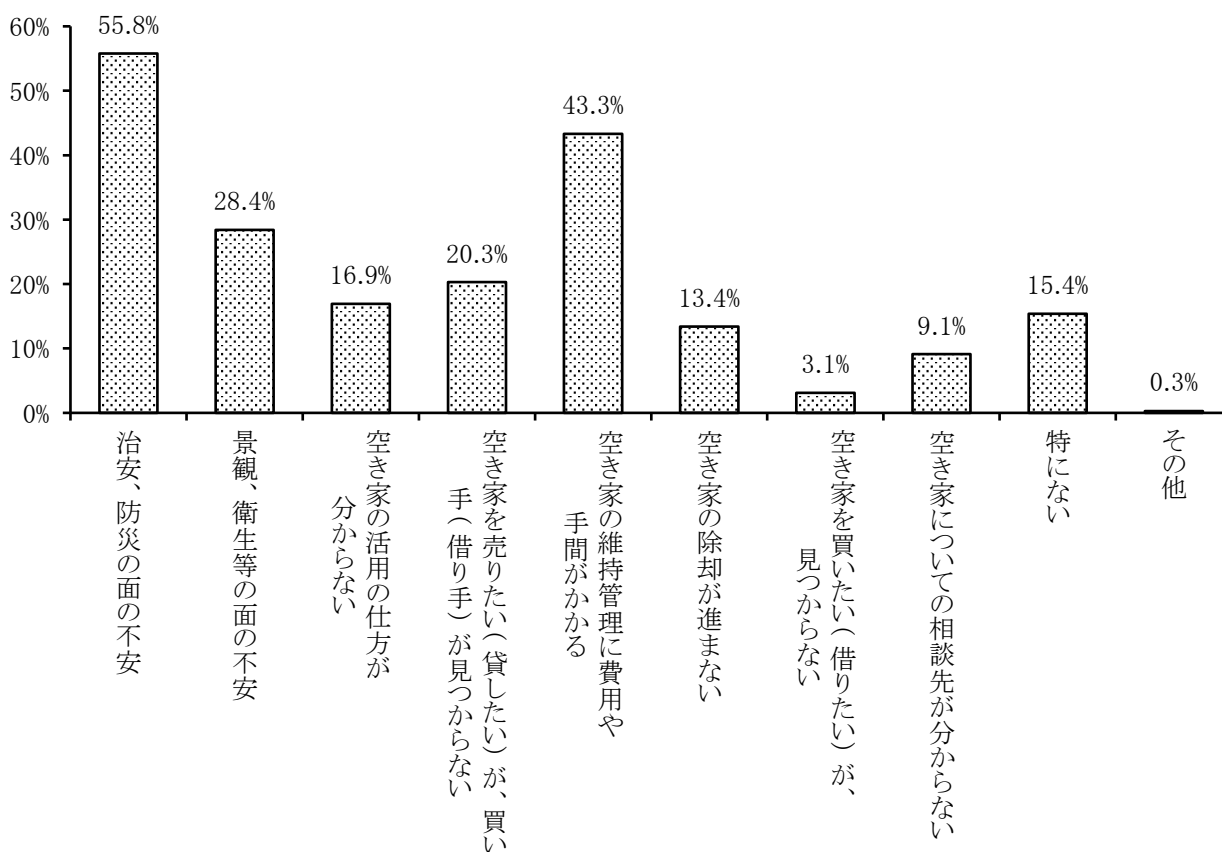
(H27調査 問46)

◆ 空き家に対する不安「治安、防災」5割半ば

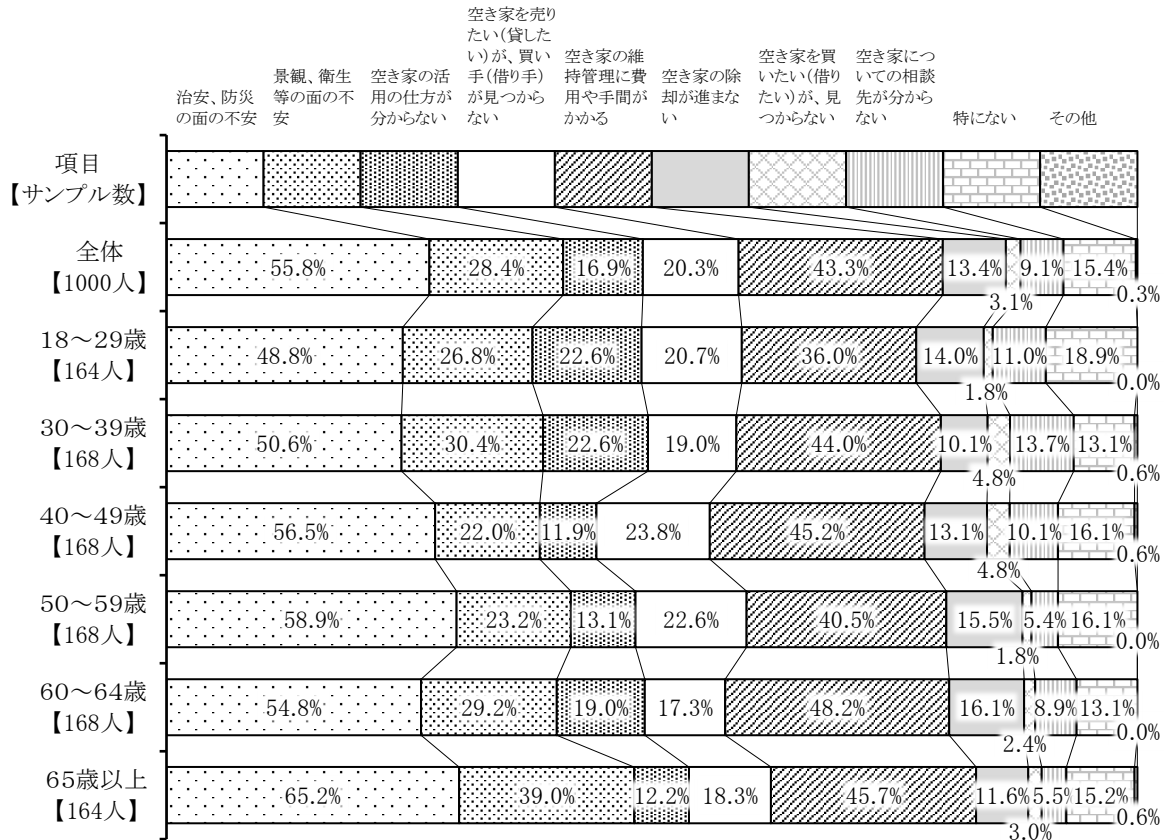
- 空き家がある場合に生じる不安や問題では、「治安、防災の面の不安」が55.8%で最も多い。次いで、「空き家の維持管理に費用や手間がかかる」が43.3%となった。
- 居住地域別では、「空き家を買いたい(借りたい)が、見つからない」が南信地区で25.6%と他の地区よりやや多い。

問24 空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。
(空き家を所有していない方は空き家を所有していると仮定して回答ください。)

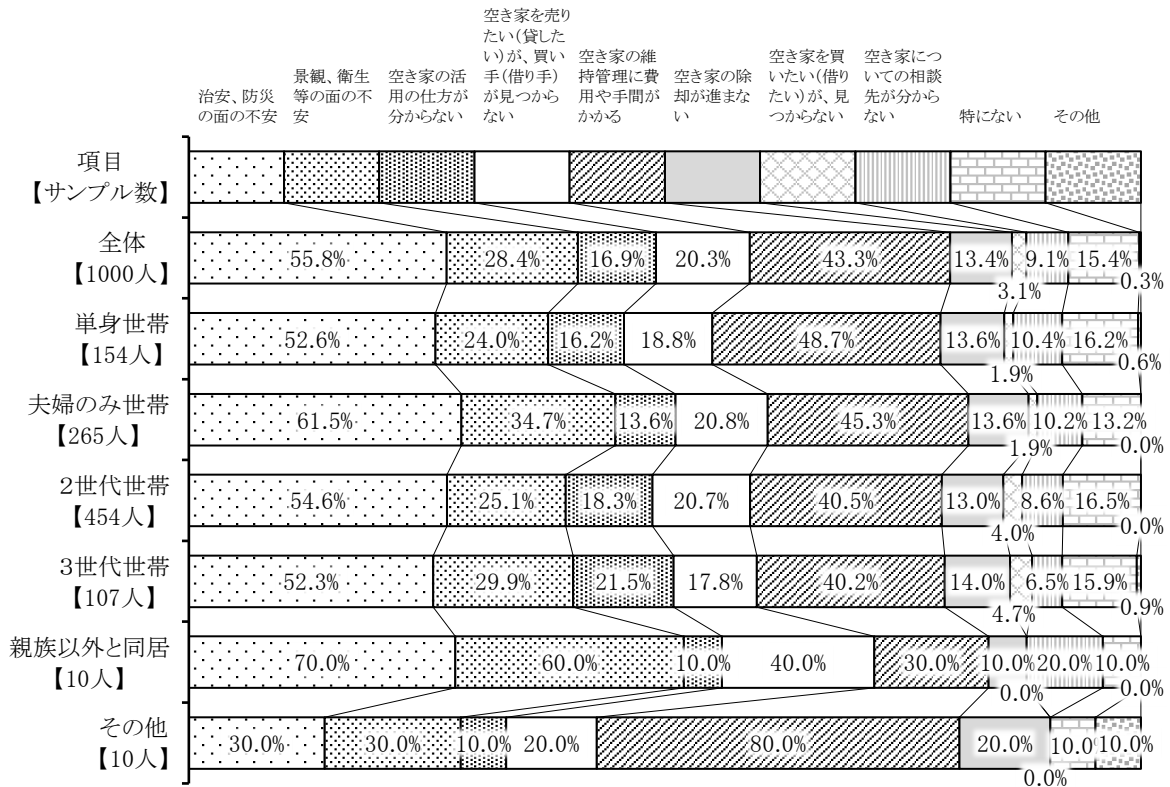
	回答者数	割合
1 治安、防災の面の不安	558人	55.8%
2 景観、衛生等の面の不安	284人	28.4%
3 空き家の活用の仕方が分からない	169人	16.9%
4 空き家を売りたい(貸したい)が、買い手(借り手)が見つからない	203人	20.3%
5 空き家の維持管理に費用や手間がかかる	433人	43.3%
6 空き家の除却が進まない	134人	13.4%
7 空き家を買いたい(借りたい)が、見つからない	31人	3.1%
8 空き家についての相談先が分からない	91人	9.1%
9 特になし	154人	15.4%
10 その他	3人	0.3%
サンプル数	1,000人	100.0%



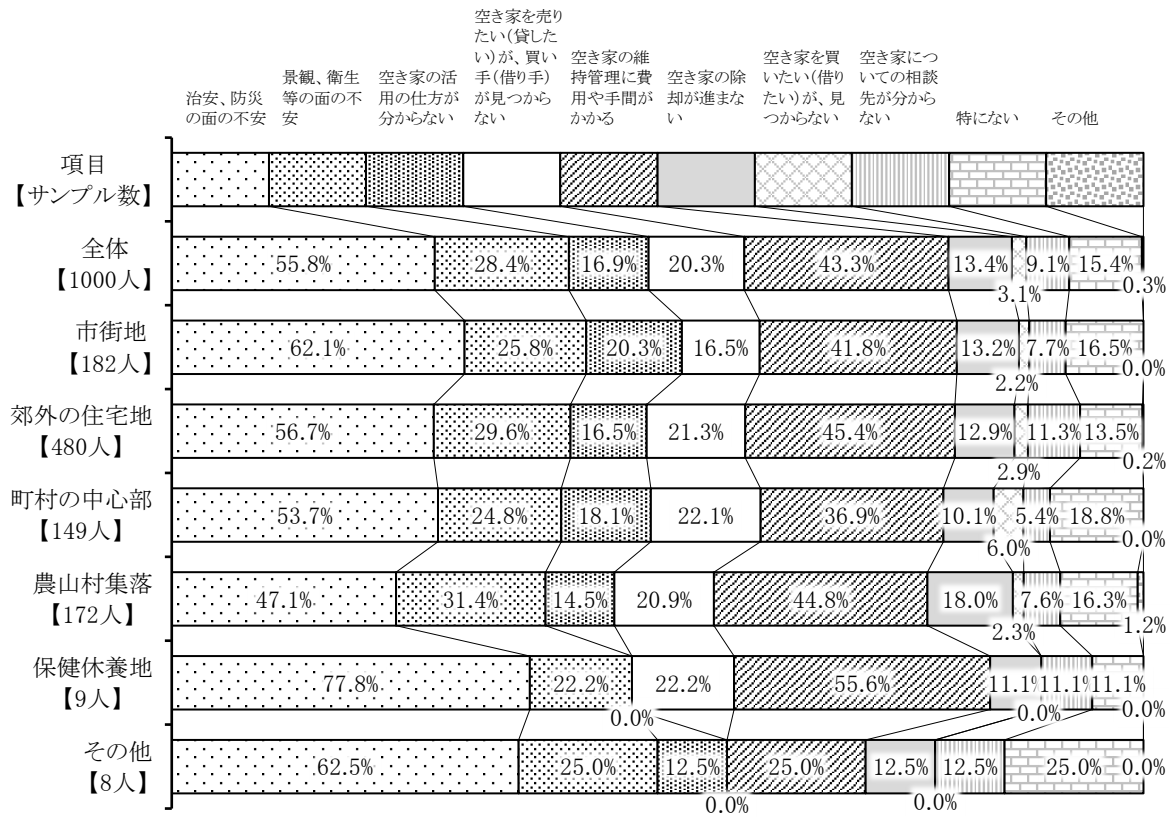
【年代別】



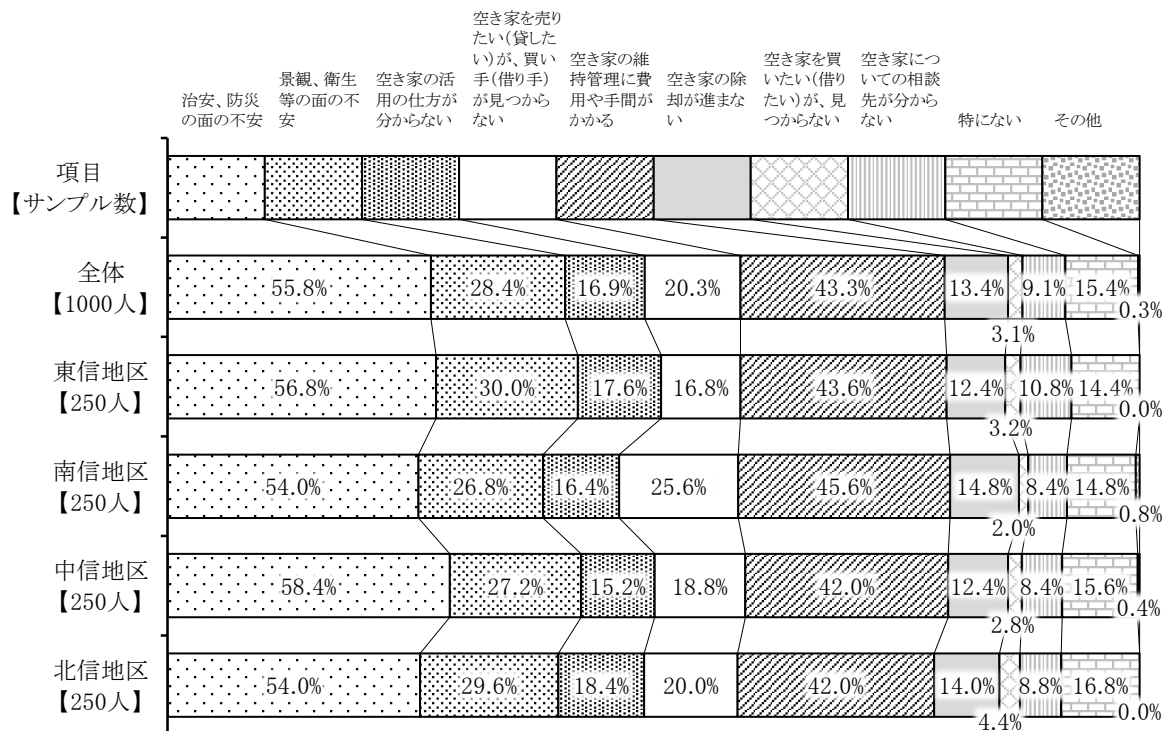
【世帯構成別】



【地域別】



【居住地域別】



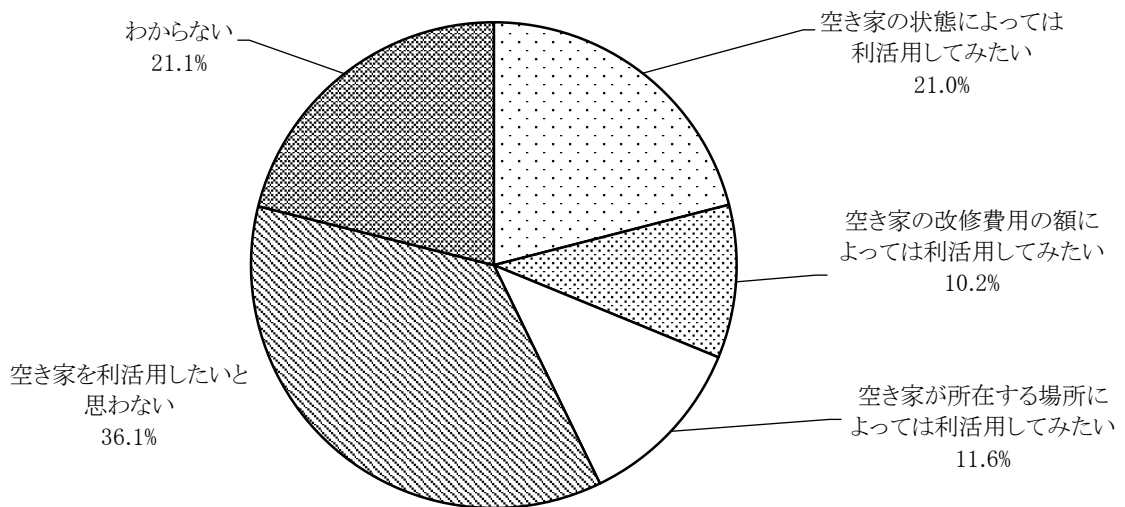
問25 空き家利活用の意向

◆ 空き家を『利活用してみたい』は4割

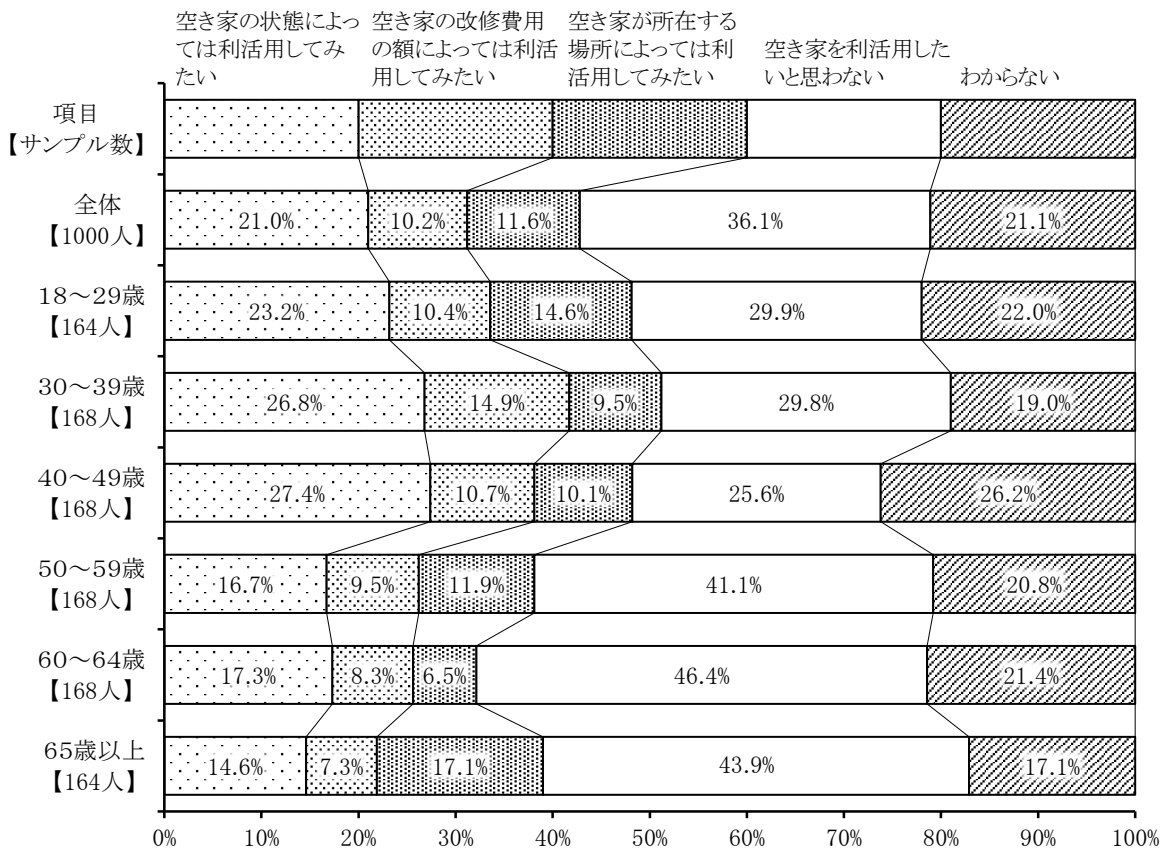
- 空き家の利活用意向では、「空き家の状態によっては利活用してみたい」(21.0%)と「空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい」(10.2%)と「空き家が所在する場所によっては利活用してみたい」(11.6%)をあわせた『利活用してみたい』は42.8%となった。一方、「利活用したいと思わない」は36.1%となった。
- 年代別では、20代から40代で『利活用してみたい』が多くなっている。

問25 あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。

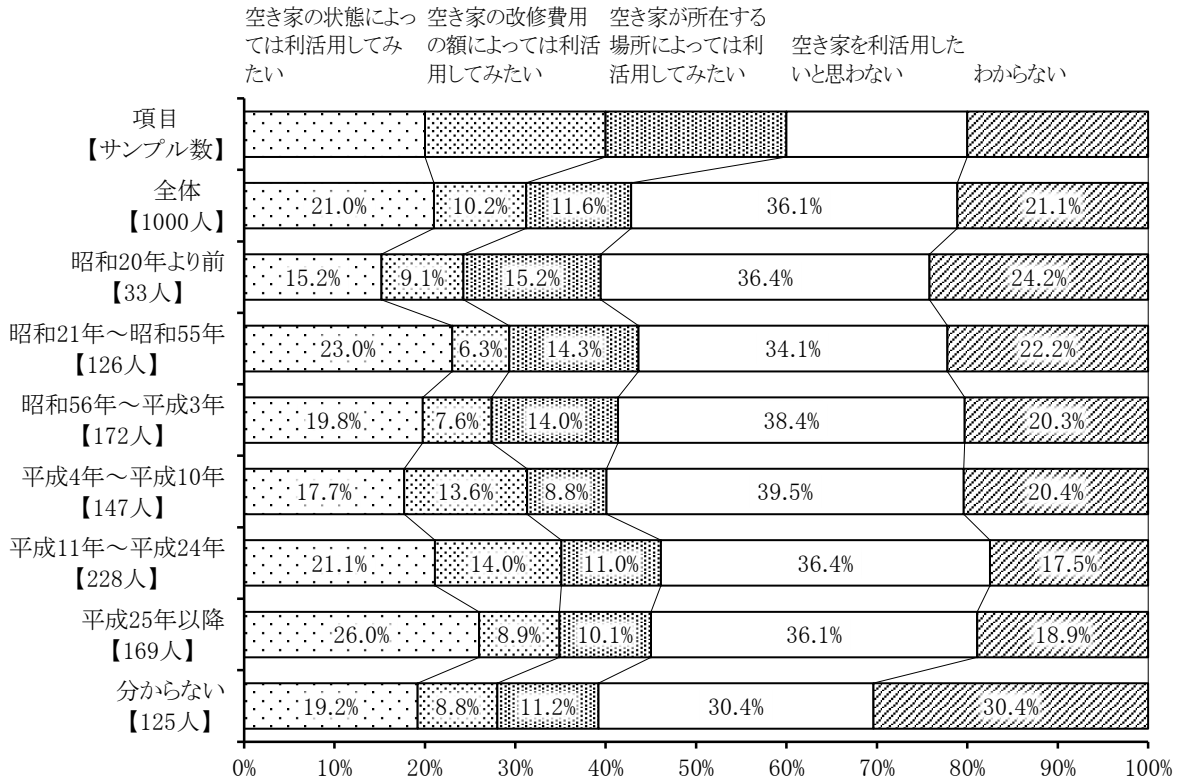
	回答者数	割合
1 空き家の状態によっては利活用してみたい	210人	21.0%
2 空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい	102人	10.2%
3 空き家が所在する場所によっては利活用してみたい	116人	11.6%
4 空き家を利活用したいと思わない	361人	36.1%
5 わからない	211人	21.1%
サンプル数	1,000人	100.0%



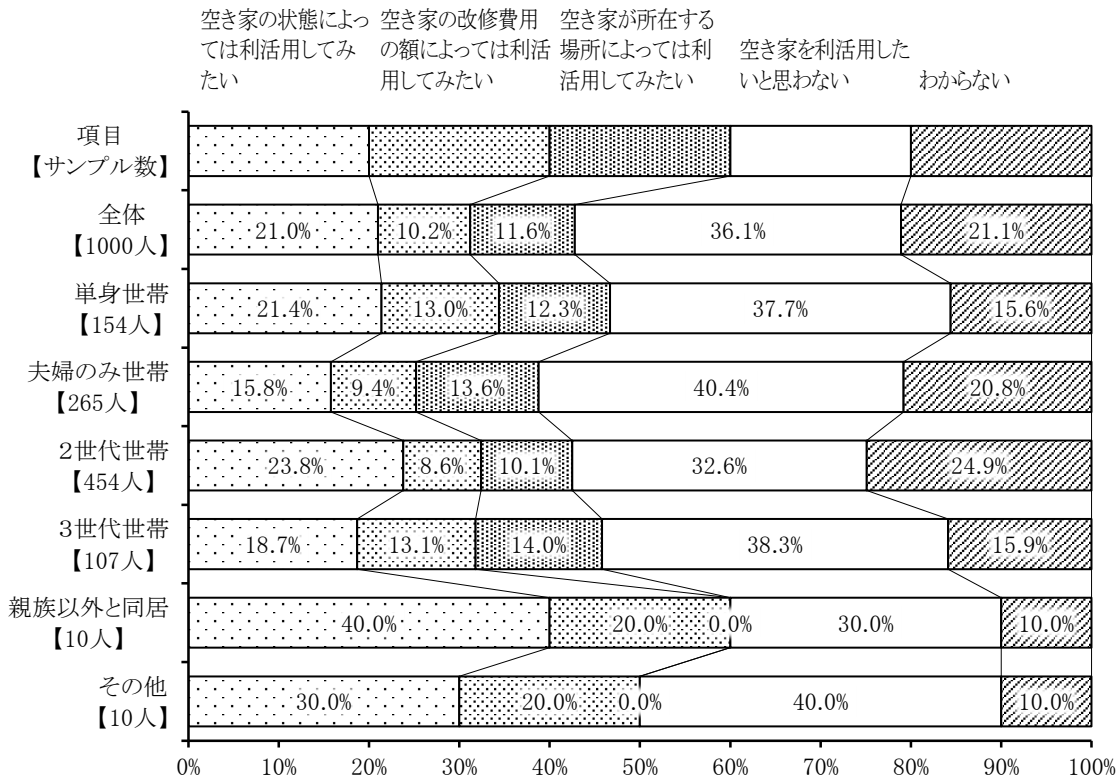
【年代別】



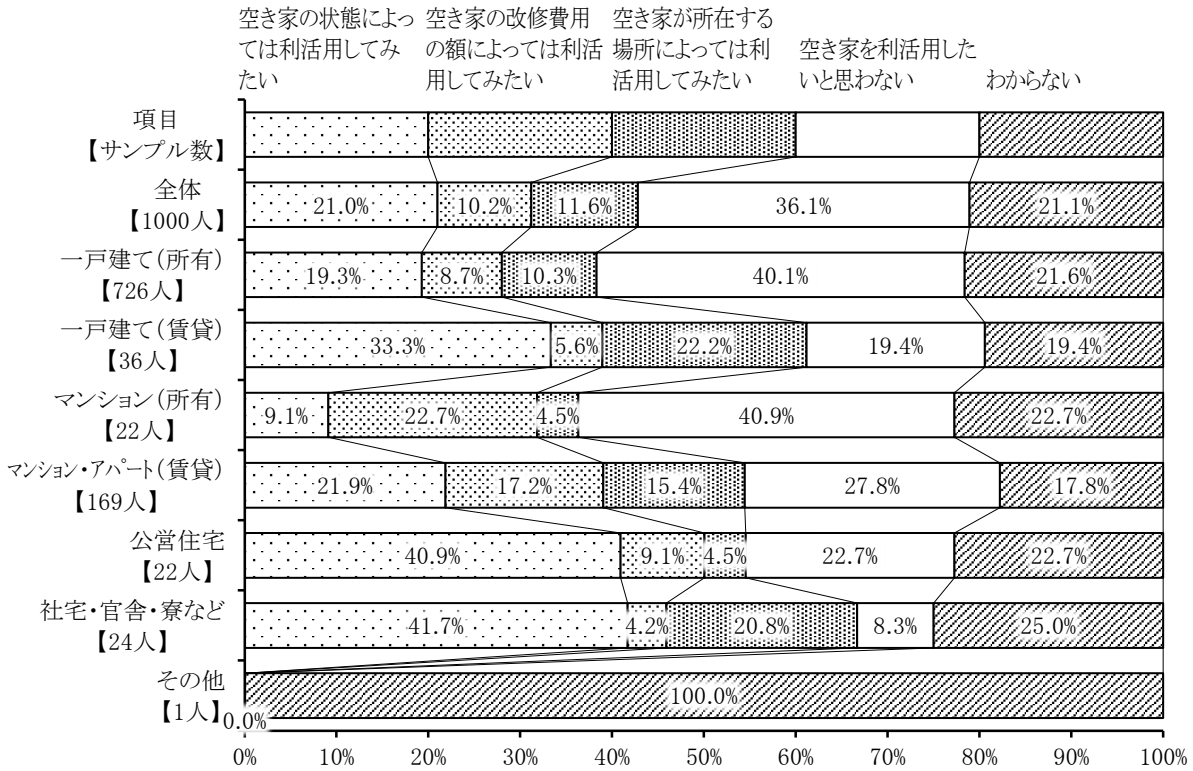
【築年数別】



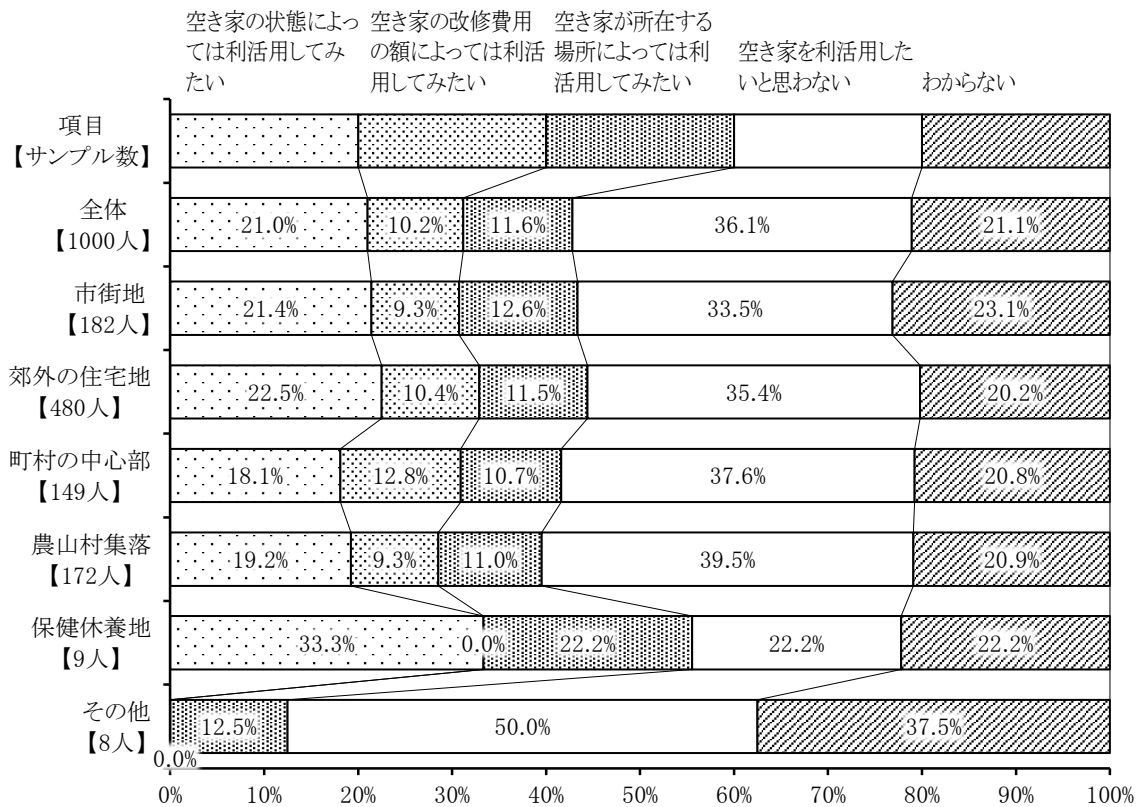
【世帯構成別】



【住宅形態別】



【地域別】



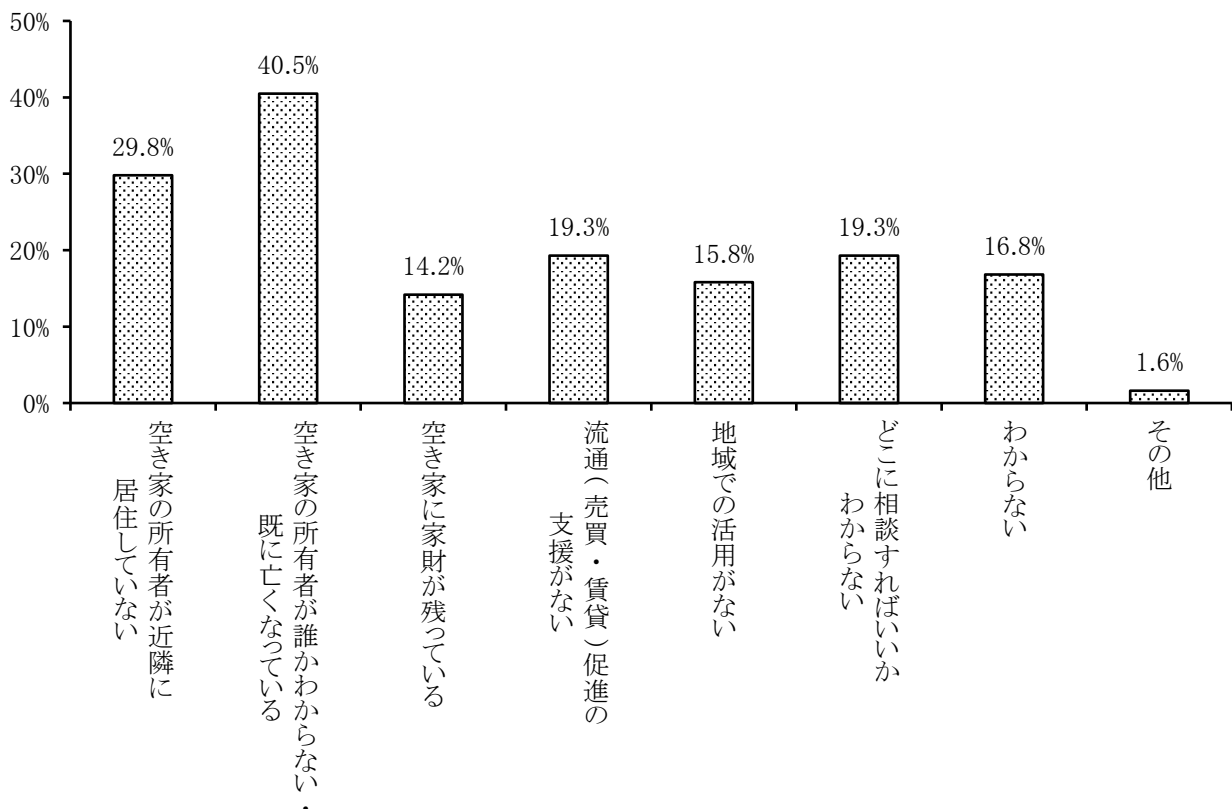
問26 空き家の利活用・除却が停滞する理由

◆ 空き家の利活用・除却が停滞する理由 「所有者がわからない・亡くなっている」4割

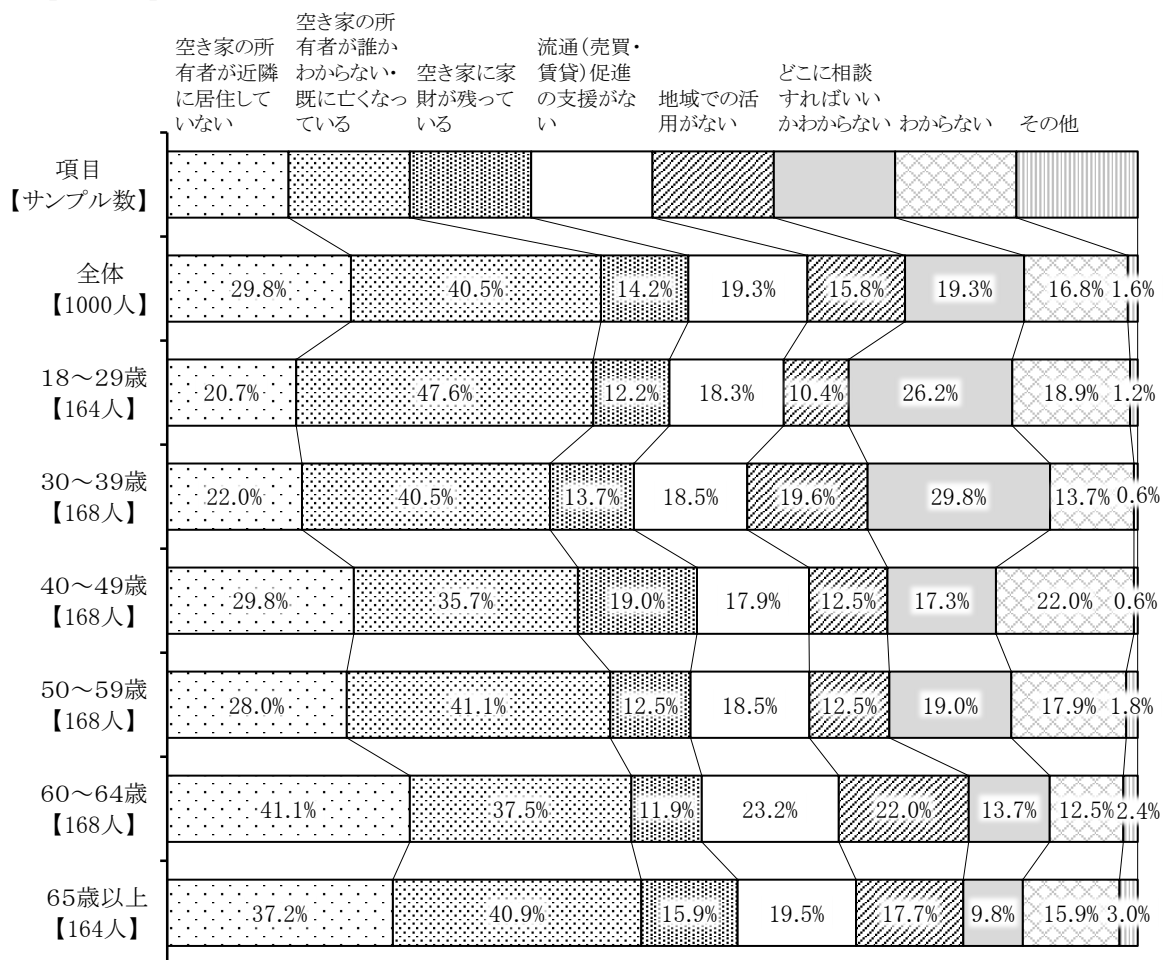
- 空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えるかでは、「空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっている」が40.5%と最も多かった。「空き家の所有者が近隣に居住していない」が29.8%と続き、空き家の所有者の不在・不明に関わるものが上位となった。
- 年代別では、「空き家の所有者が近隣に居住していない」が60代以上で4割前後と他の年代より多くなっている。

問26 空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えますか。次の中から2つ以内で選んでください。

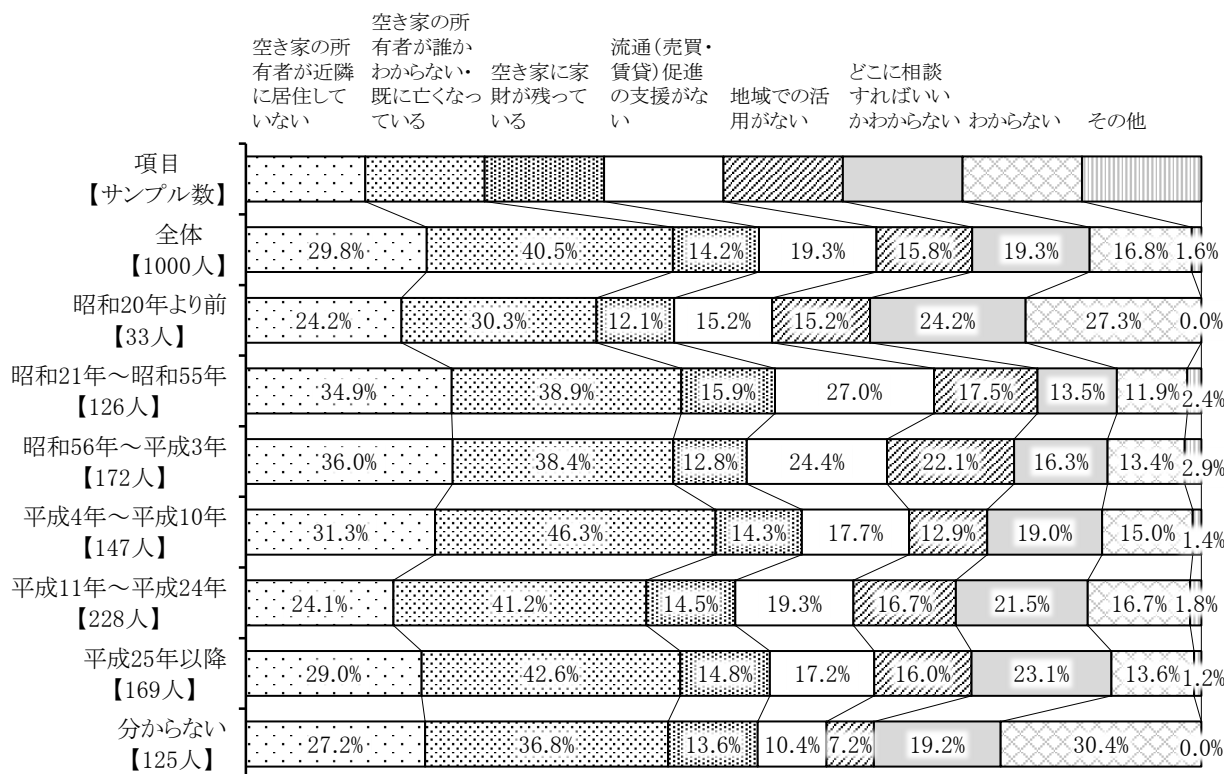
	回答者数	割合
1 空き家の所有者が近隣に居住していない	298人	29.8%
2 空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっている	405人	40.5%
3 空き家に家財が残っている	142人	14.2%
4 流通（売買・賃貸）促進の支援がない	193人	19.3%
5 地域での活用がない	158人	15.8%
6 どこに相談すればいいかわからない	193人	19.3%
7 わからない	168人	16.8%
8 その他	16人	1.6%
サンプル数	1,000人	100.0%



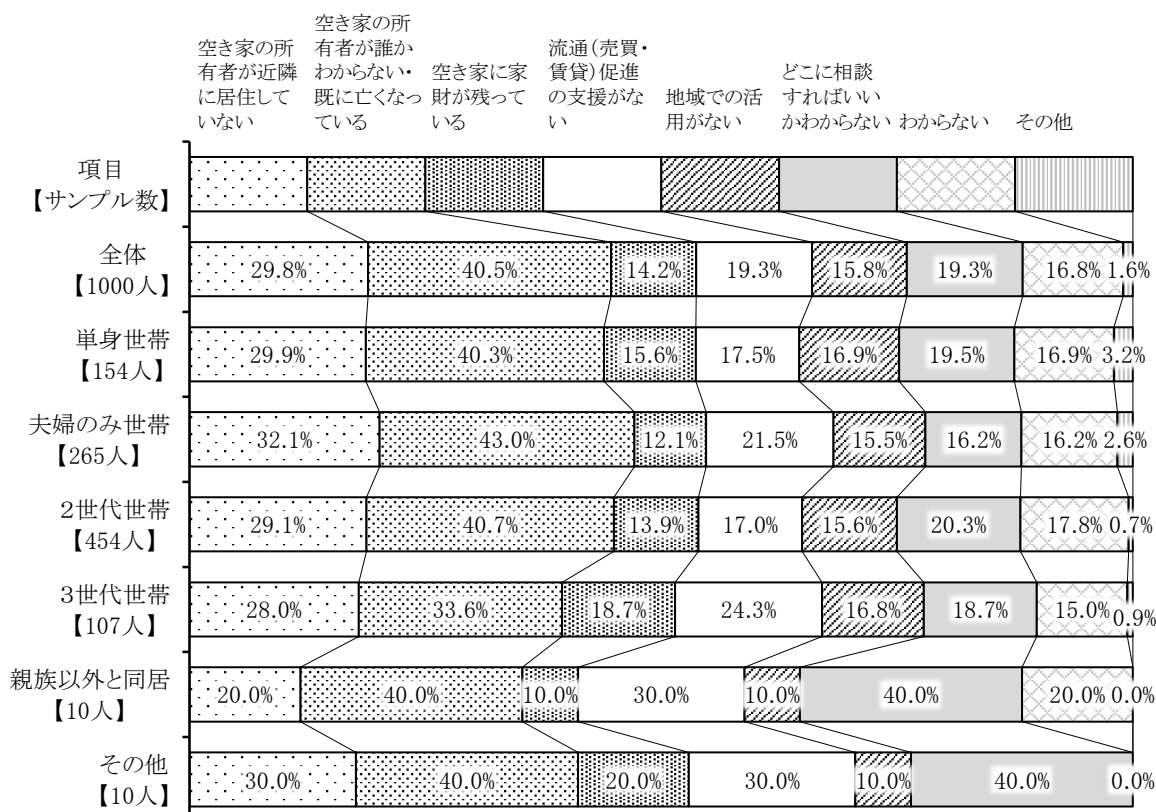
【年代別】



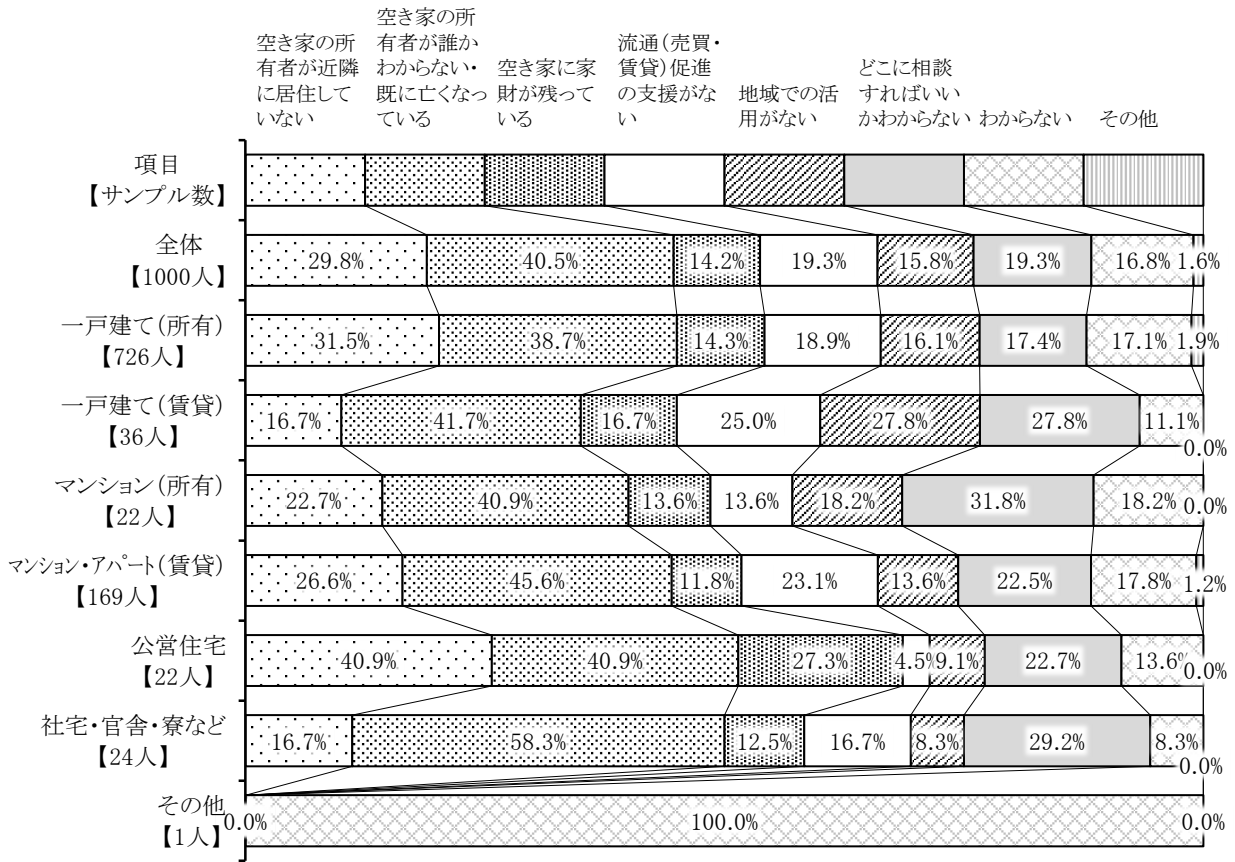
【築年数別】



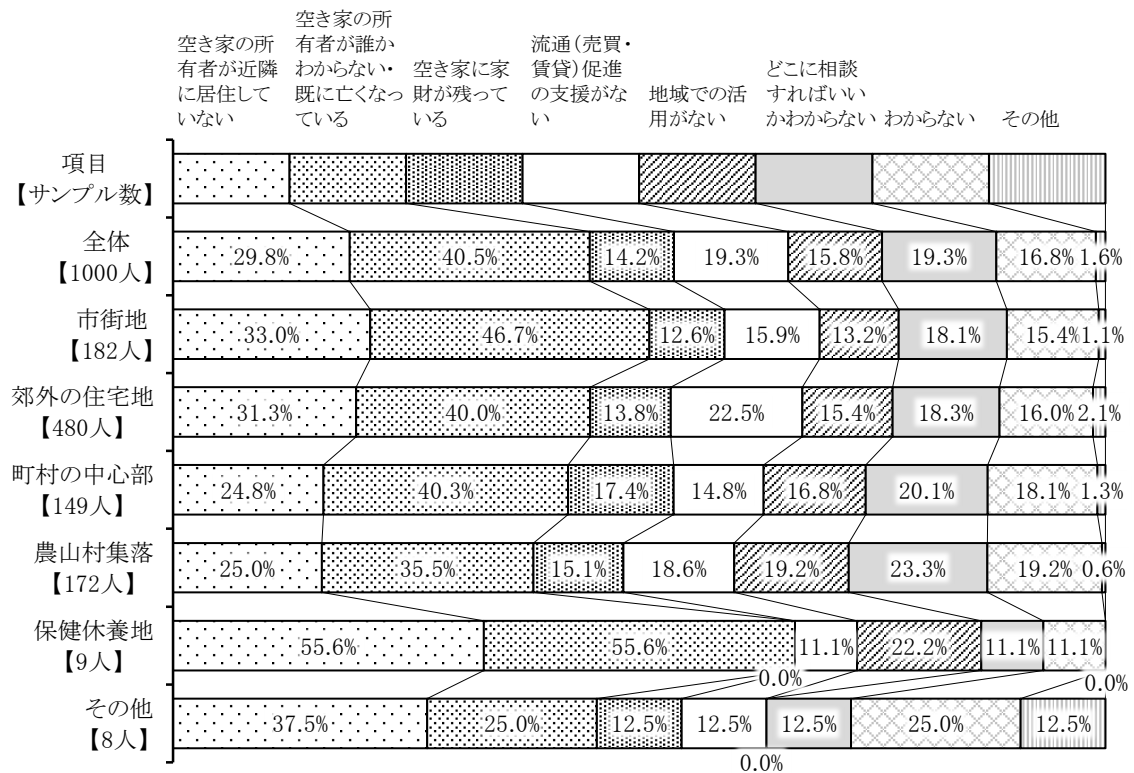
【世帯構成別】



【住宅形態別】

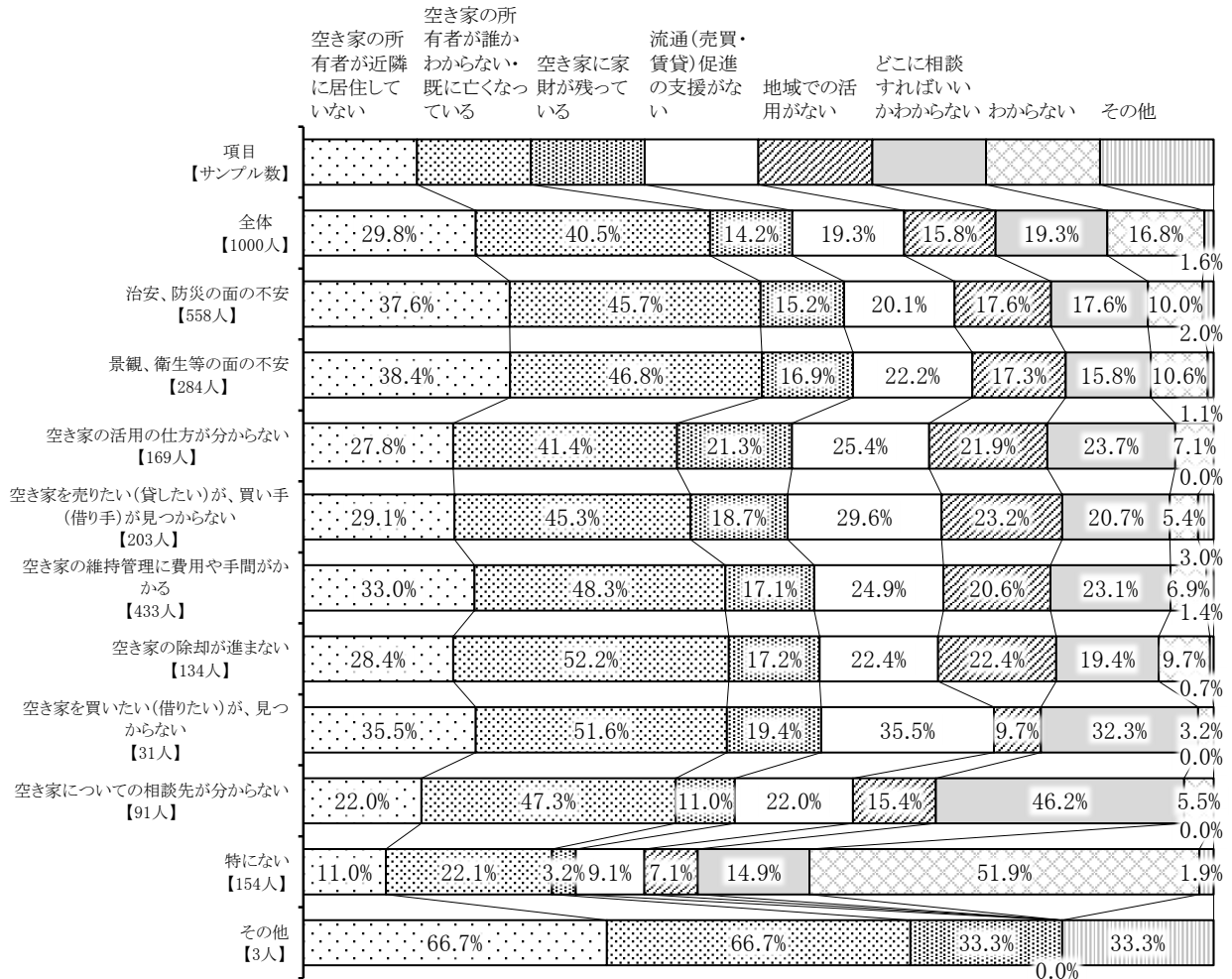


【地域別】



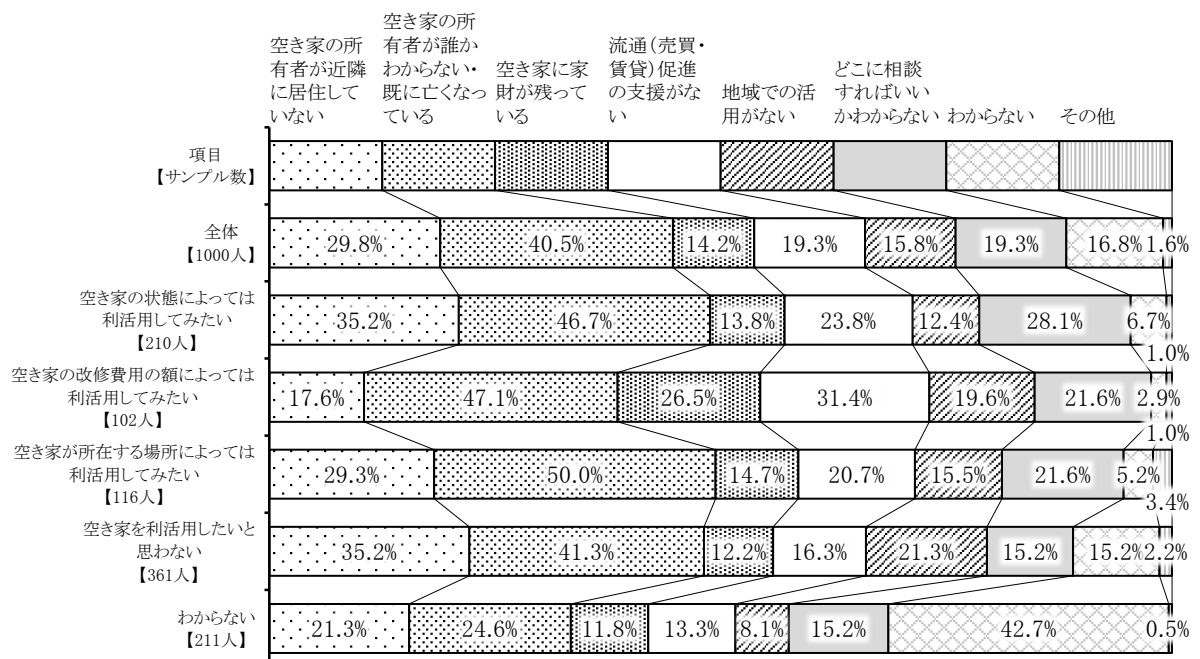
【設問クロス集計（問24）】

*問24 空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。



【設問間クロス（問25）】

*問25 あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。



問27 公営住宅供給量への意見

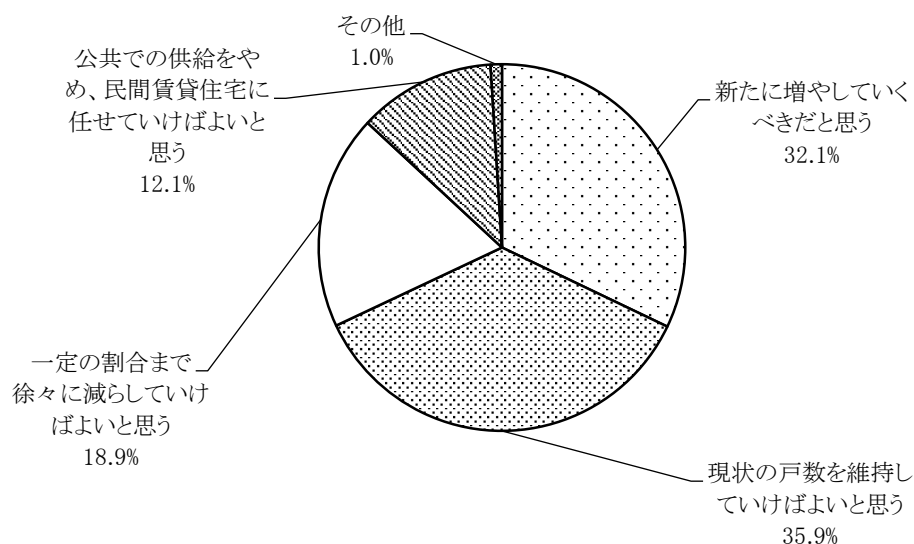
(H27調査 問37)

◆ 公営住宅の供給量「現状維持」、「増やしていくべき」3割台

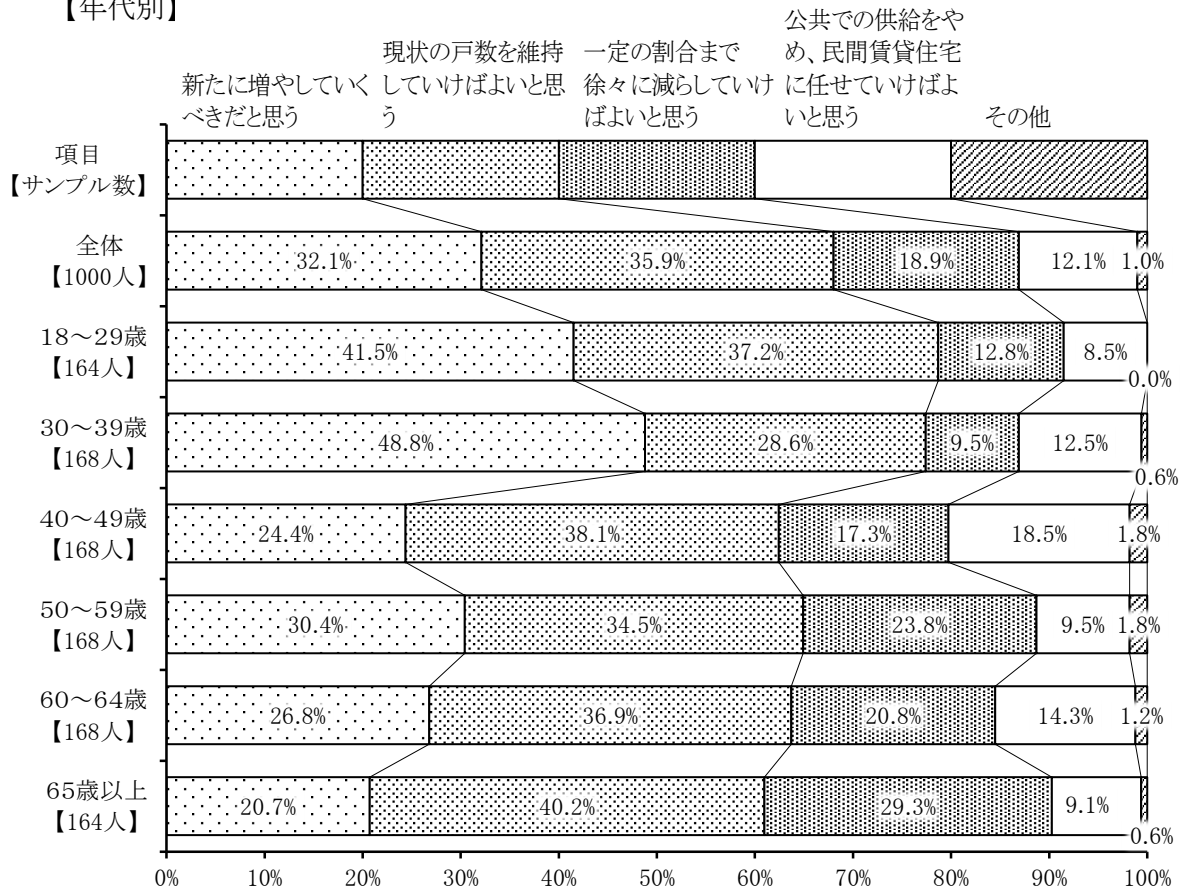
- 公営住宅全体の供給量への意見では、「現状の戸数を維持していけばよいと思う」が35.9%、僅差で「新たに増やしていくべきだと思う」が32.1%となった。
- 年代別では、20代から30代で「新たに増やしていくべきだと思う」が4割台と多い。
- 地域別では、市街地で「新たに増やしていくべきだと思う」が40.1%と多い。

問27 公営住宅は、住宅にお困りで一定の収入以下の方に、低廉な家賃で住宅を賃貸することを目的としており、住宅のセーフティネットの役割を大きく担っているところです。あなたは、このような現状の中、今後の公営住宅の供給量(戸数)をどのようにしたらよいと思いますか。

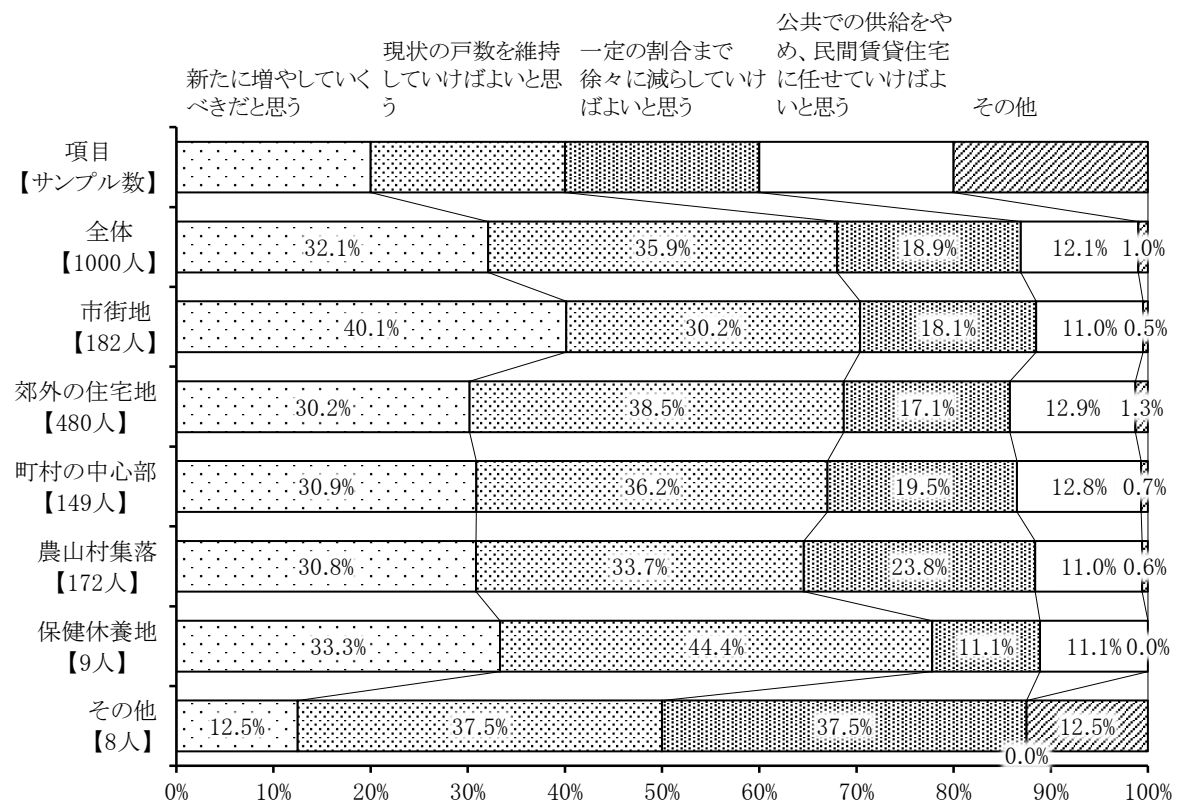
	回答者数	割合
1 新たに増やしていくべきだと思う	321人	32.1%
2 現状の戸数を維持していけばよいと思う	359人	35.9%
3 一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う	189人	18.9%
4 公共での供給をやめ、民間賃貸住宅に任せていけばよいと思う	121人	12.1%
5 その他	10人	1.0%
サンプル数	1,000人	100.0%



【年代別】



【地域別】



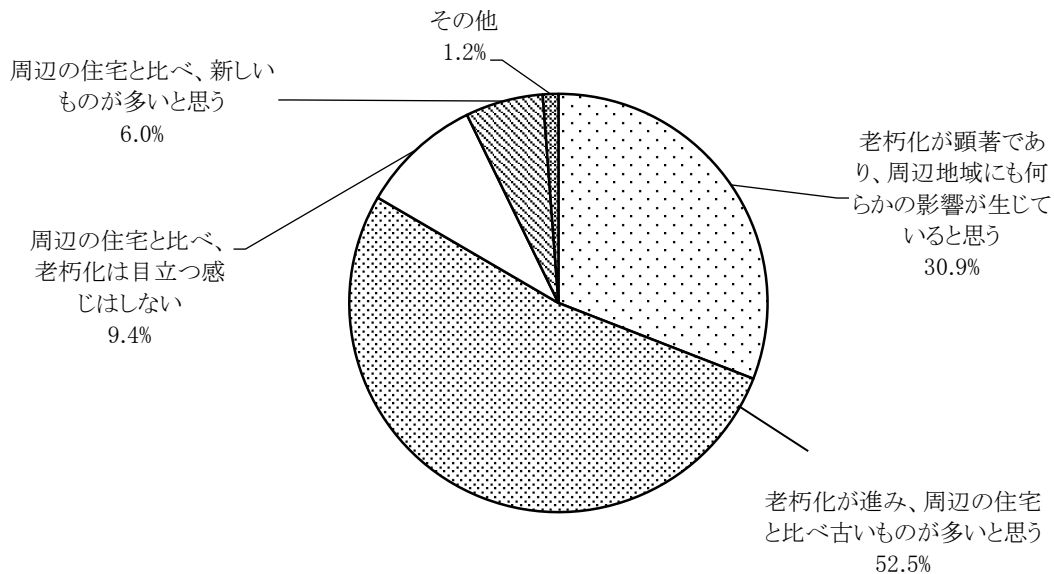
問28 昭和30～40年代建設の公営住宅への意見

◆ 公営住宅について「周辺の住宅と比べ古いものが多い」5割

- 昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くある公営住宅について、「老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う」が52.5%、「老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う」が30.9%と約8割が老朽化を感じている。

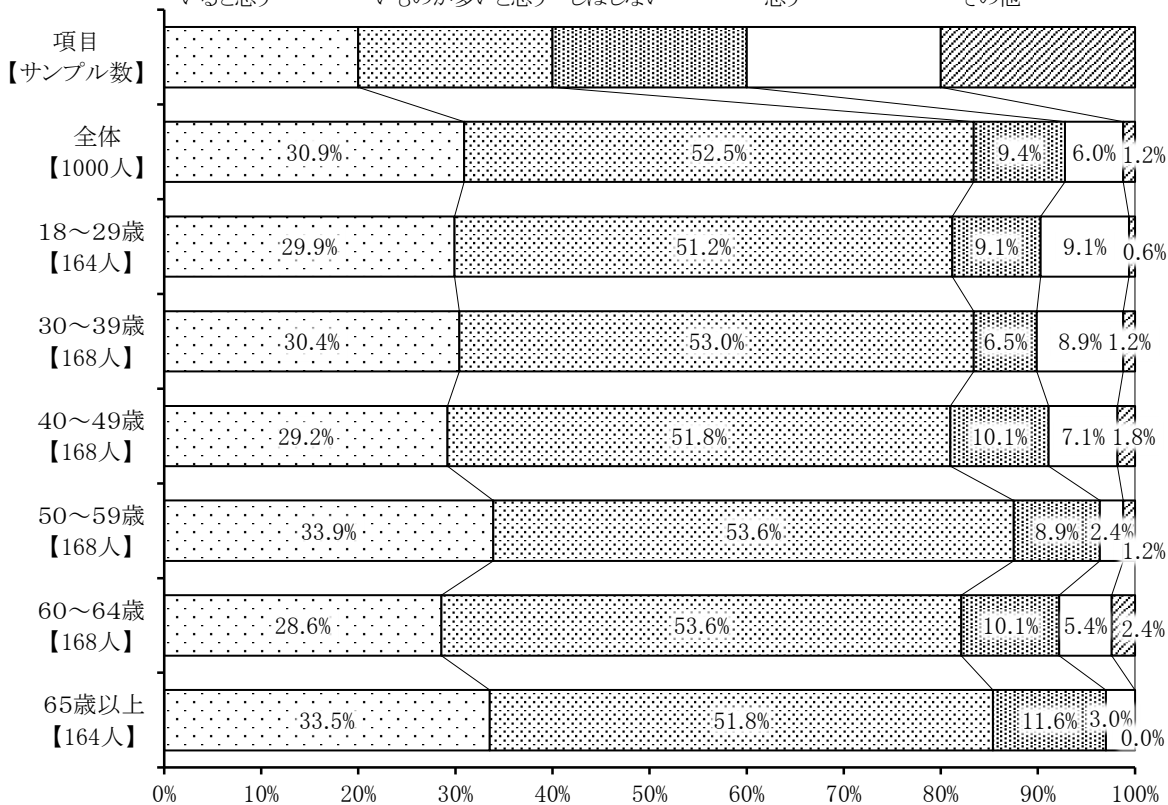
問28 公営住宅は、昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くあります。
あなたは、公営住宅の現状をどのように感じますか。

	回答者数	割合
1 老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う	309人	30.9%
2 老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う	525人	52.5%
3 周辺の住宅と比べ、老朽化は目立つ感じはしない	94人	9.4%
4 周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う	60人	6.0%
5 その他	12人	1.2%
サンプル数	1,000人	100.0%

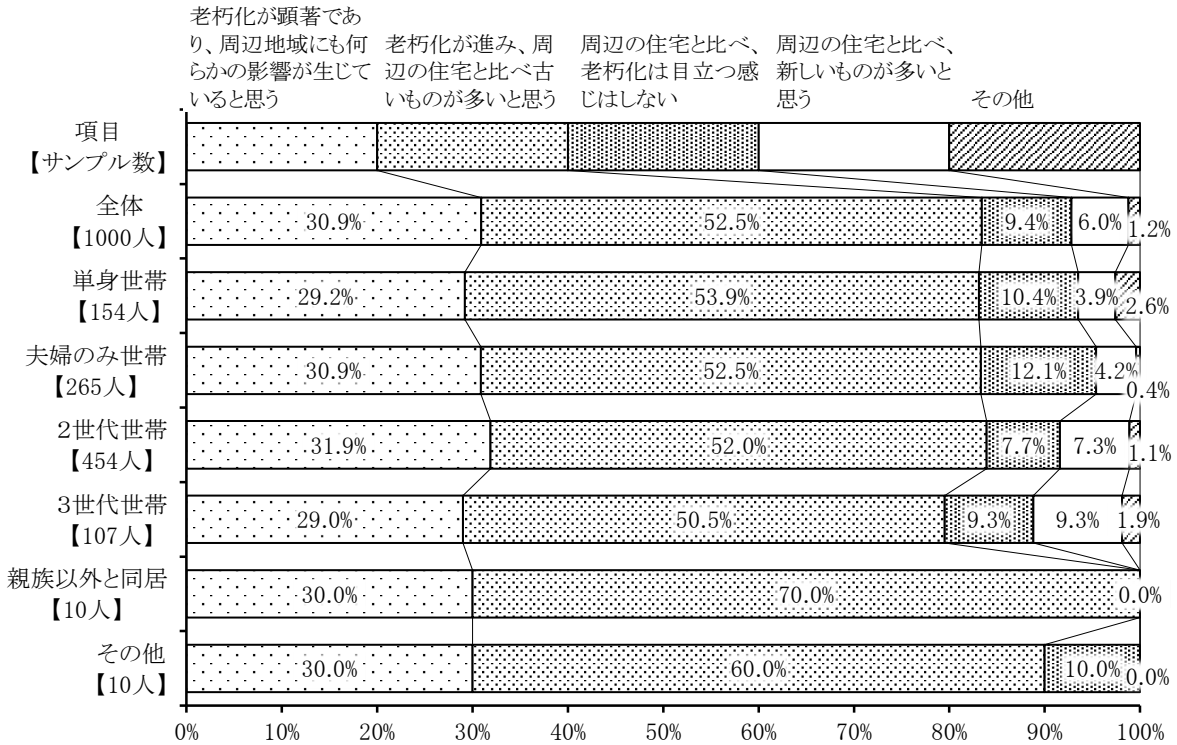


【年代別】

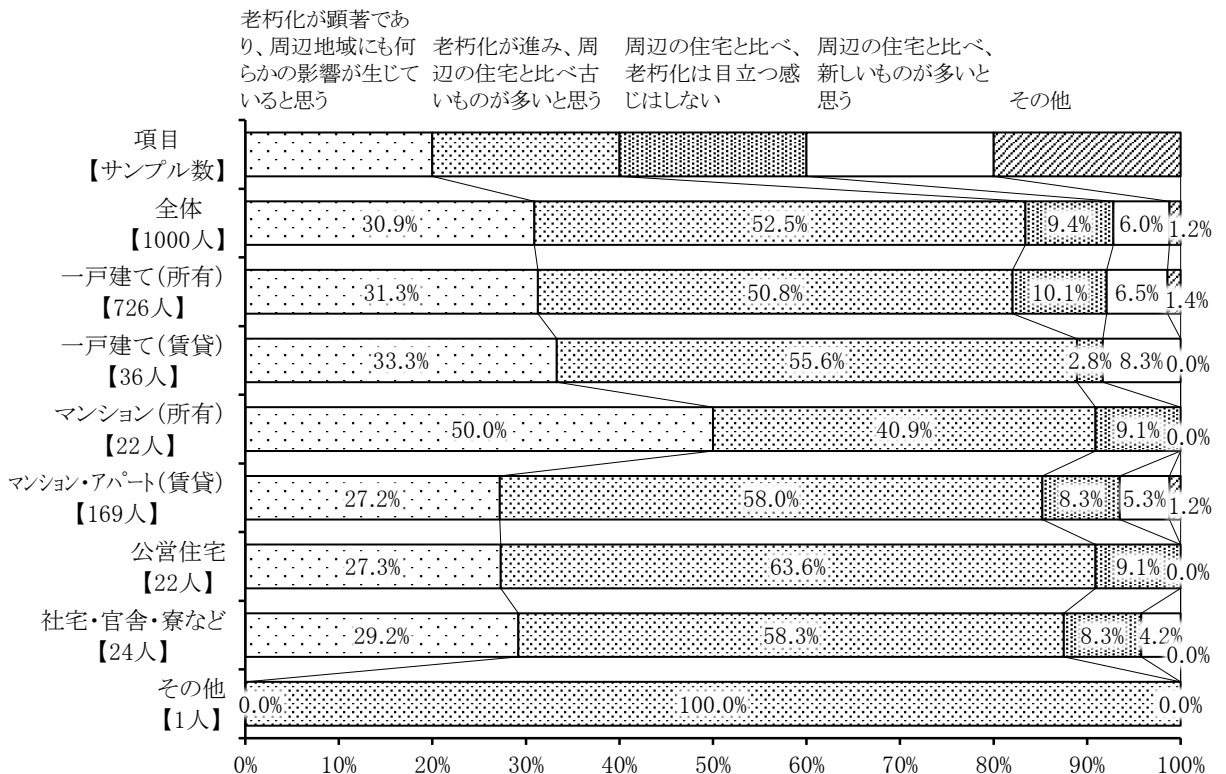
老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う
 老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う
 周辺の住宅と比べ、老朽化は目立つ感じはしない
 周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う
 その他



【世帯構成別】



【住宅形態別】



問29 賃貸住宅契約時に重視すること

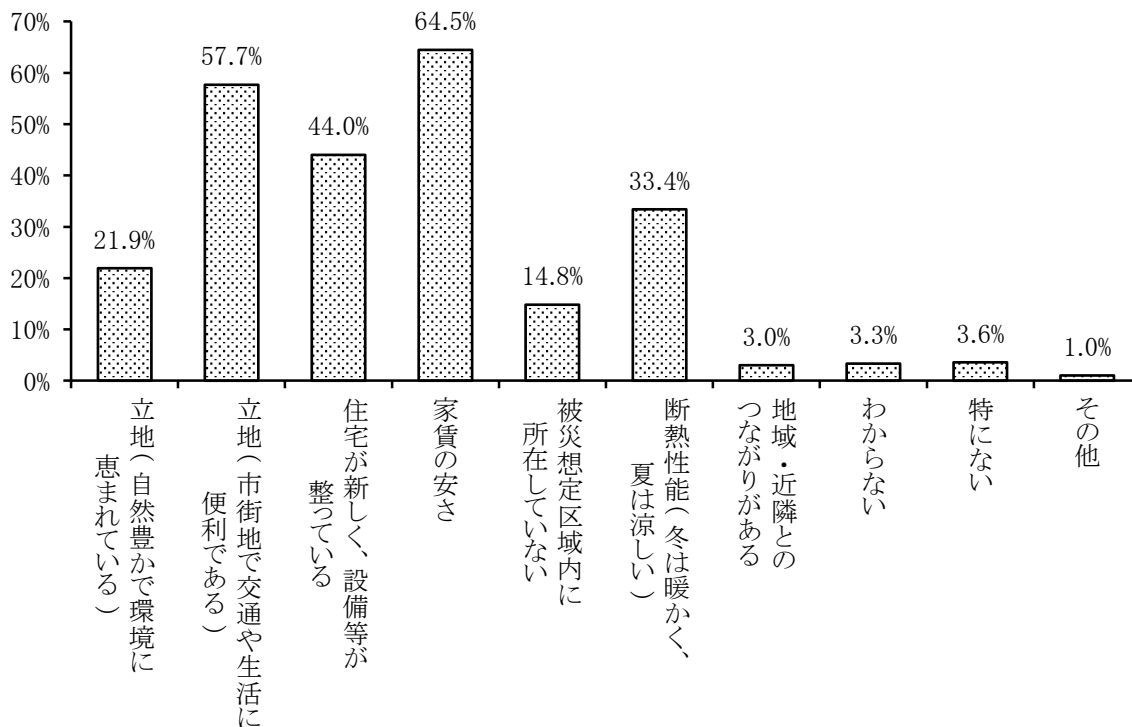
◆ 賃貸住宅の重視点

「家賃の安さ」、「立地(交通や生活に便利)」が6割前後

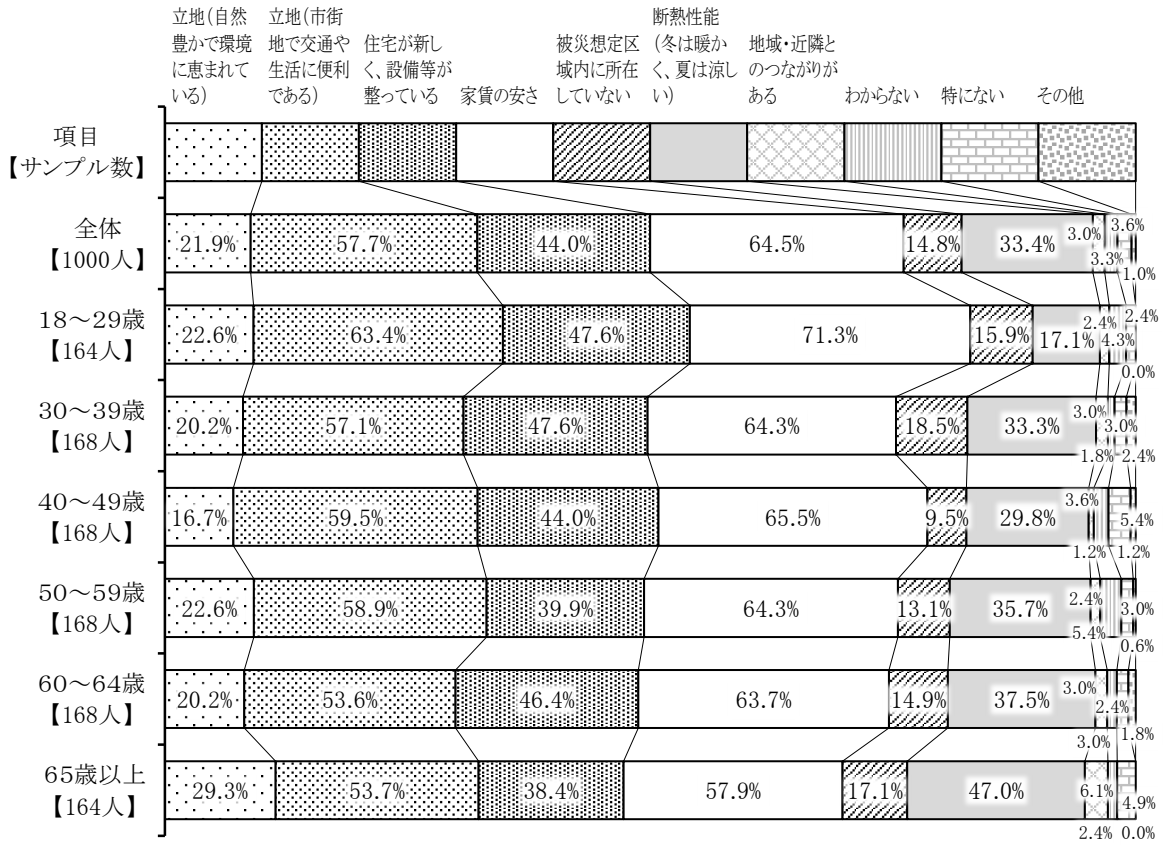
- 賃貸住宅を借りる場合の重視点は、「家賃の安さ」が64.5%と最も多く、次いで「立地(市街地で交通や生活に便利である)」が57.7%となった。
- 年代別では、20代で「家賃の安さ」(71.3%)と「立地(市街地で交通や生活に便利である)」(63.4%)が他の年代より多くなっている。65歳以上では、「断熱性能(冬は暖かく、夏は涼しい)」が47.0%と多くなっている。

問29 賃貸住宅を借りる場合に、何を重視しますか。次の中から3つ以内で選んでください。

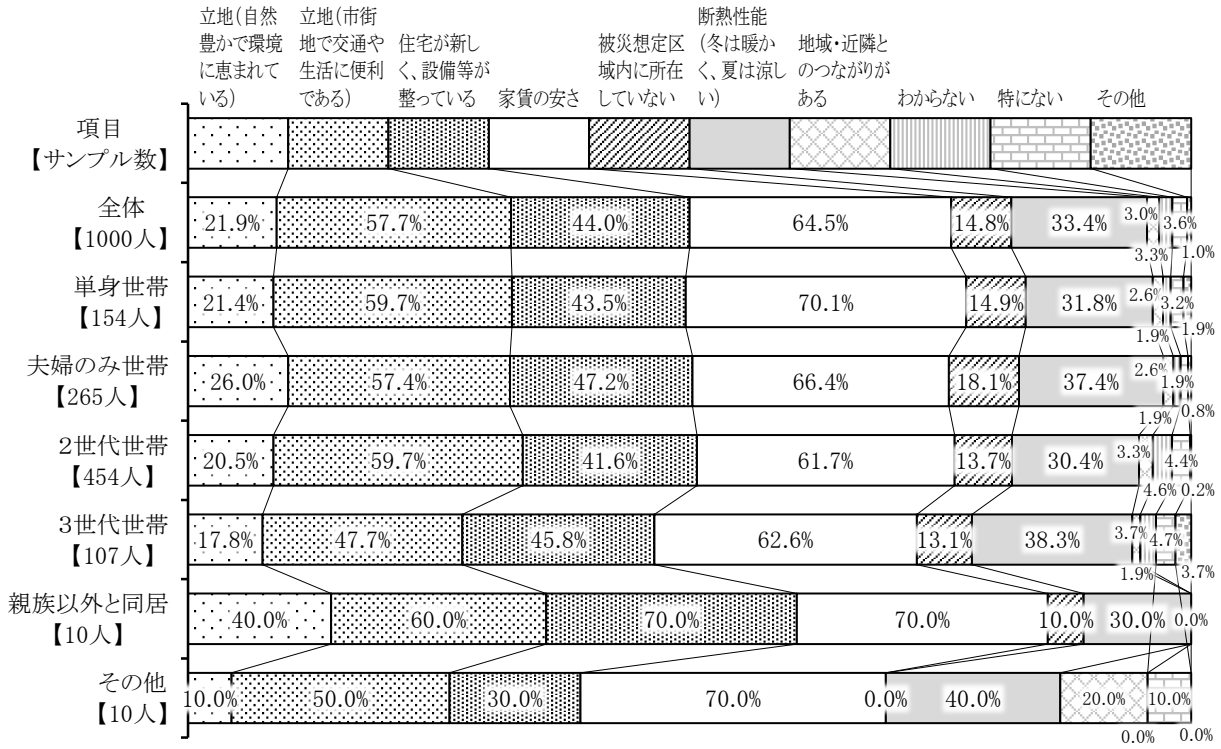
	回答者数	割合
1 立地(自然豊かで環境に恵まれている)	219人	21.9%
2 立地(市街地で交通や生活に便利である)	577人	57.7%
3 住宅が新しく、設備等が整っている	440人	44.0%
4 家賃の安さ	645人	64.5%
5 被災想定区域内に所在していない	148人	14.8%
6 断熱性能(冬は暖かく、夏は涼しい)	334人	33.4%
7 地域・近隣とのつながりがある	30人	3.0%
8 わからない	33人	3.3%
9 特にない	36人	3.6%
10 その他	10人	1.0%
サンプル数	1,000人	100.0%



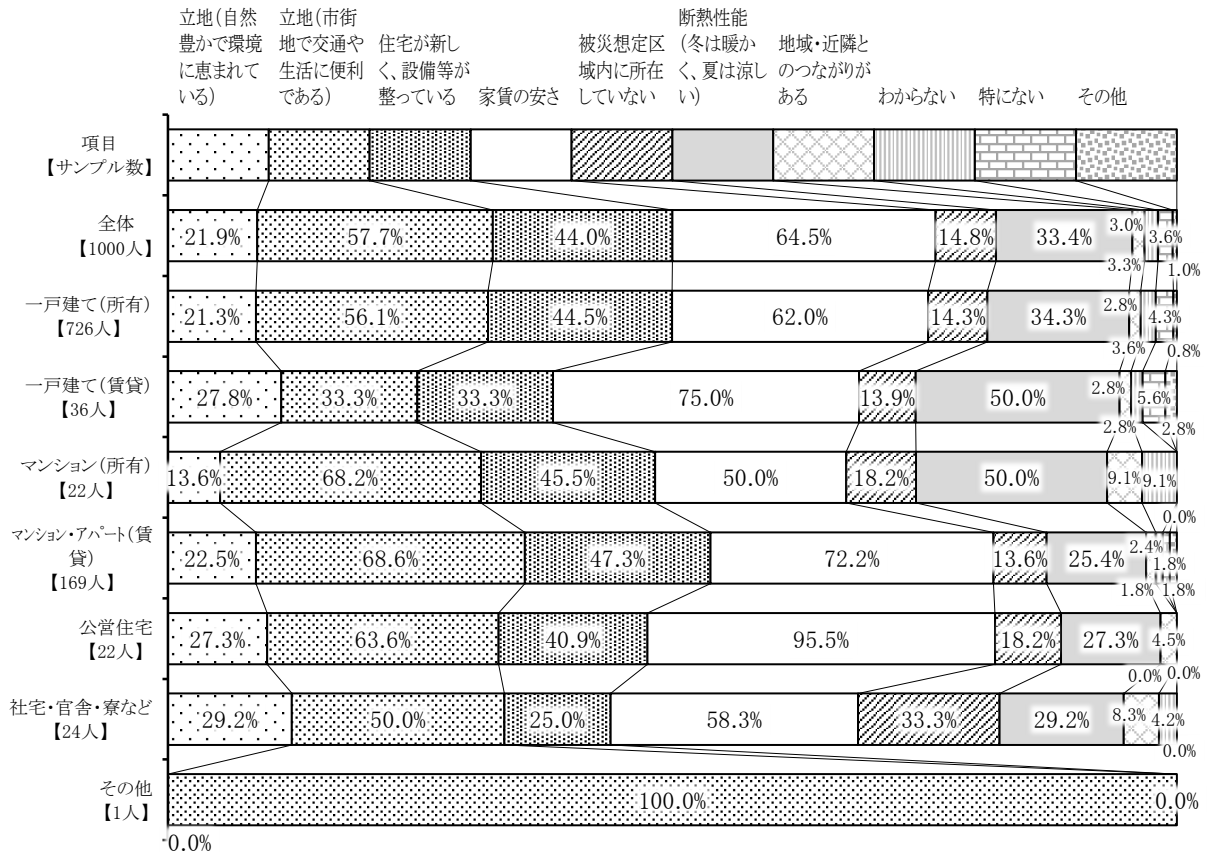
【年代別】



【世帯構成別】



【住宅形態別】



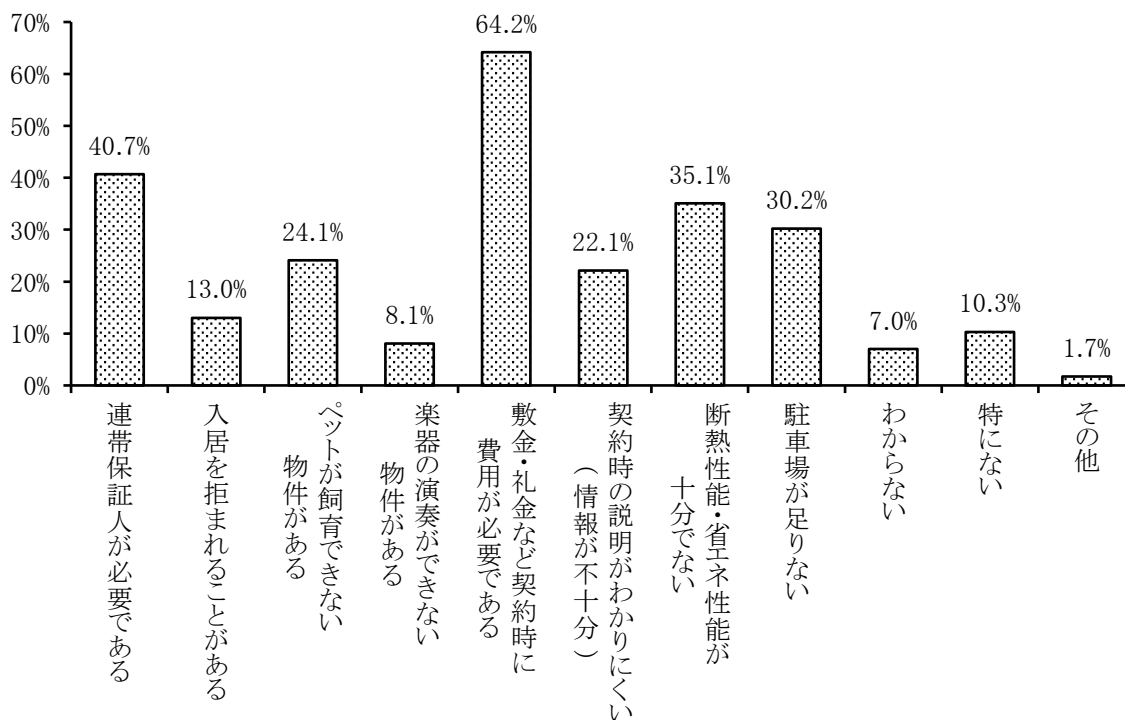
問30 賃貸住宅を借りる際に不満を感じること

◆ 賃貸住宅の不満点「敷金・礼金などの費用」6割半ば

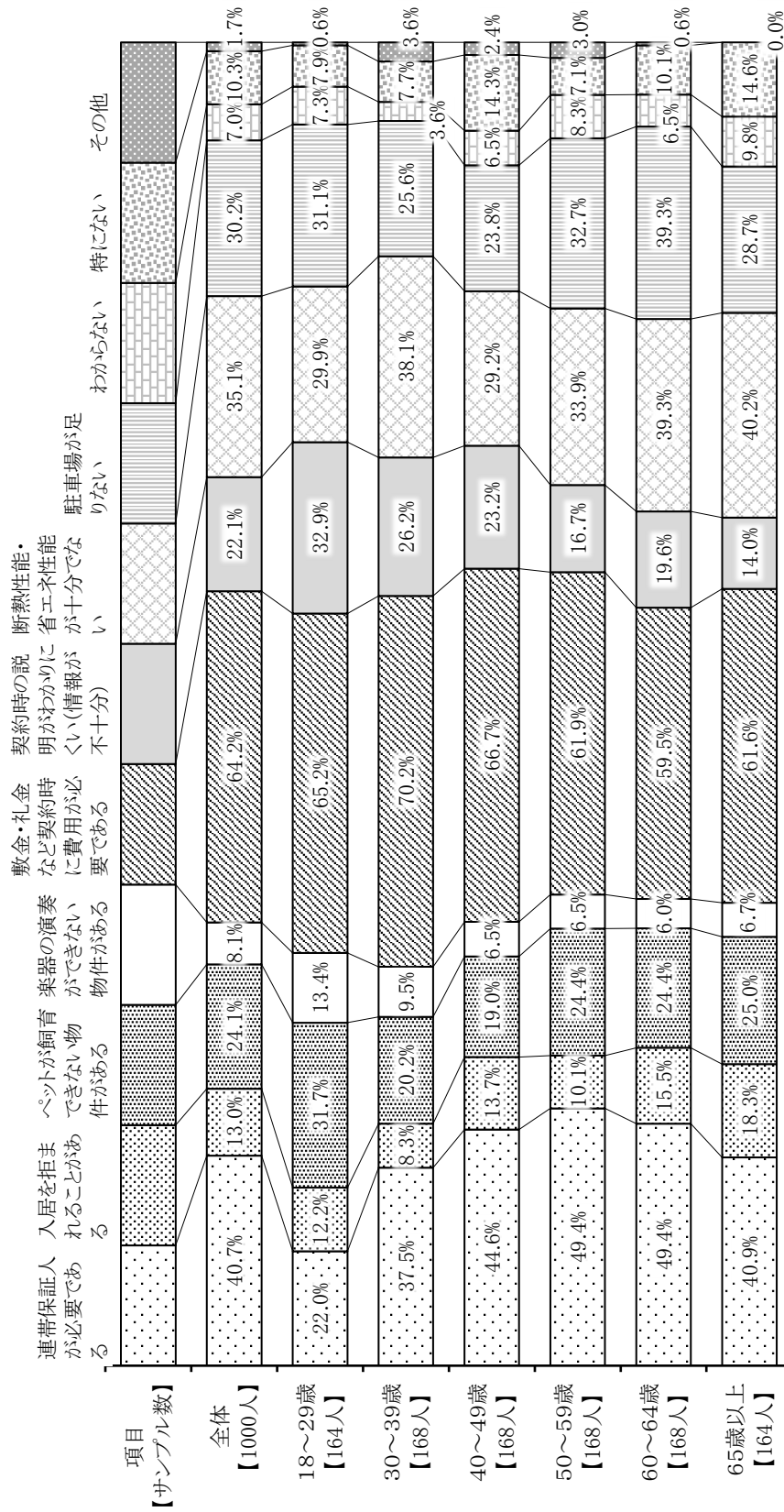
- 賃貸住宅を借りる際に感じる不満で、「敷金・礼金など契約時に費用が必要である」が64.2%と最も多く、「連帯保証人が必要である」が40.7%と契約関連が上位2項目となった。それに「断熱性能・省エネ性能が十分でない」(35.1%)、「駐車場が足りない」(30.2%)の設備面に関するものが続く。
- 年代別では、20代で「ペットが飼育できない物件がある」が31.7%と他の世代より多く、一方「連帯保証人が必要である」が22.0%と他の世代より少ない。
- 世帯構成別では、単身世帯で「連帯保証人が必要である」が47.4%と多い。3世代世帯では「駐車場が足りない」が42.1%と他の世帯より多い。

問30 賃貸住宅を借りる際に感じる不満は何ですか。次の中から5つ以内で選んでください。
(住宅を借りた経験のない方は、想像できる範囲で回答ください。)

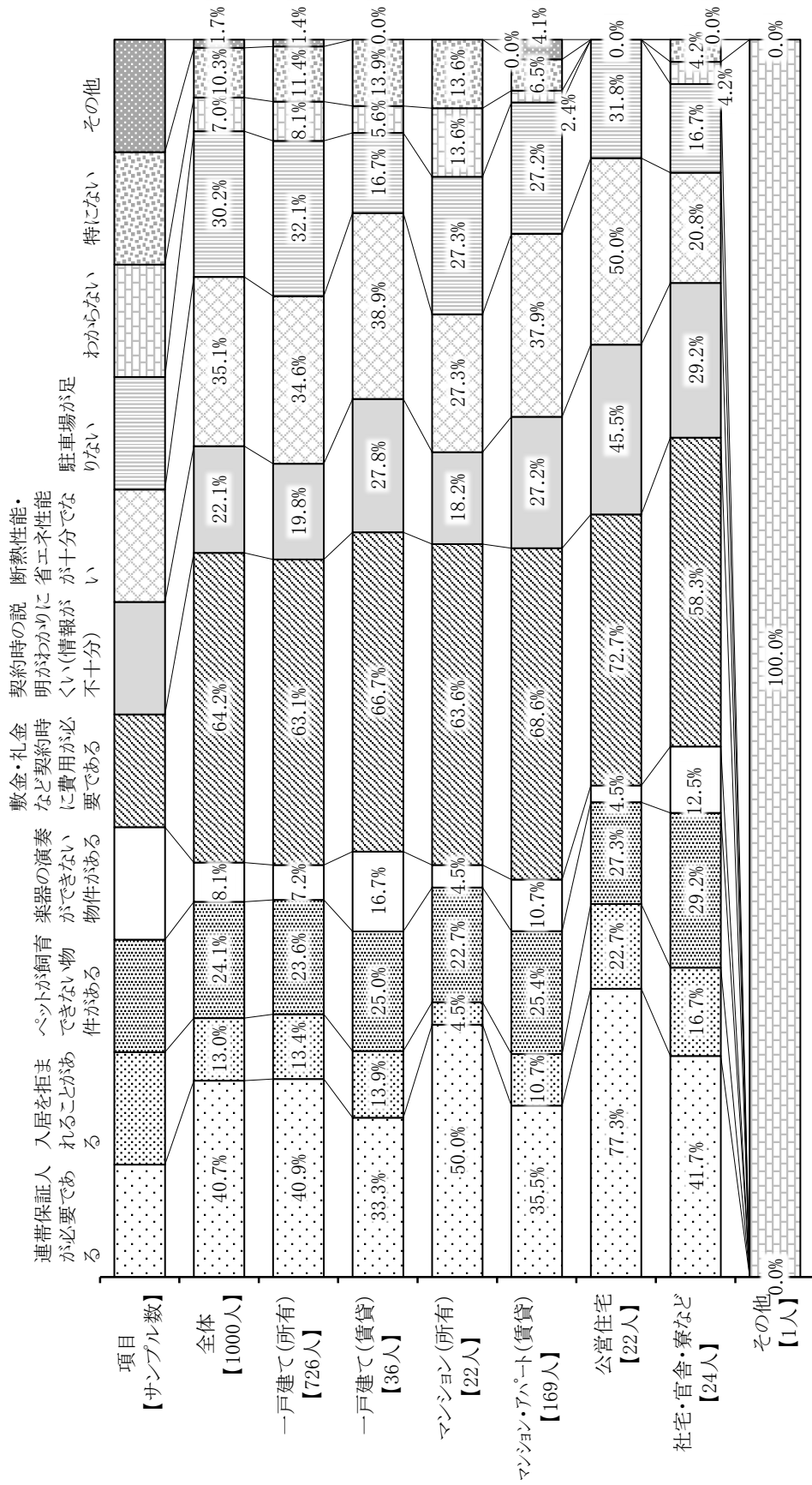
	回答者数	割合
1 連帯保証人が必要である	407人	40.7%
2 入居を拒まれることがある	130人	13.0%
3 ペットが飼育できない物件がある	241人	24.1%
4 楽器の演奏ができない物件がある	81人	8.1%
5 敷金・礼金など契約時に費用が必要である	642人	64.2%
6 契約時の説明がわかりにくい(情報が不十分)	221人	22.1%
7 断熱性能・省エネ性能が十分でない	351人	35.1%
8 駐車場が足りない	302人	30.2%
9 わからない	70人	7.0%
10 特にない	103人	10.3%
11 その他	17人	1.7%
サンプル数	1,000人	100.0%



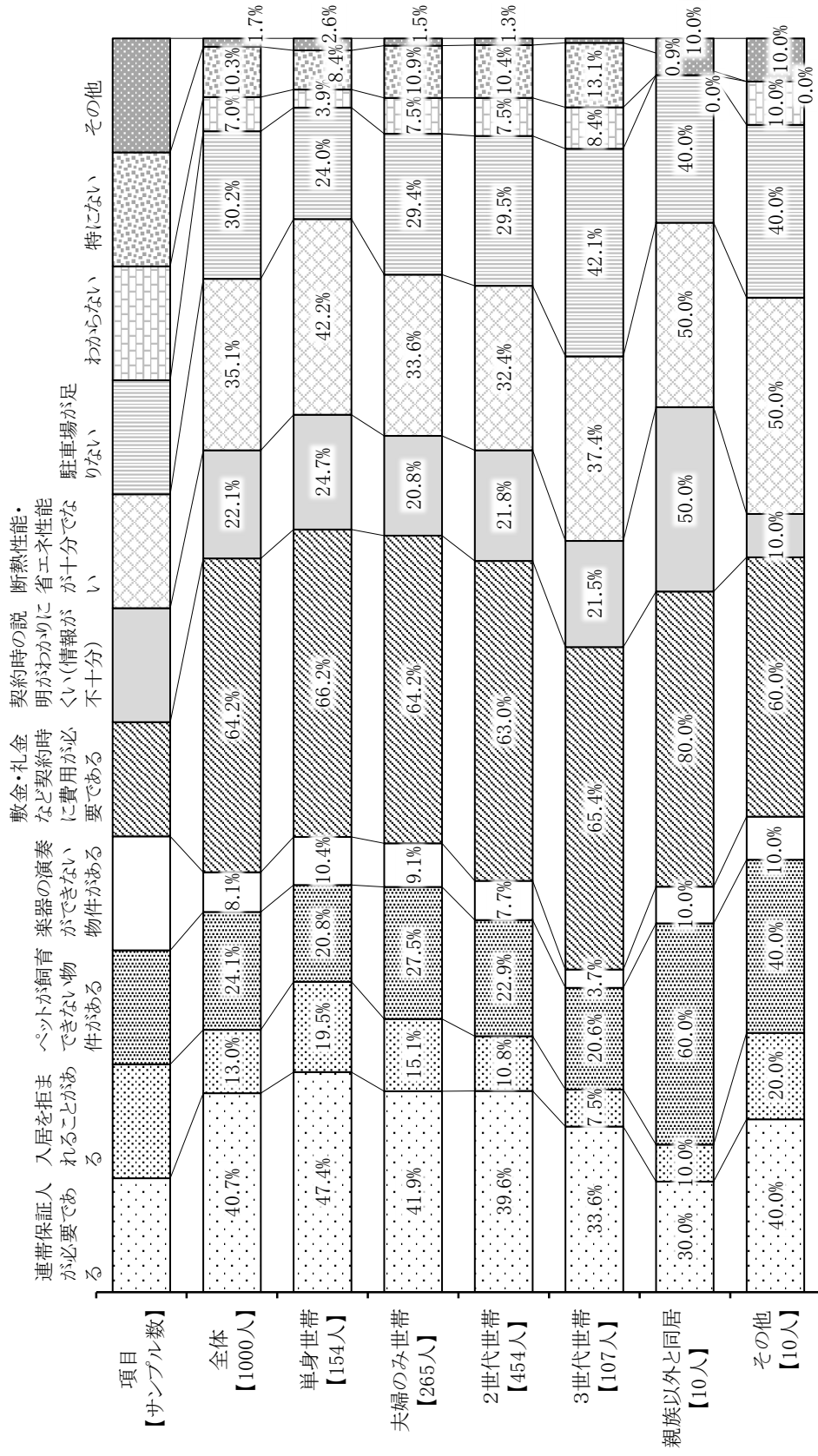
【年代別】



【住宅形態別】



【世帯構成別】



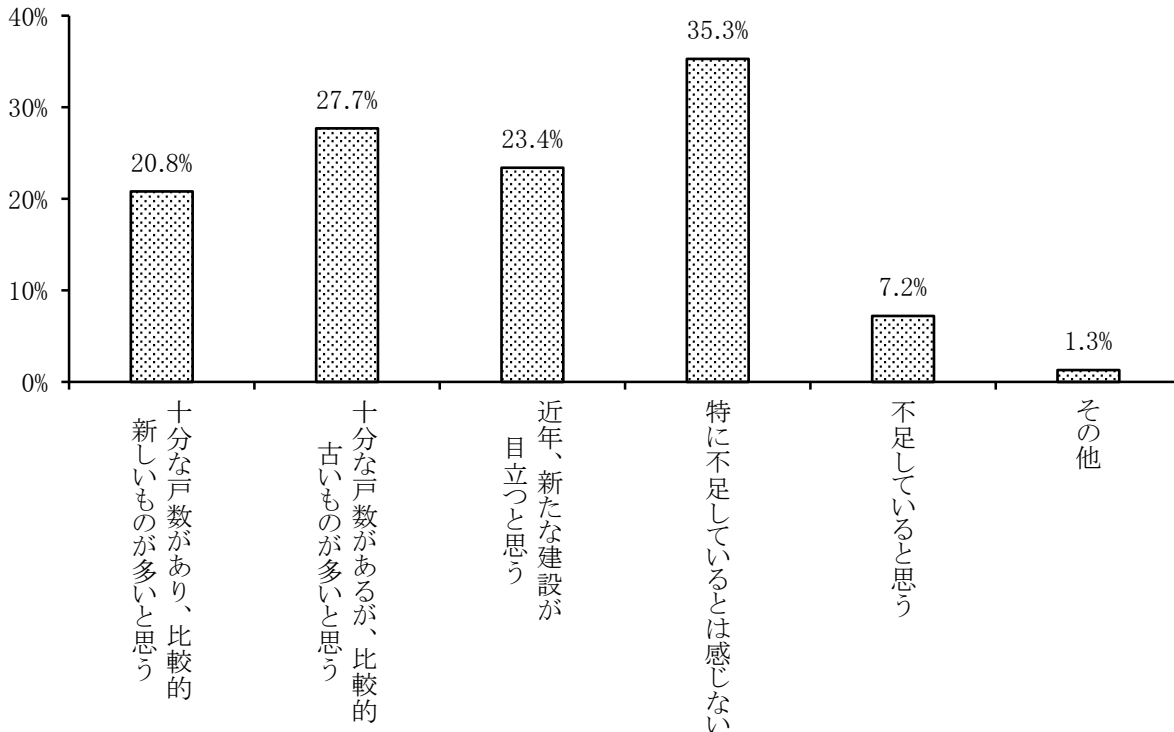
問31 民間賃貸共同住宅に感じること

◆ 民間賃貸共同住宅「特に不足しているとは感じない」3割半ば

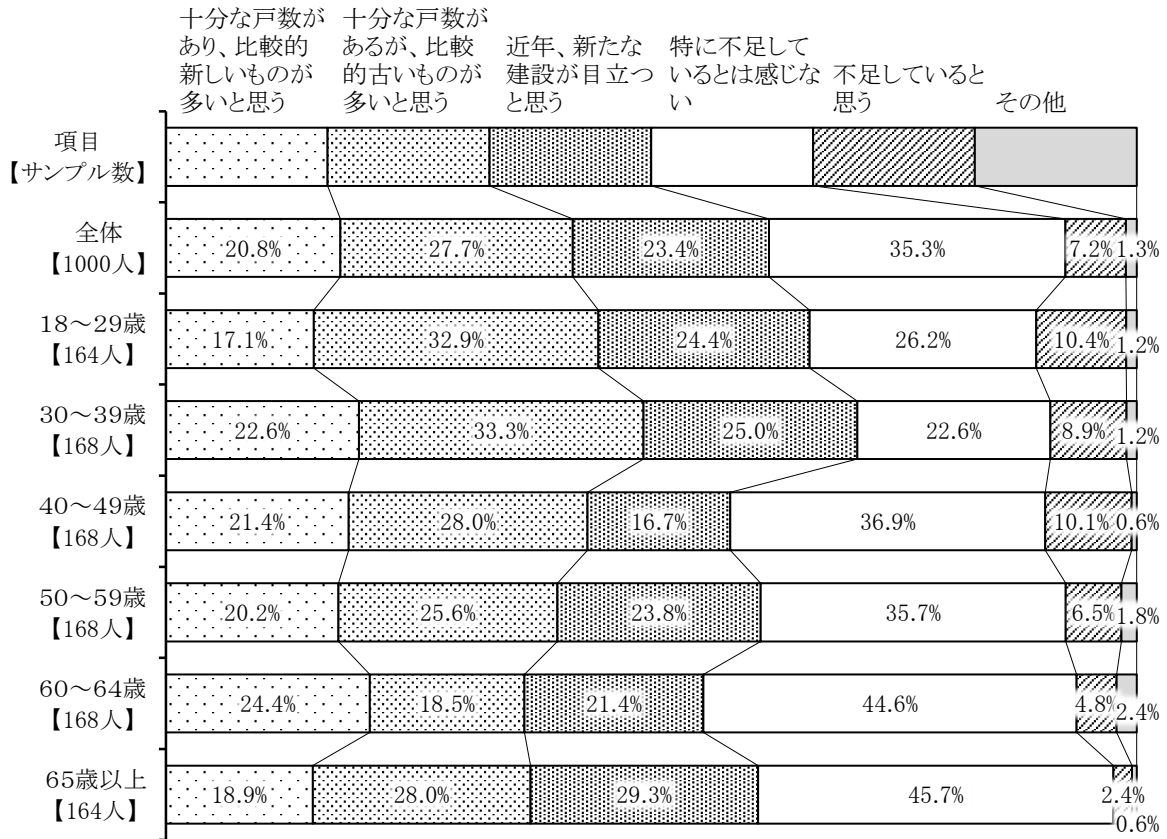
- 地域の民間賃貸共同住宅(アパート・マンション等)については、「特に不足しているとは感じない」が35.3%と多く、「不足していると思う」(7.2%)を上回る。また、60代以上では「特に不足しているとは感じない」が4割半ばと多い。
- 古さについては、「十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う」(27.7%)が「十分な戸数があり、比較的新しいものが多いと思う」(20.8%)を上回る。
- 地域別では、農山村集落で「特に不足しているとは感じない」が46.5%と多く、「近年、新たな建設が目立つと思う」が15.7%と他の地域より少ない。

問31 地域の民間賃貸共同住宅(アパート・マンション等)について、どのように感じていますか。
次の中から2つ以内で選んでください。

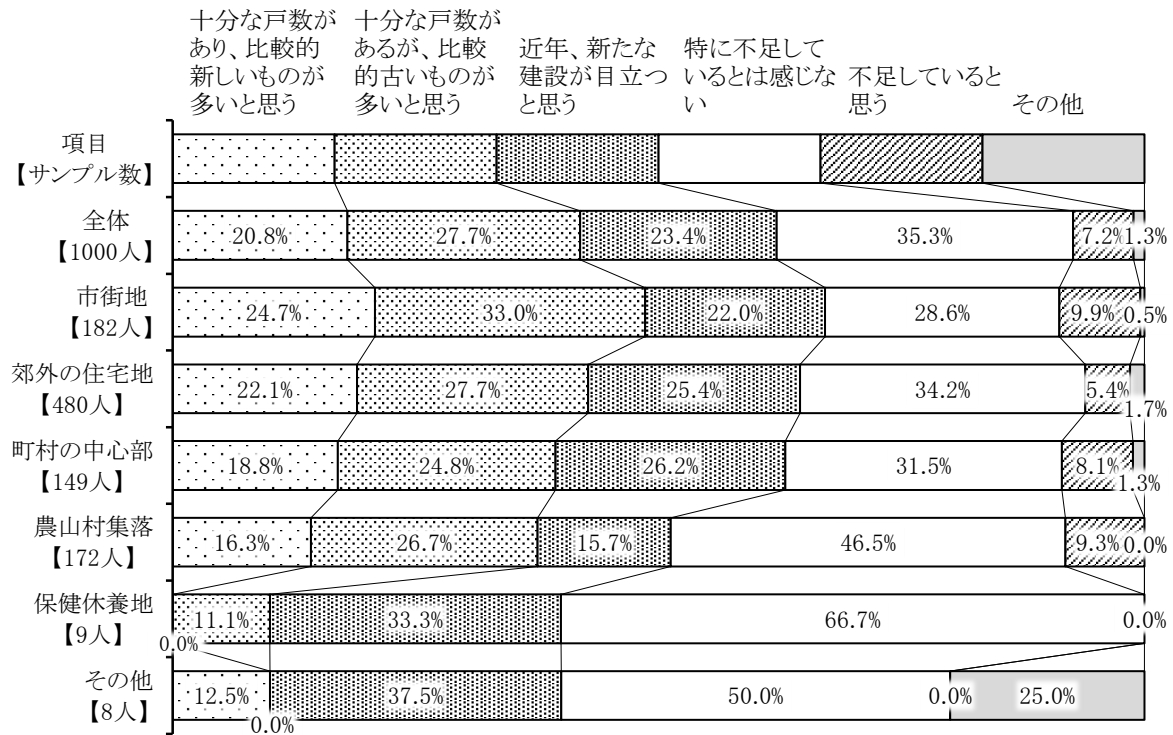
	回答者数	割合
1 十分な戸数があり、比較的新しいものが多いと思う	208人	20.8%
2 十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う	277人	27.7%
3 近年、新たな建設が目立つと思う	234人	23.4%
4 特に不足しているとは感じない	353人	35.3%
5 不足していると思う	72人	7.2%
6 その他	13人	1.3%
サンプル数	1,000人	100.0%



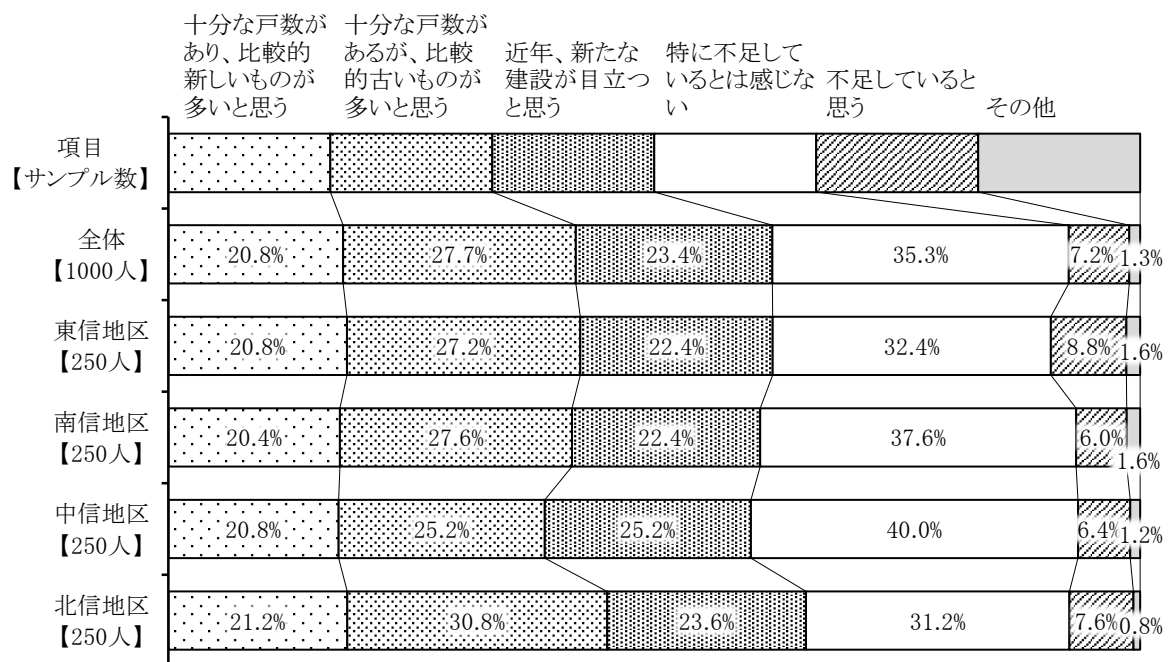
【年代別】



【地域別】



【居住地域別】



問32 居住地のまちなみ景観への印象

(H27調査 問41)

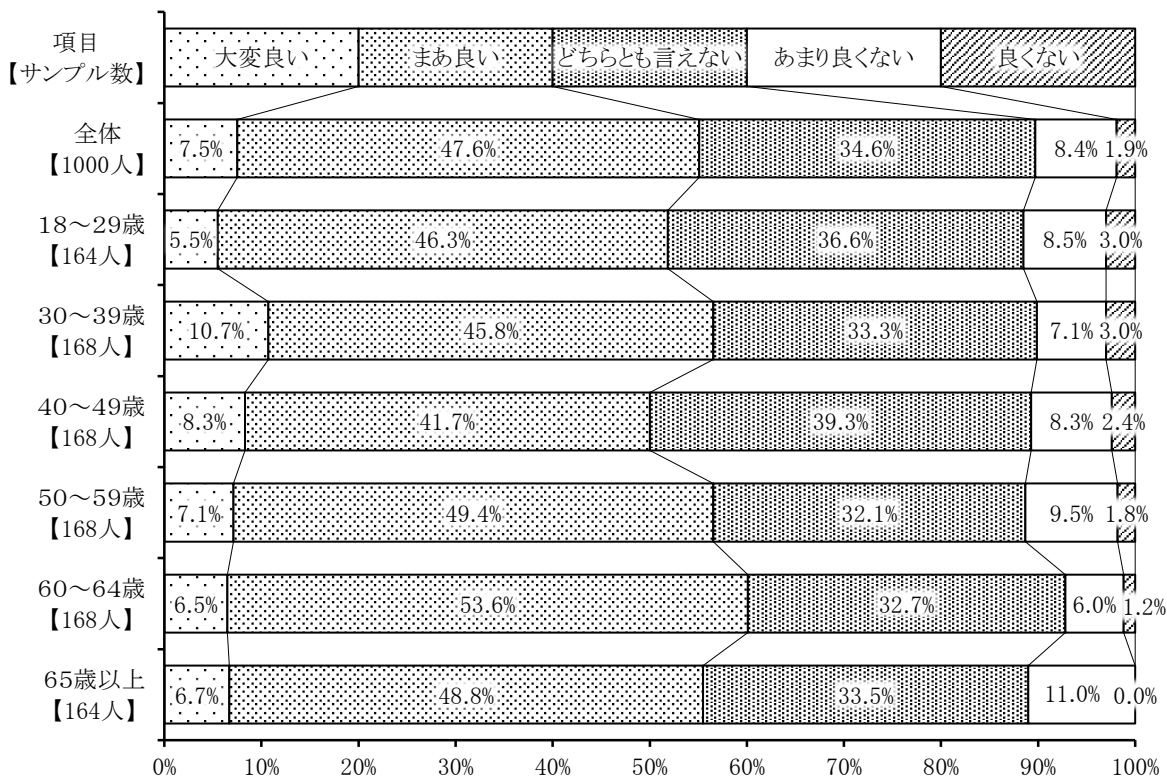
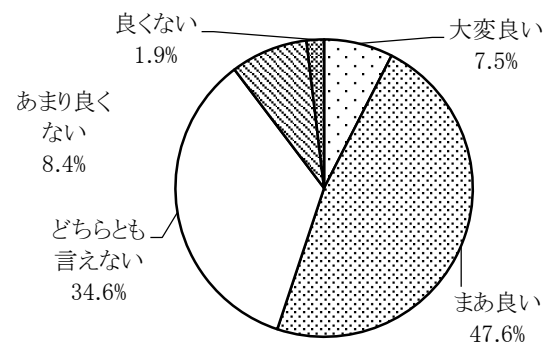
◆ 地域の景観「良い」5割半ば 「良くない」1割

- 現在居住する地区の景観の印象については、「大変良い」が7.5%、「まあ良い」が47.6%、で全体の55.1%が『良い』となった。
- 「大変良い」+「まあ良い」の『良い』と「あまり良くない」+「良くない」の『良くない』で、年代別と地域別で大きな差はみられなかった。

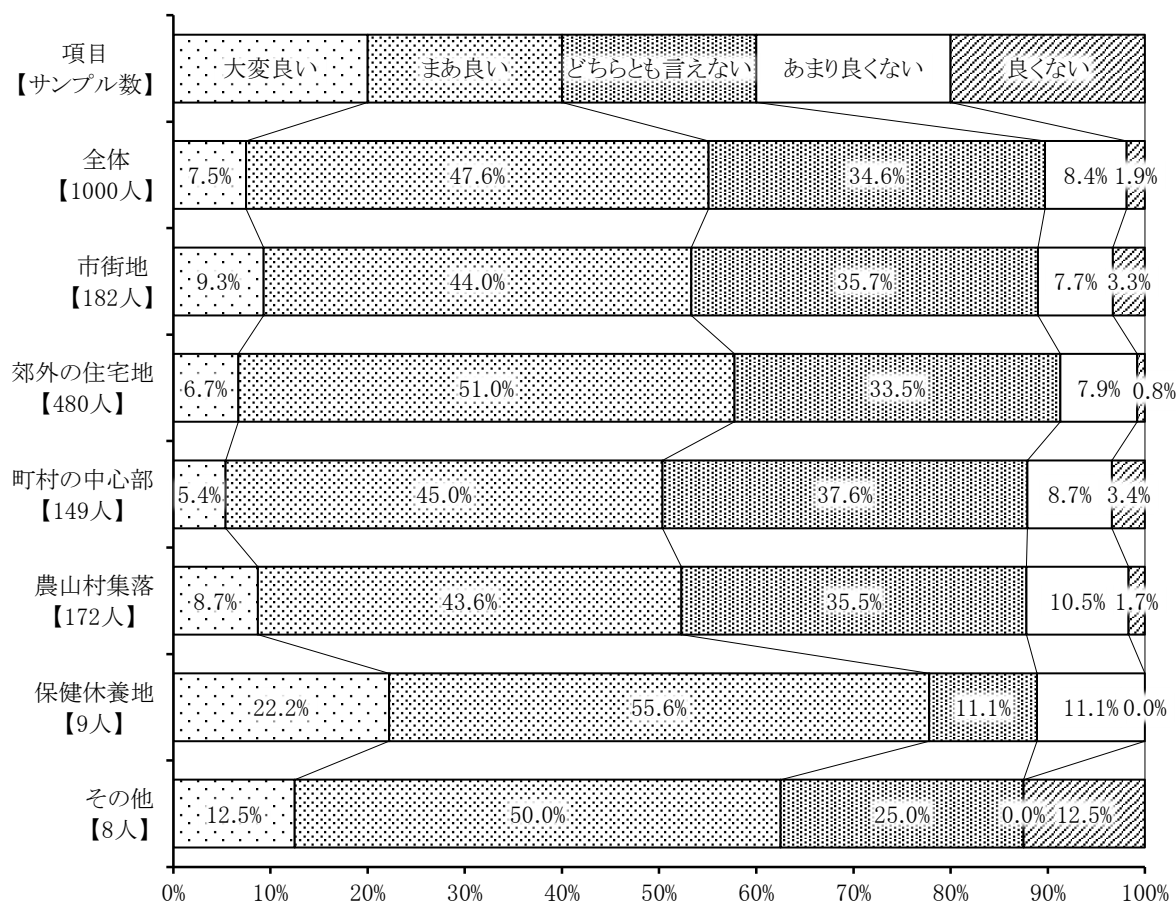
問32 現在住んでいる地区のまちなみ景観について、どのような印象をお持ちですか。

	回答者数	割合
1 大変良い	75人	7.5%
2 まあ良い	476人	47.6%
3 どちらとも言えない	346人	34.6%
4 あまり良くない	84人	8.4%
5 良くない	19人	1.9%
サンプル数	1,000人	100.0%

【年代別】



【地域別】



問33 まちなみ景観への不満の理由

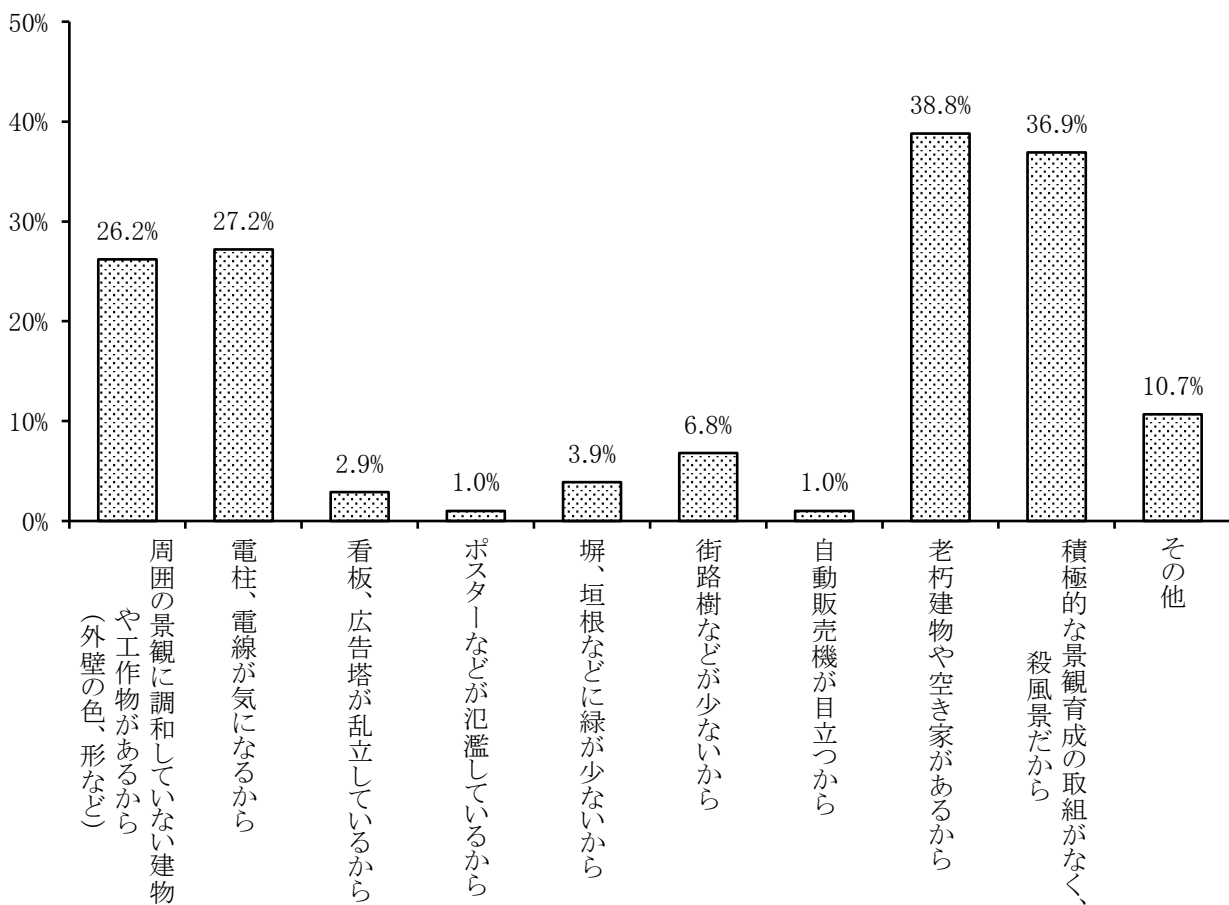
(H27調査 問42)

◆ 景観不満理由「老朽建物や空き家」、「取組なく殺風景」3割半ば

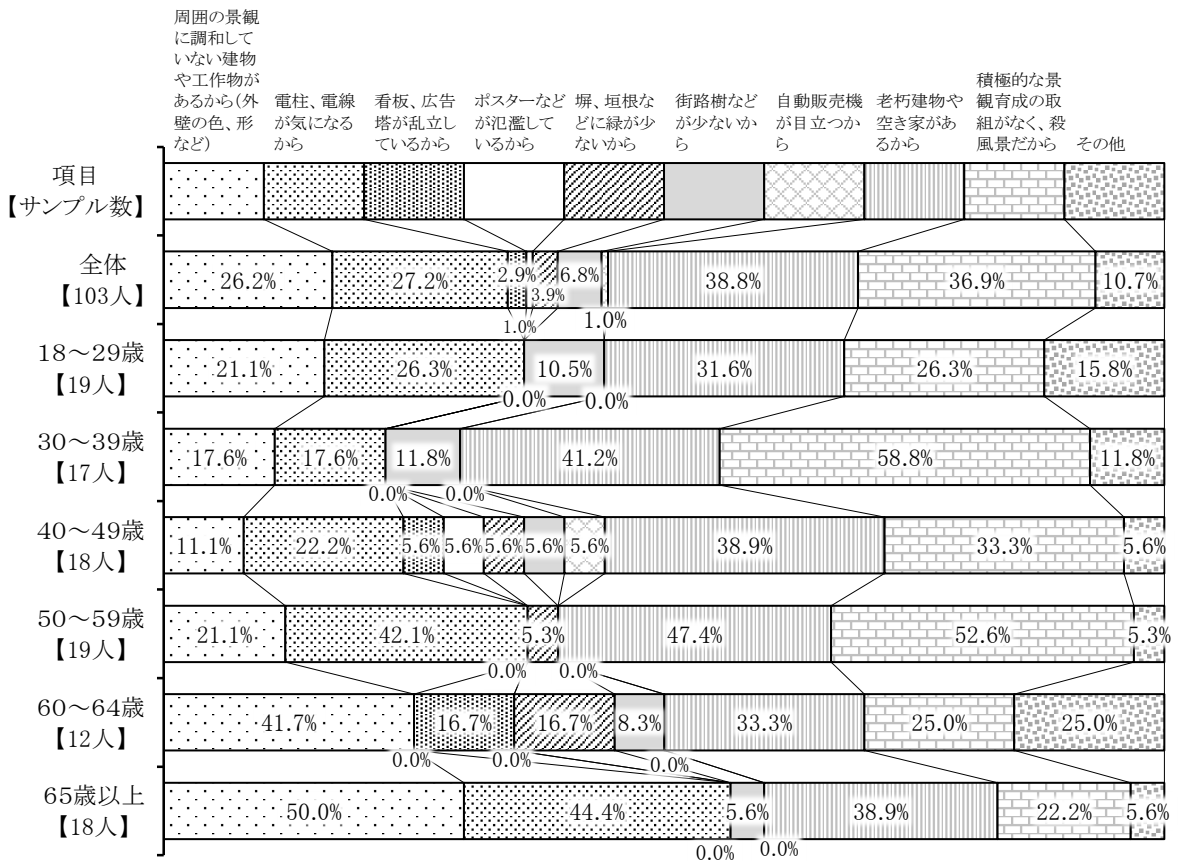
- 問32の、現在居住する地区の景観の印象について「良くない」、「あまり良くない」とした方に理由を尋ねたところ、「老朽建物や空き家があるから」(38.8%)、「積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから」(36.9%)が3割半ばであった。「電柱、電線が気になるから」(27.2%)、「周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など)」(26.2%)が2割半ばで続く。

問33【問32で4または5を選んだ方にお伺いします】その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

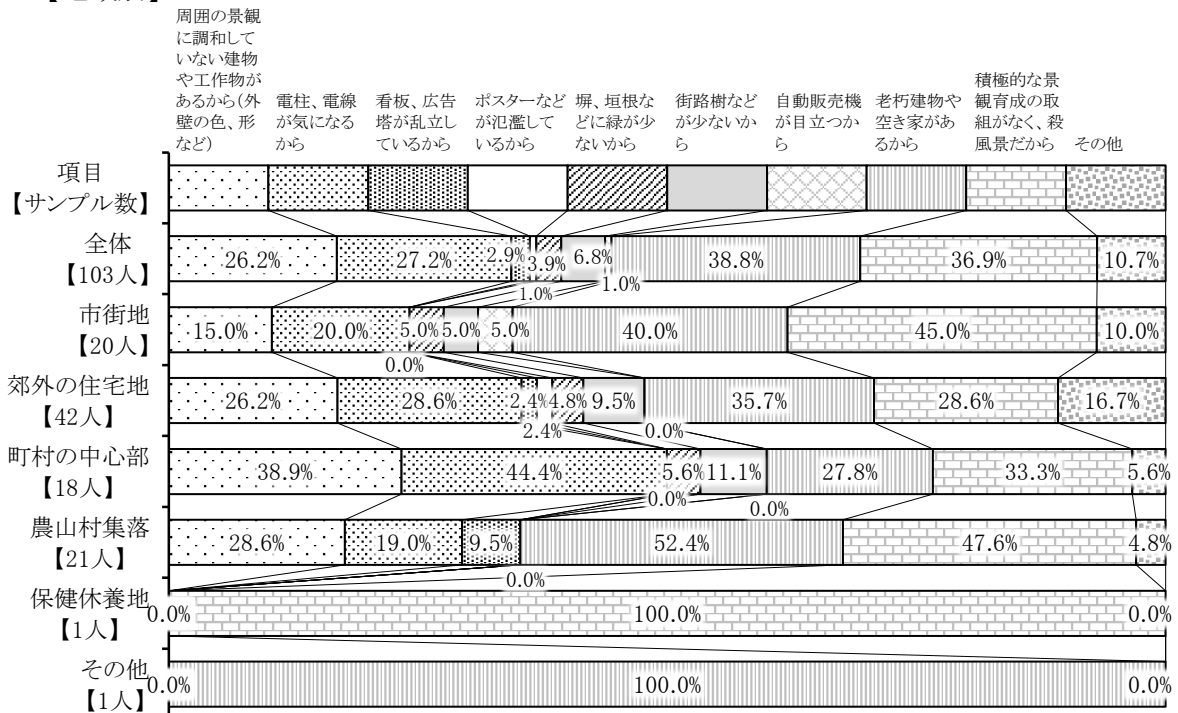
	回答者数	割合
1 周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など)	27人	26.2%
2 電柱、電線が気になるから	28人	27.2%
3 看板、広告塔が乱立しているから	3人	2.9%
4 ポスターなどが氾濫しているから	1人	1.0%
5 塀、垣根などに緑が少ないから	4人	3.9%
6 街路樹などが少ないから	7人	6.8%
7 自動販売機が目立つから	1人	1.0%
8 老朽建物や空き家があるから	40人	38.8%
9 積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから	38人	36.9%
10 その他	11人	10.7%
サンプル数	103人	100.0%



【年代別】



【地域別】



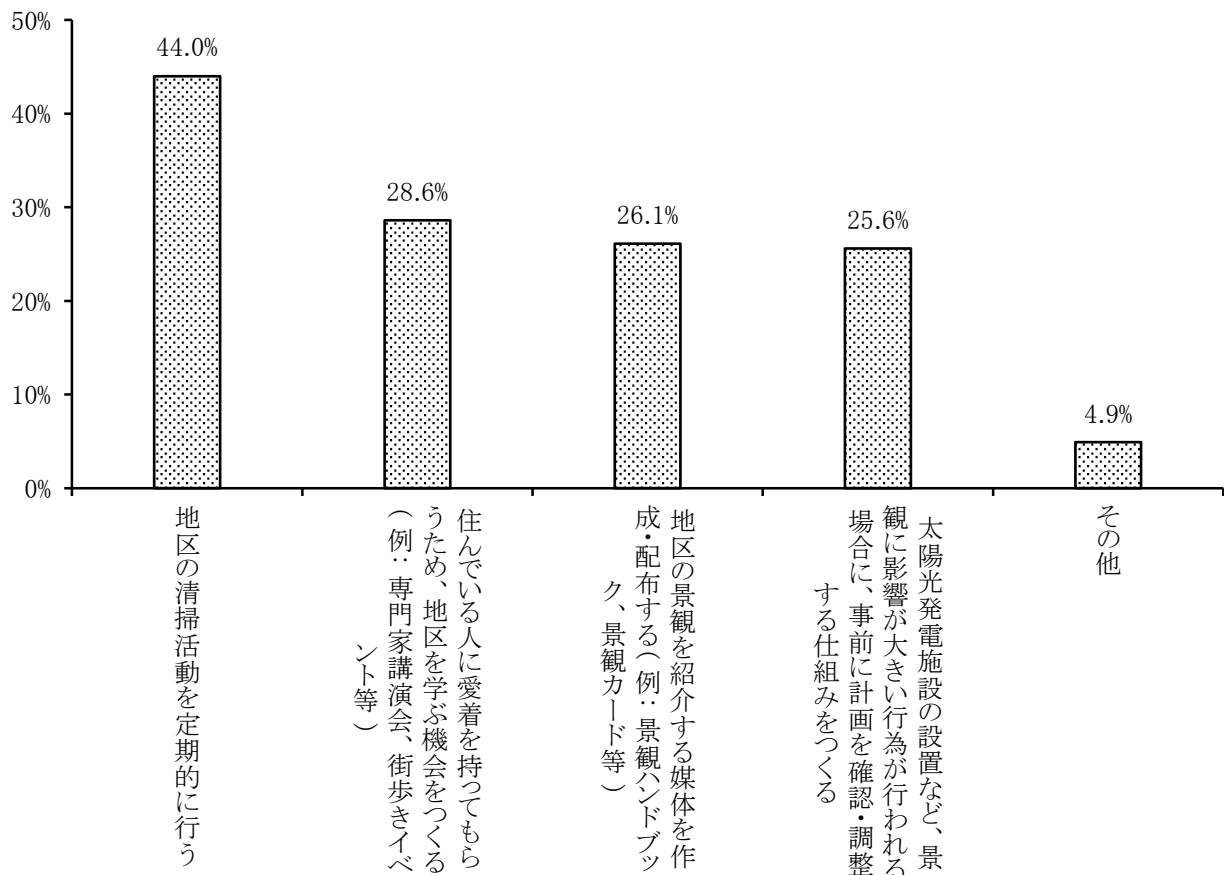
問34 居住地の景観を良くするために必要な取り組み

◆ 景観を良くする取り組み「清掃活動」4割半ば

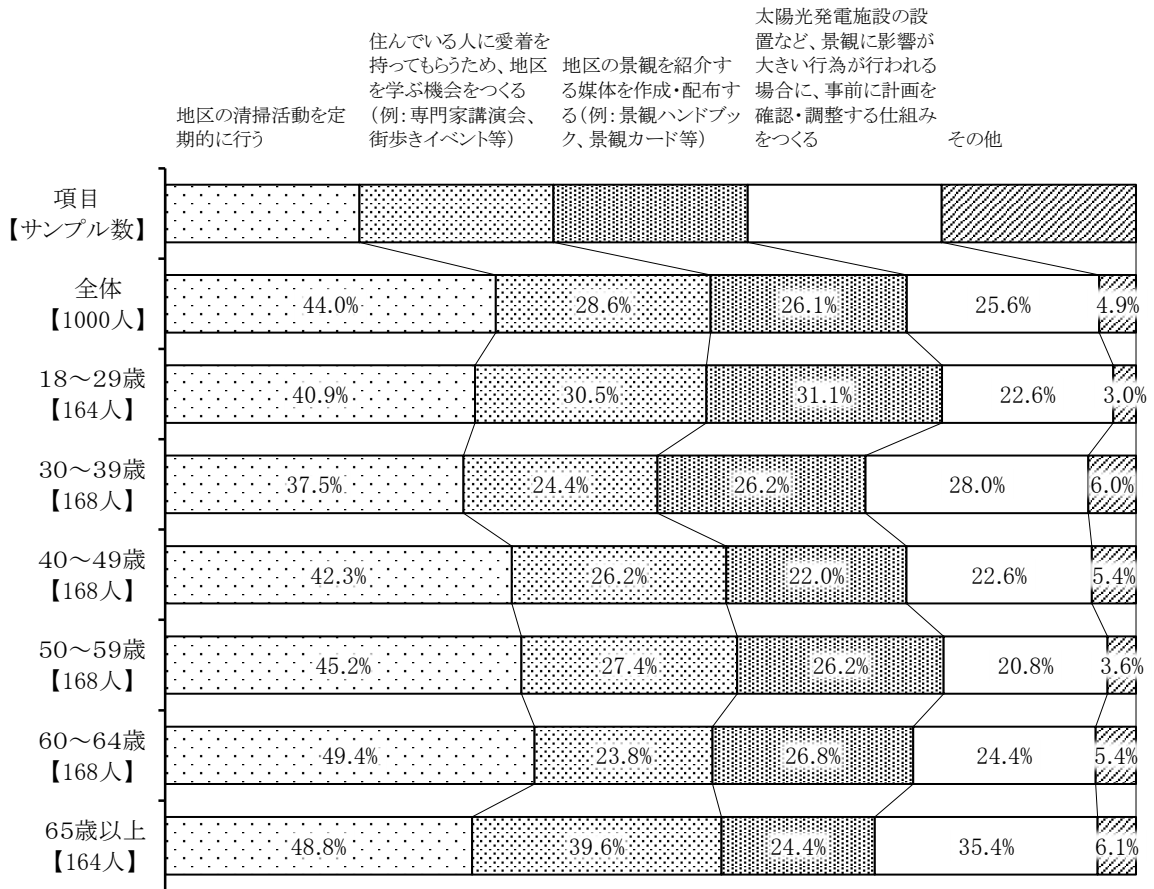
- 居住地域の景観をよくするための取り組みでは、「地区の清掃活動を定期的に行う」が44.0%と最も多い。「その他」を除くほかの項目は2割半ばとなっている。
- 世帯構成別では、3世代世帯で「住んでいる人に愛着を持ってもらうため、地区を学ぶ機会をつくる(例: 専門家講演会、街歩きイベント等)」が39.3%と他の世帯より多い。
- 居住地域別では、南信地域で「地区の清掃活動を定期的に行う」が36.0%と他の地域より少ない。
- 居住地域の景観を「大変良い」、「まあ良い」と回答の方は、「地区の清掃活動を定期的に行う」が5割台と多くなっている。

問34 住んでいる地区の景観をよくするために、どのような取り組みが必要であると思いますか。
あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

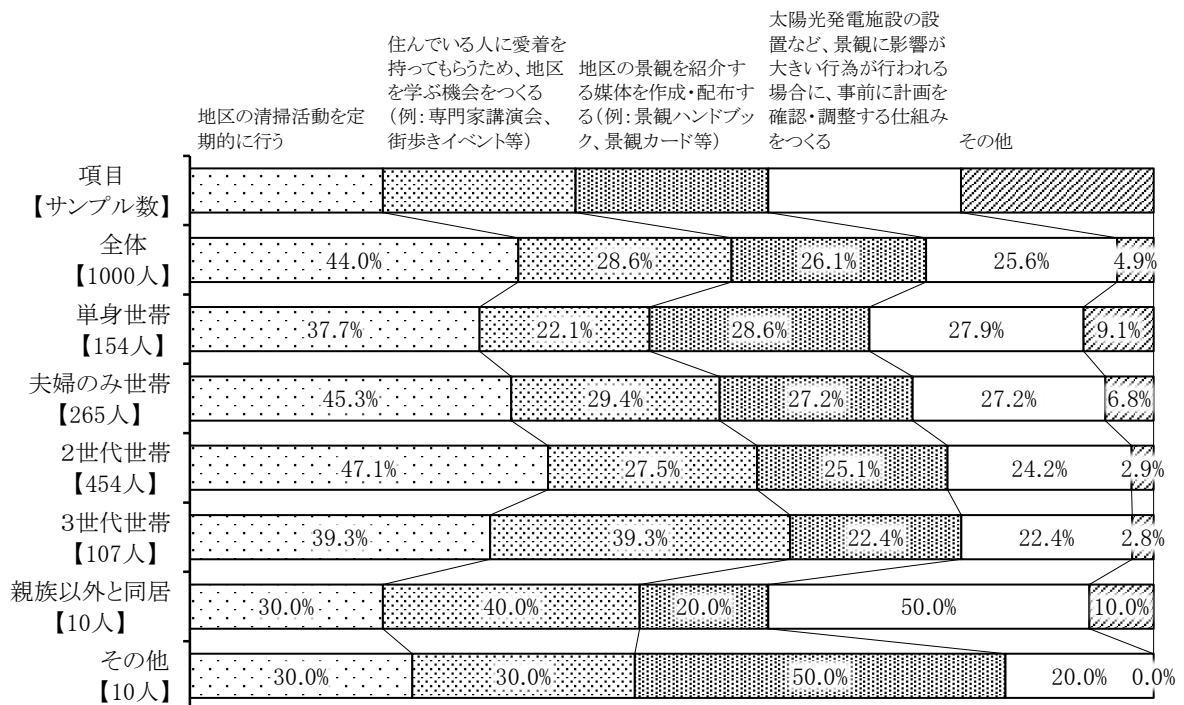
	回答者数	割合
1 地区の清掃活動を定期的に行う	440人	44.0%
2 住んでいる人に愛着を持ってもらうため、地区を学ぶ機会をつくる(例: 専門家講演会、街歩きイベント等)	286人	28.6%
3 地区の景観を紹介する媒体を作成・配布する(例: 景観ハンドブック、景観カード等)	261人	26.1%
4 太陽光発電施設の設置など、景観に影響が大きい行為が行われる場合に、事前に計画を確認・調整する仕組みをつくる	256人	25.6%
5 その他	49人	4.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



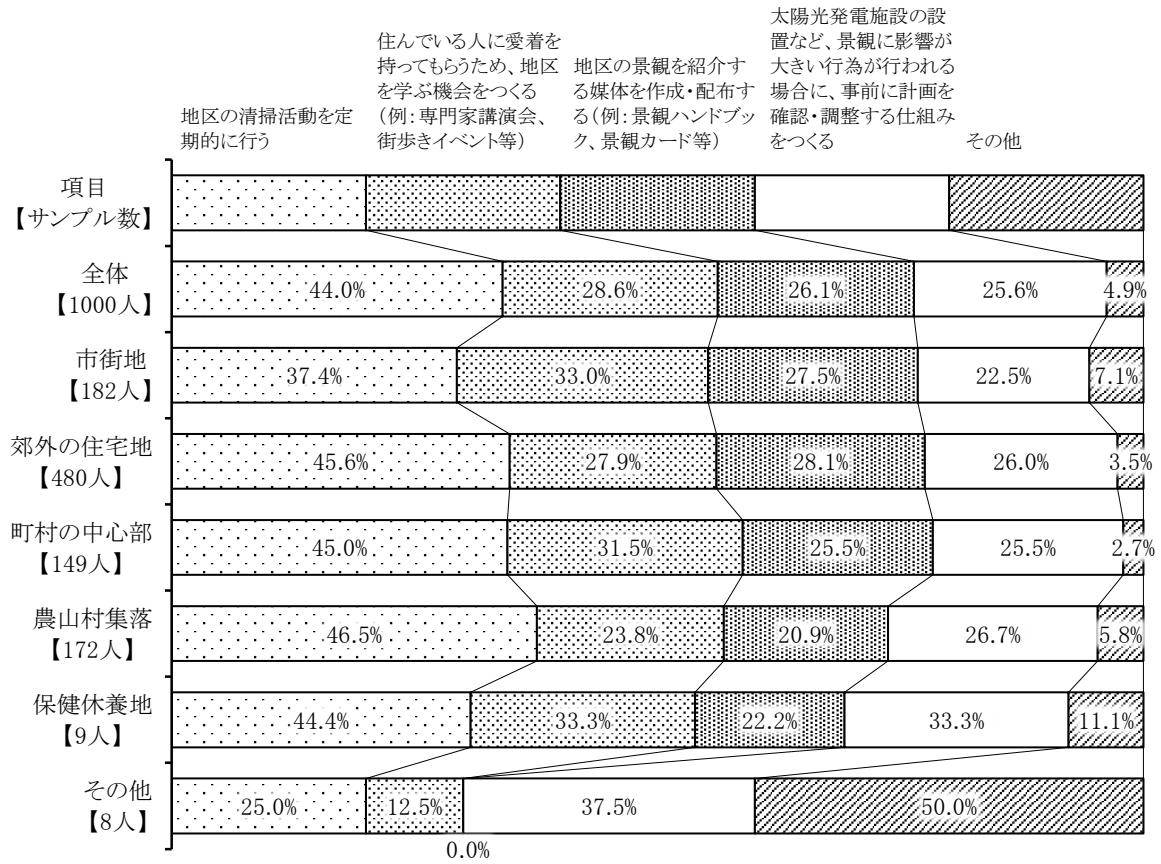
【年代別】



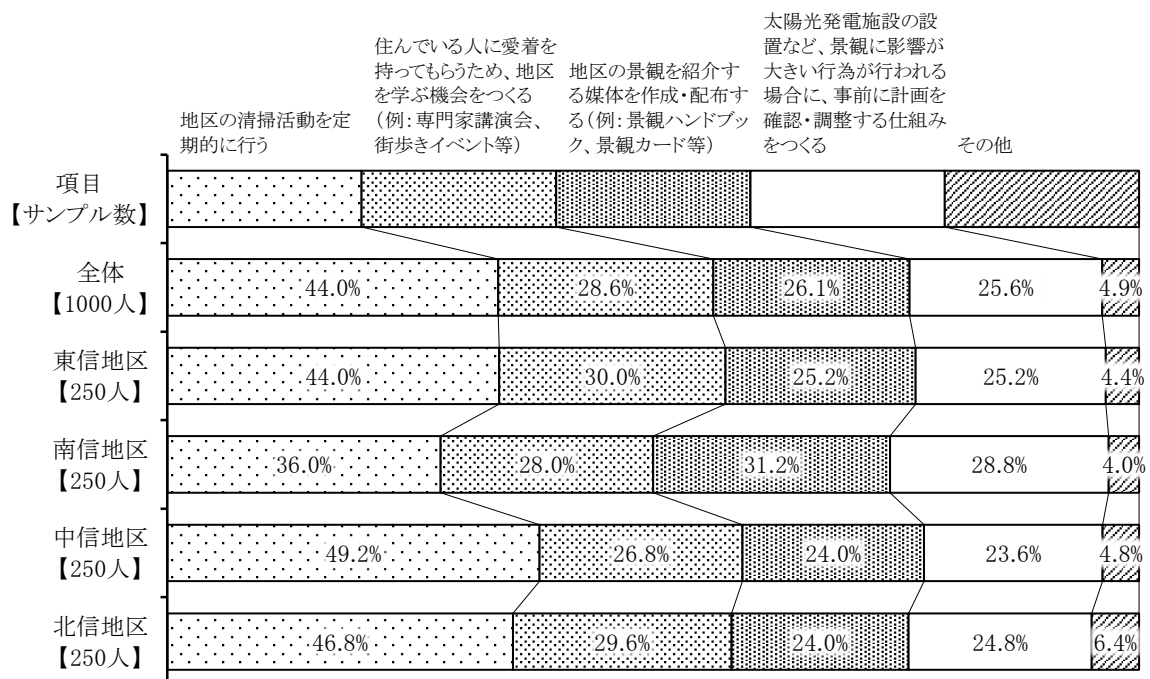
【世帯構成別】



【地域別】

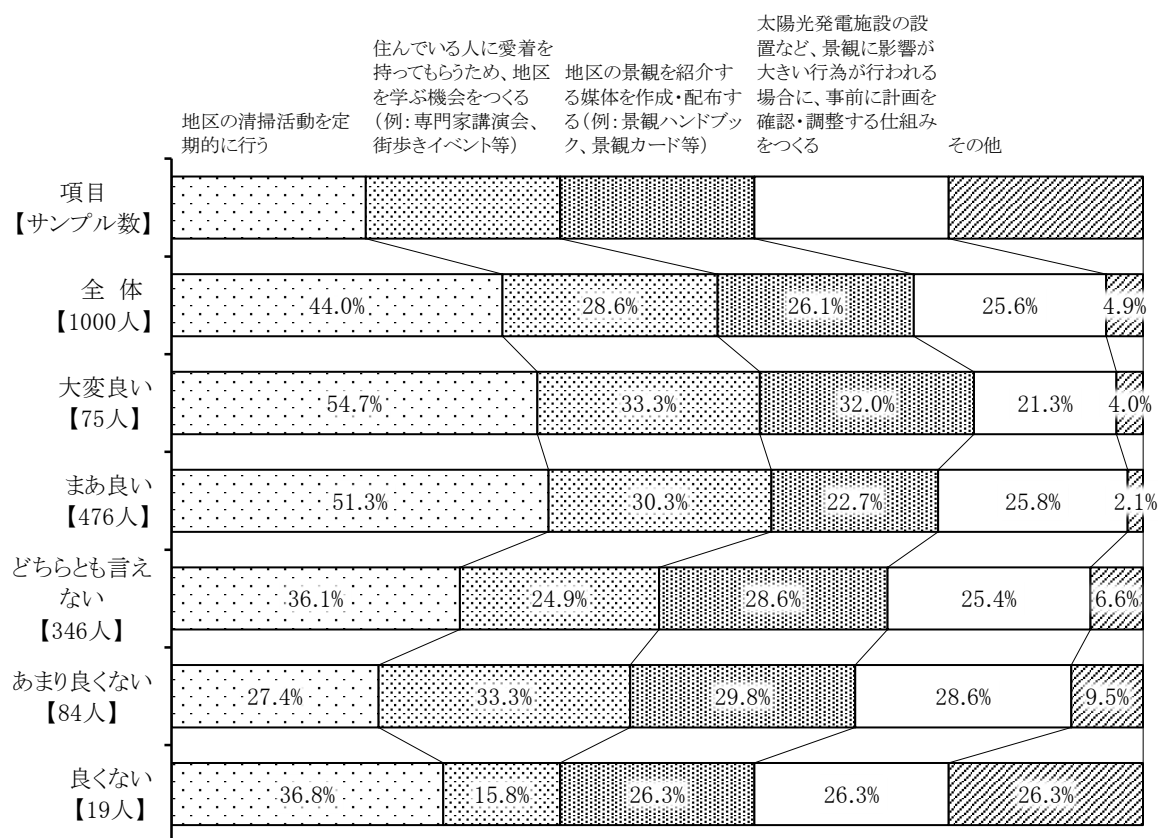


【居住地域別】



【設問クロス集計（問32）】

*問32 現在住んでいる地区のまちなみ景観について、どのような印象をお持ちですか。



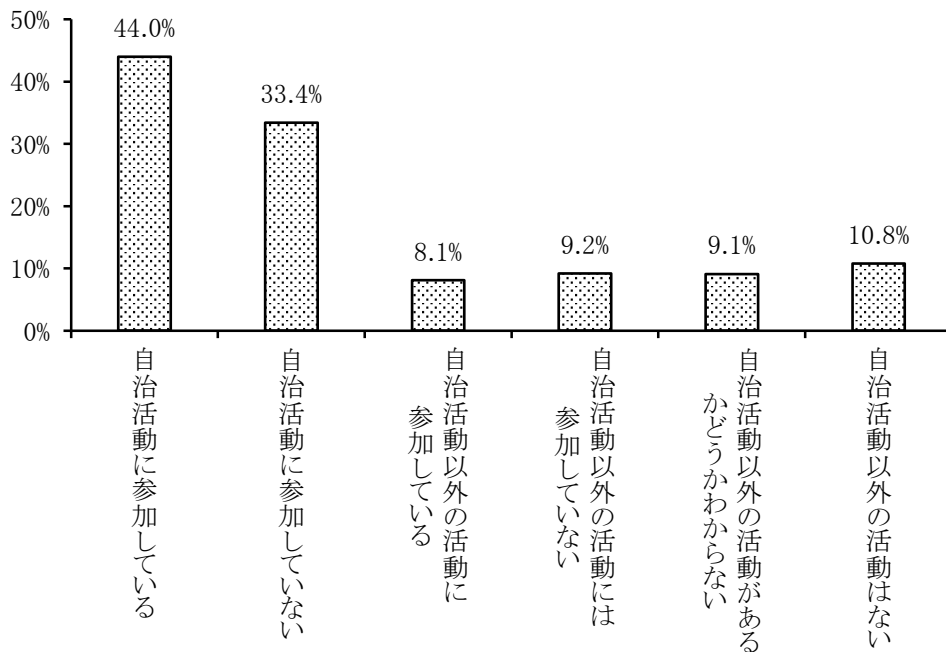
問35 自治活動など地域の交流活動参加状況

◆ 自治活動「参加」44.0%、「不参加」33.4%

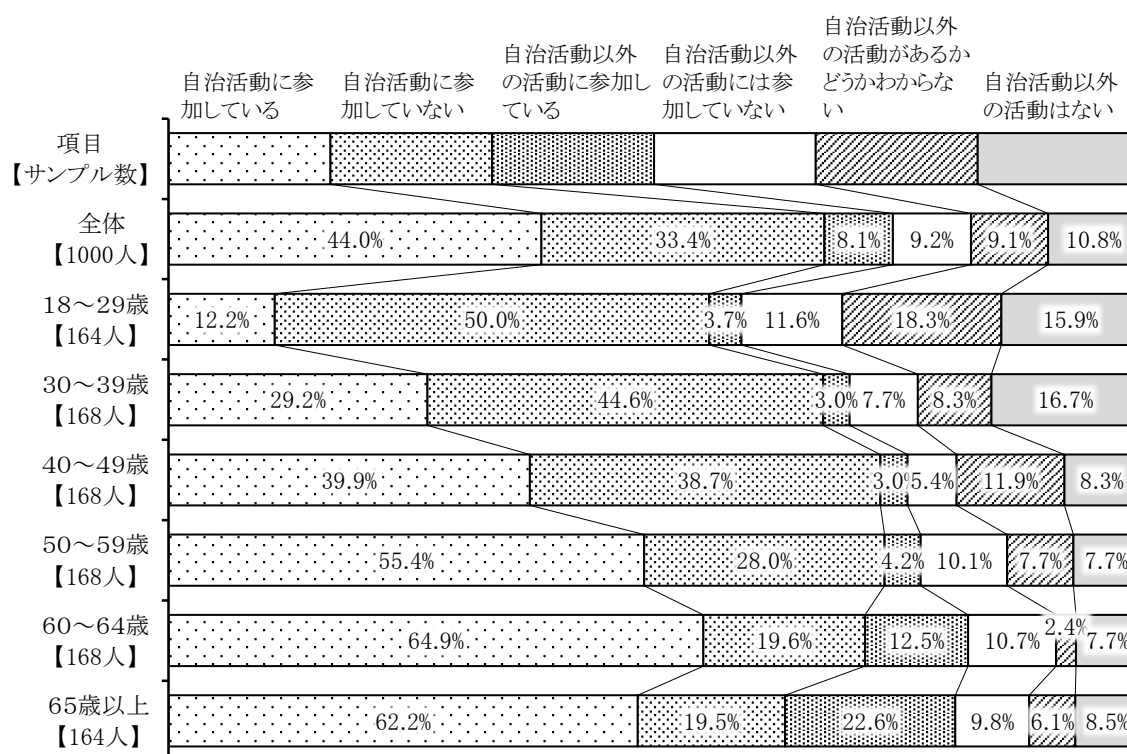
- 地域の交流活動では、自治活動は「参加している」(44.0%)が「参加していない」(33.4%)を10.6ポイント上回った。自治活動以外の活動では「参加している」(8.1%)と「参加していない」(9.2%)でほとんど差がみられなかった。
- 年代別では、「自治活動に参加している」は年代が上がるほど多い傾向にある。「自治活動以外の活動に参加している」は65歳以上で22.6%と他の年代に比べて多くなっている。
- 世帯構成別では、「自治活動に参加している」が3世代世帯では54.2%と多く、単身世帯では24.7%と少なくなっている。

問35 地域の自治活動を含め、友人や近隣住民等、地域との交流・つながりを持つ活動に参加していますか。次の中から2つ以内で選んでください。

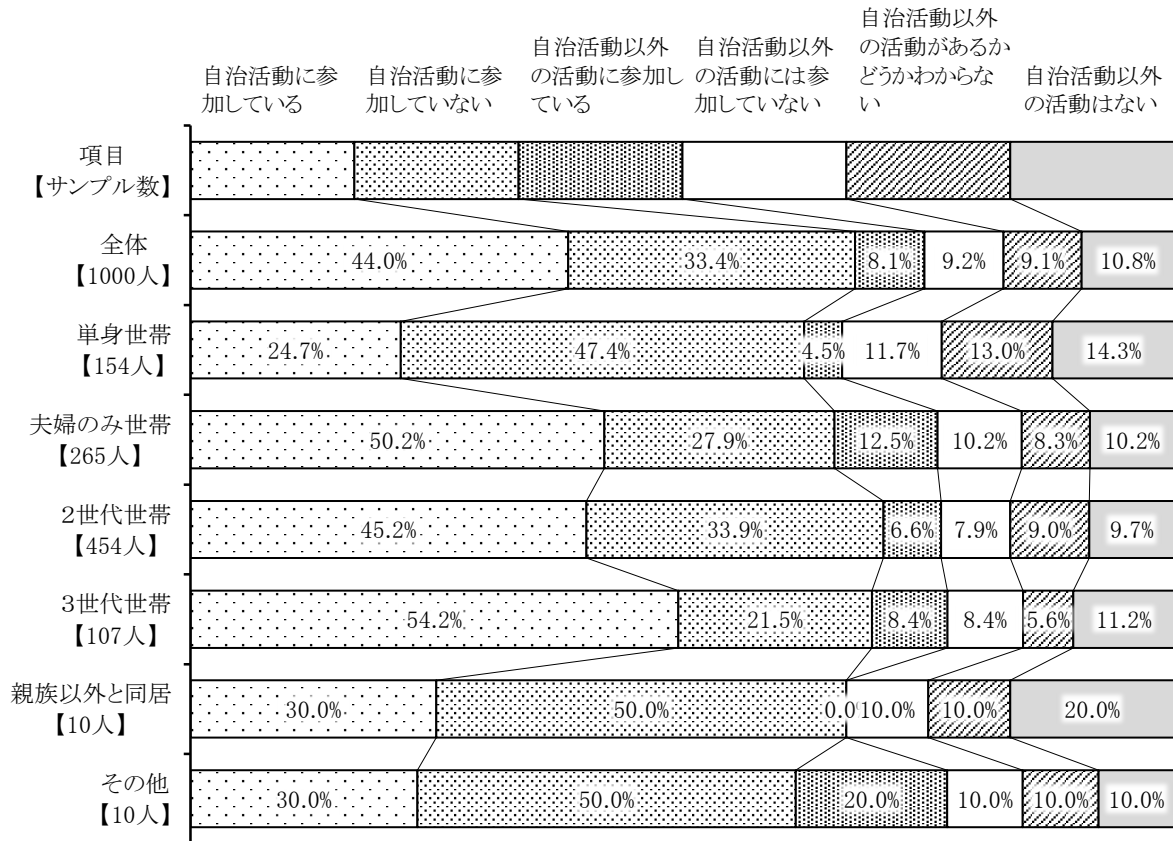
	回答者数	割合
1 自治活動に参加している	440人	44.0%
2 自治活動に参加していない	334人	33.4%
3 自治活動以外の活動に参加している	81人	8.1%
4 自治活動以外の活動には参加していない	92人	9.2%
5 自治活動以外の活動があるかどうかわからない	91人	9.1%
6 自治活動以外の活動はない	108人	10.8%
サンプル数	1,000人	100.0%



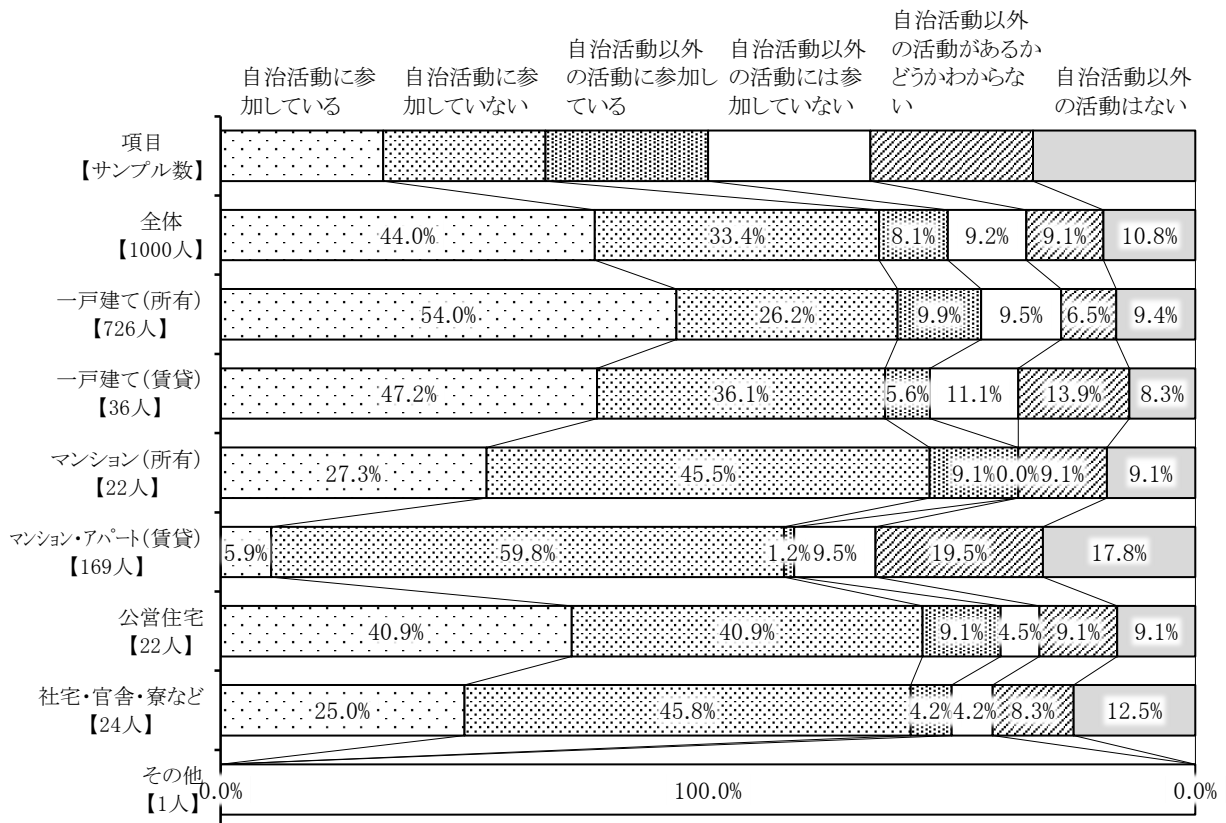
【年代別】



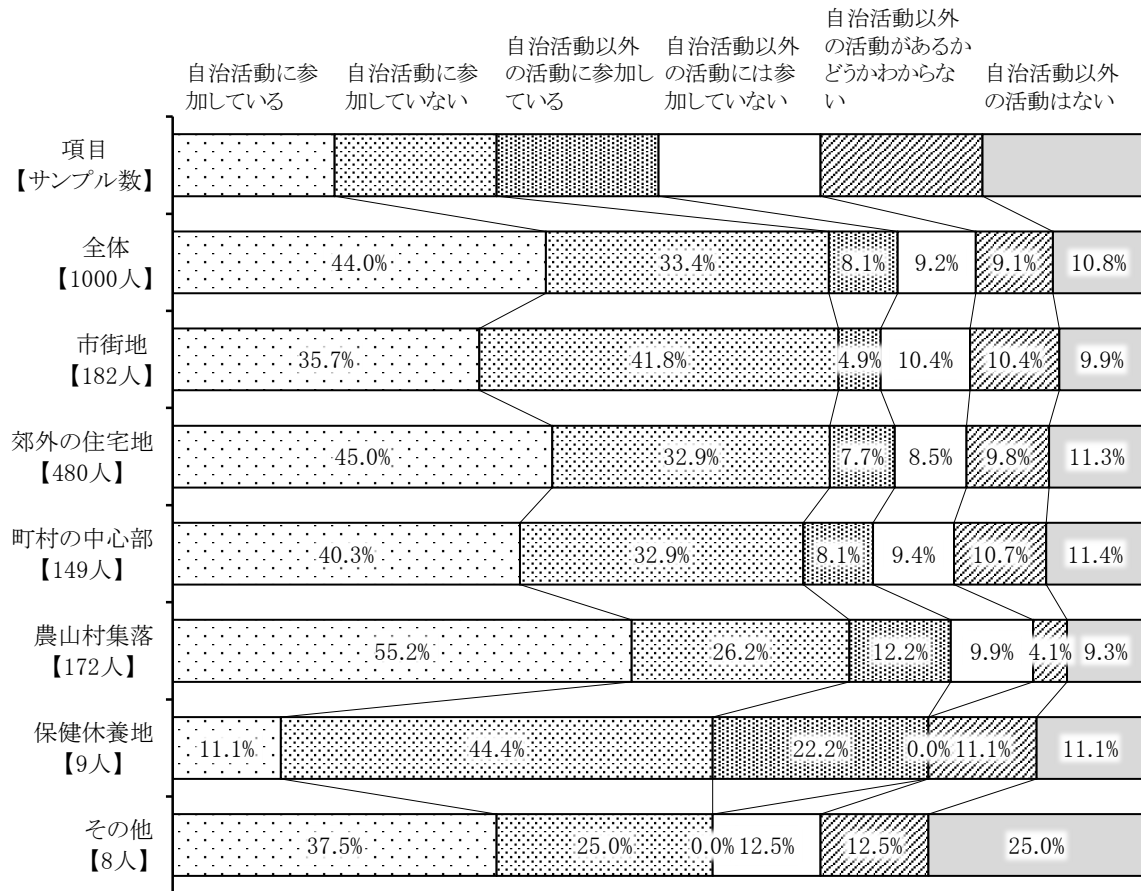
【世帯構成別】



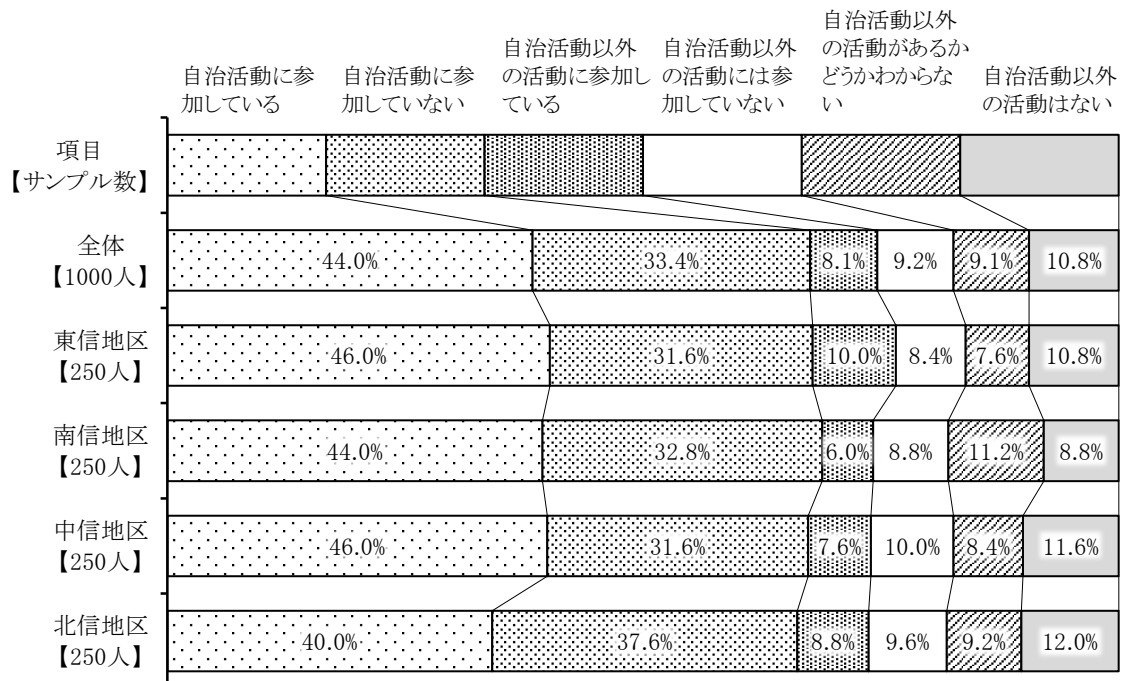
【住宅形態別】



【地域別】



【居住地域別】



問36 行っている/行いたい地域の交流活動

問36 地域との交流・つながりを持つ活動でしていること、または、したいことをお書きください。

- 自由記入方式で回答を求めたところ、次のようなキーワードが多く得られた。

1. イベント

交流会、お祭り、イベント情報の共有、町内会のイベント、花見 など

2. 子育て関連

子育てサークル、子育て支援センター、児童館、PTA活動、育児の情報交換 など

3. 地域での活動

町内会、自治会、隣組、消防団、避難訓練、回覧板 など

4. サークル活動

趣味のサークル、お茶飲み会、シニア交流会、農業サークル など

5. 清掃活動

地域の清掃活動、草刈り など

6. ボランティア

施設でのボランティア活動、おもちゃ修理のボランティア、雪かき など

7. スポーツ関連

スポーツ大会、運動会、ラジオ体操 など

- その他、次のような活動や意見がみられた。

- ・ 挨拶をするようにしている
- ・ 地域の伝統文化継承
- ・ コロナ禍で今まで通りの活動ができない
- ・ 公民館行事への参加

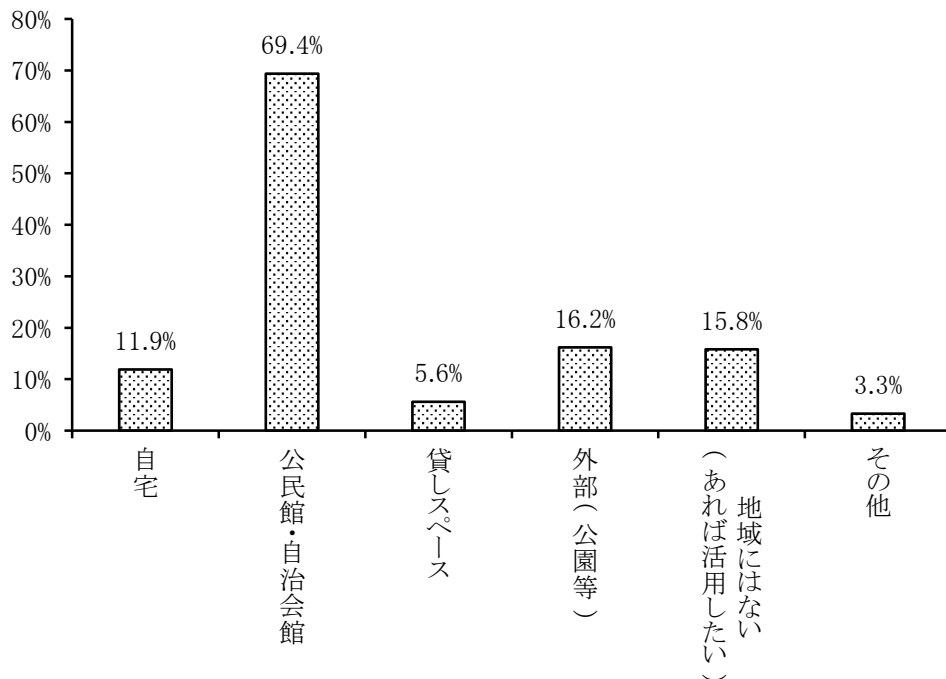
問37 地域の交流活動実施場所

◆ 地域の交流場所は「公民館・自治会館」が7割弱

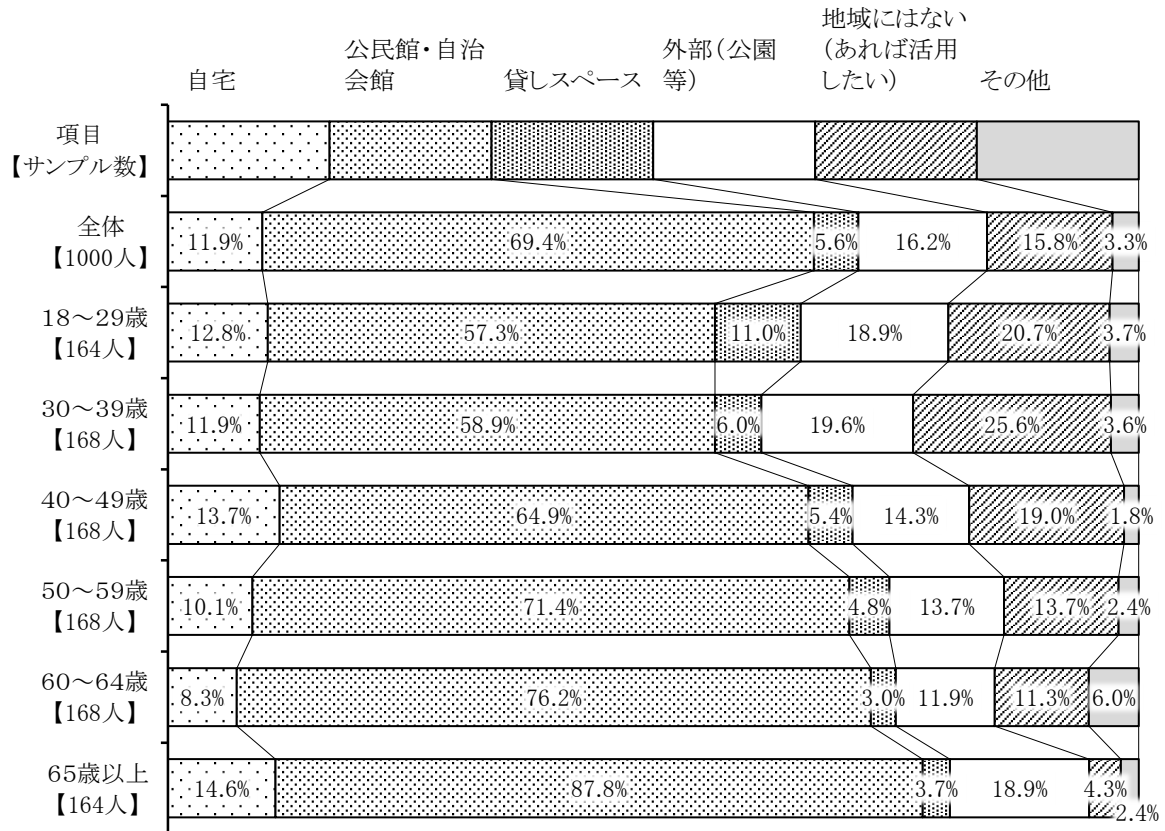
- 地域の交流活動をするための場所は、「公民館・自治会館」が69.4%で最も多く、年代が上がるほど多くなっている。
- 年代別では、30代で「地域にはない(あれば活用したい)」が25.6%と多くなっている。
- 地域別では、市街地で「公民館・自治会館」が59.3%と他の地域より少なく、「貸しスペース」が9.3%と他の地域よりもやや多い。

問37 近隣住民や地域との交流・つながりを持つ活動をするための場所はどこですか。

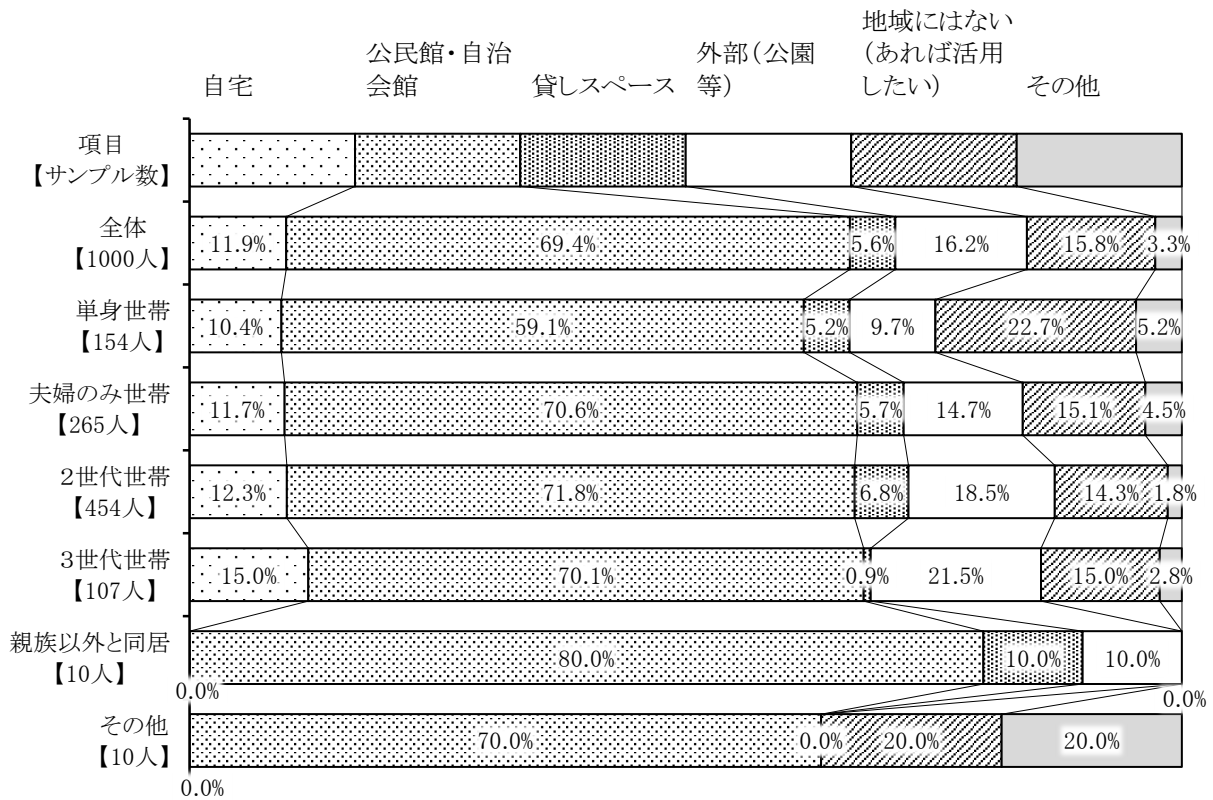
	回答者数	割合
1 自宅	119人	11.9%
2 公民館・自治会館	694人	69.4%
3 貸しスペース	56人	5.6%
4 外部(公園等)	162人	16.2%
5 地域にはない(あれば活用したい)	158人	15.8%
6 その他	33人	3.3%
サンプル数	1,000人	100.0%



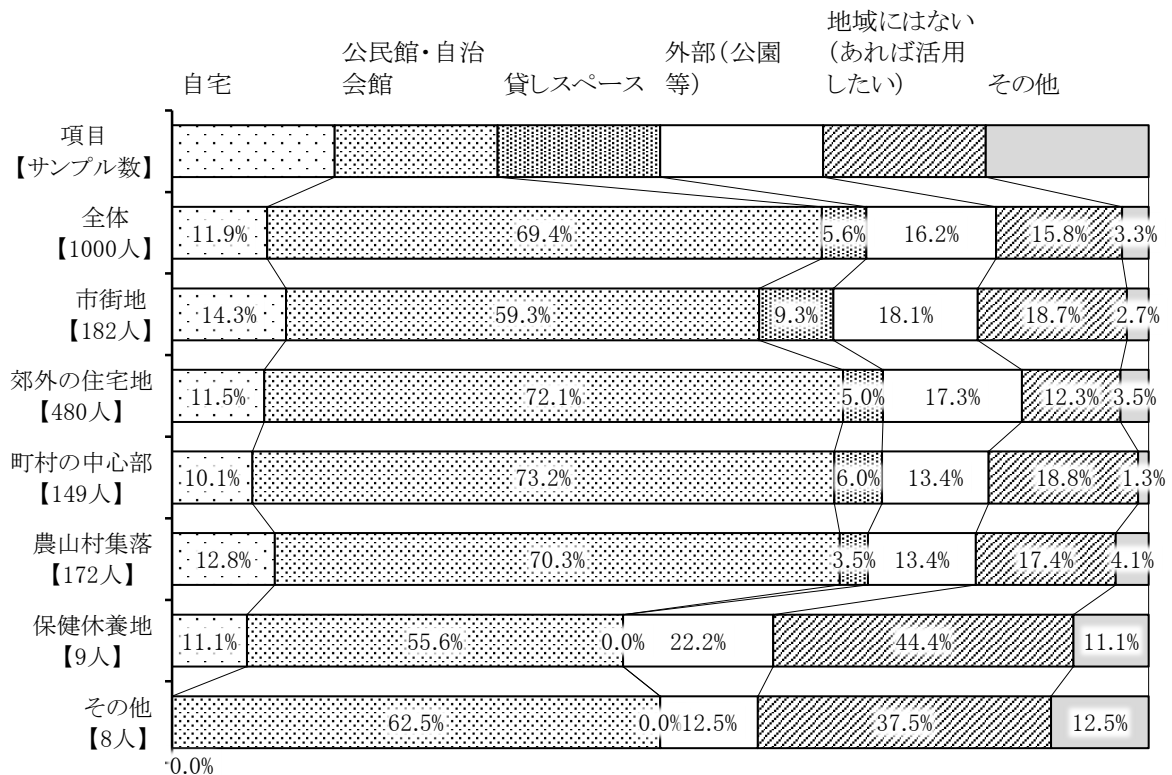
【年代別】



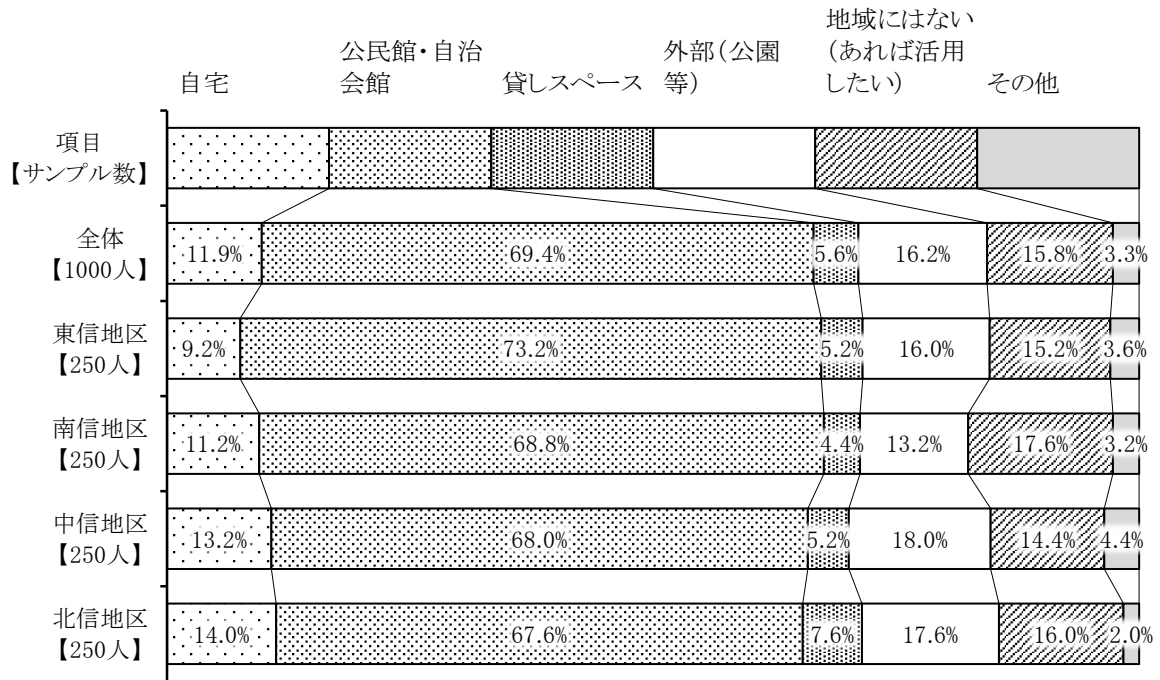
【世帯構成別】



【地域別】



【居住地域別】



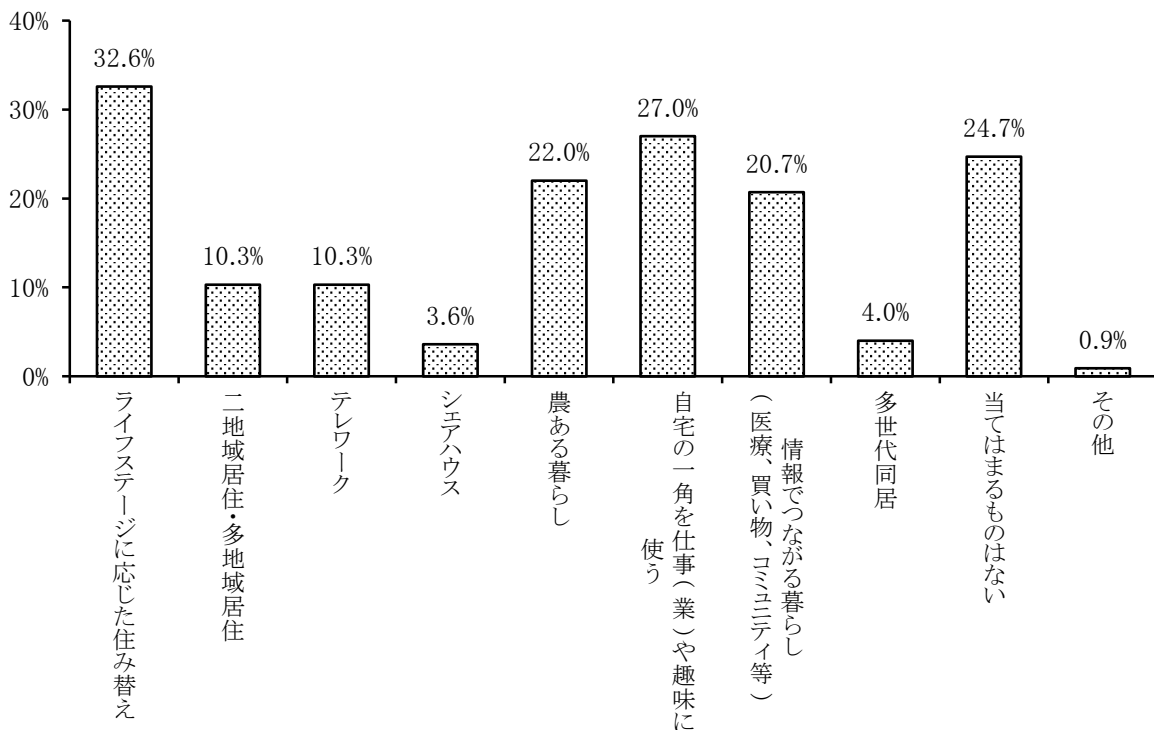
問38 将来してみたい住まい方/暮らし方

◆ 将来希望する住まい方は「ライフステージに応じた住み替え」が3割

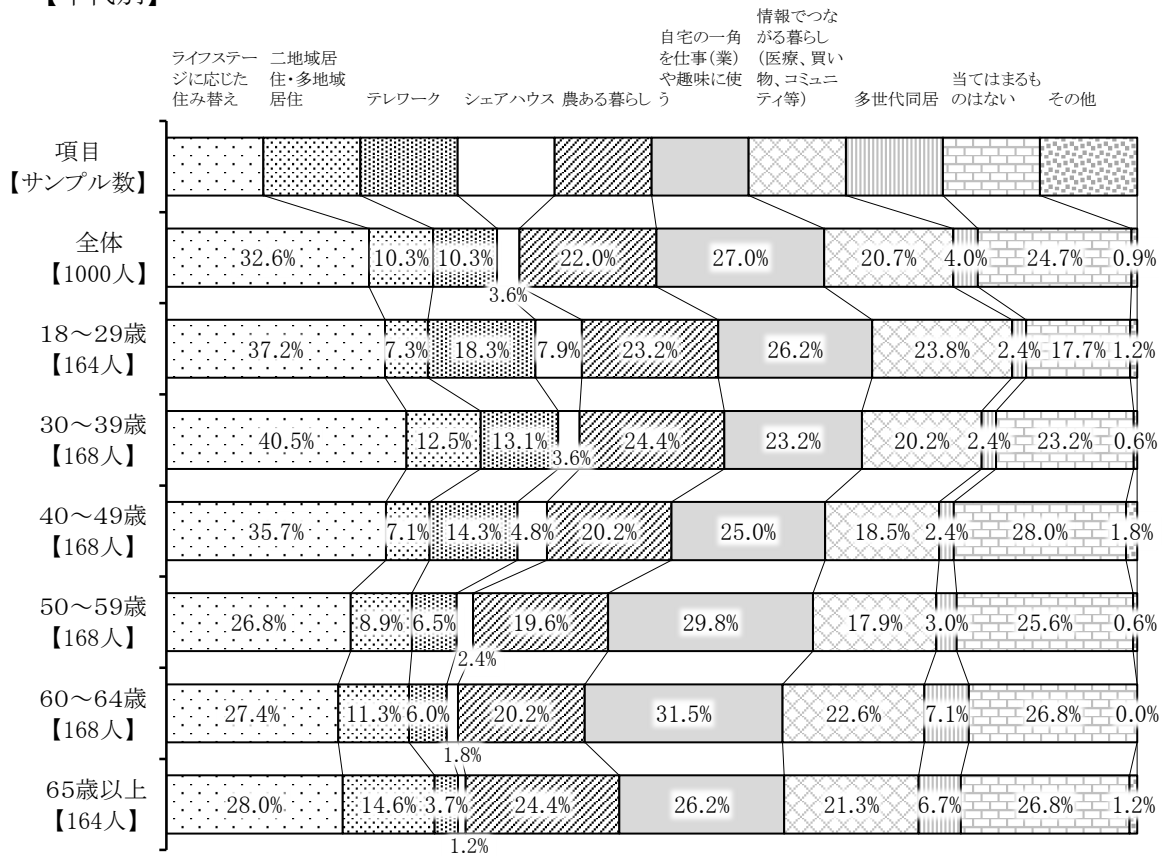
- 将来してみたい住まい方・暮らし方については、「ライフステージに応じた住み替え」が32.6%と最も多く、次いで「自宅の一角を仕事(業)や趣味に使う」が27.0%となった。
- 「ライフステージに応じた住み替え」は、年代別では30代(40.5%)、住宅形態別では賃貸(一戸建て:41.7%、マンション・アパート:41.4%)が他よりも多くなっている。

問38 あなたが将来してみたい住まい方・暮らし方について当てはまるものはありますか。次の中から3つ以内で選んでください。

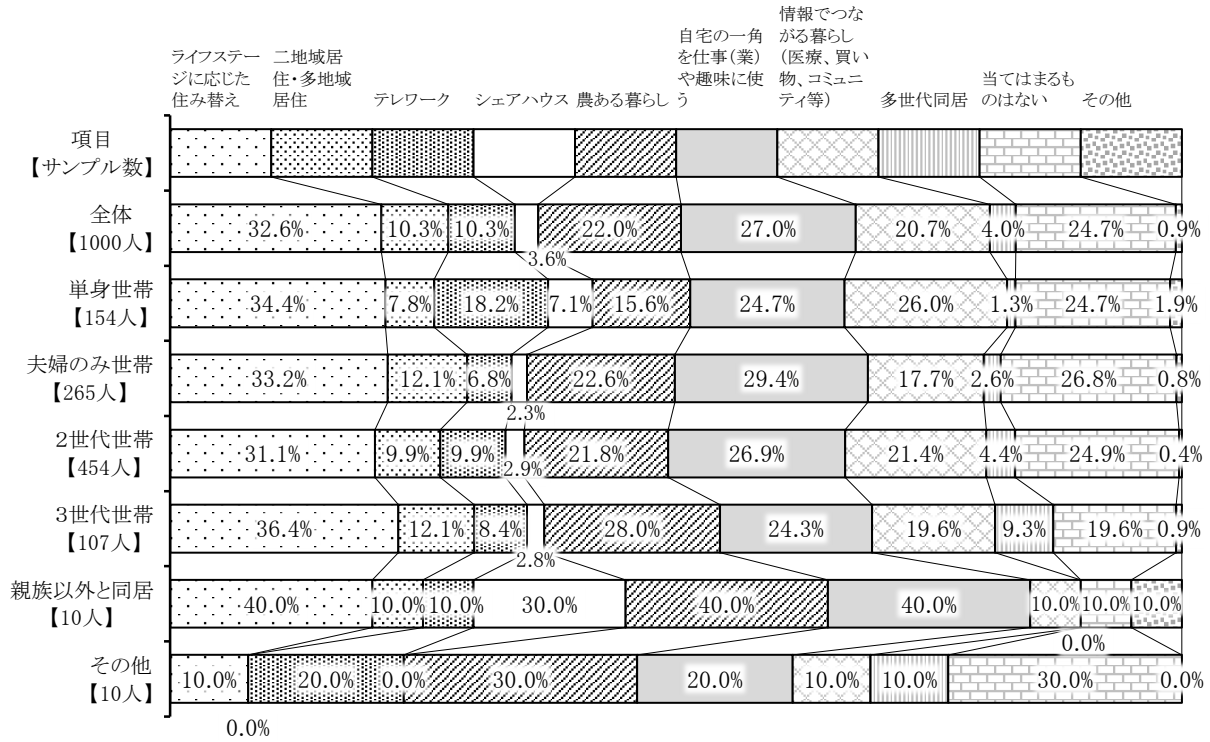
	回答者数	割合
1 ライフステージに応じた住み替え	326人	32.6%
2 二地域居住・多地域居住	103人	10.3%
3 テレワーク	103人	10.3%
4 シェアハウス	36人	3.6%
5 農ある暮らし	220人	22.0%
6 自宅の一角を仕事(業)や趣味に使う	270人	27.0%
7 情報でつながる暮らし(医療、買い物、コミュニティ等)	207人	20.7%
8 多世代同居	40人	4.0%
9 当てはまるものはない	247人	24.7%
10 その他	9人	0.9%
サンプル数	1,000人	100.0%



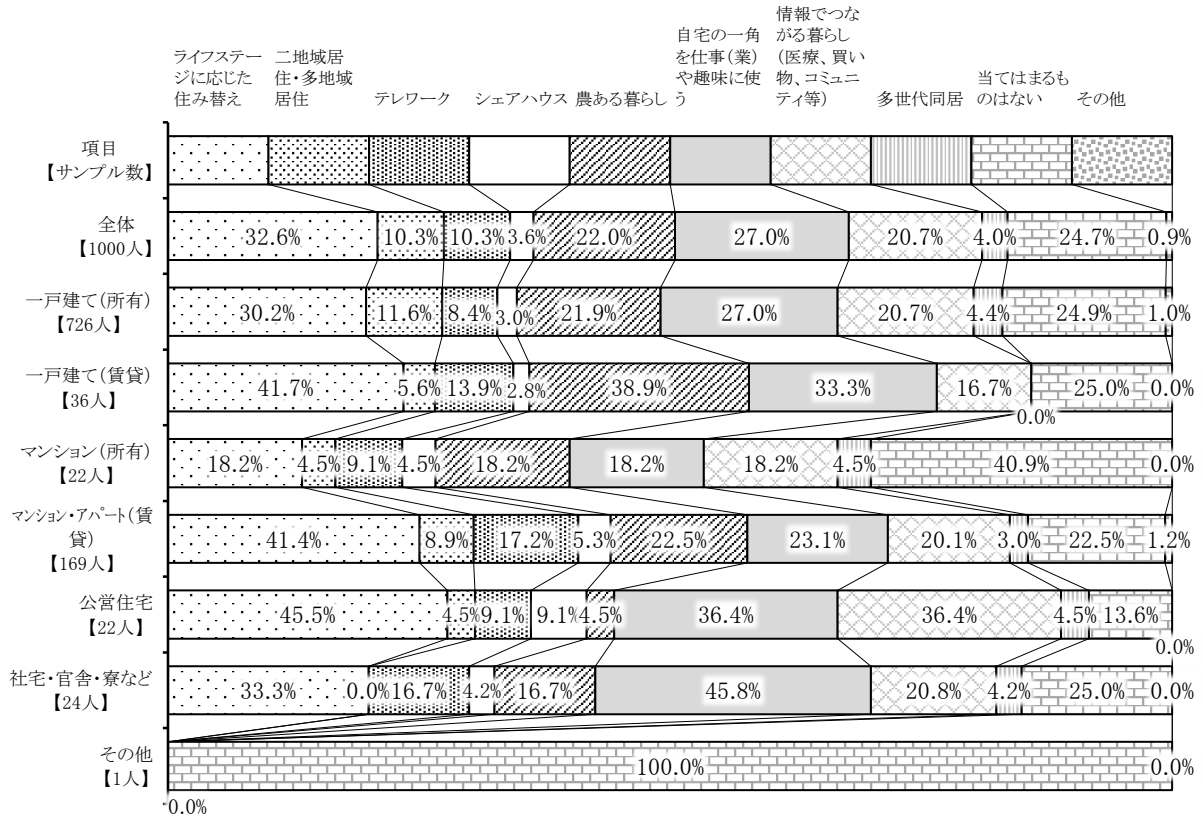
【年代別】



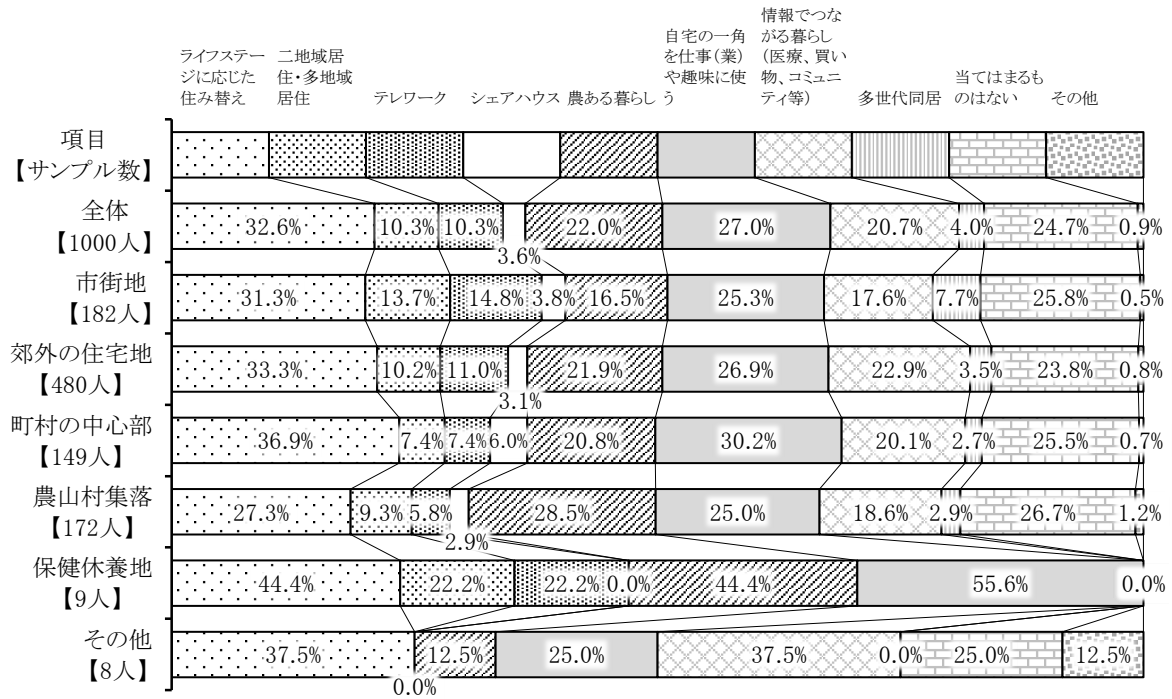
【世帯構成別】



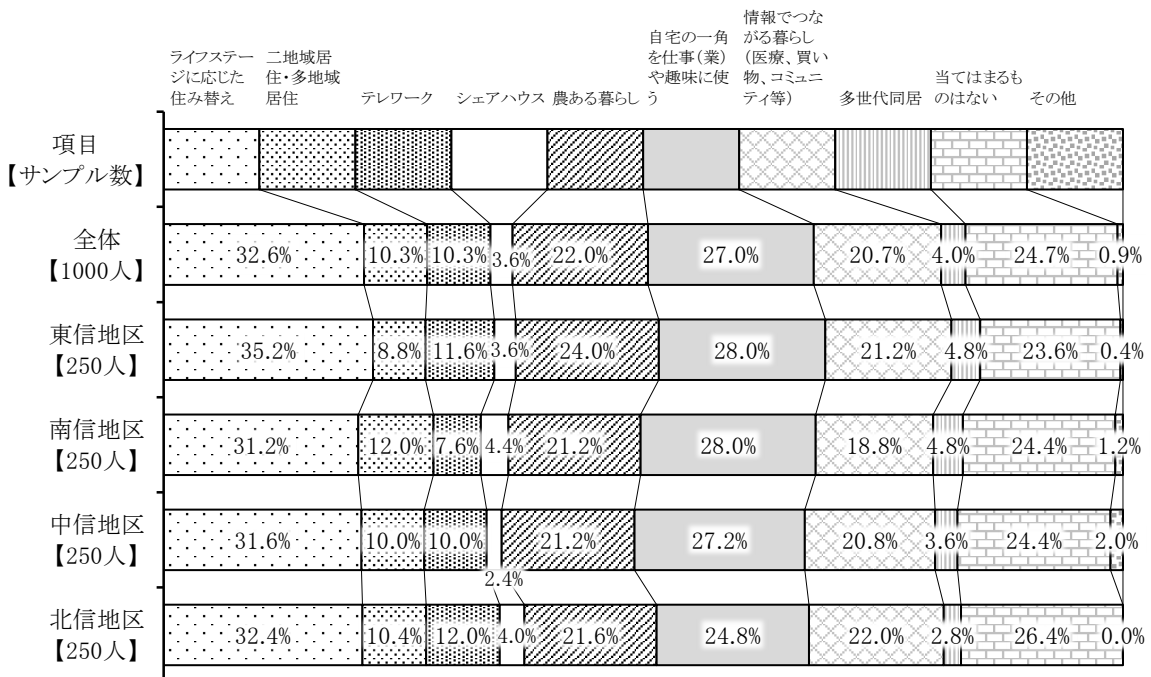
【住宅形態別】



【地域別】



【居住地域別】



問39 これからの信州らしい住まい方/暮らし方

問39 これからの時代の「信州らしい住まい方」「信州らしい暮らし方」はどのようなものだと思いますか。
ご自由にお書きください。

● 自由記入方式で回答を求めたところ、次のようなキーワードが多く得られた。

1. 自然と調和

自然豊か、自然との共存、四季、里山、景観 など

2. コミュニケーション

近所付き合い、地域の交流、助け合い など

3. 農業を取り入れた暮らし

家庭菜園、自給自足、地産地消、農ある暮らし など

4. 快適な生活

都会過ぎず田舎過ぎず、交通機関の充実、治安の良さ など

5. ゆとりある生活

のんびり、穏やか、広い敷地 など

6. 寒冷地に適した住まい

断熱性、寒さ対策 など

7. 自然エネルギーの活用

太陽光、蓄電池住宅、自然と共存してエコな暮らし など

8. 木を活かした生活

信州産の木材、薪ストーブ、庭木 など

● その他、次のような回答がみられた。

- ・ 地域の風習などを伝承する
- ・ 災害対策を強化する
- ・ 食(野菜など)の充実と観光の両立
- ・ 在宅ワークで自然豊かな環境で暮らす

問40 住宅・景観・まちづくりなどについて、行政に期待することや意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

● 自由記入方式で回答を求めたところ、次のようなキーワードが多く得られた。

1. 安全への対策

道路整備、街灯増設、除雪、防災対策、野生動物の駆除 など

2. 景観について

無電柱化、景観条例、自然との融合 など

3. 空き家・耕作放棄地

空き家・耕作放棄地の活用、空き家対策、古民家再利用 など

4. 希望する施設

大型商業施設、スーパー、病院、公園、老人ホーム など

5. まちづくり

コンパクトシティ、暮らしやすい町、高齢化社会を見据えたまちづくり など

6. 交通について

公共交通の充実、利便性向上、渋滞解消 など

7. 補助金・支援

リフォーム補助金、省エネ補助金、減税 など

● その他、次のような要望がみられた。

- ・ 新しく、移り住む人が増えるような広報活動
- ・ 観光客が大勢訪れて、地域の活性化につながる事を期待
- ・ 教育と福祉に力を入れてほしい。子育てしやすい街に
- ・ コミュニティ活動への有形無形の支援

Ⅲ 調 査 票

令和2年度 住まいに関する県民インターネットアンケート

問1	お住まいの居住地を選んでください。	1 東信地域 2 南信地域 3 中信地域 4 北信地域
問2	お住まいの地域を選んでください。	1 市街地(大きな都市の中心部) 2 郊外の住宅地(大きな都市の中心部周辺や隣接町村) 3 町村の中心部(中心集落) 4 農山村中山間地 5 保健休養地 6 その他()
問3	年齢を選んでください。	1 29歳以下 2 30～39歳 3 40～49歳 4 50～59歳 5 60～64歳 6 65歳以上
問4	世帯の構成を選んでください。 (同居世帯を含む)	1 単身世帯 2 夫婦のみ世帯 3 2世代世帯(親と子の世帯) 4 3世代世帯(祖父母と親と子など) 5 親族以外と同居 6 その他()
問5	世帯に65歳以上の方は何人いますか。 ※回答者本人含む。	1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上 5 いない
問6	世帯に18歳未満の方は何人いますか。 ※回答者本人含む。	1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上 5 いない
問7	現在住んでいる住宅は、次のどれに該当しますか。	1 一戸建て(自己又は家族所有) 2 一戸建て(賃貸) 3 マンション(自己又は家族所有) 4 マンション・アパート(賃貸) 5 公営住宅(県営・市町村営住宅など) 6 社宅・官舎・寮など 7 その他()
問8	現在住んでいる住宅は、いつ頃建築されましたか。	1 昭和20年より前 2 昭和21年～昭和55年以前 3 昭和56年～平成3年 4 平成4年～平成10年 5 平成11年～平成24年 6 平成25年以降 7 分からない (注) 借家などにお住まいの方もご承知されている範囲で記入してください。
問9	「衣」「食」「住」のうち、あなたの「住」(住まい)は、10年前に比べて良くなっていますか。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 どちらとも言えない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
問10	自分が住んでもよいと思う住宅について、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。	1 新築の持家がよい 2 条件によっては中古持家でもよい 3 賃貸住宅(新築・中古)がよい 4 特にこだわらない
問11	(問10で1を選んだ方におたずねします。) 中古住宅を選択しなかった理由を次の中から2つ以内で選んでください。	1 早い時期にリフォーム(修繕や増改築など)が必要となりそうだから 2 耐久性に問題がありそうだから 3 資産価値の割に価格が高そうだから 4 他の人が利用した住宅に住みたくないから 5 希望通りの住宅が見つかりにくそうだから 6 見えない部分の状態に不安があるから 7 断熱効果が不十分(寒そう)だから 8 その他()
問12	住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。	1 一戸建ての木造住宅で、在来工法のもの 2 一戸建ての木造住宅で、在来工法以外のもの(プレハブ工法、枠組壁工法(2×4)など) 3 一戸建ての非木造住宅(鉄骨造や鉄筋コンクリート造の住宅) 4 マンションなどの集合住宅 5 特にこだわらない 6 その他() (注)「在来工法」とは、木造軸組工法ともいい、土台の上に柱を立てて梁を架ける工法で、日本では最も一般的な建て方です。 「プレハブ工法」とは、規格化された部品や部材をあらかじめ工場で生産し、建築場所で組み立てる建て方です。

問13	住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。 ※複数にあてはまる場合は、最もあてはまる依頼先をお答えください。	1 大手ハウスメーカー 2 地元の大工・工務店 3 設計は設計事務所、建設は大工・工務店 4 特にこだわらない 5 その他()
問14	(問13で1から3を選んだ方におたずねします。) その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。	1 技術力が高いから 2 経験が豊富だから 3 知名度が高いから 4 建設費が安いから 5 アフターサービスが良いから 6 知り合いがいる、または自分が関係しているから 7 人柄が信頼できそうだから 8 細かな要望にも応えてくれそうだから 9 その他()
問15	住宅を新築・購入するとしたら、どのような点を特に重視しますか。次の中から5つ以内で選んでください。	1 地震・台風・水害などに対する強さ 2 耐久性(長寿命化) 3 給排水管等設備の維持管理のしやすさ 4 断熱性能(夏・冬の快適性、ヒートショック防止) 5 日照、採光、通風のよさ 6 地域材の活用(建築用材、薪ストーブ等) 7 誰もが使いやすい構造や設備(バリアフリー等) 8 防犯性 9 間取りの変更のしやすさ 10 十分な広さ、ゆとりのスペース 11 光熱費などランニングコストの低さ 12 外観や内装などのデザイン 13 創エネルギー(太陽光発電) 14 立地(利便性の良さ) 15 被災想定区域内に所在していないこと 16 その他()
問16	自宅の周辺環境で不満と感じていることはありますか。該当するものを次の中から5つ以内で選んでください。	1 火災・地震・水害などに対する安全性 2 まわりの道路の歩行時の安全性 3 騒音、振動、空気・水の汚れ 4 通勤・通学などの利便性 5 日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性 6 大型商業施設、娯楽施設の充実 7 公共交通機関の利便性 8 子どもの遊び場・公園などの充実 9 緑・水辺など自然の豊かさ 10 日当たり、風通しなど空間のゆとり 11 まちなみの景観 12 近隣の人たちや地域とのつながり 13 親族(親・子どもなど)の住宅との距離 14 特にない 15 その他()
問17	住宅の環境対策として、何を重視しますか。次の中から2つ以内で選んでください。	1 壁や天井への十分な断熱材の施工 2 太陽光や太陽熱などの利用(創エネルギー) 3 県産木材や薪ストーブなど森林資源の活用 4 軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫 5 その他()
問18	住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。	1 50万円未満 2 50万円以上100万円未満 3 100万円以上200万円未満 4 200万円以上300万円未満 5 300万円以上400万円未満 6 400万円以上500万円未満 7 500万円以上
問19	省エネルギー住宅を普及させるためには何が重要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで下さい。	1 環境への影響や健康面との関連性についての理解の浸透 2 省エネルギー住宅に関する様々な情報提供(材料、設備、工法等) 3 省エネルギーへの投資対効果に関する情報(コスト比較等) 4 省エネルギーに詳しい建築士や工務店の情報 5 信州にふさわしい住まいの姿の具体的な例示 6 モデルハウスの充実 7 補助金などの助成制度や税制優遇制度 8 省エネルギーのための技術開発 9 法律等による規制誘導 10 その他()
問20	仮に現在住んでいる住宅の耐震性が不足していることが分かった場合、どのような対策をとろうと思いますか。 ※複数にあてはまる場合は、最もあてはまる対策をお答えください。	1 全く壊れないように住宅を補強したい 2 倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい 3 特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター(耐震ベッド)を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい 4 特に住宅の補強はしないが、本棚・家具などの転倒防止対策は行いたい 5 現在の住宅の対策をとるのではなく、建替えや別の住宅への住替えをしたい 6 特に対策をとらない 7 その他() (注)「耐震シェルター」、「耐震ベッド」とは、地震で住宅が倒壊しても寝室や睡眠スペースを守るため、住宅内の一部に木材や鉄骨等で作る強固な箱型の空間のことです。

問21	(問20で3から5を選んだ方におたずねします。)その主な理由を選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 資金に余裕がないから 2 どの業者に依頼すればよいか分からないから 3 居住性や使い勝手が悪くなりそうだから 4 住み続けながらの工事は大変そうだから 5 自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから 6 住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから 7 借家だから 8 その他()
問22	高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)のことを考えて、現在住んでいる住宅及びその地域について不安に感じることはありますか。次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 住居費(改修費や家賃など)の負担 2 災害時の安全性 3 手すりが無い、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと 4 病院や福祉施設などが近くにないこと 5 商店が近くにないこと 6 まわりの道路の歩行時の安全性 7 親族が近くにいないこと 8 公共交通機関が不便なこと 9 近隣や地域とのつながり 10 特になし 11 その他()
問23	高齢者になったとき(現在高齢者の方も含みます。)、誰と一緒に住む予定ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 単身または夫婦だけで住む 2 子どもなど親族と一緒に住む 3 親族の近くで単身または夫婦だけで住む 4 知人や友人と一緒に住む 5 その他()
問24	空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(空き家を所有していない方は空き家を所有していると仮定して回答ください。)	<ul style="list-style-type: none"> 1 治安、防災の面の不安 2 景観、衛生等の面の不安 3 空き家の活用の仕方が分からない 4 空き家を売りたい(貸したい)が、買い手(借り手)が見つからない 5 空き家の維持管理に費用や手間がかかる 6 空き家の除却が進まない 7 空き家を買いたい(借りたい)が、見つからない 8 空き家についての相談先が分からない 9 特になし 10 その他()
問25	あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 空き家の状態によっては利活用してみたい 2 空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい 3 空き家が所在する場所によっては利活用してみたい 4 空き家を利活用したいと思わない 5 わからない
問26	空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えますか。次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 空き家の所有者が近隣に居住していない 2 空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっている 3 空き家に家財が残っている 4 流通(売買・賃貸)促進の支援がない 5 地域での活用がない 6 どこに相談すればいいかわからない 7 わからない 8 その他()
問27	公営住宅は、住宅にお困りで一定の収入以下の方に、低廉な家賃で住宅を賃貸することを目的としており、住宅のセーフティネットの役割を大きく担っているところです。あなたは、このような現状の中、今後の公営住宅の供給量(戸数)をどのようにしたらよいと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 新たに増やしていくべきだと思う 2 現状の戸数を維持していけばよいと思う 3 一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う 4 公共での供給をやめ、民間賃貸住宅に任せていけばよいと思う 5 その他()
問28	公営住宅は、昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くあります。あなたは、公営住宅の現状をどのように感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う 2 老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う 3 周辺の住宅と比べ、老朽化は目立つ感じはしない 4 周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う 5 その他()
問29	賃貸住宅を借りる場合に、何を重視しますか。次の中から3つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 立地(自然豊かで環境に恵まれている) 2 立地(市街地で交通や生活に便利である) 3 住宅が新しく、設備等が整っている 4 家賃の安さ 5 被災想定区域内に所在していない 6 断熱性能(冬は暖かく、夏は涼しい) 7 地域・近隣とのつながりがある 8 わからない 9 特になし 10 その他()

問30	賃貸住宅を借りる際に感じる不満は何ですか。 次の中から5つ以内で選んでください。 (住宅を借りた経験のない方は、想像できる範囲で回答ください。)	<ul style="list-style-type: none"> 1 連帯保証人が必要である 2 入居を拒まれることがある 3 ペットが飼育できない物件がある 4 楽器の演奏ができない物件がある 5 敷金・礼金など契約時に費用が必要である 6 契約時の説明がわかりにくい(情報が不十分) 7 断熱性能・省エネ性能が十分でない 8 駐車場が足りない 9 わからない 10 特にない 11 その他()
問31	地域の民間賃貸共同住宅(アパート・マンション等)について、どのように感じていますか。次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 十分な戸数があり、比較的新しいものが多いと思う 2 十分な戸数があるが、比較的古いものが多いと思う 3 近年、新たな建設が目立つと思う 4 特に不足しているとは思わない 5 不足していると思う 6 その他()
問32	現在住んでいる地区のまちなみ景観について、どのような印象をお持ちですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 大変良い 2 まあ良い 3 どちらとも言えない 4 あまり良くない 5 良くない
問33	(問32で4または5を選んだ方におたずねします。) その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など) 2 電柱、電線が気になるから 3 看板、広告塔が乱立しているから 4 ポスターなどが氾濫しているから 5 塀、垣根などに緑が少ないから 6 街路樹などが少ないから 7 自動販売機が目立つから 8 老朽建物や空き家があるから 9 積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから 10 その他()
問34	住んでいる地区の景観をよくするために、どのような取組みが必要であると思いますか。 あなたの考えに近いものをすべて選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 地区の清掃活動を定期的に行う 2 住んでいる人に愛着を持ってもらうため、地区を学ぶ機会をつくる(例: 専門家講演会、街歩きイベント等) 3 地区の景観を紹介する媒体を作成・配布する(例: 景観ハンドブック、景観カード等) 4 太陽光発電施設の設置など、景観に影響が大きい行為が行われる場合に、事前に計画を確認・調整する仕組みをつくる 5 その他()
問35	地域の自治活動を含め、友人や近隣住民等、地域との交流・つながりを持つ活動に参加していますか。 次の中から2つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 自治活動に参加している 2 自治活動に参加していない 3 自治活動以外の活動に参加している 4 自治活動以外の活動には参加していない 5 自治活動以外の活動があるかどうかわからない 6 自治活動以外の活動はない
問36	地域との交流・つながりを持つ活動でしていること、または、したいことをお書きください。	[例: 子育てでサークルで育児に関する情報の交換]
問37	近隣住民や地域との交流・つながりを持つ活動をするための場所はどこですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 自宅 2 公民館・自治会館 3 貸しスペース 4 外部(公園等) 5 地域にはない(あれば活用したい) 6 その他()
問38	あなたが将来してみたい住まい方・暮らし方について当てはまるものはありますか。 次の中から3つ以内で選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 ライフステージに応じた住み替え 2 二地域居住・多地域居住 3 テレワーク 4 シェアハウス 5 農ある暮らし 6 自宅の一角を仕事(業)や趣味に使う 7 情報でつながる暮らし(医療、買い物、コミュニティ等) 8 多世代同居 9 当てはまるものはない 10 その他()
問39	これからの時代の「信州らしい住まい方」「信州らしい暮らし方」はどのようなものだと思いますか。ご自由にお書きください。	
問40	住宅・景観・まちづくりなどについて、行政に期待することや意見などがありましたら、ご自由にお書きください。	

令和3年3月発行

発行 長野県

編集 長野県建設部 建築住宅課
長野市大字南長野字幅下692-2 電話026(235)7339(直通)
E-mail : kenchiku@pref.nagano.lg.jp
